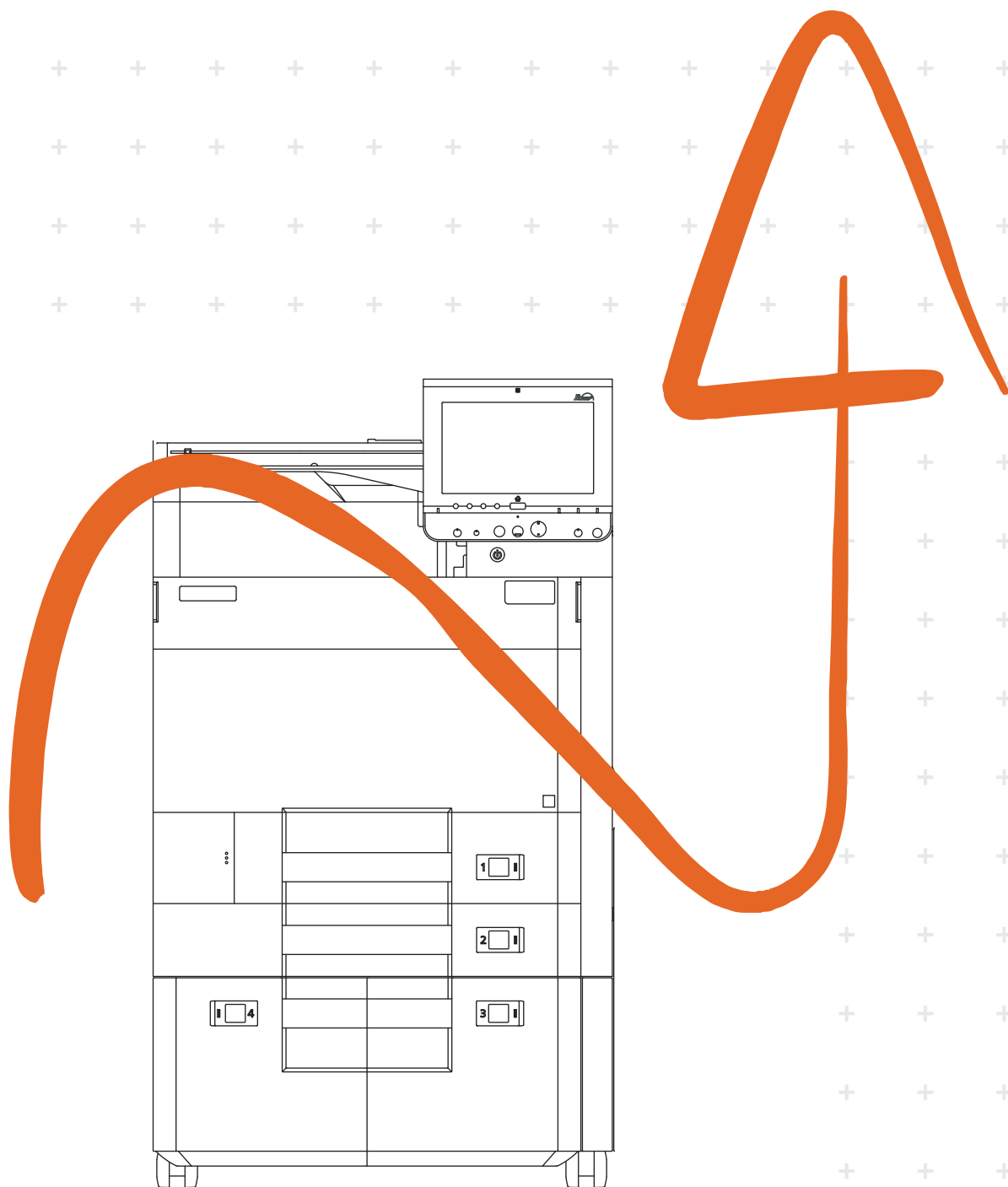


使用説明書

ECOSYS P4060dn



使用説明書 メニュー

本説明書は、次の章で構成されています。下記のボタンを選択すると該当する章のトップページにジャンプします。
章のトップページには目次がありますので、目的の項目を選択して参照してください。

▶ 目次

▶ 索引

▶ 1 正しくお使いいただくために

▶ 7 ジョブ / 消耗品 / デバイスを管理する

▶ 2 設置と機械のセットアップ

▶ 8 システムメニュー

▶ 3 本機を使用する前に

▶ 9 ユーザー認証、集計管理（ユーザー管理、部門管理）

▶ 4 パソコンからの印刷

▶ 10 こんなときには

▶ 5 本体側の操作

▶ 11 付録

▶ 6 さまざまな機能を使う

はじめに

本製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、およびかんたんなトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

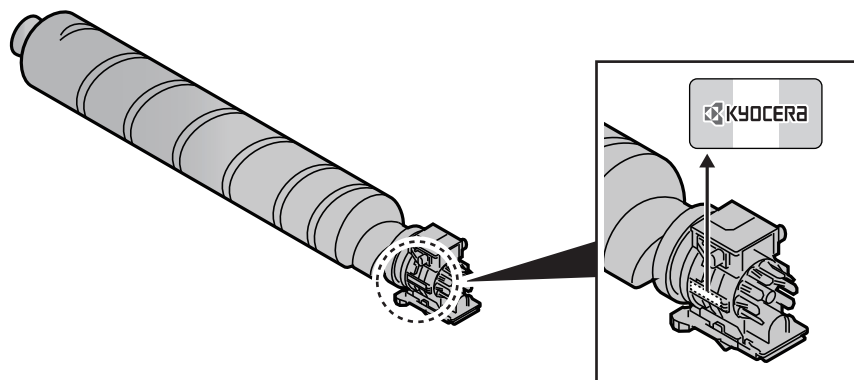
ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

品質維持のため、トナーコンテナは数々の品質検査に合格した弊社純正品の使用をお勧めします。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

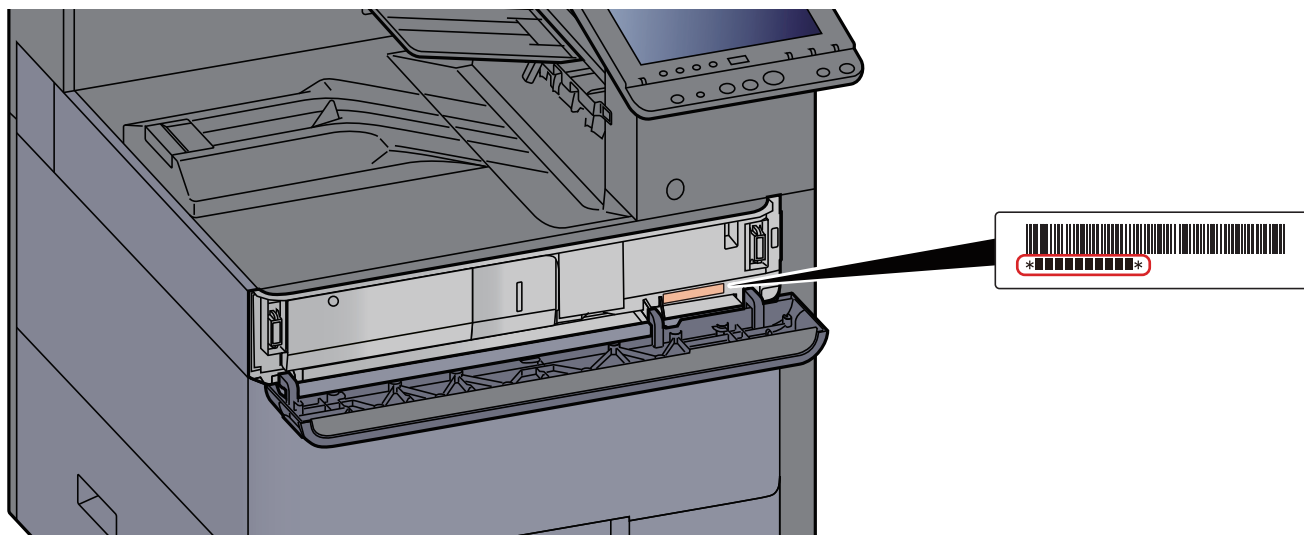
純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

弊社純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼り付いています。



シリアル番号の記載位置について

本体のシリアル番号は、図の位置に記載しています。



本機のシリアル番号はお問い合わせの際に必要な場合があります。お問い合わせの際は、シリアル番号の確認を行ってからご連絡をお願いいたします。

目次

はじめに	i
目次	ii
本機の特長	ix
付属マニュアルの紹介	xii
使用説明書（本書）について	xiii
本書の構成について	xiii
本書の読みかた	xiv
オプションの表記について	xvii
メニューマップ	xviii

1 正しくお使いいただくために 1-1

注意事項	1-2
本書中の注意表示について	1-2
設置環境について	1-3
取り扱い上のご注意	1-4
法律上のご注意	1-5
本製品の省エネ制御機能について	1-11
自動両面機能について	1-11
印刷用紙	1-11
電力管理	1-11
エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム	1-11
無線LAN使用時のご注意	1-12
電波の種類と干渉距離	1-12
無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意	1-13
本製品の使用限定	1-13

2 設置と機械のセットアップ 2-1

各部の名称（本体外観）	2-2
各部の名称（コネクター・内部）	2-4
各部の名称（オプション装着時）	2-5
本機とその他デバイスを接続する	2-6
ケーブルを接続する	2-7
ネットワークケーブルを接続する	2-7
USBケーブルを接続する	2-8
電源コードを接続する	2-8
電源を入/切する	2-9
電源を入れる	2-9
電源を切る	2-9
操作パネルの使いかた	2-10
操作パネルキー	2-10
操作パネルの角度を調節する	2-11
機能キーに機能を割り当てる	2-12
タッチパネルの表示	2-13
ホーム画面	2-13
機器情報を表示する	2-16
設定画面を表示する	2-16
機能キーを表示する	2-17
画面の操作	2-17
設定できないキーの表示	2-18
数字を入力する	2-19
エンターキーの使いかた	2-20
短縮キーの使いかた	2-20

ヘルプ画面の使いかた	2-21
本機にログイン・ログアウトする	2-22
ログインする	2-22
ログアウトする	2-23
機械の初期設定をする	2-24
日付と時刻を設定する	2-24
ネットワークを設定する	2-25
有線でネットワークを設定する	2-25
ワイヤレスネットワークを設定する	2-27
Wi-Fi Directを設定する	2-31
NFCを設定する	2-33
省エネ機能を使う	2-34
低電力モードとは	2-34
スリープとは	2-34
オートスリープとは	2-35
スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)	2-35
節電復帰レベルとは	2-35
週間予約設定	2-35
簡単セットアップウィザードを設定する	2-36
ソフトウェアをインストールする	2-38
収録ソフトウェア(Windows)	2-38
Windowsにソフトウェアをインストールする	2-39
ソフトウェアをアンインストールする	2-45
Macintoshにソフトウェアをインストールする	2-46
カウンターを確認する	2-48
管理者に準備していただきたいこと	2-49
セキュリティを強化する	2-49
Command Center RXとは	2-50
Command Center RX へアクセスする	2-51
セキュリティ設定を変更する	2-52
デバイス情報を変更する	2-53
SMTPおよびメール送信の設定をする	2-54
ユーザーボックスを作成する	2-58
ユーザーボックスに保存されている文書を印刷する	2-59

3 本機を使用する前に 3-1

用紙をセットする	3-2
用紙の取り扱い上の注意	3-2
給紙段の選択	3-3
カセット1に用紙をセットする	3-4
カセット2に用紙をセットする	3-7
カセットにはがき、封筒をセットする	3-10
大容量フィーダーにセットする	3-14
サイドフィーダーにセットする	3-16
用紙を排出するときの留意点	3-18
排紙ストッパー	3-18
封筒ガイド	3-18
排紙容量調整レバー	3-19
写真やイラスト画像排出時の留意点	3-19

4 パソコンからの印刷 4-1

プリンタードライバーのプロパティ画面	4-2
プリンタードライバーのヘルプを表示する	4-3
プリンタードライバーの初期設定値を変更する(Windows 8.1の場合)	4-3

パソコンから印刷する	4-4
定形サイズ of 用紙に印刷する	4-4
不定形サイズ of 用紙に印刷する	4-6
バナー用紙に印刷する	4-9
パソコンで印刷を中止する	4-15
携帯端末から印刷する	4-16
AirPrintで印刷	4-16
Google Cloud Printで印刷	4-16
Mopriaで印刷	4-16
Wi-Fi Directで印刷	4-17
NFCで印刷	4-17
本体に保存したデータを印刷する	4-18
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する	4-18
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	4-19
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する	4-19
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する	4-20
ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する	4-20
クイックコピーボックスからジョブを印刷する	4-21
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する	4-21
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	4-22
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する	4-22
本機の状態をパソコンから確認するには(ステータスマニター)	4-23
ステータスマニターを起動する	4-23
ステータスマニターを終了する	4-23
Quick View State	4-23
印刷情報アイコンタブ	4-24
用紙情報アイコンタブ	4-24
トナー情報アイコンタブ	4-24
アラート情報アイコンタブ	4-25
ステータスマニターコンテキストメニュー	4-25
ステータスマニターの通知機能を設定する	4-26

5 本体側の操作 5-1

手差しトレイに用紙をセットする	5-2
よく使う機能呼び出す(プログラム)	5-6
プログラムを登録する	5-6
プログラム呼び出す	5-7
プログラム編集する	5-7
プログラム削除する	5-8
アプリケーションとは	5-9
アプリケーションをインストールする	5-9
アプリケーションを起動する	5-10
アプリケーションを停止する	5-11
アプリケーションをアンインストールする	5-11
よく使う機能を登録する(ショートカット登録)	5-12
ショートカットを登録する	5-12
ショートカットを編集する	5-13
ショートカットを削除する	5-13
印刷ジョブをキャンセルする	5-14
文書ボックスを使用する	5-15
ユーザーボックスとは	5-15
ジョブボックスとは	5-15
外部メモリーボックスとは	5-15
文書ボックスの基本操作	5-16

ユーザーボックスを作成する(新規作成)	5-20
ボックスを編集する	5-21
ボックスを削除する	5-22
ユーザーボックスに印刷データを保存する	5-22
ユーザーボックス内の文書を印刷する	5-23
ユーザーボックス内の文書を移動する	5-24
ユーザーボックス内の文書を削除する	5-24
USBメモリーの操作	5-25
USBメモリー内のデータを印刷する	5-25
USBメモリー情報を確認する	5-26
USBメモリーを取り外す	5-26
インターネットブラウザーを使用するには	5-27
ブラウザーを起動/終了する	5-27
ブラウザー画面の操作について	5-28
マニュアルステープルを使用する	5-29

6 **さまざまな機能を使う 6-1**

さまざまな機能を使う	6-2
本機に用意されている機能について	6-2
ユーザーボックス	6-2
外部メモリー	6-4
各種機能	6-5
用紙選択	6-5
紙折り	6-7
ソート/仕分け	6-8
ステープル/パンチ	6-9
排紙先	6-12
エコプリント	6-13
縮小/拡大	6-14
ページ集約	6-14
とじしろ/センター移動、とじしろ	6-16
小冊子	6-17
両面	6-19
表紙付け	6-20
イメージ合成	6-21
ページ番号	6-22
文字スタンプ	6-24
連番スタンプ	6-26
ジョブ終了通知	6-27
文書名入力	6-28
優先印刷	6-28
印刷後削除	6-28
暗号化PDFパスワード	6-28
JPEG/TIFF印刷方法	6-29
XPS印刷サイズ調整	6-29

7 **ジョブ/消耗品/デバイスを管理する 7-1**

ジョブの状況を確認する	7-2
状況確認画面の内容	7-3
ジョブの詳細情報を確認する	7-6
ジョブの履歴を確認する	7-7
ジョブ履歴の詳細情報を確認する	7-8
ジョブ履歴を送信する	7-8

ジョブの操作	7-9
ジョブの一時停止と再開	7-9
ジョブをキャンセルする	7-9
印刷ジョブの中断と割り込み (優先印刷)	7-9
印刷ジョブを入れ替える	7-10
デバイスの状態 (デバイス/通信)を確認する	7-11
トナーや用紙の残量 (用紙/消耗品)を確認する	7-12

8 システムメニュー 8-1

本機の初期設定 (システムメニュー)	8-2
操作方法	8-2
システムメニューの項目	8-3
カウンター	8-6
カセット/手差しトレイ設定	8-6
共通設定	8-8
ホーム	8-21
文書ボックス/外部メモリー	8-21
プリンター	8-22
レポート	8-25
システム/ネットワーク	8-30
ユーザー/部門管理	8-48
ユーザー情報	8-49
日付/タイマー/節電	8-49
調整/メンテナンス	8-52
インターネット	8-53
アプリケーション	8-53

9 ユーザー認証、集計管理 (ユーザー管理、部門管理) 9-1

ユーザー管理とは	9-2
パソコンからユーザーを管理する	9-2
ユーザー管理を有効にする	9-3
ユーザー管理を設定する	9-4
ユーザー情報を変更する	9-4
印刷のユーザー管理	9-7
グループ認可を設定する	9-9
ゲスト認可を設定する	9-11
ネットワークユーザー情報を取得する	9-13
簡単ログイン設定とは	9-15
ICカード認証方法を設定する	9-17
PINコード認証を設定する	9-18
ユーザー管理の使いかた	9-19
ログイン/ログアウトをする	9-19
部門管理とは	9-20
部門管理を有効にする	9-21
部門管理方式を設定する	9-21
部門管理 (ローカル) を設定する	9-22
部門を新規に登録する (部門リスト)	9-22
使用制限を設定する	9-23
部門情報を編集する	9-23
部門を削除する	9-24
印刷の部門管理をする	9-25
部門管理の運用	9-27
初期設定	9-27
使用枚数を集計する	9-29

部門レポートを印刷する	9-31
部門管理の使いかた	9-32
ログイン/ログアウトをする	9-32
制限超過時設定	9-33
不明ユーザー処理方法を設定する	9-34
ID不明ジョブ処理を設定する	9-34
ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する	9-35

10 こんなときには 10-1

消耗品の交換と補充	10-2
消耗品の交換と補充について	10-2
トナーコンテナを交換する	10-2
廃棄トナーボックスを交換する	10-5
用紙を補給する	10-6
ステープル針を補充する(1,000枚フィニッシャー)	10-7
ステープル針を補充する(4,000枚フィニッシャー)	10-8
ステープル針を補充する(中折りユニット)	10-10
パンチくずを廃棄する	10-11
一般的なトラブル	10-15
トラブルが発生したら	10-15
機械動作のトラブル	10-15
画像のトラブル	10-18
リモート操作について	10-20
こんな表示がでたら	10-22
メッセージが表示されたら	10-22
エラーメッセージ一覧	10-22
調整/メンテナンスメニュー	10-31
調整/メンテナンスメニューについて	10-31
ドラムリフレッシュを実行する	10-31
キャリブレーションを実行する	10-31
レーザースキャナークリーニングを実行する	10-32
現像リフレッシュを実行する	10-32
紙づまりの解除	10-33
紙づまりが発生したら	10-33
紙づまり表示の見かたと位置の確認	10-33
カセット1の紙づまりを除去する	10-34
カセット2の紙づまりを除去する	10-37
カセット3、4(550枚×2)の紙づまりを除去する	10-40
カセット3(1,650枚×2)の紙づまりを除去する	10-42
カセット4(1,650枚×2)の紙づまりを除去する	10-44
カセット5(サイドフィーダー)の紙づまりを除去する	10-47
手差しトレイの紙づまりを除去する	10-49
右カバー1の紙づまりを除去する	10-50
右カバー2(550枚×2)の紙づまりを除去する	10-54
右カバー2(1,650枚×2)の紙づまりを除去する	10-55
中継搬送ユニットの紙づまりを除去する	10-57
メールボックスの紙づまりを除去する	10-58
1,000枚フィニッシャーの紙づまりを除去する	10-59
4,000枚フィニッシャー(内部)の紙づまりを除去する	10-62
4,000枚フィニッシャー(トレイA)の紙づまりを除去する	10-63
4,000枚フィニッシャー(トレイB)の紙づまりを除去する	10-67
中折りユニットの紙づまりを除去する	10-70
中折りトレイの紙づまりを除去する	10-75

針づまりの解除	10-80
1,000枚フィニッシャーの針づまりを解除する	10-80
4,000枚フィニッシャーの針づまりを解除する	10-83
中折りユニットの針づまりを解除する	10-85

11 付録 11-1

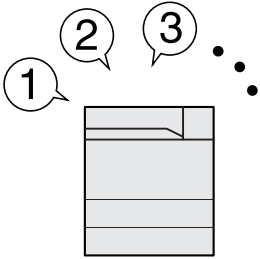
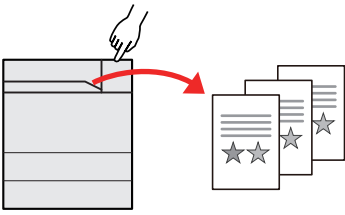
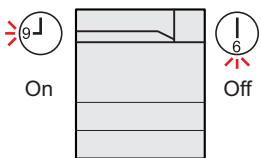
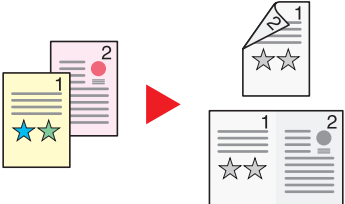
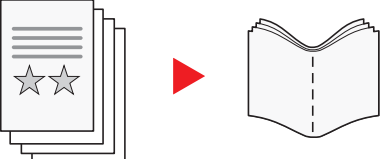
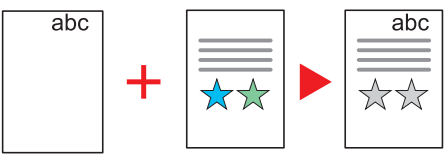
オプションについて	11-2
オプション構成	11-2
オプションのアプリケーションについて	11-6
アプリケーションの使用を開始する	11-6
アプリケーションの詳細を確認する	11-7
文字の入力	11-8
入力方式を選択する	11-8
入力文字を選択する	11-9
入力画面	11-10
かな漢字入力とローマ字漢字入力での文字変換	11-13
区点コードでの文字変換	11-16
用紙について	11-18
用紙の基本仕様	11-18
適正な用紙の選択	11-19
特殊な用紙	11-22
仕様	11-26
本体	11-26
プリンター機能	11-28
ペーパーフィーダー (550枚×2)	11-29
大容量フィーダー (1,650枚×2)	11-29
サイドフィーダー (3,500枚×1)	11-29
1,000枚フィニッシャー	11-30
4,000枚フィニッシャー	11-30
パンチユニット (1,000枚/4,000枚フィニッシャーオプション)	11-31
メールボックス (4,000枚フィニッシャーオプション)	11-31
中折りユニット (4,000枚フィニッシャーオプション)	11-31
ジョブセパレータートレイ	11-32
バナートレイ	11-32
環境設定コマンド	11-33
環境設定コマンドの設定	11-33
FRPOパラメーター	11-33
区点コード表	11-42
製品の保守サービスについて	11-48
保守契約についてのお問い合わせ	11-48
補修用性能部品について	11-49
廃棄について	11-49
使用済み製品の廃棄	11-49
初期化について	11-49
トナーコンテナの廃棄	11-49
用語集	11-50
索引	1-1

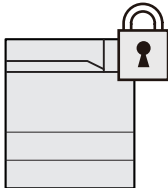
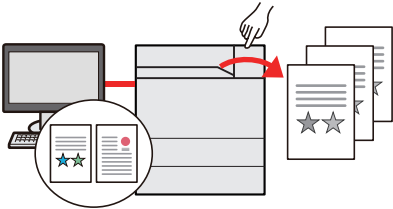
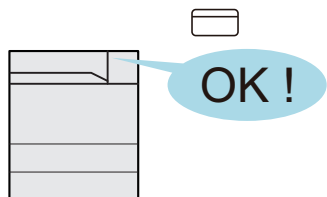
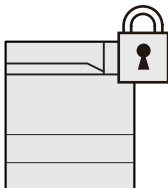
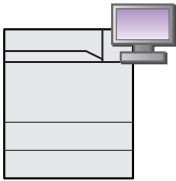
本機の特長

本機はさまざまなべんりな機能を搭載しています。

➡ [さまざまな機能を使う \(6-1ページ\)](#)

ここでは一例を紹介します。

効率よく作業したい	経費を節約したい	経費を節約したい
よく使う機能をワンタッチで呼び出す(プログラム)  よく使う機能をかんたんに設定したいときに便利です。 よく使う設定をプログラムに登録すると、プログラム番号を押すだけでその設定を呼び出すことができます。ワンタッチで呼び出せるので、別の人が代わりに作業することもできます。 ➡ よく使う機能を呼び出す(プログラム) (5-6ページ)	よく使う文書を本機に保存する(ユーザーボックス)  よく使う文書を本機に保存し、必要ときに操作パネルから印刷します。 ➡ 文書ボックスを使用する (5-15ページ)	使いかたに合わせて節電する(省エネ機能)  本機は低電力モードやスリープ状態になる省エネ機能を備えています。操作に応じて節電復帰レベルを設定できます。 また、各曜日で指定した時刻に、自動的に電源オフにしたり復帰させたりすることもできます。 ➡ 省エネ機能を使う (2-34ページ)
経費を節約したい	資料をきれいに作りたい	資料をきれいに作りたい
用紙を節約して印刷する(用紙節約印刷)  用紙の両面に印刷したり、2枚以上の複数枚の原稿を1枚の用紙にまとめて印刷したりすることができます。 ➡ ページ集約 (6-14ページ) ➡ 両面 (6-19ページ)	冊子を作る(小冊子)  配布する資料を作るときなどに便利です。 原稿から、雑誌やパンフレットのような冊子を作ることができます。 原稿を見開き両面に印刷して、仕上がった印刷を重ねて折ると冊子ようになります。 表紙だけをカラー紙や厚紙などの別の用紙に印刷することもできます。 ➡ 小冊子 (6-17ページ)	印刷する文書にスタンプを押す(文字スタンプ/連番スタンプ)  印刷する文書に文字や日付を付加したいときなどに便利です。 任意の文字や日付などを、スタンプのように追加することができます。 ➡ 文字スタンプ (6-24ページ) ➡ 連番スタンプ (6-26ページ)

セキュリティを強化したい		
ハードディスク/SSD内のデータを守る(暗号化/上書き消去)  ハードディスク/SSD内に残った不要なデータを自動的に上書き消去します。 データを暗号化してハードディスク/SSDに書き込み、外部への流出を防ぎます。 ➡ データセキュリティ (8-46ページ)	印刷した文書の持ち去りを防ぐ(プライベートプリント)  プリンターから印刷するデータを一時的に本体のボックスに保存し、本体側で印刷を実行することで、印刷した用紙の持ち去りを防ぐことができます。 ➡ プライベートプリントボックスからジョブを印刷する (4-19ページ)	ICカードでログインする(ICカード認証)  ログインユーザー名やパスワードを入力することなく、ICカードをタッチするだけでログインできます。 ➡ ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット> (11-5ページ)
セキュリティを強化したい	もっと使いこなしたい	
セキュリティを強化する(管理者向け各種設定)  本機では、セキュリティを強化するために、管理者が設定できる機能をいろいろ用意しています。 ➡ セキュリティを強化する (2-49ページ)	業務に合わせて機能を拡張する(アプリケーション)  アプリケーションをインストールして機能を拡張することができます。お客様の業務内容に合わせた認証機能などのアプリケーションを提供することで、日常の業務をより効率的に行えるようサポートします。 ➡ アプリケーションとは (5-9ページ)	ネットワーク配線を気にせずに設置したい(ワイヤレスネットワーク)  無線LAN環境があれば、ネットワーク配線を気にせずに本機を設置することができます。また、Wi-Fi Direct等にも対応しています。 ➡ ワイヤレスネットワークを設定する (2-27ページ) ➡ Wi-Fi Directを設定する (2-31ページ) ➡ NFCを設定する (2-33ページ)

もっと使いこなしたい

USBメモリーを使う (USBメモリー)

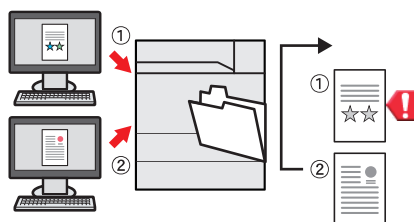


外出先で文書を印刷したり、パソコンが使えないときなどに便利です。

USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されている文書を印刷します。

➡ [USBメモリーの操作 \(5-25ページ\)](#)

エラーが発生したジョブを後回しにする (ジョブスキップ機能)



指定したサイズや厚紙など、印刷したい用紙がカセットになくてエラーが発生した場合、そのジョブを自動的に後に回して他のジョブを先に印刷します。

➡ [エラージョブのスキップ \(8-50ページ\)](#)

リモートで本機を操作する (Command Center RX)



パソコンからリモートで本機にアクセスし、データの印刷などの操作ができます。

管理者は、本機の動作設定や管理設定を効率的に行うことができます。

➡ [Command Center RXとは \(2-50ページ\)](#)

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルが付属しています。必要に応じて参照してください。
マニュアルに記載されている内容は、機械性能改善のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

印刷物のマニュアル

早く使ってみたい

クイックガイド

- ▶ 本機のかんたんな操作のしかたや、便利な使いかた、お手入れのしかた、トラブルでこまったときの対処方法などについて説明しています。

安全に使うためには

セーフティーガイド

- ▶ 本機の設置環境や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

セーフティーガイド (ECOSYS P4060dn)

本機の設置スペース、注意ラベルなどについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

DVD (Product Library) 収録のマニュアル (PDF)

本機を 使いこなすには

使用説明書 (本書) *1

用紙のセットやプリントの操作方法、各種初期設定などについて説明しています。

ICカードを使うには

ICカード認証キット (B) 使用説明書

ICカードで認証を行うための操作手順について説明しています。

セキュリティーを 強化したい

Data Security Kit (E) 使用説明書

- ▶ Data Security kit (E) の導入・運用手順とデータの上書き消去、暗号化について説明しています。

登録・設定を かんたんにしたい

Command Center RX 操作手順書

- ▶ パソコンから Web ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。

パソコンから 印刷したい

プリンタードライバー操作手順書

- ▶ プリンタードライバーをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。

PDFを 直接印刷したい

KYOCERA Net Direct Print 操作手順書

- ▶ Adobe Acrobat/Reader を起動せずに PDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。

ネットワーク上の 本機やプリンターの 整理をしたい

KYOCERA Net Viewer 操作手順書

- ▶ KYOCERA Net Viewer で、ネットワーク上のプリントシステム (本機) を監視する方法について説明しています。

プリンタードライ バーを介さずに印刷 したい

プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル

ネイティブプリンター言語 (プリスクライブコマンド) について説明しています。

プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス

プリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。

*1 弊社のホームページからダウンロードすることができます。
(<https://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/manual/>)

DVD のマニュアルをご覧になるためには Adobe Reader の以下のバージョンをインストールする必要があります。

バージョン 8.0 以上

使用説明書(本書)について

本書の構成について

本説明書は、次の章で構成されています。

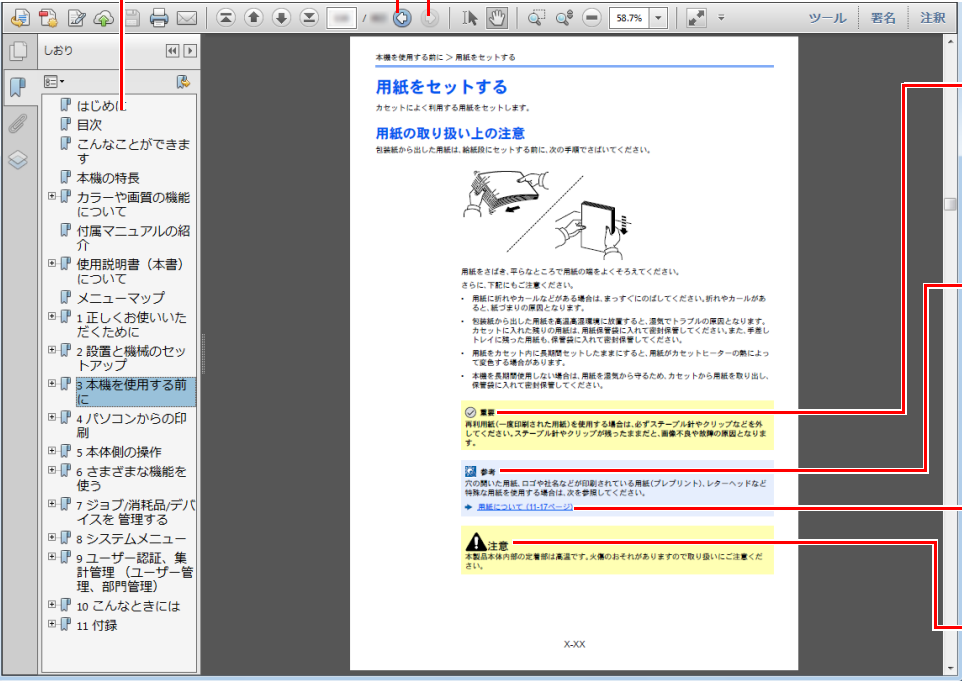
章		内容
1	正しくお使いいただくために	本機の使用に関する注意事項や商標について説明しています。
2	設置と機械のセットアップ	各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストール、ログイン・ログアウトなど、本機の管理者用の情報について説明しています。
3	本機を使用する前に	用紙のセットなど、ご使用前に必要な準備・設定について説明しています。
4	パソコンからの印刷	基本的な印刷方法を説明しています。
5	本体側の操作	文書ボックスの基本的な使いかたを説明しています。
6	さまざまな機能を使う	本機に用意されている便利な機能を説明しています。
7	ジョブ/消耗品/デバイスを管理する	ジョブの状況確認や履歴の確認、実行中/待機中のジョブをキャンセルする方法について説明しています。また、トナー/用紙の残量やデバイスの状態などの確認についても説明しています。
8	システムメニュー	本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明しています。
9	ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理)	ユーザー管理、部門管理について説明しています。
10	こんなときには	トナーがなくなったときやエラーが表示されたとき、紙づまりなど、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。
11	付録	本製品で利用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語集を収録しています。また、文字の入力方法や本機の仕様などについても説明しています。

本書の読みかた

ここでは、Adobe Reader XIを例に説明しています。

しおり(目次)をクリックすると該当ページにジャンプします。

クリックすると、現在の表示内容から、直前に表示していた内容に戻ります。ジャンプ先から元のページに戻るときに便利です。



重要

誤った操作によるトラブルを防ぐために、操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項を示しています。

参考

補足説明や操作の参考となる情報です。

参照

下線のついた文字をクリックすると、参照ページへジャンプします。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

参考

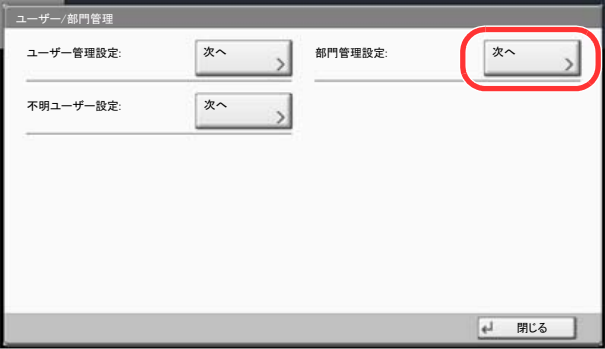
Adobe Readerの表示は、お使いの状況によって異なります。しおり(目次)やツールが表示されていない場合は、Adobe Readerのヘルプを参照してください。

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明
[太字]	キーおよびボタンを示します。
「標準」	メッセージおよび設定項目名を示します。

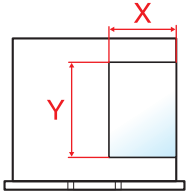
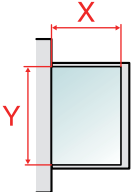
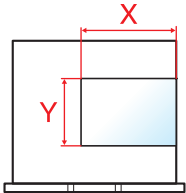
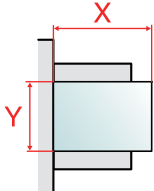
操作手順の表記について

本書中では、タッチパネルのキーを連続して操作する手順を、次のように>でつないで表記しています。

実際の手順	本書の表記
[システムメニュー/カウンター]キーを選択する ▼ [✓]を選択する ▼ [日付/タイマー/節電]を選択する ▼ [日付/時刻]を選択する	[システムメニュー/カウンター]キー > [日付/タイマー/節電] > [日付/時刻]
「部門管理設定」の[次へ]を選択します。  m020168.01 ▼ 「部門管理」の[変更]を選択します。  m020174.01	「部門管理設定」[次へ] > 「部門管理」[変更]

用紙サイズについて

本書中で使用する用紙サイズは、A4やB5、Letterのように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」をつけて表記しています。また、タッチパネルでは、用紙のセット方向を次のアイコンで表示します。

セット向き		セットの仕方 (X=長さ、Y=幅)	パネルに表示される アイコン	本書での表記サイズ ^{*1}
縦向き	カセット			A4、B5、Letterなど
	手差しトレイ			
横向き (-R)	カセット			A4-R、B5-R、Letter-Rなど
	手差しトレイ			

*1 使用できる用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは次を参照してください。

➡ [仕様 \(11-26ページ\)](#)

オプションの表記について

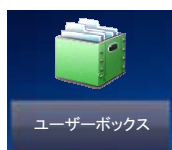
この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。
オプション品の正式な商品名称は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
PF-7100	ペーパーフィーダー(550枚×2)
PF-7110	大容量フィーダー(1,650枚×2)
PF-7120	サイドフィーダー(3,500枚×1)
DF-7120	1,000枚フィニッシャー ^{*1}
DF-7110	4,000枚フィニッシャー ^{*1}
Data Security Kit(E)	セキュリティーキット
IC カード認証キット(B)	IC カード認証キット
MT-730(B)	メールボックス
PH-7B	パンチユニット
BF-730	中折りユニット
IB-50	ネットワークインターフェイスキット
IB-51	ワイヤレスインターフェイスキット
IB-35	ワイヤレスインターフェイスキット
UG-33	ThinPrint Option
UG-34	エミュレーションアップグレードキット
Banner Guide 10	バナートレイ
NK-7100	テンキーボード

^{*1} フィニッシャーと記載する場合があります。

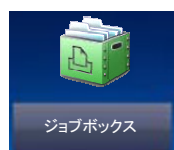
メニューマップ

タッチパネルに表示されるメニューの一覧です。お客様の設定状況によっては、表示されない場合があります。また、参照先のタイトルはメニューの名称と異なる場合があります。



ユーザーボックス	開く	印刷	機能一覧	用紙選択 (6-5ページ)	
				ソート/仕分け (6-8ページ)	
				ステープル/パンチ	ステープル (6-9ページ)
					パンチ (6-10ページ)
				排紙先 (6-12ページ)	
				ページ集約 (6-14ページ)	
				とじしろ/センター移動 (6-16ページ)	
				小冊子 (6-17ページ)	
				両面 (6-19ページ)	
				表紙付け (6-20ページ)	
				イメージ合成 (6-21ページ)	
				ページ番号 (6-22ページ)	
				ジョブ終了通知 (6-27ページ)	
				文書名入力 (6-28ページ)	
				印刷後削除 (6-28ページ)	
				優先印刷 (6-28ページ)	
				エコプリント (6-13ページ)	
				縮小/拡大 (6-14ページ)	
				紙折り (6-7ページ)	
				文字スタンプ (6-24ページ)	
				連番スタンプ (6-26ページ)	
				プログラム (5-6ページ)	

ユーザーボックス	開く	移動 (5-24ページ)
		削除 (5-24ページ)
		名前検索 (5-16ページ)
		ページ選択 (5-16ページ)
		詳細 (5-17ページ)
		プレビュー (5-18ページ)
	詳細 (5-16ページ)	
	名前検索 (5-16ページ)	
	番号検索 (5-16ページ)	
	ボックス登録/編集 (5-20ページ)	



ジョブボックス	プライベートプリント/ジョブ保留 (4-19ページ) (4-20ページ)
	クイックコピー/試し刷り後保留 (4-21ページ) (4-22ページ)



外部メモリー	印刷	機能一覧	用紙選択 (6-5ページ)	
			ソート/仕分け (6-8ページ)	
			ステープル/パンチ	ステープル (6-9ページ)
				パンチ (6-10ページ)
			排紙先 (6-12ページ)	
			とじしろ (6-16ページ)	
			両面 (6-19ページ)	
			ジョブ終了通知 (6-27ページ)	
			優先印刷 (6-28ページ)	
			エコプリント (6-13ページ)	
			紙折り (6-7ページ)	
			文字スタンプ (6-24ページ)	
			連番スタンプ (6-26ページ)	
			暗号化PDFパスワード (6-28ページ)	
			JPEG/TIFF印刷方法 (6-29ページ)	
			XPS印刷サイズ調整 (6-29ページ)	
			詳細 (5-17ページ)	
			開く (5-26ページ)	
			上へ (5-26ページ)	
			外部メモリー情報 (5-26ページ)	
			メモリー取り外し (5-26ページ)	

状況確認 /
ジョブ中止



または



印刷ジョブ (7-3ページ)
保存ジョブ (7-5ページ)
デバイス/通信 (7-11ページ)
用紙/消耗品 (7-12ページ)

システムメニュー /
カウンター



または



簡単セットアップウィザード	ネットワークのセットアップ(2-36ページ)		
	省エネのセットアップ(2-36ページ)		
カウンター(8-6ページ)			
カセット/手差しトレイ設定	カセット1(8-6ページ)		
	カセット2(8-6ページ)		
	カセット3(8-6ページ)		
	カセット4(8-6ページ)		
	カセット5(8-6ページ)		
	手差しトレイ(8-7ページ)		
共通設定	言語選択(8-8ページ)		
	初期画面(8-8ページ)		
	ブザー(8-8ページ)		
	用紙設定	用紙種類の設定(8-9ページ)	
		カスタム用紙サイズ登録(8-9ページ)	
		優先給紙元(8-9ページ)	
		用紙セット時の確認(8-9ページ)	
		表紙給紙元(8-10ページ)	
		特定用紙種類の動作設定(8-10ページ)	
	入力長さ単位(8-11ページ)		
	エラー処理設定	両面エラー(8-12ページ)	
		後処理エラー(8-12ページ)	
		ステープル針なし(8-12ページ)	
		後処理枚数の超過(8-12ページ)	
		パンチくず満杯(8-12ページ)	
		用紙ミスマッチエラー(8-12ページ)	
		給紙時のサイズエラー(8-13ページ)	
ステープル時の紙づまりエラー(8-13ページ)			
排紙先(8-13ページ)			
機能キー登録(8-14ページ)			

共通設定	機能初期値	縮小/拡大 (8-14ページ)
		とじしろ初期値 (8-14ページ)
		エコプリント (8-14ページ)
		ソート/仕分け (8-14ページ)
		トナー節約レベル(エコプリント) (8-14ページ)
		文書名入力 (8-14ページ)
		JPEG/TIFF印刷方法 (8-15ページ)
		XPS印刷サイズ調整 (8-15ページ)
	キーボード入力方式 (8-15ページ)	
	システムスタンプ (8-15ページ)	
	マニュアルステープル (8-17ページ)	
	ジョブごとの文書仕分け (8-17ページ)	
	トナー残量少の通知 (8-18ページ)	
	廃棄トナーボックス満杯通知 (8-18ページ)	
	1ページ文書の仕分け (8-18ページ)	
	状況/履歴の表示 (8-19ページ)	
	バナー印刷前の確認 (8-19ページ)	
	状況確認画面の設定 (8-19ページ)	
	掲示板設定 (8-20ページ)	
	テンキーボード設定 (8-20ページ)	
	電源オフ時の確認 (8-21ページ)	
ホーム	デスクトップの設定 (2-14ページ)	
	タスクバーの設定 (2-14ページ)	
	壁紙 (2-14ページ)	
文書ボックス/外部メモリー	ユーザーボックス (5-15ページ)	
	ジョブボックス	クイックコピージョブ保持数 (8-21ページ)
		一時保存文書の自動消去 (8-21ページ)
	簡単設定登録 (8-21ページ)	

プリンター	エミュレーション (8-22ページ)
	エコプリント (8-22ページ)
	トナー節約レベル(エコプリント) (8-22ページ)
	A4/Letterの共通使用 (8-22ページ)
	両面印刷 (8-22ページ)
	部数 (8-22ページ)
	印刷の向き (8-22ページ)
	改ページ待ち時間 (8-23ページ)
	改行(LF)動作 (8-23ページ)
	復帰(CR)動作 (8-23ページ)
	ジョブ名 (8-23ページ)
	ユーザー名 (8-23ページ)
	給紙指定動作 (8-23ページ)
	印刷範囲の補正 (8-23ページ)
	手差しトレイ優先 (8-23ページ)
	自動カセット切り替え (8-23ページ)
	ワイドA4 (8-24ページ)
	解像度 (8-24ページ)
	KIR (8-24ページ)
	印刷ジョブの終端 (8-24ページ)

レポート	レポート印刷	ステータスページ (8-25ページ)	
		フォントリスト (8-25ページ)	
		ネットワークステータス (8-25ページ)	
		サービスステータス (8-25ページ)	
		オプションネットワークステータス (8-26ページ)	
		設定情報リスト (8-26ページ)	
		セキュリティデータ完全消去レポート (8-26ページ)	
	履歴送信	自動送信 (8-26ページ)	
		履歴送信 (8-26ページ)	
		送信先 (8-27ページ)	
		ジョブ履歴件名 (8-26ページ)	
		個人情報 (8-26ページ)	
	ログイン履歴設定	ログイン履歴 (8-27ページ)	
		自動送信 (8-27ページ)	
		送信先 (8-27ページ)	
		件名 (8-27ページ)	
		ログイン履歴リセット (8-27ページ)	
	デバイス履歴設定	デバイス履歴 (8-28ページ)	
		自動送信 (8-28ページ)	
		送信先 (8-28ページ)	
		件名 (8-28ページ)	
	セキュリティー通信エラー履歴設定	セキュリティー通信エラー履歴 (8-29ページ)	
		自動送信 (8-29ページ)	
		送信先 (8-29ページ)	
		件名 (8-29ページ)	
システム/ネットワーク	ネットワーク設定	ホスト名 (8-30ページ)	
		Wi-Fi Direct設定	Wi-Fi Direct (8-30ページ)
			デバイス名 (8-30ページ)
			IPアドレス (8-30ページ)
			自動切断 (8-30ページ)
		Wi-Fi設定	Wi-Fi (8-31ページ)
			セットアップ (8-31ページ)
			TCP/IP設定 (8-33ページ)
			ネットワークの再起動 (8-34ページ)

システム/ネットワーク	ネットワーク設定	有線設定	TCP/IP設定 (8-35ページ)
			LANインターフェイス (8-37ページ)
		Bonjour (8-37ページ)	
		IPSec (8-37ページ)	
		プロトコル設定	SMTP (メール送信) (8-37ページ)
			POP3 (メール受信) (8-37ページ)
			ThinPrint (8-38ページ)
			FTPサーバー (受信) (8-38ページ)
			LPD (8-38ページ)
			NetBEUI (8-38ページ)
			Raw (8-38ページ)
			WSD印刷 (8-39ページ)
			SNMPv1/v2c (8-39ページ)
			SNMPv3 (8-39ページ)
			Enhanced WSD (8-39ページ)
			Enhanced WSD over SSL (8-39ページ)
			IPP (8-39ページ)
			IPP over SSL (8-40ページ)
			HTTP (8-40ページ)
			HTTPS (8-40ページ)
			LDAP (8-40ページ)
			VNC (RFB) (8-40ページ)
			VNC (RFB) over SSL (8-40ページ)
			EnhancedVNC over SSL (8-41ページ)
		セキュリティー設定 (8-41ページ)	
		プロキシ (8-41ページ)	
		Ping (8-42ページ)	
		ネットワークの再起動 (8-42ページ)	

システム/ネットワーク	オプションネットワーク	基本設定 (8-42ページ)
		ワイヤレスネットワーク (8-43ページ)
	優先ネットワーク(クライアント) (8-44ページ)	
	セキュリティレベル (8-45ページ)	
	インターフェイス ブロック設定	USB ホスト (8-45ページ)
		USB デバイス (8-45ページ)
		USBストレージ (8-45ページ)
		オプションインターフェイス(スロット1) (8-45ページ)
		オプションインターフェイス(スロット2) (8-45ページ)
	データセキュリティ	ハードディスク/SSDの初期化 (8-46ページ)
		セキュリティデータの完全消去 (8-47ページ)
		ソフトウェア検証 (8-47ページ)
	オプション機能 (8-47ページ)	
	Bluetooth設定	Bluetoothキーボード (8-47ページ)
		デバイス検索 (8-47ページ)
	デバイスの再起動 (8-48ページ)	
	リモートサービス設定 (8-48ページ)	
	NFC (8-48ページ)	
	リモート操作 (8-48ページ)	

ユーザー/部門管理	ユーザー管理設定	ユーザー管理 (9-3ページ)	
		ローカルユーザーリスト (9-4ページ)	
		グループ認可設定	グループ認可 (9-9ページ)
			グループリスト (9-9ページ)
		ゲスト認可設定	ゲスト認可 (9-11ページ)
			ゲストプロパティ (9-11ページ)
		ネットワークユーザー情報の取得 (9-13ページ)	
		簡単ログイン設定	簡単ログイン (9-15ページ)
			簡単ログインキー (9-15ページ)
		ICカード設定	キーボードログイン (9-17ページ)
	追加認証 (9-17ページ)		
	PINコード認証 (9-18ページ)		
	部門管理設定	部門管理 (9-21ページ)	
		部門管理方式 (9-21ページ)	
		部門管理(ローカル)	部門管理レポート印刷 (9-31ページ)
			全部門集計 (9-29ページ)
			部門別集計 (9-30ページ)
			部門リスト (9-22ページ)
			初期設定 (9-27ページ)
		制限超過時設定 (9-33ページ)	
	不明ユーザー設定	ID不明ジョブ処理 (9-34ページ)	
		ユーザー情報 (9-35ページ)	
ユーザー情報 (9-4ページ)			

日付/タイマー/節電	日付/時刻 (8-49ページ)
	日付形式 (8-49ページ)
	時差 (8-49ページ)
	オートパネルリセット (8-49ページ)
	エラー後自動継続 (8-49ページ)
	低電力モード時間 (8-49ページ)
	パネルリセット時間 (8-50ページ)
	スリープ時間 (8-50ページ)
	Pingタイムアウト時間 (8-50ページ)
	エラージョブのスキップ (8-50ページ)
	エラー後自動継続時間 (8-50ページ)
	スリープレベル (8-51ページ)
	節電復帰レベル (8-51ページ)
	週間予約設定 (8-51ページ)
調整/メンテナンス	ドラムリフレッシュ (8-52ページ)
	自動ドラムリフレッシュ (8-52ページ)
	ドラムヒーター (8-52ページ)
	レーザースキャナークリーニング (8-52ページ)
	現像リフレッシュ (8-52ページ)
	システムの初期化 (8-52ページ)
	画面の明るさ (8-52ページ)
	静音モード (8-52ページ)
	メモリー診断 (8-52ページ)
	キャリブレーション (8-53ページ)
	自動キャリブレーションサイクル (8-53ページ)
インターネット (8-53ページ)	
アプリケーション (8-53ページ)	

1 正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、最初に必ずお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

注意事項	1-2
本書中の注意表示について	1-2
設置環境について	1-3
取り扱い上のご注意	1-4
法律上のご注意	1-5
本製品の省エネ制御機能について	1-11
自動両面機能について	1-11
印刷用紙	1-11
電力管理	1-11
エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム	1-11
無線LAN使用時のご注意	1-12
電波の種類と干渉距離	1-12
無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意	1-13
本製品の使用限定	1-13

注意事項

使用にあたって、注意すべき事項を説明します。

本書中の注意表示について

この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

 「注意一般」

 「高温注意」

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

 「禁止一般」

 「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

 「強制一般」

 「電源プラグをコンセントから抜け」

 「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取扱店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。(有償)

設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

温度	10～32.5℃
湿度	10～80%

また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

取り扱い上のご注意

消耗品の取り扱いについて



トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーの入った容器およびユニットは、子供の手に触れることのないように保管してください。

トナーの入った容器およびユニットよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所へ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーの入った容器およびユニットは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

使用後、不要となったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシス、ECOSYSは、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDLは、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、ExcelおよびPowerPointは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Timesは、Linotype GmbH.の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporationの登録商標です。
- ThinPrintはCortado AGのドイツ及びその他の国における商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からのUFSTTM MicroType[®]のフォントを搭載しています。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- MTHSGOTHIC-W5とMTHSMINCHO-W3は平成書体です。これらの書体は(財)日本規格協会と京セラドキュメントソリューションズ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。
"Multilingual Advanced Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2005-2012 All Rights Reserved
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- © 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- iPad、iPhone、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴはApple Inc.の商標です。
- iOSはCiscoの米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- iPhoneはアイホン株式会社の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- GoogleおよびGoogle Cloud PrintTMはGoogle LLCの商標または登録商標です。
- MopriaTMは、MopriaTMAllianceの登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にはTMおよび®は明記していません。

GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL (<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>) もしくは LGPL (<http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html>) が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLの条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソースコードの入手方法については、<http://www.kyoceradocumentsolutions.com/gpl/>にアクセスしてください。

OpenSSLライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナルSSLeyライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Monotype Imagingライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェイス」）のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。

8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。

いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。

9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。

10. お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。
- さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

Knopflerfish ライセンス

以下は英語の原文です。

This product includes software developed by the Knopflerfish Project.

<http://www.knopflerfish.org>

Copyright 2003-2010 The Knopflerfish Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the KNOPFLERFISH project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apacheライセンス (Version 2.0)

以下は英語の原文です。

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

“Source” form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

“Object” form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

“Work” shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

“Derivative Works” shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

“Contribution” shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, “submitted” means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as “Not a Contribution.”

“Contributor” shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a “NOTICE” text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets “[]” replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same “printed page” as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

➡ [低電力モードとは \(2-34ページ\)](#)

➡ [スリープとは \(2-34ページ\)](#)

自動両面機能について

本製品は用紙の両面に印刷できる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面に印刷することで、紙の使用量を軽減することができます。

➡ [両面 \(6-19ページ\)](#)

両面印刷することにより用紙の使用量を削減でき、森林資源の節約に貢献できます。さらに、用紙の購入量が減少することで、経費の節約にも繋がります。したがって、両面印刷が可能な製品においては、印刷モードの初期値を両面印刷に設定して使用されることをお勧めします。

印刷用紙

森林資源の保護と持続可能な活用のために、EN 12281:2002* や同等の品質基準を満たしている、環境管理イニシアティブ認定紙やエコラベルの認定を受けたバージン紙および再生紙の使用を推奨します。

また、本製品は64 g/m² 用紙への印刷が可能であり、このようなうすい用紙を使用することで、より一層の森林資源の節約に繋がります。

* : 印刷及びビジネス用紙 — 乾式トナー画像形成プロセス用コピー用紙の要件

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

電力管理

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に使用してから一定時間経過すると自動的に省電力モードに移行する電力管理を行っています。省電力モードに移行した状態では、すぐに使用可能な状態になるまでに若干の時間が必要ですが、余分な電力を大きく削減することができます。省電力モードへの移行時間は、出荷時の設定値のままで使用されることをお勧めします。

エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム



弊社は、エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エネルギースタープログラムは、地球温暖化防止対策の一環としてエネルギー効率の高い製品の開発と普及を目的とした自主的な省エネルギーラベル制度です。エネルギースター適合製品を購入することで、製品使用時における地球温暖化ガスの排出削減に繋がるとともに、お客様の電力関連コストの削減にも貢献します。

無線LAN使用時のご注意

(ワイヤレスインターフェイスキット:オプション)

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発信を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:弊社お客様相談窓口

電波の種類と干渉距離

(ワイヤレスインターフェイスキット:オプション)

2.4 DS4/OF4

「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

「DS」:変調方式がDS-SS方式であることを表す。(IEEE802.11bのとき)

「OF」:変調方式がOFDM方式であることを表す。(IEEE802.11g/nのとき)

「4」:想定される与干渉距離が40 m以下であることを表す。

「---」:全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意

(ワイヤレスインターフェイスキット:オプション)

無線LANでは、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような不正な行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本製品の使用限定

(ワイヤレスインターフェイスキット:オプション)

- 本製品から発信する電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品から発信する電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェイルセーフ設計や冗長性設計の対応をとるなど、システム全体の安全設計を考慮いただいた上で本製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図していませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様ご自身で十分ご確認の上、ご判断ください。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」
に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用するこ
を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使
用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

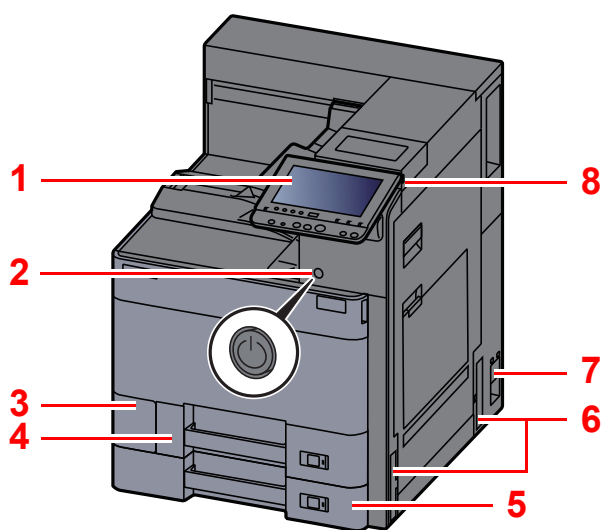
この製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しており
ます。

2 設置と機械のセットアップ

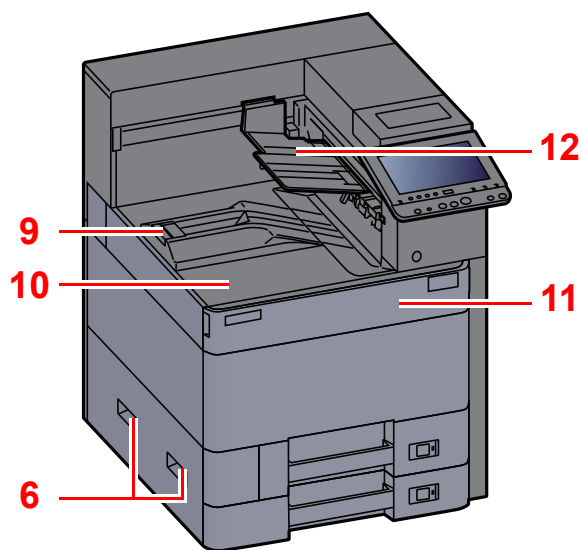
この章では、各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストールなど、本機の管理者用の情報について説明しています。

各部の名称(本体外観)	2-2	ソフトウェアをインストールする	2-38
各部の名称(コネクター・内部)	2-4	収録ソフトウェア(Windows)	2-38
各部の名称(オプション装着時)	2-5	Windowsにソフトウェアをインストールする	2-39
本機とその他デバイスを接続する	2-6	ソフトウェアをアンインストールする	2-45
ケーブルを接続する	2-7	Macintoshにソフトウェアをインストールする	2-46
ネットワークケーブルを接続する	2-7	カウンターを確認する	2-48
USBケーブルを接続する	2-8	管理者に準備していただきたいこと	2-49
電源コードを接続する	2-8	セキュリティを強化する	2-49
電源を入/切する	2-9	Command Center RXとは	2-50
電源を入れる	2-9	Command Center RX へアクセスする	2-51
電源を切る	2-9	セキュリティ設定を変更する	2-52
操作パネルの使いかた	2-10	デバイス情報を変更する	2-53
操作パネルキー	2-10	SMTPおよびメール送信の設定をする	2-54
操作パネルの角度を調節する	2-11	ユーザーボックスを作成する	2-58
機能キーに機能を割り当てる	2-12	ユーザーボックスに保存されている文書を印刷する	2-59
タッチパネルの表示	2-13		
ホーム画面	2-13		
機器情報を表示する	2-16		
設定画面を表示する	2-16		
機能キーを表示する	2-17		
画面の操作	2-17		
設定できないキーの表示	2-18		
数字を入力する	2-19		
エンターキーの使いかた	2-20		
短縮キーの使いかた	2-20		
ヘルプ画面の使いかた	2-21		
本機にログイン・ログアウトする	2-22		
ログインする	2-22		
ログアウトする	2-23		
機械の初期設定をする	2-24		
日付と時刻を設定する	2-24		
ネットワークを設定する	2-25		
有線でネットワークを設定する	2-25		
ワイヤレスネットワークを設定する	2-27		
Wi-Fi Directを設定する	2-31		
NFCを設定する	2-33		
省エネ機能を使う	2-34		
低電力モードとは	2-34		
スリープとは	2-34		
オートスリープとは	2-35		
スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)	2-35		
節電復帰レベルとは	2-35		
週間予約設定	2-35		
簡単セットアップウィザードを設定する	2-36		

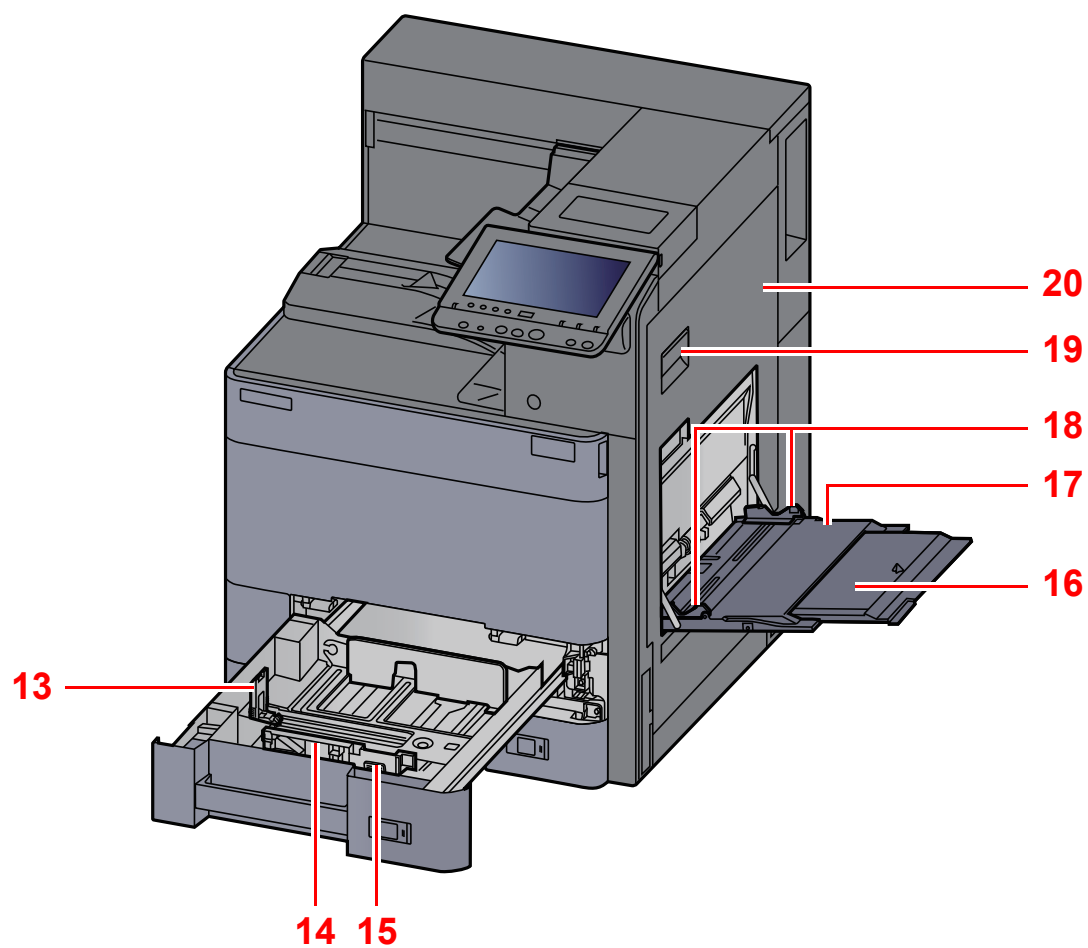
各部の名称(本体外観)



- 1 操作パネル
- 2 電源スイッチ
- 3 廃棄トナーボックスカバー
- 4 カセット1
- 5 カセット2
- 6 搬送用取っ手



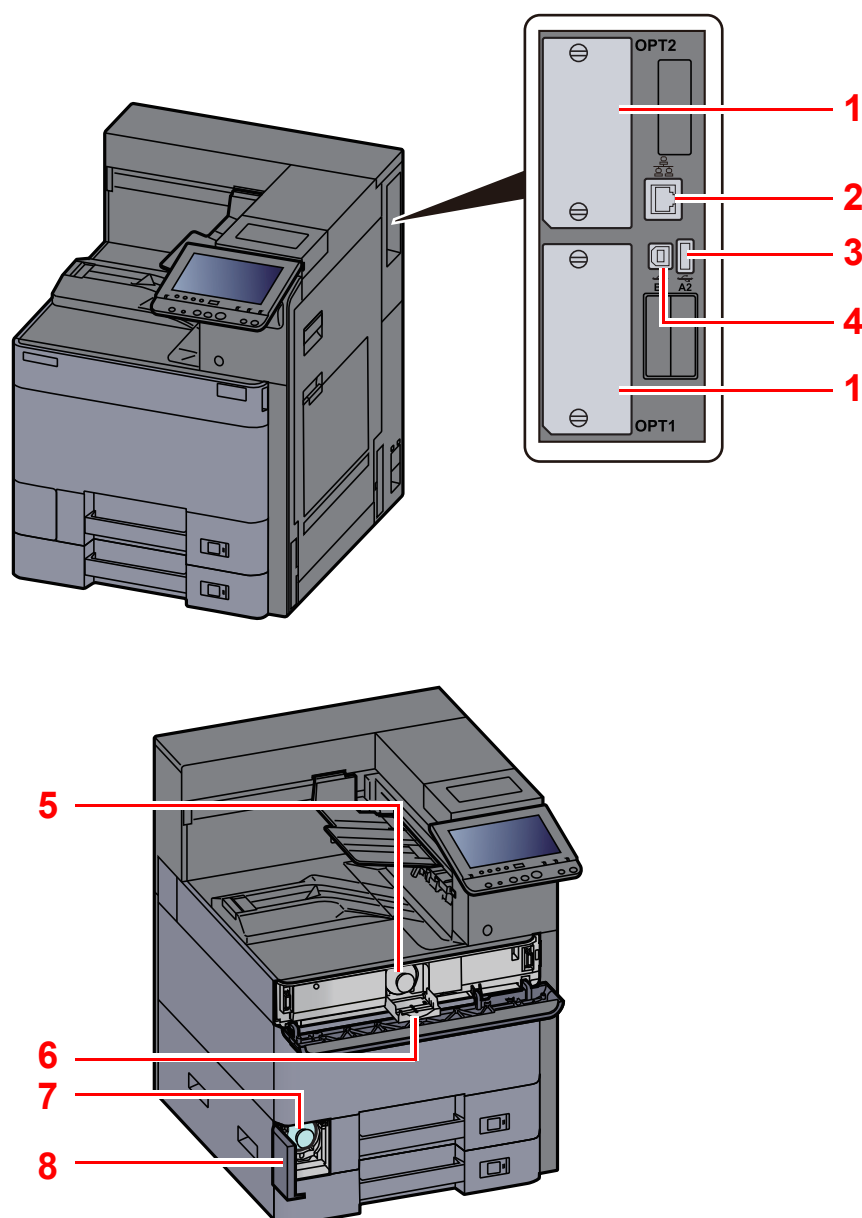
- 7 主電源スイッチ
- 8 USB メモリースロット
- 9 排紙ストッパー
- 10 メイントレイ
- 11 前カバー
- 12 反転用紙支え



13 用紙長さガイド
14 用紙幅ガイド
15 横サイズ変更つまみ
16 手差し補助トレイ

17 手差しトレイ
18 用紙幅ガイド
19 右カバー1レバー
20 右カバー1

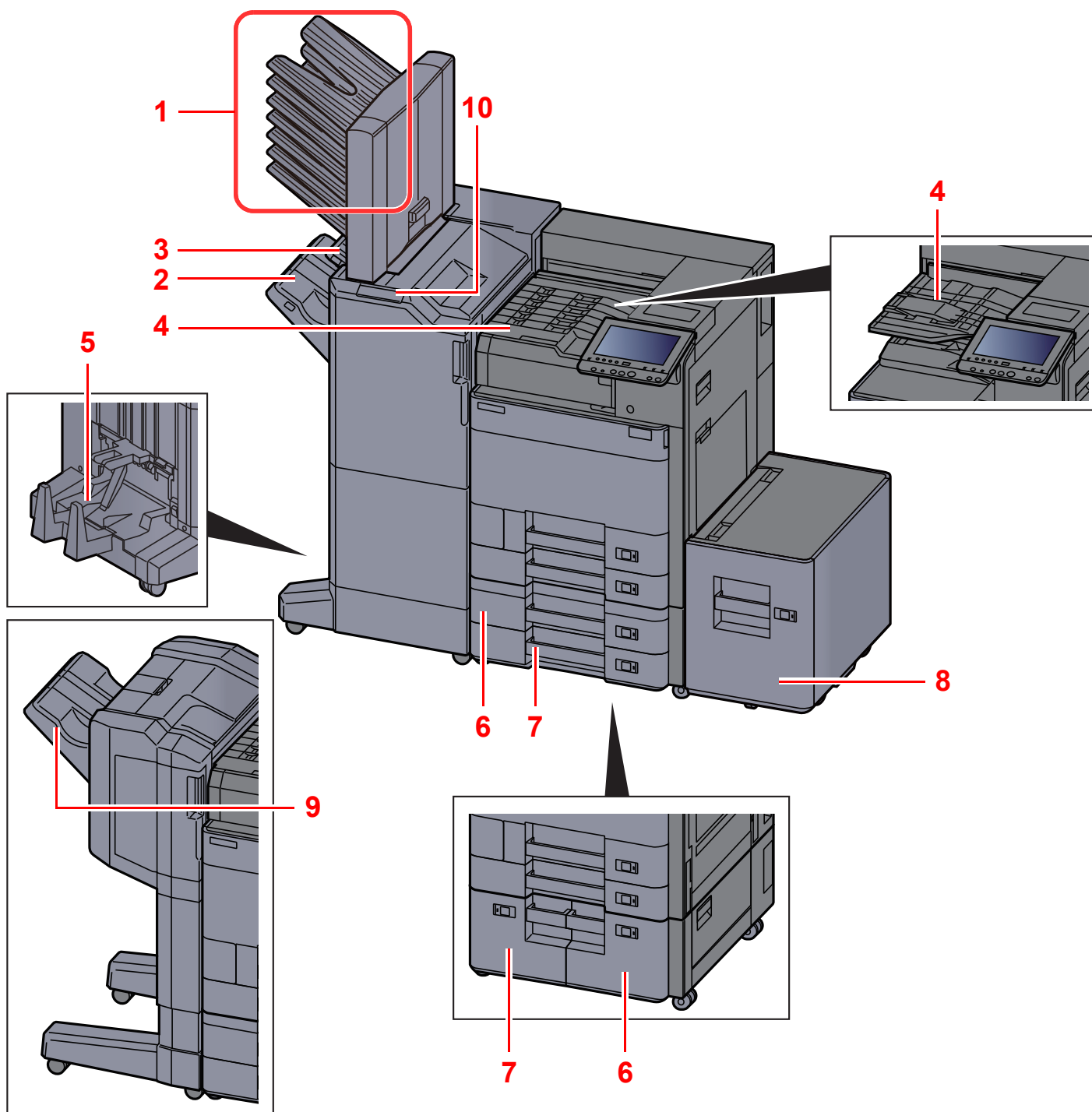
各部の名称(コネクタ・内部)



- 1 オプションインターフェイススロット
- 2 ネットワークインターフェイスコネクター
- 3 USBポート
- 4 USBインターフェイスコネクター

- 5 トナーコンテナ(黒)
- 6 トナーコンテナカバー
- 7 廃棄トナーボックス
- 8 廃棄トナーボックスカバー

各部の名称(オプション装着時)



- 1 トレイ1~7(1が最上段)
- 2 トレイA
- 3 トレイB
- 4 ジョブセパレータートレイ
- 5 中折りトレイ

- 6 カセット3
- 7 カセット4
- 8 カセット5
- 9 フィニッシャートレイ
- 10 フィニッシャー操作部

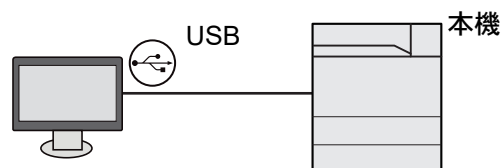
➡ [オプションについて \(11-2ページ\)](#)

➡ [マニュアルステープルを使用する \(5-29ページ\)](#)

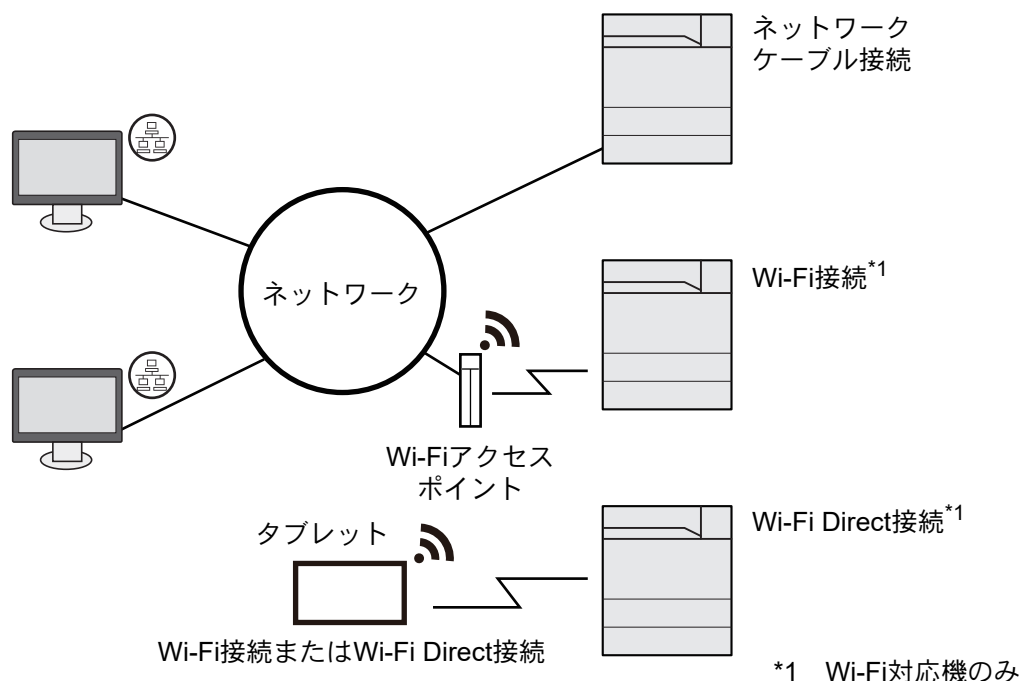
本機とその他デバイスを接続する

本機を使用する目的や環境に合わせて必要なケーブルを用意してください。

本機とパソコンをUSBで接続する場合



本機とパソコンをネットワークで接続する場合



*1 Wi-Fi対応機のみ



参考

無線LANをご使用になる場合は、次を参照してください。

➡ [ワイヤレスネットワークを設定する \(2-27ページ\)](#)

使用できるケーブル

接続環境	使用できる機能	必要なケーブル
本機をネットワークケーブルで接続する	プリンター	LANケーブル(10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T)
本機をUSBケーブルで接続する	プリンター	USB2.0適合ケーブル(Hi-Speed USB準拠5.0 m以下)



重要

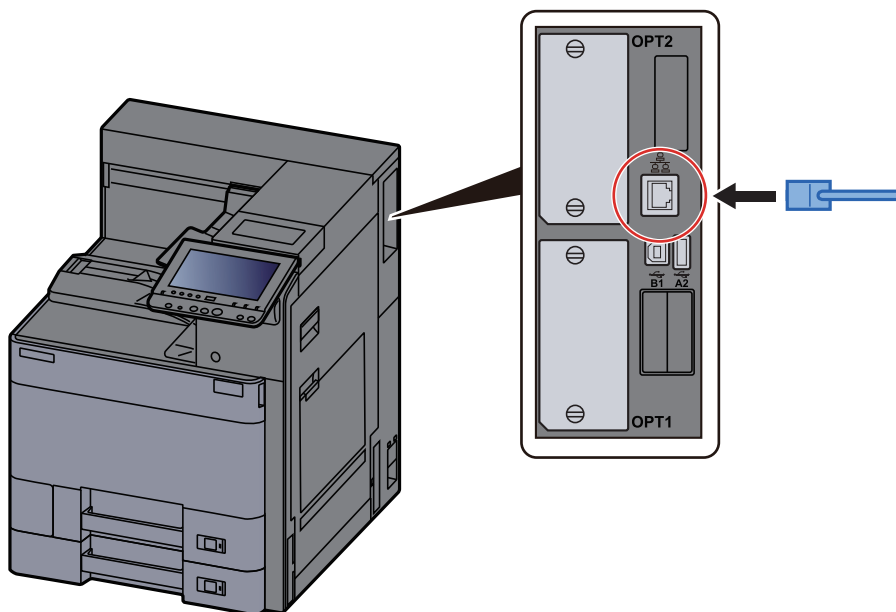
USB2.0適合ケーブルを使用しない場合、故障の原因となります。

ケーブルを接続する

ネットワークケーブルを接続する

1 接続する

- 1 ネットワークインターフェイスコネクタに、ネットワークケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、HUB (集線装置) に接続します。

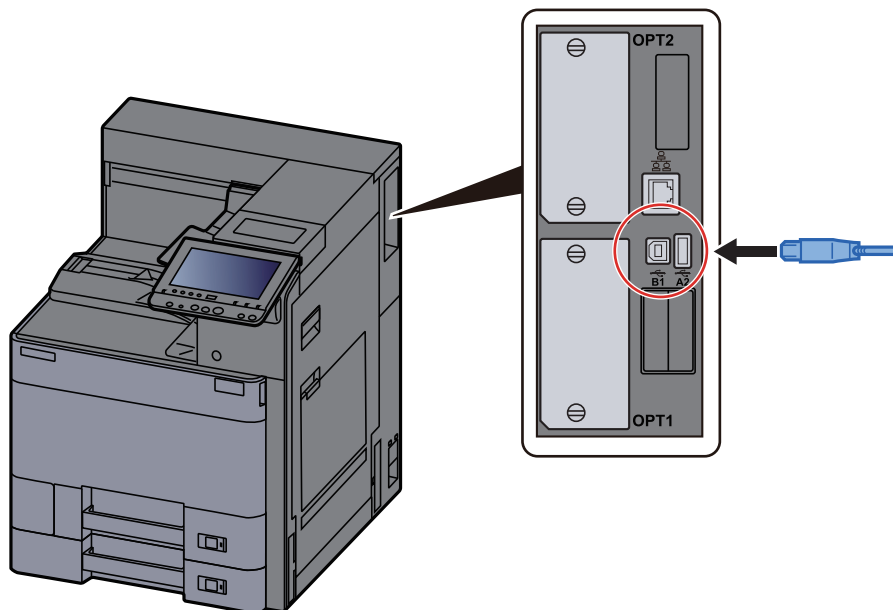
2 本機の電源を入れて、ネットワークを設定する

- ➡ [ネットワークを設定する \(2-25ページ\)](#)

USBケーブルを接続する

1 接続する

- 1 本体右側のUSBインターフェイスコネクタに、USBケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

2 本体の電源を入れる

電源コードを接続する

1 コードを接続する

付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。



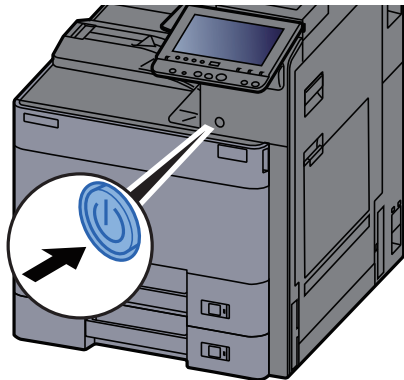
重要

電源コードは、必ず本機に付属のものをご使用ください。

電源を入/切する

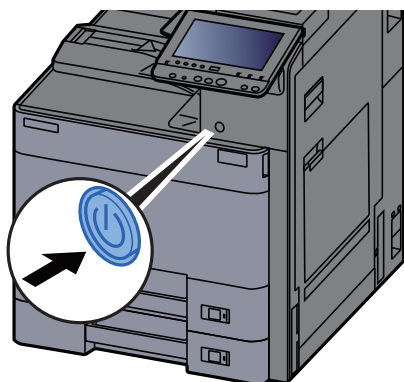
電源を入れる

1 電源スイッチを入れる



電源を切る

1 電源スイッチを切る



シャットダウンの確認画面が表示されます。

➡ [電源オフ時の確認 \(8-21ページ\)](#)

電源が切れるまでに、約3分かかる場合があります。



注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

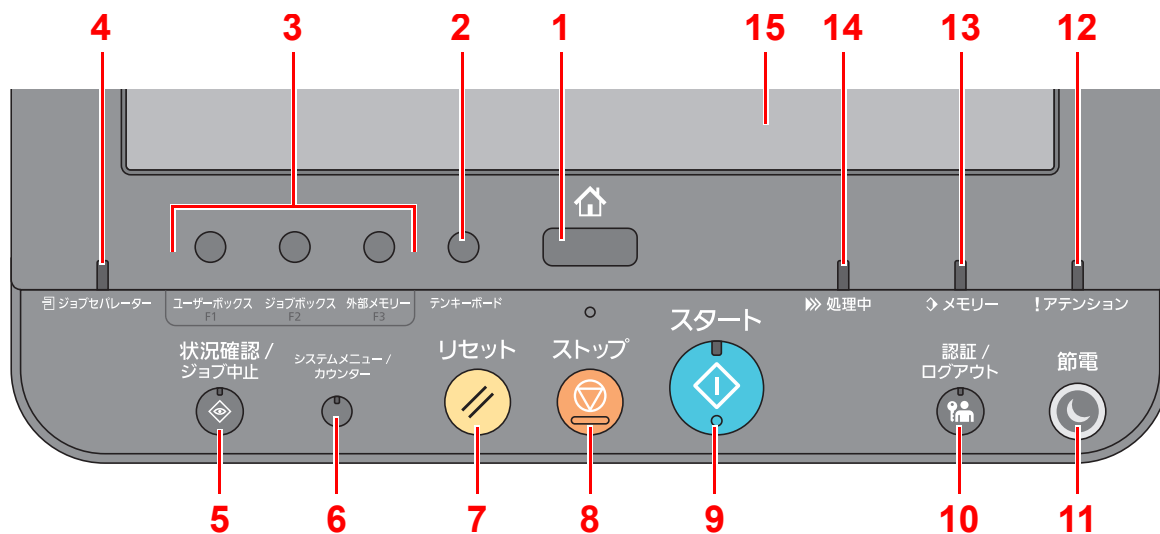


重要

用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して保管袋に入れて密封保管してください。

操作パネルの使いかた

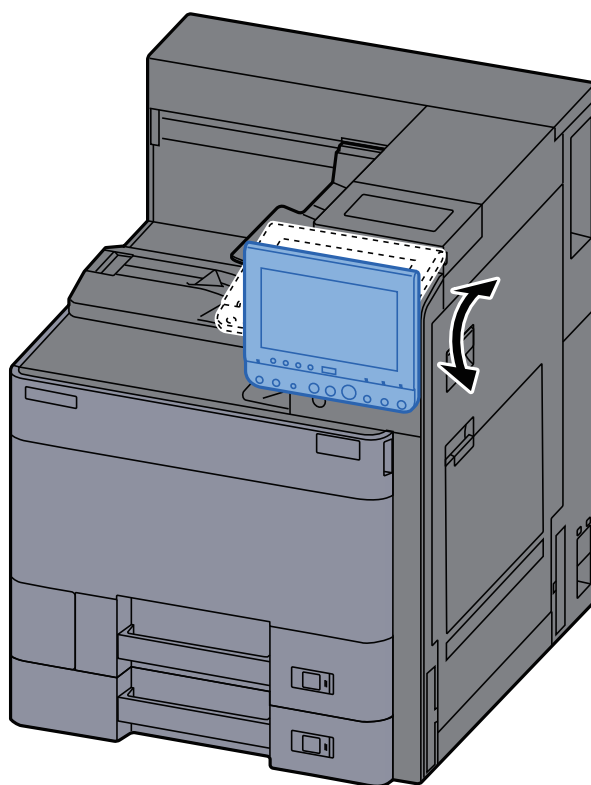
操作パネルキー



- 1 [ホーム]キー:ホーム画面を表示します。
- 2 [テンキーボード]キー:タッチパネル上にテンキーを表示します。
- 3 機能キー:文書ボックスなどの各種機能/アプリケーションを登録できるキーです。
➡ [機能キーに機能を割り当てる \(2-12ページ\)](#)
- 4 [ジョブセパレーター]ランプ:ジョブセパレーターのトレイに用紙があると点灯します。
- 5 [状況確認/ジョブ中止]キー:状況確認/ジョブ中止画面を表示します。
- 6 [システムメニュー/カウンター]キー:システムメニュー画面を表示します。
- 7 [リセット]キー:設定値を初期状態に戻します。
- 8 [ストップ]キー:動作中のジョブを中止、または一時停止します。
- 9 [スタート]キー:印刷を開始したり、設定動作の処理を開始したりします。
- 10 [認証/ログアウト]キー:ユーザー認証と各ユーザーの操作を終了(ログアウト)します。
- 11 [節電]キー:本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープから復帰します。
- 12 [アテンション]ランプ:エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。
- 13 [メモリー]ランプ:ハードディスク、USBメモリー(汎用品)にアクセス中に点滅します。
- 14 [処理中]ランプ:印刷処理中やプリントデータの受信中に点滅します。
- 15 タッチパネル:アイコンに触れて各種設定を行います。

操作パネルの角度を調節する

操作パネルの角度を調整できます。



機能キーに機能を割り当てる

機能キーは、文書ボックスなどの各種機能/アプリケーションを割り当てることができるキーです。よく使う機能/アプリケーションを割り当てて、簡単にその画面を表示することができます。

本機には、あらかじめ次の機能が割り当てられていますが、これらを変更して、別の機能を登録できます。

- [F1] (機能キー1): ユーザーボックス
- [F2] (機能キー2): ジョブボックス
- [F3] (機能キー3): 外部メモリー

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [機能キー登録]



参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 6000

ログインパスワード: 6000

2 設定する

1 設定する機能キーの[変更]を選択します。

2 割り当てる機能を選択します。

機能	説明	参照ページ
なし	機能を割り当てません。	—
ユーザーボックス	ユーザーボックス画面を表示します。	5-15ページ
ジョブボックス	ジョブボックス画面を表示します。	4-18ページ
外部メモリー	外部メモリー画面を表示します。	5-25ページ
インターネットブラウザー ^{*1}	インターネットブラウザー画面を表示します。	5-27ページ
プログラム名 ^{*1}	登録されているプログラムを呼び出します。	5-6ページ
アプリケーション名 ^{*1}	選択したアプリケーションの画面を表示します。	5-9ページ

^{*1} 設定または登録することによって表示されます。

タッチパネルの表示

ホーム画面

操作パネルの[ホーム]キーを選択すると表示される画面です。アイコンをタッチすると対応する画面が表示されます。ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景は変更することができます。

➡ [ホーム画面を編集する \(2-14ページ\)](#)



* 設定やオプションの構成により、実際の画面と異なる場合があります。

番号	項目	説明
1	メッセージ	状況に応じてメッセージを表示します。
2	デスクトップ	機能アイコンを表示します。プログラムに登録された機能も表示されます。1ページ目に表示されていないアイコンは、ページを切り替え则表示されます。
3	画面切り替えキー	デスクトップのページを切り替えます。  参考 画面をタッチした状態で指を左右に動かすことでも表示を切り替えることができます。(スワイプ操作) 
4	タスクバー	タスクアイコンを表示します。
5	【ログアウト】	ログアウトします。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
6	ログインユーザー名	ログインしているユーザー名を表示します。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。「ログインユーザー名」を選択するとログインしているユーザーの情報が表示されます。

ホーム画面を編集する

ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景を編集します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ホーム]



参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
デスクトップの設定	デスクトップに表示する機能アイコンを設定します。 ^{*1} [新規追加]を選択すると、表示する機能の選択画面が表示されます。 表示する機能を選択して[OK]を選択します。 アイコンを選択して[前へ]または[後ろへ]を選択すると、デスクトップに表示する順序を入れ替えることができます。 アイコンを選択して[削除]を選択すると、デスクトップから削除することができます。
タスクバーの設定	タスクバーに表示するタスクアイコンを設定します。 ^{*2}
壁紙	ホーム画面の背景を設定します。 設定値:画像1~8

^{*1} オプション装着時に使用できる機能と、インストールしたアプリケーションを含め、59個の機能アイコンが表示できます。

^{*2} 8個のタスクアイコンが表示できます。

デスクトップに表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
ユーザーボックス ^{*1}		ユーザーボックス画面を表示します。	5-15ページ
ジョブボックス ^{*1}		ジョブボックス画面を表示します。	4-18ページ
外部メモリー ^{*1}		外部メモリー画面を表示します。	5-25ページ
インターネットブラウザ		インターネットブラウザ画面を表示します。	5-27ページ

機能	アイコン	説明	参照ページ
プログラム		登録されているプログラムを呼び出します。アイコンはプログラムの機能により変わります。	5-6ページ
アプリケーション名 ^{*2}		選択したアプリケーションの画面を表示します。	5-9ページ

*1 工場出荷時に選択されています。

*2 各アプリケーションのアイコンが表示されます。

タスクバーに表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
状況確認/ジョブ中止 ^{*1}	 / 	状況確認画面を表示します。エラーが発生すると、アイコンに「！」が表示されます。エラーが解除されると元の表示に戻ります。	—
機器情報 ^{*1}		機器情報画面を表示します。システムやネットワークの情報を確認できます。 また、使用しているオプションの情報も確認できます。	2-16ページ
言語選択 ^{*1}		システムメニューの言語選択設定画面を表示します。	8-8ページ
用紙設定 ^{*1}		用紙設定の画面を表示します。	8-6ページ
Wi-Fi Direct		Wi-Fi Directが設定され、ネットワークが使用できる状態の本機の情報を一覧で表示します。	2-31ページ
システムメニュー ^{*1}		システムメニュー画面を表示します。	8-2ページ
ヘルプ ^{*1}		ヘルプ画面を表示します。	2-21ページ
プログラム ^{*1}		プログラムの一覧画面を表示します。	5-6ページ
掲示板		掲示板画面を表示します。  参考 設定するには、システムメニューの「掲示板」で[設定する]を選択する必要があります。 ➡ Command Center RX操作手順書	8-20ページ

*1 工場出荷時に選択されています。

機器情報を表示する

機器情報を表示します。システムやネットワークの情報を確認できます。また、使用しているオプションの情報も確認できます。

- 1 [ホーム]キー > [機器情報]
- 2 機器情報を確認します。

タブ	説明
識別情報/有線	モデル名、シリアル番号、ホスト名や場所などの識別情報、有線ネットワークのIPアドレスを確認できます。
Wi-Fi ^{*1}	モデル名、シリアル番号、ホスト名や場所などの識別情報、無線ネットワークのIPアドレスを確認できます。
ソフトウェアバージョン/性能	ソフトウェアのバージョンや性能を確認できます。
オプション	使用しているオプションの情報を確認できます。

^{*1} オプションのワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

設定画面を表示する

ここでは、ユーザーボックスから印刷する画面を例に説明します。



1 出力する用紙のイメージを表示します。

2 原稿:印刷する原稿のサイズを表示します。
倍率:印刷する原稿の倍率を表示します。
用紙:出力する用紙サイズを表示します。

3 簡単設定画面を表示します。

4 印刷の各機能を設定します。

5 トナー残量を表示します。

6 時刻を表示します。

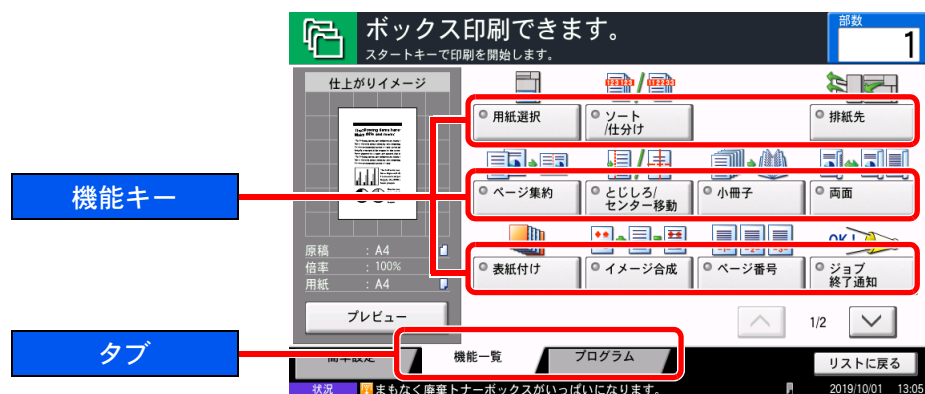
7 登録したショートカットを表示します。

8 排紙先を表示します。

9 給紙元を表示します。

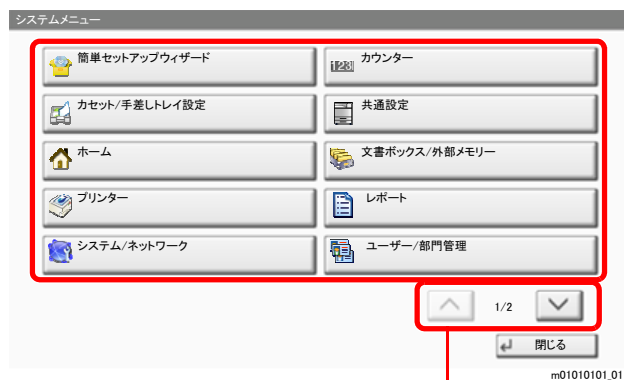
機能キーを表示する

タブを選択して、機能キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。



画面の操作

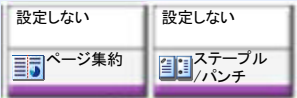
タッチパネルのキーを選択して操作する箇所を、赤い枠で囲んで示しています。



[へ]または[✓]を選択すると、上下にスクロールします。

設定できないキーの表示

複数の機能の組み合わせやオプションの装着状態などによって、設定できない機能のキーは選択できない状態になります。

通常	キーが薄く表示される場合	キーが表示されない場合
	 次の場合、キーは薄く表示されて設定できなくなります。 - 先に設定している機能に対して組み合わせることができない場合 - ユーザー管理で使用が制限されている場合 [プレビュー]を選択した場合	 オプションの装着状態により、使用できない機能のキーは表示されません。



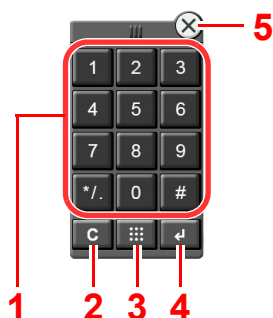
参考

設定したいキーが薄く表示される場合は、先に使用していたユーザーの設定が保持されている場合があります。このときは、[リセット]キーを選択してから操作し直してください。

[リセット]キーを選択してから操作してもキーが薄く表示される場合は、ユーザー管理機能で使用が制限されていることがあります。このときは本機の管理者にお問い合わせください。

数字を入力する

数字を入力するときは、操作パネルの[テンキーボード]キーを選択するか、入力するエリアを選択するとタッチパネル上にテンキーが表示されます。



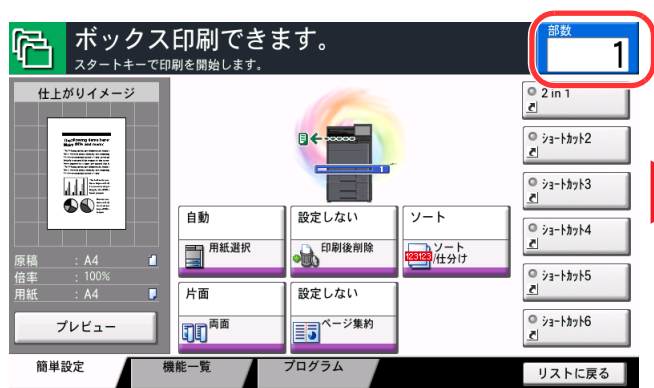
- 1 数値を入力します。
- 2 入力した数値を消去します。
- 3 短縮キーです。
➔ [短縮キーの使いかた \(2-20ページ\)](#)
- 4 テンキーの入力を確定します。
➔ [エンターキーの使いかた \(2-20ページ\)](#)
- 5 テンキーを閉じます。



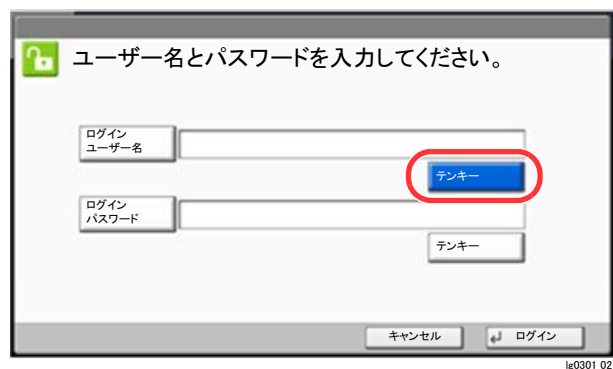
参考

オプションのテンキーボードを装着している場合は、タッチパネルにテンキーは表示されません。

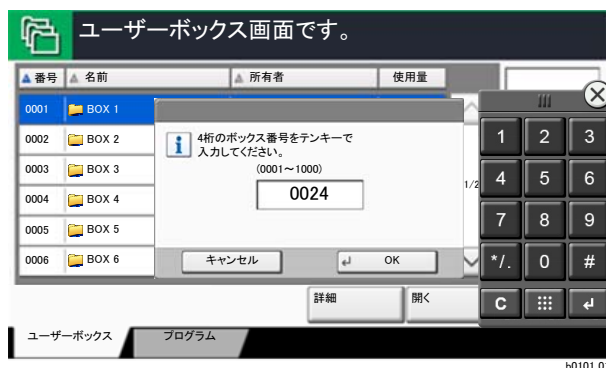
例: 印刷の部数を入力するとき



例: ログインユーザー名を入力するとき



例: ボックス番号を検索するとき



参考

- テンキーの上部をタッチした状態で指を動かすと、テンキーを自由に移動することができます。(ドラッグ操作)



- 印刷の画面では、あらかじめテンキーが表示されるように設定することができます。また、アプリケーション上で使用するテンキーについては、レイアウトを選択することができます。

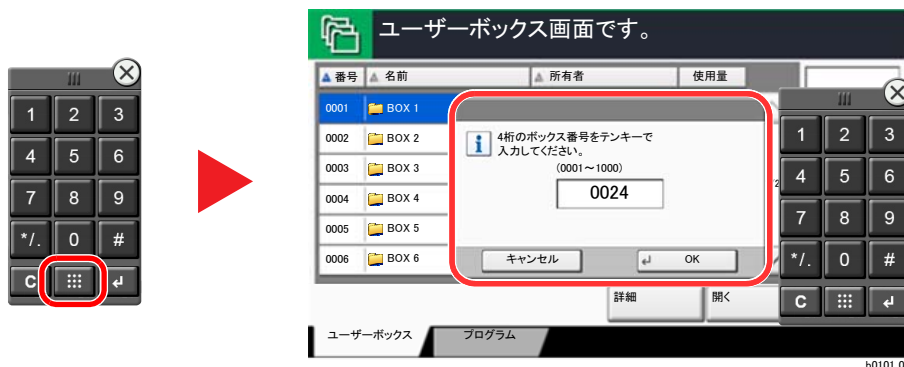
➡ [テンキーボード設定 \(8-20ページ\)](#)

エンターキーの使いかた

エンター(↵)キーは、[OK ↵]や[閉じる ↵]のように、エンターのマーク(↵)が表示されているキーと同じ働きをします。

短縮キーの使いかた

短縮キーは、タッチパネルに表示されている[番号]と同じ働きをします。ユーザーボックスをボックス番号で指定したり、登録したプログラムをプログラム番号で呼び出すときなど、番号を直接テンキーで入力する場合に使用します。



ヘルプ画面の使いかた

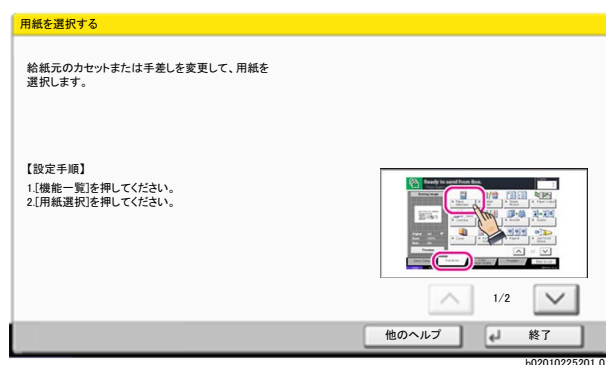
操作に困ったときは、タッチパネルで使いかたを確認できます。

タッチパネルの[ヘルプ]を選択すると、ヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では機能説明や操作方法を確認できます。

1 用紙選択の画面を表示する

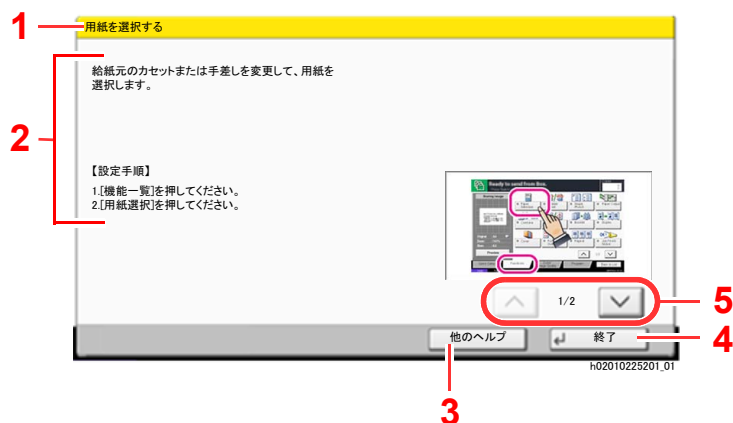
→ [用紙選択 \(6-5ページ\)](#)

2 タッチパネルの[ヘルプ]を選択する



ホーム画面の[ヘルプ]を選択する

ヘルプリストが表示されます。



- 1 ヘルプタイトル
- 2 機能説明や操作方法が表示されます。
- 3 ヘルプリストを表示します。
- 4 ヘルプ画面を閉じて、元の画面に戻ります。
- 5 説明文が表示しきれない場合に、上下にスクロールします。

本機にログイン・ログアウトする

管理者権限が必要な機能を設定する場合またはユーザー管理が有効になっている場合、ログインユーザー名とログインパスワードが必要になります。

参考

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

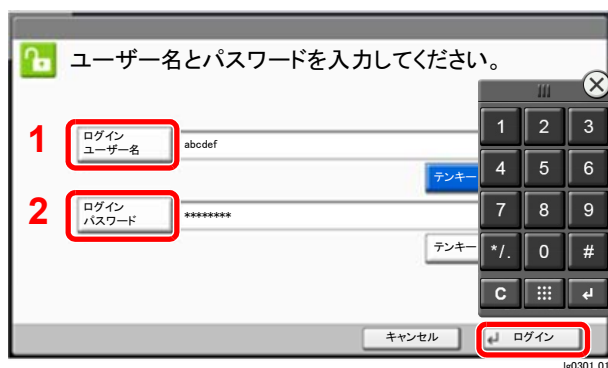
ログインユーザー名またはログインパスワードを忘れた場合はログインできません。管理者の権限でログインし、ログインユーザー名またはログインパスワードを変更してください。

ログインする

通常のログイン

1 ログインユーザー名とログインパスワードを入力する

- 1 操作中にこの画面が表示されたら、[ログインユーザー名]を選択してログインユーザー名を入力します。



➡ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 2 [ログインパスワード] > ログインパスワードを入力 > [OK]

参考

- [テンキー]を選択すると、数字をテンキーで入力することができます。
- ユーザー管理が有効になっている場合、認証先が表示され、認証先を[ローカル]または[ネットワーク]から選択できます。
- ICカード認証が有効になっている場合、[ICカードログイン]を選択できます。

2 [ログイン]を選択する

簡単ログイン



操作中にこの画面が表示されたら、ユーザーを選択してログインします。



参考

ログインパスワードが必要な場合は、入力画面が表示されます。

➡ [簡単ログイン設定を有効にする \(9-15ページ\)](#)

ログアウトする



ログアウトするときは、[認証/ログアウト]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

また、次の状態のときも自動でログアウトします。

- スリープ状態になったとき。
- オートパネルリセットが働いたとき。

機械の初期設定をする

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。本機を使用する前に、日付・時刻、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。



参考

システムメニューで設定できる項目については、次を参照してください。

➔ [システムメニュー \(8-1ページ\)](#)

日付と時刻を設定する

本機に、設置場所の日付と時刻を設定します。

ご使用の地域での日付、時刻、GMT(世界標準時)からの時差を設定してください。



参考

- 設定後に変更する場合は、次を参照してください。

➔ [日付/タイマー/節電 \(8-49ページ\)](#)

- ネットワーク上の時刻サーバーを利用して時刻を取得し、定期的に正確な時刻が設定できます。

➔ [Command Center RX操作手順書](#)

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [日付/タイマー/節電]

2 設定する

[時差] > [日付/時刻] > [日付形式]の順に選択して設定します。

項目	説明
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。 設定値: 年(2000~2037)、月(1~12)、日(1~31)、時(00~23)、分(00~59)、秒(00~59)
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日

ネットワークを設定する

有線でネットワークを設定する

本機はネットワークインターフェイスを標準装備しており、TCP/IP (IPv4)、TCP/IP (IPv6)、NetBEUIおよびIPSecをサポートしています。このためWindows、Macintosh、UNIXなどさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

ここでは、TCP/IP (IPv4) でネットワークに接続するときの設定を行います。

設定前に、ネットワークケーブルを確実に接続してください。

➡ [ネットワークケーブルを接続する \(2-7ページ\)](#)

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから個別に設定せずに、画面の指示に従ってネットワークを設定する場合は、簡単セットアップウィザードを使用します。	簡単セットアップウィザードを設定する (2-36ページ)
	システムメニューから接続設定する場合は、有線設定またはオプションネットワークを使用します。	有線設定 (8-35ページ) オプションネットワーク (8-42ページ)
ウェブページからの設定	標準のネットワークインターフェイスの場合はCommand Center RXから設定できます。IB-50の場合は専用のウェブページから設定できます。	Command Center RX 操作手順書 IB-50使用説明書
IB-50セットアップユーティリティの使用	IB-50に同梱のCDに収録されているセットアップツールです。WindowsとMac OS Xのどちらでも使用できます。	IB-50使用説明書


参考

オプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50)、またはオプションのワイヤレスネットワークインターフェイスキット (IB-35およびIB-51) を使用して、標準の有線以外のネットワークインターフェイスに切り替えたい場合は、「優先ネットワーク (クライアント)」で適切な設定値に変更してください。

➡ [優先ネットワーク \(クライアント\) \(8-44ページ\)](#)

ネットワークのその他の設定については、次を参照してください。

➡ [ネットワーク設定 \(8-30ページ\)](#)


参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

ユーザー管理が無効の場合、ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、**[ログイン]**を選択してください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

TCP/IP (IPv4) を設定する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク設定」[次へ] > 「有線設定」[次へ] > 「TCP/IP設定」[次へ] > 「IPv4」[変更]

2 設定する

DHCPサーバーを使用する場合

- [DHCP]:[使用する]

固定IPを使用する場合

- [DHCP]:[使用しない]
- [IPアドレス]:アドレスを入力します。
- [サブネットマスク]:4つのドットで区切った10進数表記(0~255)で、サブネットマスクを入力します。
- [デフォルトゲートウェイ]:アドレスを入力します。
- [Auto-IP]:[使用しない]

Auto-IPを使用する場合

IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。



重要

設定変更後にシステムメニューからネットワークの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行います。

➡ [ネットワークの再起動 \(8-42ページ\)](#)



参考

設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に依頼してあらかじめ準備しておいてください。

以下の場合、Command Center RXでDNSサーバーのIPアドレスを設定してください。

- 「DHCP」設定を[使用しない]でホスト名を使用する場合
- DHCPから自動的に付与されるDNSサーバーのIPアドレス以外のDNSサーバーを使用する場合

DNSサーバーのIPアドレスの設定については、次を参照してください。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

ワイヤレスネットワークを設定する

オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-35およびIB-51) を本機に装着して接続設定をすると、ワイヤレスネットワーク (無線LAN) 環境で印刷ができるようになります。

➔ [IB-35 <ワイヤレスインターフェイスキット> \(11-5ページ\)](#)

➔ [IB-51 <ワイヤレスインターフェイスキット> \(11-5ページ\)](#)

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから個別に設定せずに、画面の指示に従ってネットワークを設定する場合は、簡単セットアップウィザードを使用します。	簡単セットアップウィザードを設定する (2-36ページ)
	システムメニューから接続設定をする場合は、Wi-Fi設定またはワイヤレスネットワークを使用します。	Wi-Fi設定 (8-31ページ) ワイヤレスネットワーク (8-43ページ)
Wi-Fiセットアップツールの使用	Product Libraryに収録されているツールです。ウィザードに従って設定できます。	Wi-Fi セットアップツールで接続の設定をする (2-27ページ)
IB-51セットアップユーティリティの使用	IB-51に同梱のCDに収録されているセットアップツールです。WindowsとMac OS Xのどちらでも使用できます。	IB-51使用説明書
ウェブページからの設定	IB-35の場合はCommand Center RXから設定できます。	Command Center RX 操作手順書
	IB-51の場合は専用のウェブページから設定できます。	IB-51使用説明書

参考

オプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50) およびワイヤレスネットワークインターフェイスキット (IB-35またはIB-51) を装着して、有線以外のネットワークインターフェイスに切り替えたい場合は、「優先ネットワーク (クライアント)」で適切な設定値に変更してください。

➔ [優先ネットワーク \(クライアント\) \(8-44ページ\)](#)

Wi-Fi セットアップ ツールで接続の設定をする

Wi-Fi セットアップツールからのWi-Fi設定情報を本機に送るために、本機とローカル接続をする必要があります。ローカル接続の方法として、有線接続と無線接続 (Wi-Fi Direct) の2つがあります。

参考

- Wi-Fi Directを使用するには、Wi-Fi Directで本機とコンピューターを接続する前に 操作パネルからWi-Fi Directを有効 ([設定する] を選択) にし、ネットワークを再起動していることを確認してください。
- LANケーブルを使って直接本機に接続すると、Auto-IPアドレス (リンクローカルアドレス) が本機とコンピューターに割り当てられます。本機は、初期値としてAuto-IPアドレスを適用します。
- 接続するパソコンがWPSに対応しているか確認してください。対応している場合、本機の操作パネルから設定を行ってください。

➔ [Wi-Fi設定 \(8-31ページ\)](#)

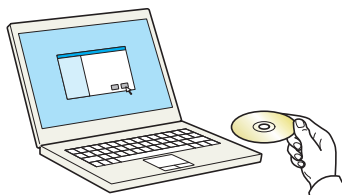
➔ [ワイヤレスネットワーク \(8-43ページ\)](#)

LANケーブルを使用して有線で接続する

1 本機とパソコンを接続する

- 1 本機が起動している状態で、コンピューターと本機を直接LANケーブルで接続します。
- 2 コンピューターの電源をオンにします。
本機とコンピューターのIPアドレス(リンクローカルアドレス)がそれぞれ自動的に生成されます。

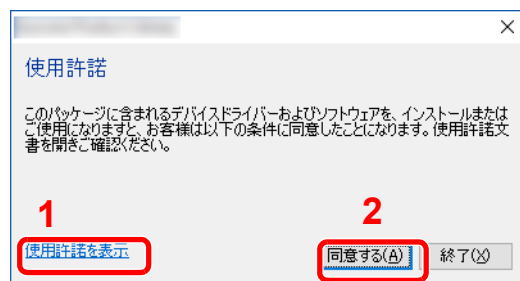
2 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

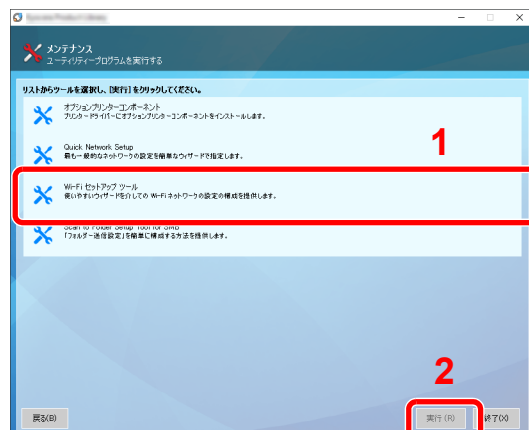
3 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

4 [メンテナンス]を選択する

5 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]



6 設定する

1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]

2 [LANケーブル] > [次へ] > [次へ]

3 [簡単設定] > [次へ]

本機が検出されます。



参考

- Wi-Fi Setup Toolで本機を1台だけ検索できます。検索に時間がかかる場合があります。
- 本機が検出されない場合は、[詳細設定] > [次へ]の順に選択します。本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択し、検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。

4 本機を選択 > [次へ]

5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します。]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード](ともにAdmin)を入力 > [次へ]

6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。

7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]

ネットワークが設定されます。

Wi-Fi Directを使用して無線で接続する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク設定」[次へ] > 「Wi-Fi Direct設定」[次へ] > 「Wi-Fi Direct」[変更]

2 設定する

[設定する] > [OK]

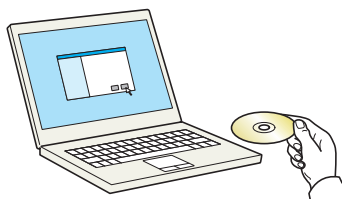
3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク設定」[次へ] > 「ネットワークの再起動」[実行] > [はい]

4 本機をパソコンまたは携帯端末に接続する

➡ [Wi-Fi Directを設定する \(2-31ページ\)](#)

5 DVDを挿入する

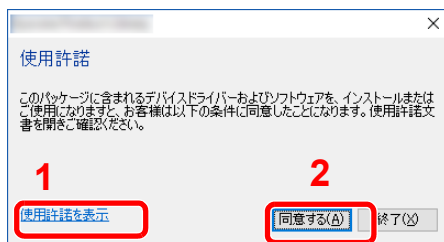




参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

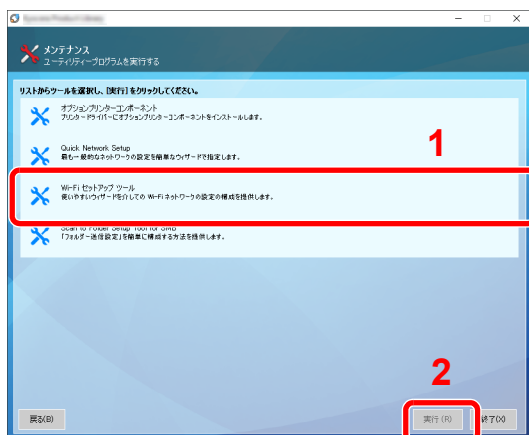
6 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

7 [メンテナンス]を選択する

8 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]



9 設定する

- 1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]
- 2 [Wi-Fi Direct] > [次へ] > [次へ]
- 3 [詳細設定] > [次へ]
本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択します。検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。
- 4 本機を選択 > [次へ]
- 5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します。]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード](ともにAdmin)を入力 > [次へ]
- 6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。
- 7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]
ネットワークが設定されます。

Wi-Fi Directを設定する

オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-35) を本機に装着して接続設定をすると、Wi-Fi Direct環境で印刷ができるようになります。次の設定方法があります。

本機の操作パネルから接続の設定をする

Wi-Fi Direct対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク設定」[次へ] > 「Wi-Fi Direct設定」[次へ] > 「Wi-Fi Direct」[変更]

2 設定する

[設定する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク設定」[次へ] > 「ネットワークの再起動」[実行] > [はい]

4 コンピューターまたは携帯端末から本機を選択する

操作パネルで確認メッセージが表示された場合は、[はい]を選択してください。

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

Wi-Fi Direct未対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

iOSの携帯端末に接続する例で説明します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク設定」[次へ] > 「Wi-Fi Direct設定」[次へ] > 「Wi-Fi Direct」[変更]

2 設定する

[設定する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク設定」[次へ] > 「ネットワークの再起動」[実行] > [はい]

4 [ホーム]キー > [Wi-Fi Direct]

5 ネットワーク名 (SSID)、IPアドレス、およびパスワードをメモする

6 携帯端末を設定する

1 [設定] > [Wi-Fi]

2 リストから、手順5で表示されたネットワーク名 (SSID) を選択します。

3 手順5でメモしたパスワードを入力 > [接続]

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

プッシュボタンで設定する

パソコンや携帯端末がWi-Fi Direct未対応でWPSに対応している場合、プッシュボタンを操作してネットワークを設定できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク設定」[次へ] > 「Wi-Fi Direct設定」[次へ] > 「Wi-Fi Direct」[変更]

2 設定する

[設定する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク設定」[次へ] > 「ネットワークの再起動」[実行] > [はい]

4 [ホーム] > [Wi-Fi Direct]

5 パソコンまたは携帯端末のプッシュボタンと、操作パネルに表示されている [プッシュボタン接続]を同時に押す

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

📌 重要

Wi-Fi Directで一度に接続できる端末は3台までです。Wi-Fi Direct対応のパソコンまたは携帯端末がすでに接続されているときにほかの端末を接続したい場合は、先に接続された端末のネットワークを切断する必要があります。切断する方法は次のとおりです。

- パソコンまたは携帯端末からネットワークを切断する
- 操作パネルですべて切断する

[ホーム] > [Wi-Fi Direct] > [接続デバイスリスト] > [すべて切断]の順に選択します。

- システムメニューから自動切断時間を設定する

➡ [Wi-Fi Direct設定 \(8-30ページ\)](#)

- Command Center RXから自動切断時間を設定する

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

NFCを設定する

NFC (Near Field Communication: 近距離通信) とは、データの通信距離が10 cm程度に限定された近距離無線通信の国際標準です。NFC対応の携帯端末を本機にかざすだけでデータ通信ができるようになります。

次の設定方法があります。

ウェブページで接続の設定をする

Command Center RXから設定できます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

本機の操作パネルから接続の設定をする

システムメニューからNFCを設定します。

➡ [NFC \(8-48ページ\)](#)

ここでは、システムメニューからNFCを設定する例を説明します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「NFC」[変更]

2 設定する

[設定する] > [OK]

省エネ機能を使う

本機は、最後に使用してから一定時間経過すると、自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行します。さらに一定時間操作がないと、自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行します。

低電力モードとは

一定時間操作がないと自動でタッチパネルを暗くして消費電力を低減します。この状態を低電力モードと呼びます。

低電力モード中は、タッチパネルには「低電力中です。」が表示されます。

- 低電力モードへの移行時間: 3分 (工場出荷時)

低電力モード中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは次の操作を行ってください。

- 操作パネルのいずれかのキーを選択する。
- タッチパネルにタッチする。

低電力モードからの復帰時間は次のとおりです。

- 15秒以下

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

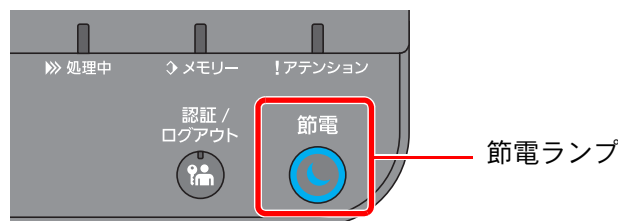


参考

低電力モード時間とスリープ時間が同じ場合は、スリープが優先されます。

スリープとは

[節電]キーを選択すると節電ランプだけが点灯し、タッチパネルや他のランプは消灯して消費電力を最小に抑えます。この状態をスリープと呼びます。



スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは、次の操作を行ってください。

- 操作パネルのいずれかのキーを選択する。
- タッチパネルにタッチする。

スリープからの復帰時間は次のとおりです。

- 17秒以下

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

オートスリープとは

オートスリープは、一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。

スリープ状態への移行時間は次のとおりです。

- 10分(工場出荷時)

切り替わる時間を変更する場合は、次を参照してください。

➡ [簡単セットアップウィザードを設定する \(2-36ページ\)](#)

スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)

スリープは、節電優先と復帰優先の2つのモードに切り替えることができます。初期設定は、節電優先モードです。

節電優先とは、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えた状態で、機能ごとにスリープモードを働かせるかを設定できます。ICカードも認識しません。



参考

オプションのネットワークインターフェイスキットを装着しているときは、節電優先にはできません。

操作パネルの[節電]キーを選択するとすぐに復帰します。また、スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。

スリープレベルの設定に関しては、次を参照してください。

➡ [簡単セットアップウィザードを設定する \(2-36ページ\)](#)

節電復帰レベルとは

本機は省エネモードから消費電力をおさえた状態で復帰できます。節電復帰レベルには「全体復帰」、「通常復帰」、「省電力復帰」があり、工場出荷時は「通常復帰」に設定されています。

復帰レベルの設定については、次を参照してください。

➡ [簡単セットアップウィザードを設定する \(2-36ページ\)](#)

➡ [節電復帰レベル \(8-51ページ\)](#)

週間予約設定

各曜日で指定した時刻に、本機を自動的に電源オフにしたり、復帰させる時刻を設定します。

週間予約設定の設定に関して詳しくは、次を参照してください。

➡ [簡単セットアップウィザードを設定する \(2-36ページ\)](#)

簡単セットアップウィザードを設定する

省エネ機能、ネットワークについては、次の項目をウィザード形式の画面で設定できます。

省エネのセットアップ	省エネ機能を設定します。	
	1. スリープモード	スリープ時間 スリープレベル
	2. 低電力モード	低電力モード時間
	3. 復帰モード	節電復帰レベル
	4. 週間予約設定	週間予約 スケジュール ^{*1} リトライ回数 ^{*1} リトライ間隔 ^{*1}
ネットワークのセットアップ	ネットワークを設定します。	
	1. ネットワーク	ネットワーク選択 ^{*2} Wi-Fi ^{*3} DHCP ^{*4} IPアドレス ^{*5} サブネットマスク ^{*5} デフォルトゲートウェイ ^{*5}

*1 週間予約で[設定する]を選択した場合に表示されます。

*2 オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-35) を装着しているときに表示されます。

*3 ネットワーク選択で[Wi-Fi]を選択した場合に表示されます。

*4 ネットワーク選択で[有線]を選択した場合に表示されます。

*5 DHCPの設定で[設定する]を選択した場合は表示されません。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [簡単セットアップウィザード]

2 機能を選択する

3 設定する

ウィザードを開始します。画面の指示に従って設定します。



参考

設定で困ったときは、次を参照してください。

➡ [ヘルプ画面の使いかた \(2-21ページ\)](#)

項目	説明
終了	ウィザードを終了します。それまでに設定した内容は適用されます。
前の項目	前の項目に戻ります。
スキップ	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
次へ	次の画面に進みます。
戻る	前の画面に戻ります。
完了	設定を登録してウィザードを終了します。

ソフトウェアをインストールする

本機でプリンター機能を使用する場合、DVD (Product Library) から必要なソフトウェアをインストールします。

収録ソフトウェア (Windows)

インストール方法は、[エクスプレスインストール]と[カスタムインストール]の2通りから選ぶことができます。[エクスプレスインストール]が標準のインストール方法になります。[エクスプレスインストール]でインストールされないものは、[カスタムインストール]でインストールしてください。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

➡ [カスタムインストールの場合 \(2-41ページ\)](#)

ソフトウェア	説 明	エクスプレスインストール
KXドライバー (KX DRIVER)	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。1つのドライバーで、複数のページ記述言語 (PCL XL、KPD Lなど) をサポートします。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーです。 PDFデータを作成する場合はこのドライバーを使用してください。	○
Mini プリンタードライバー (PCL/KPD L) (KPD L mini-driver/PCL mini-driver)	PCL、KPD LのそれぞれをサポートしたMicrosoft Mini Driver形式のドライバーです。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバーでは使用できる機能に制限があります。	—
KYOCERA Net Viewer	ネットワーク上の本機をモニターすることのできるユーティリティです。	—
Status Monitor	本機の状態を監視し、報告するユーティリティです。	○
KYOCERA Net Direct Print	Adobe Acrobat/Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	—
フォント (FONTS)	本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。	○



参考

ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

Windowsにソフトウェアをインストールする

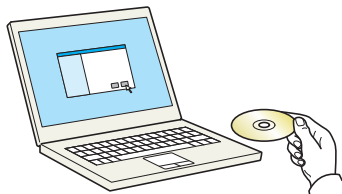
エクスプレスインストールの場合

ここでは、Windows 10に[エクスプレスインストール]でインストールする場合を例に説明します。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

➡ [カスタムインストールの場合 \(2-41ページ\)](#)

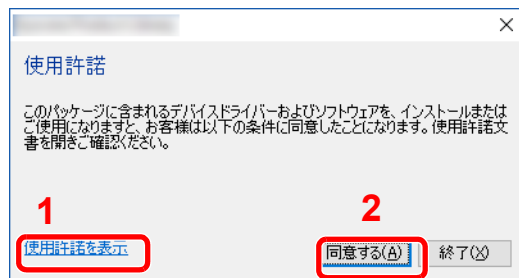
1 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

2 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 [エクスプレスインストール]を選択する

4 インストールする



本機のモデル名を選択します。[ポート名にホスト名を使用]を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます。(USB接続は利用できません。)

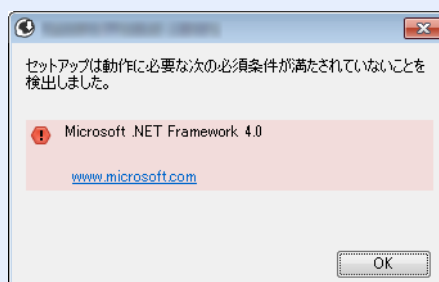
[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。

重要

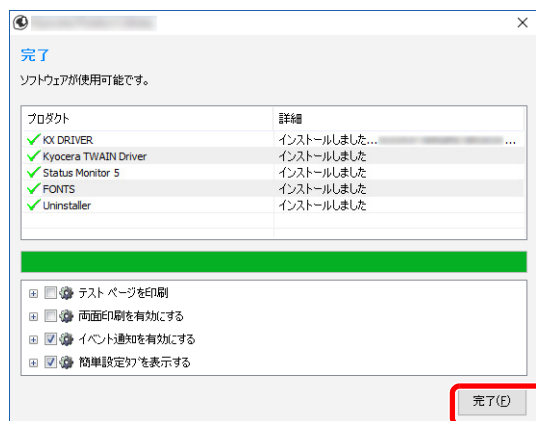
Wi-FiまたはWi-Fi Directが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、 (更新)をクリックしてください。
- Windowsセキュリティ画面が表示された場合、[このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。
- Windows 8.1より前のバージョンのWindowsにステータスモニターをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページの印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

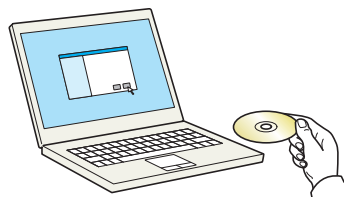
[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

カスタムインストールの場合

ここでは、Windows 10に[カスタムインストール]でインストールする場合を例に説明します。

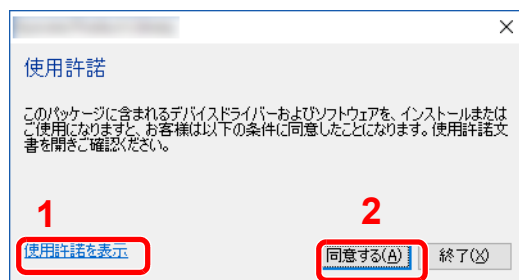
1 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

2 画面を表示する

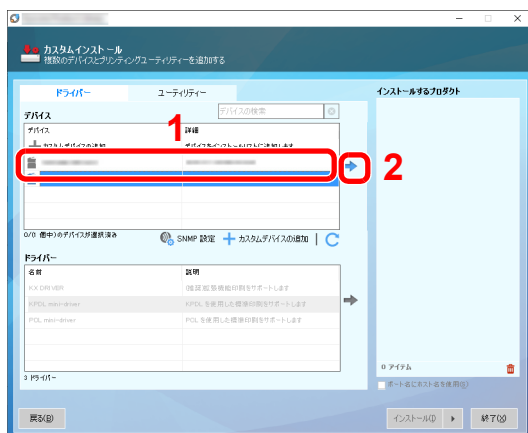


- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 [カスタムインストール]を選択する

4 インストールする

- 1 インストールするデバイスを選択します。



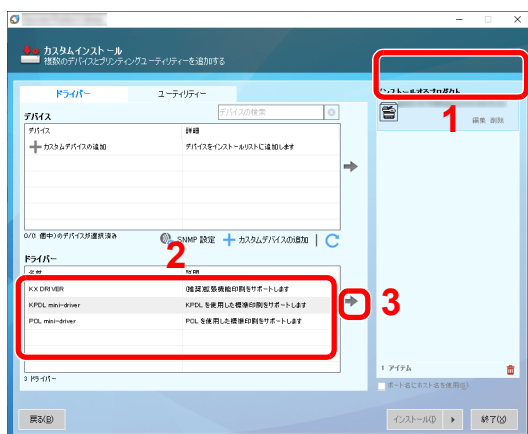
重要

Wi-FiまたはWi-Fi Directが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

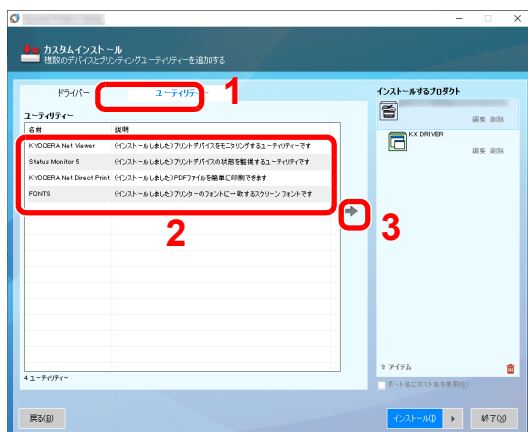
参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、C (更新) をクリックしてください。
- 目的のデバイスが表示されないときは、[カスタムデバイスの追加] をダブルクリックして表示されるリストからデバイスとポート名を選択し、[OK] をクリックしてください。

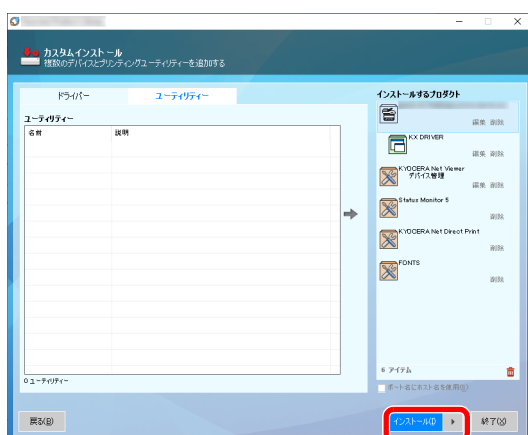
- 2 インストールするドライバーを選択します。



- 3 [ユーティリティ]タブをクリックして、インストールするユーティリティを選択します。



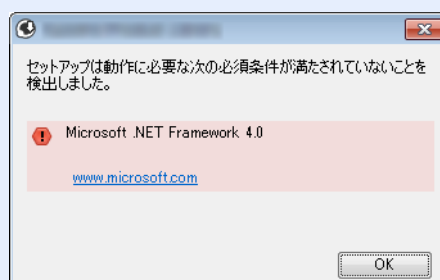
- 4 インストールします。



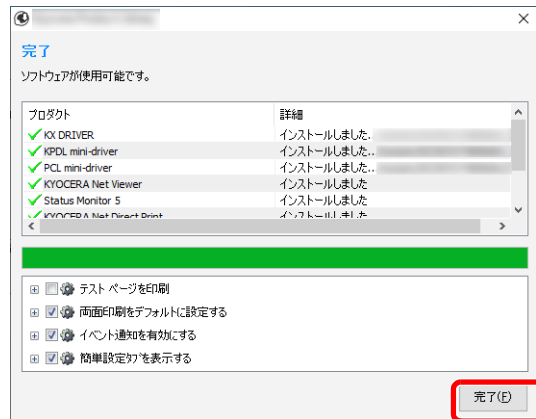
[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。

参考

Windows 8.1より前のバージョンのWindowsにステータスモニターおよびKYOCERA Net Viewerをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページを印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

ソフトウェアをアンインストールする

Product Libraryでインストールしたソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行ってください。



参考

ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

1 画面を表示する

デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「プロダクトライブラリーのアンインストール」と入力します。検索された一覧の中から[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択します。ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。



参考

Windows 8.1の場合は、デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「プロダクトライブラリーのアンインストール」と入力します。検索された一覧の中から[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択します。ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択してください。

2 アンインストールする

削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れます。



3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業は終了です。



参考

ソフトウェアのアンインストールはProduct Libraryを使って行うことも可能です。Product Libraryの画面で[アンインストール]を選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。

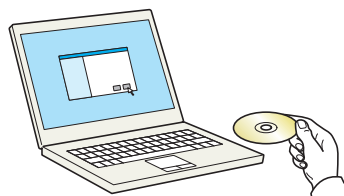
Macintoshにソフトウェアをインストールする

Macintoshでは、本機のプリンター機能が使用できます。

参考

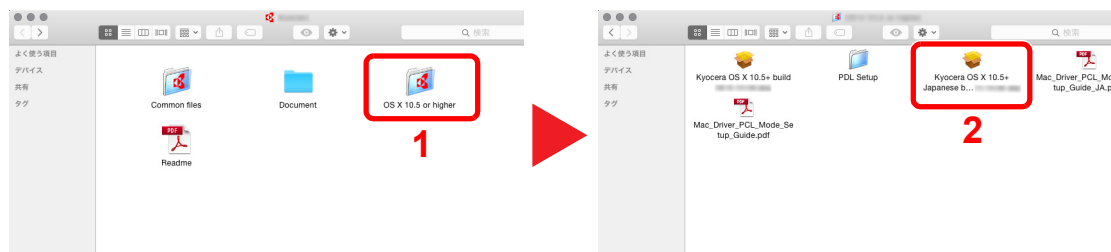
- ソフトウェアをインストールするときは、管理者の権限でログインする必要があります。
- Macintoshでインストールする場合は、本機のエミュレーションを[KPDL]または[KPDL(自動)]に設定してください。
➔ [プリンター \(8-22ページ\)](#)
- Bonjourで接続する場合は、本機のネットワーク設定でBonjourを有効にしてください。
➔ [Bonjour \(8-37ページ\)](#)
- 名前とパスワードの入力画面が表示された場合は、OSにログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。
- AirPrintを使用して印刷等を行う場合は、ソフトウェアのインストールは不要です。

1 DVDを挿入する



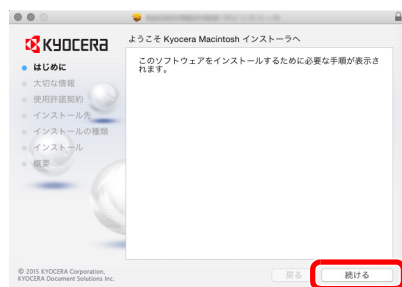
[Kyocera]アイコンをダブルクリックしてください。

2 画面を表示する



使用しているOSのバージョンのフォルダーを開き、[Kyocera OS X x.x Japanese]をダブルクリックします。

3 インストールする



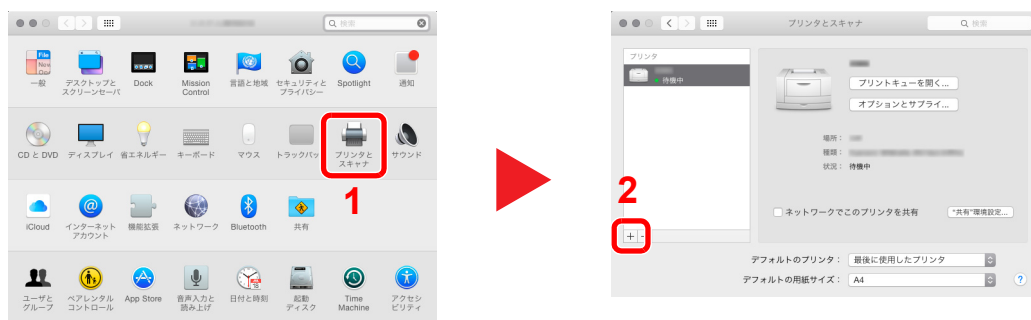
インストールプログラムの表示に従ってプリンタードライバーをインストールします。

以上でプリンタードライバーのインストールは完了です。

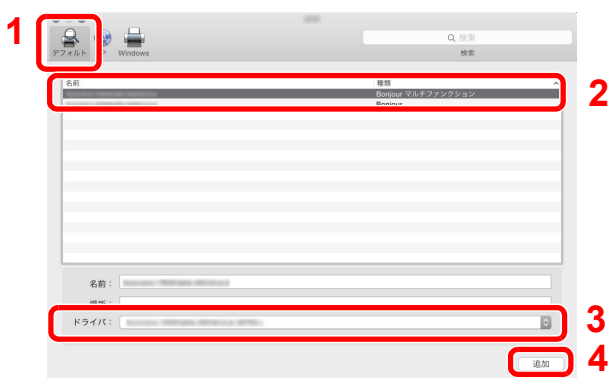
USB接続の場合は、自動的に本機の認識と接続が行われます。ネットワーク接続の場合は、続けてプリンターの設定を行ってください。

4 設定する

- 1 システム環境設定画面を開き、プリンターを追加します。



- 2 [デフォルト]を選択し、「名前」に表示された項目をクリックした後、ドライバーを選択します。



参考

IPアドレスを入力する場合は、[IP]を選択し、ホスト名またはIPアドレスを入力してください。「名前」には、「アドレス」に入力した番号が自動的に入ります。必要に応じて変更してください。

- 3 本機に装備されているオプションを選択します。



- 4 設定したプリンターが追加されます。



カウンターを確認する

印刷枚数を参照します。

- 1** 画面を表示する
[システムメニュー/カウンター]キー > [カウンター]
- 2** カウンターを確認する

管理者に準備していただきたいこと

本機の管理者は、この章で説明していること以外に、下記の内容を確認の上必要な設定を行ってください。

セキュリティを強化する

本機は、機器管理者の権限を持つユーザーと、管理者の権限を持つユーザーがそれぞれ1人工場出荷時に登録されています。このユーザーでログインすると、すべての設定が可能になりますので、ログインユーザー名やログインパスワードを変更してください。

また、本機はユーザー認証機能を搭載しており、設定することで、登録されたログインユーザー名とパスワードを持っている人しか本機を使えないようにすることができます。

➡ [9 ユーザー認証、集計管理\(ユーザー管理、部門管理\) \(9-1ページ\)](#)

強化したいこと	機能名	参照ページ
本機を使用するユーザーを制限したい	ユーザー管理	9-2ページ
	オートパネルリセット	8-49ページ
	ICカード設定 ^{*1}	9-17ページ
使用できる基本機能を制限したい	グループ認可設定	9-9ページ
	ゲスト認可設定	9-11ページ
本機に保存した文書を他のユーザーに操作させたくない	ユーザーボックス	5-15ページ
本機に保存したデータの流出を防ぎたい	上書き消去 ^{*2}	Data Security Kit(E) 使用説明書参照
	暗号化 ^{*2}	
本機を廃棄するとき、本機内のデータを完全に削除したい	セキュリティデータの完全消去	8-47ページ
ユーザーの操作履歴を記録したい	ログイン履歴設定	8-27ページ
	デバイス履歴設定	8-28ページ
	セキュリティ通信エラー履歴設定	8-29ページ
傍受、盗聴から、通信内容を保護したい	IPP over SSL	8-40ページ
	HTTPS	8-40ページ
	LDAPセキュリティ	Command Center RX操作手順書参照
	SMTPセキュリティ	8-37ページ
	POP3セキュリティ	8-37ページ
	Enhanced WSD (SSL)	8-39ページ
	IPSec	8-37ページ
	SNMPv3	8-39ページ
本機のソフトウェアを検証したい	ソフトウェア検証	8-47ページ

*1 オプションのICカード認証キットが必要です。

*2 オプションのセキュリティキットが必要です。

Command Center RXとは

本機をネットワークに接続してご使用の場合、Command Center RXを使用してさまざまな設定を行うことができます。ここでは、Command Center RXへのアクセス手順と、セキュリティ設定、ホスト名の変更方法などについて説明します。

➡ Command Center RX操作手順書

 **参考**
Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスの管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されません）。

ログインユーザー名： Admin
ログインパスワード： Admin

管理者と一般ユーザーがCommand Center RXで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明	管理者	一般ユーザー
デバイス情報	本機の構成を確認できます。	○	○
ジョブ状況	印刷や保存ジョブ、およびジョブ履歴を含むすべてのデバイスのジョブ情報が表示されます。	○	○
文書ボックス	文書ボックスの追加や削除、または文書ボックス内の文書の削除などを行います。	○	○ ^{*1}
デバイス設定	本機の詳細設定を行います。	○	—
機能設定	機能の詳細設定を行います。	○	—
ネットワーク設定	ネットワークの詳細設定を行います。	○	—
セキュリティ設定	セキュリティの詳細設定を行います。	○	—
管理設定	管理の詳細設定を行います。	○	—

*1 ログインするユーザーの権限により、設定できる項目に制限があります。

Command Center RX へアクセスする

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
例) https://10.180.81.1/(IPアドレスの場合)
https://MFP001 (ホスト名がMFP001の場合)



本機およびCommand Center RXに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。



参考

「このWeb サイトのセキュリティ証明書には問題があります」の画面が表示された場合、証明書の設定をしてください。

➡ Command Center RX操作手順書

または、証明書を設定しないでこのまま続行することもできます。

2 設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。



参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスの管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

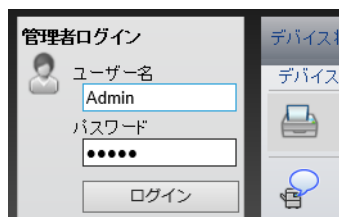
ログインユーザー名:Admin

ログインパスワード:Admin

セキュリティ設定を変更する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです (大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

- 4 [セキュリティ設定]をクリックします。

2 設定する

[セキュリティ設定]メニューから設定したい項目を選択して、設定を行います。



参考

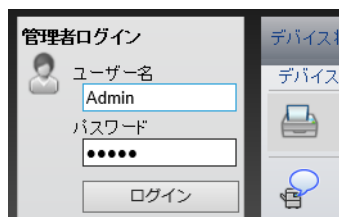
証明書に関する設定については、次を参照してください。

➡ Command Center RX操作手順書

デバイス情報を変更する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

- 4 [デバイス設定]メニューの[システム]をクリックします。



2 設定する

デバイス情報を入力して、[設定]をクリックします。



重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

[管理設定]メニューの[リセット]をクリックし、「再起動」の[ネットワークの再起動]をクリックすることで、ネットワークインターフェイスカードの再起動ができます。

SMTPおよびメール送信の設定をする

SMTPを設定すると、ジョブが終了したことをメールで通知することができます。

この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。

また、次の項目を設定してください。

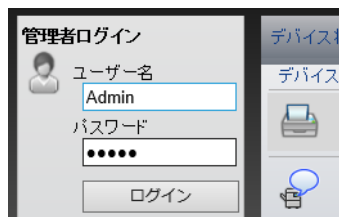
- SMTPの設定
設定項目:「SMTP」の「SMTPプロトコル」、「SMTPサーバー名」等
- 本機がメールを送信するときの差出人のアドレス
設定項目:「メール送信設定」の「差出人アドレス」
- メールサイズ制限の設定
設定項目:「メール送信設定」の「メール送信のサイズ制限」

SMTPを設定する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

SMTPプロトコルの画面を表示します。

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

4 [ネットワーク設定]メニューの[プロトコル]をクリックします。



2 設定する

「送信プロトコル」の「SMTP(メール送信)」で設定を[オン]にしてください。



3 画面を表示する

メール設定の画面を表示します。
[機能設定]メニューの[メール]をクリックします。



4 設定する

「SMTP」および「メール送信設定」の項目を入力します。

項目		説明
SMTP		本体からメールを送信するときに設定します。
	SMTPプロトコル	SMTPプロトコルの設定を参照します。「SMTPプロトコル」の設定が[オン]になっているか確認してください。[オフ]の場合は、[プロトコル]をクリックして、SMTPプロトコルの設定を[オン]にしてください。
	SMTPサーバー名 ^{*1}	SMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
	SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は25です。
	SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
	認証	SMTP認証をする場合、認証するユーザー情報を入力します。
	SMTPセキュリティ	SMTPセキュリティを設定します。 「プロトコル」ページで「SMTP(メール送信)」の「SMTPセキュリティ」を設定してください。
	接続確認	メールを送信せずに、設定した内容で正しく動作するかどうかをテストします。
	ドメイン制限	ドメイン制限をする場合、[ドメインリスト]をクリックし、許可、または拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスで指定することもできます。

項目		説明
POP3	POP3プロトコル	本体からメールを送信する機能だけ使用する場合は、設定する必要はありません。本体でメールを受信する機能を使用する場合に設定します。 ➡ Command Center RX操作手順書
	着信チェック間隔	
	直ちに実行	
	ドメイン制限	
	POP3ユーザー設定	
メール送信設定	メール送信のサイズ制限	送信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。ここで入力したサイズより大きいメールになった場合、エラーを表示し、メール送信しません。SMTPサーバーの送信メールのサイズを制限している場合は、入力してください。SMTPサーバーの送信メールのサイズに制限が無い場合、0を入力してください。0を入力するとメールサイズの制限に関係なくメール送信します。
	差出人アドレス ^{*1}	本機がメールを送信するときの差出人のアドレスを指定します。配信エラーメールなどが、ここで指定した差出人のアドレスに返信される場合がありますので、架空のアドレスではなく、機器管理者などが受け取れるメールアドレスを指定することをお勧めします。また、SMTP認証を設定している場合は、アドレスを正確に入力する必要があります。差出人アドレスは最大128文字まで入力できます。
	署名	メール本文の最後に挿入される、テキスト形式の署名を入力します。ここで入力した署名を使って、プリントシステムの識別をすることもあります。署名は最大512文字まで入力できます。
	機能初期値	機能の初期値を変更する場合は、[共通/ジョブ初期値]で行ってください。

*1 入力が必要な項目です。

5 [設定]をクリックする

ユーザーボックスを作成する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。



- 4 [新規作成]をクリックします。

2 設定する

- 1 ボックスの情報を入力します。
登録するユーザーボックスの情報を入力してください。入力する項目は、次を参照してください。
➡ Command Center RX操作手順書
- 2 [設定]をクリックします。

ユーザーボックスに保存されている文書を印刷する

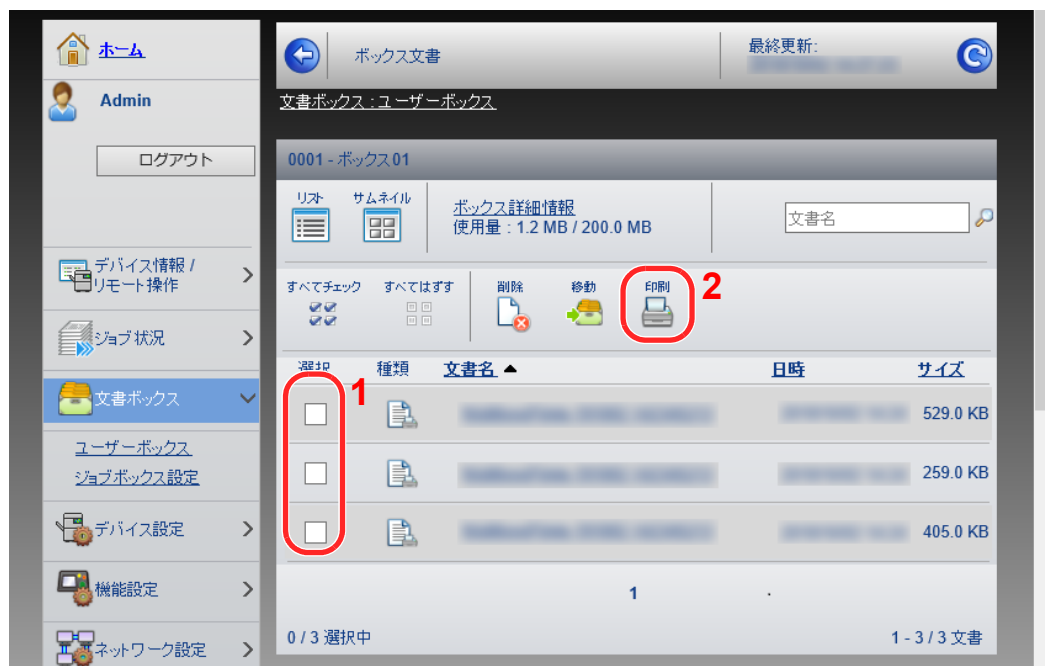
1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。



- 4 文書が保存されているユーザーボックスの番号またはボックス名をクリックします。

2 印刷する



- 1 印刷する文書を選択します。
印刷する文書のチェックボックスにチェックを入れます。
- 2 [印刷]をクリックします。
- 3 印刷設定を行い、[印刷]をクリックします。

3 本機を使用する前に

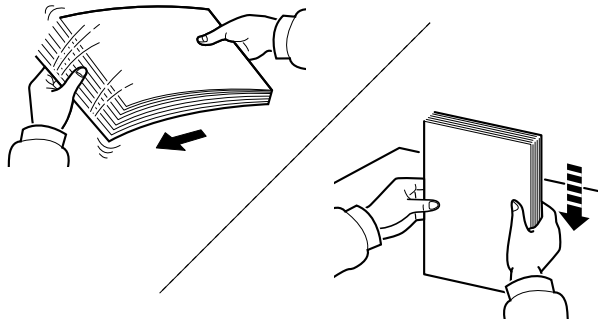
この章では、本機の基本的な操作について説明します。

用紙をセットする	3-2
用紙の取り扱い上の注意	3-2
給紙段の選択	3-3
カセット1に用紙をセットする	3-4
カセット2に用紙をセットする	3-7
カセットにはがき、封筒をセットする	3-10
大容量フィーダーにセットする	3-14
サイドフィーダーにセットする	3-16
用紙を排出するときの留意点	3-18
排紙ストッパー	3-18
封筒ガイド	3-18
排紙容量調整レバー	3-19
写真やイラスト画像排出時の留意点	3-19

用紙をセットする

用紙の取り扱い上の注意

包装紙から出した用紙は、給紙段にセットする前に、次の手順でさばいてください。



用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよくそろえてください。

さらに、下記にもご注意ください。

- 用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐにのばしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。
- 包装紙から出した用紙を高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットに入れた残りの用紙は、用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しトレイに残った用紙も、保管袋に入れて密封保管してください。
- 用紙をカセット内に長期間セットしたままにすると、用紙がカセットヒーターの熱によって変色する場合があります。
- 本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

☑ 重要

再利用紙（一度印刷された用紙）を使用する場合は、必ずステープル針やクリップなどを外してください。ステープル針やクリップが残ったままだと、画像不良や故障の原因となります。

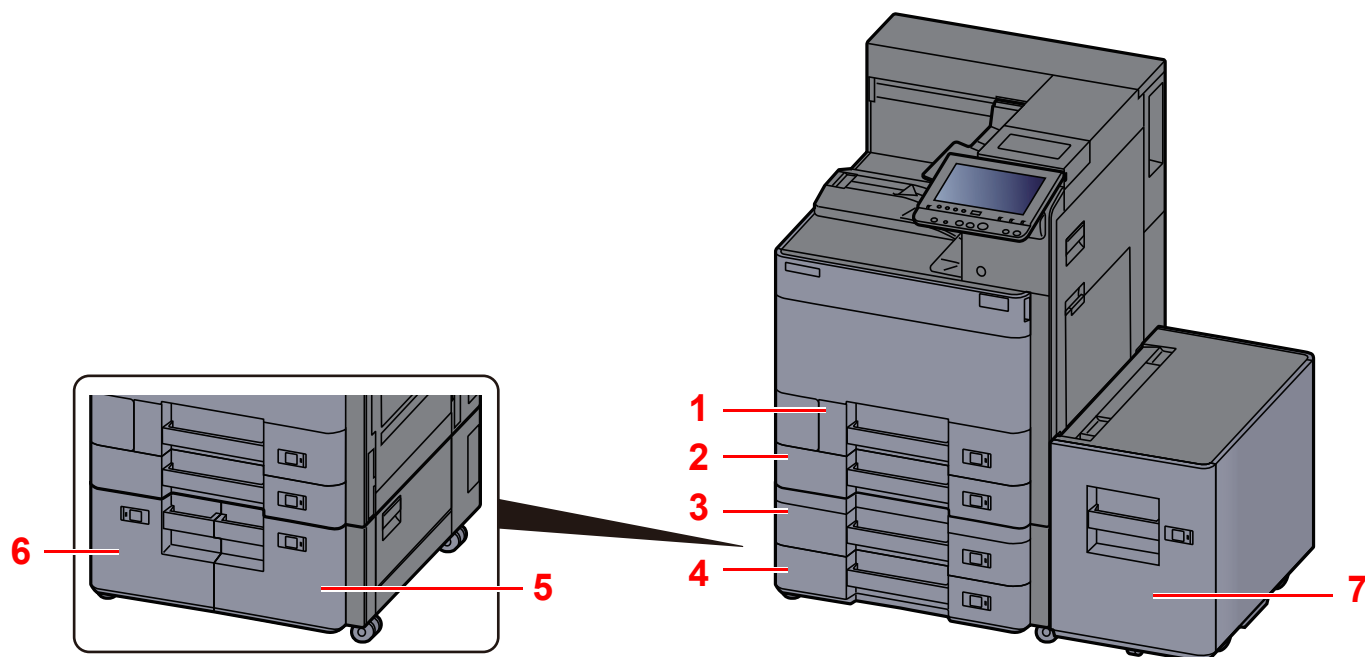
💡 参考

穴の開いた用紙、ロゴや社名などが印刷されている用紙（プレプリント）、レターヘッドなど特殊な用紙を使用する場合は、次を参照してください。

➡ [用紙について（11-18ページ）](#)

給紙段の選択

用紙のサイズや種類に応じて、用紙をセットする給紙段を選択します。



番号	名称	用紙サイズ	用紙種類	収納枚数	参照先
1	カセット1	A4-R、A4、A5-R、A5、A6-R、B5-R、B5、B6-R、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Executive、Oficio II、Folio、16K-R、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム1～4	普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、上質紙、カスタム1～8	550枚 (64 g/m ²)	3-4ページ
2	カセット2	A3、A4-R、A4、A5-R、A5、A6-R、B4、B5-R、B5、B6-R、216×340 mm、SRA3、Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Executive、12×18"、Oficio II、Folio、8K、16K-R、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム1～4			
3	カセット3				
4	カセット4				
5	カセット3	A4、Letter、B5(いずれかのサイズに固定)	普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、上質紙、カスタム1～8	1,650枚 (64 g/m ²)	3-14ページ
6	カセット4			3,500枚 (64 g/m ²)	3-16ページ
7	カセット5				

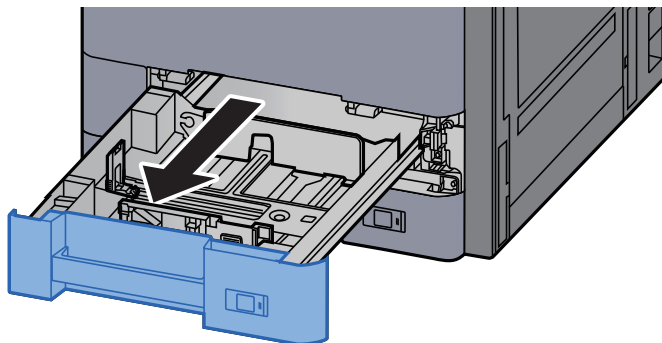


参考

- お使いの環境や用紙の種類(厚さ)によって、収納できる枚数は異なります。
- インクジェットプリンター用紙や表面に特殊な加工が施されている用紙は使用しないでください。(紙づまり等、故障の原因になる場合があります。)

カセット1に用紙をセットする

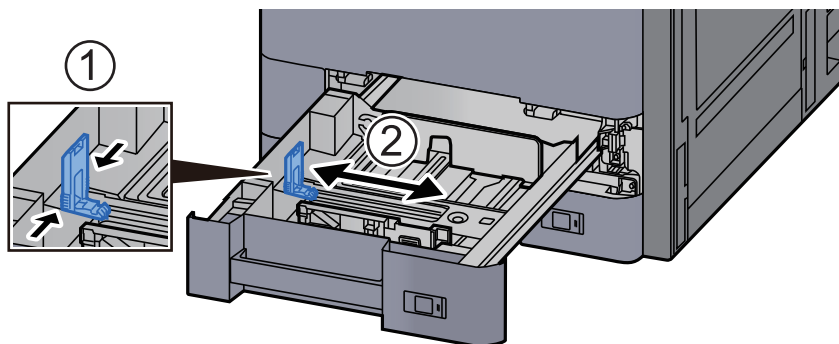
1 カセットを引き出す



参考

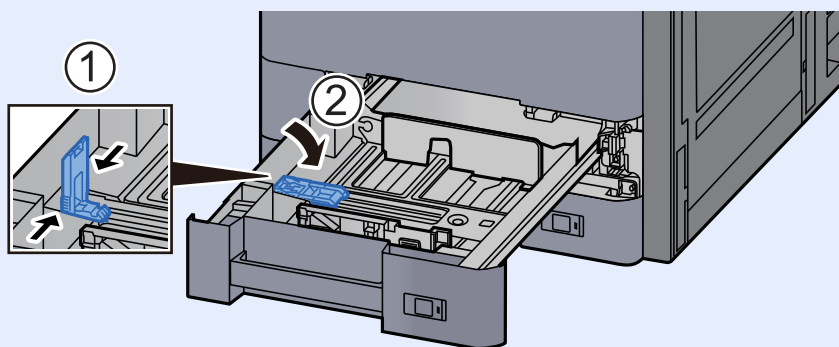
複数のカセットを同時に引き出さないようにしてください。

2 カセットの用紙長さガイドを調整する

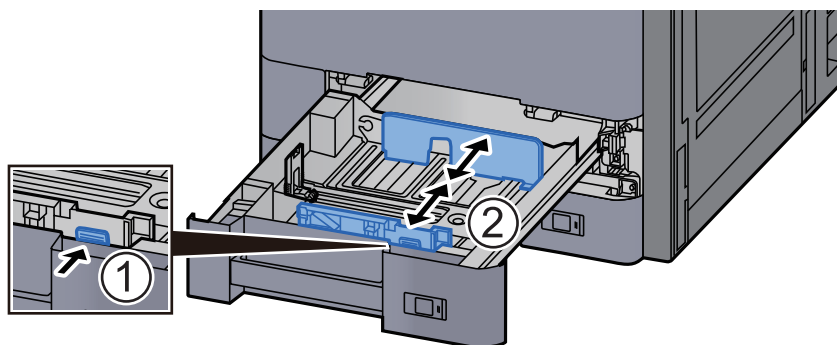


参考

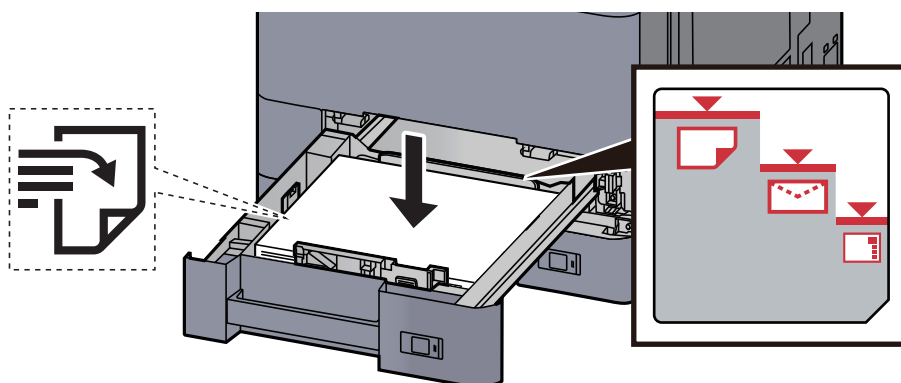
Legalの用紙を使用する場合は、用紙長さガイドを左端まで移動させてから倒してください。



3 カセットの用紙幅ガイドを調整する



4 用紙をセットする

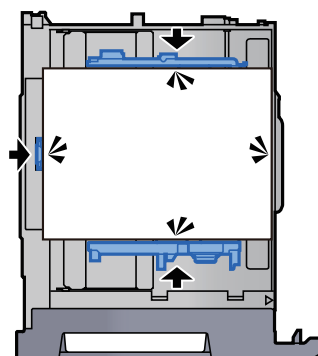


☑ 重要

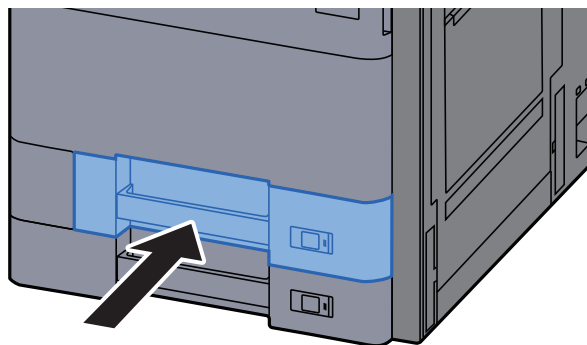
- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ➡ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-2ページ\)](#)
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わせずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

5 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認する

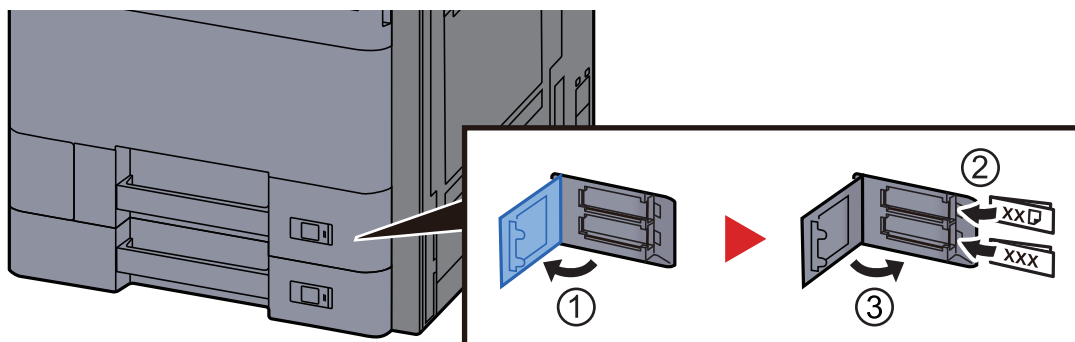
隙間があるときは用紙長さガイドまたは用紙幅ガイドを合わせ直します。



6 カセットをゆっくり奥まで押し込む



7 用紙サイズと用紙種類のシートを差し込む



8 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > 「カセット1」[次へ]

9 設定する

用紙サイズと用紙種類を選択します。

➡ [カセット1\(～5\) \(8-6ページ\)](#)



参考

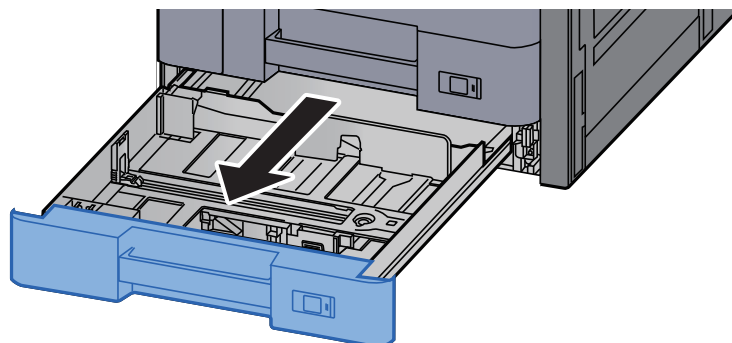
用紙サイズを自動で検知できます。次を参照してください。

➡ [用紙選択 \(6-5ページ\)](#)

➡ [カセット1\(～5\) \(8-6ページ\)](#)

カセット2に用紙をセットする

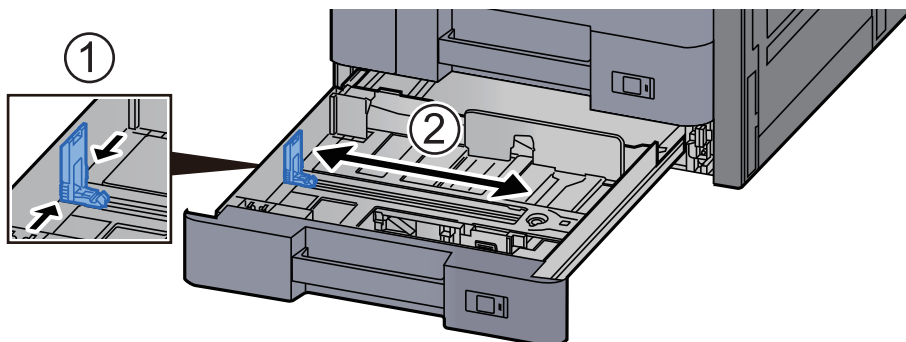
1 カセットを引き出す



参考

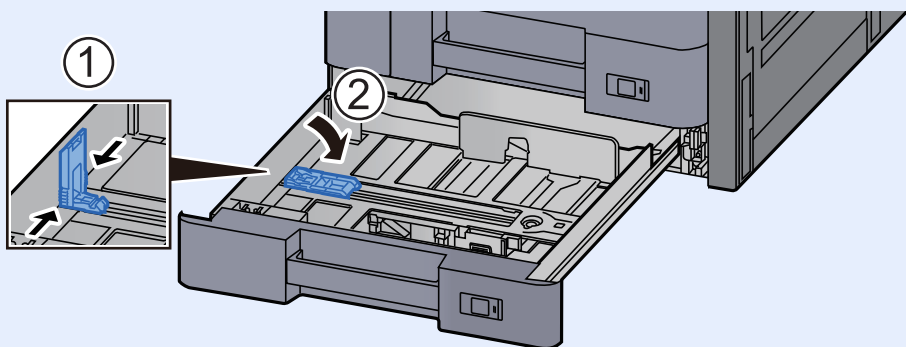
複数のカセットを同時に引き出さないようにしてください。

2 カセットの用紙長さガイドを調整する

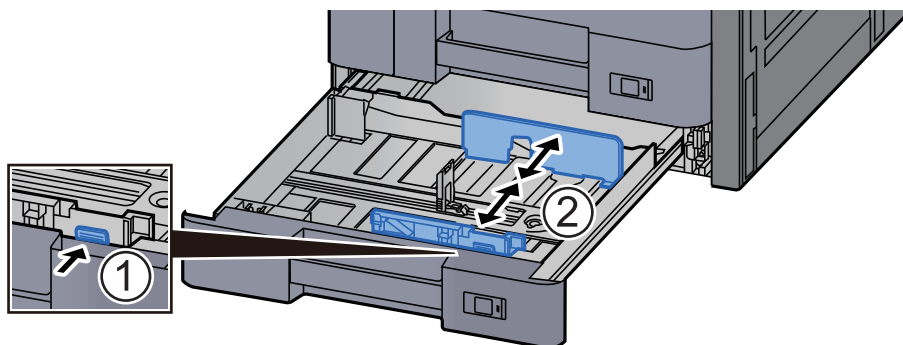


参考

12×18"の用紙を使用する場合は、用紙長さガイドを左端まで移動させてから倒してください。

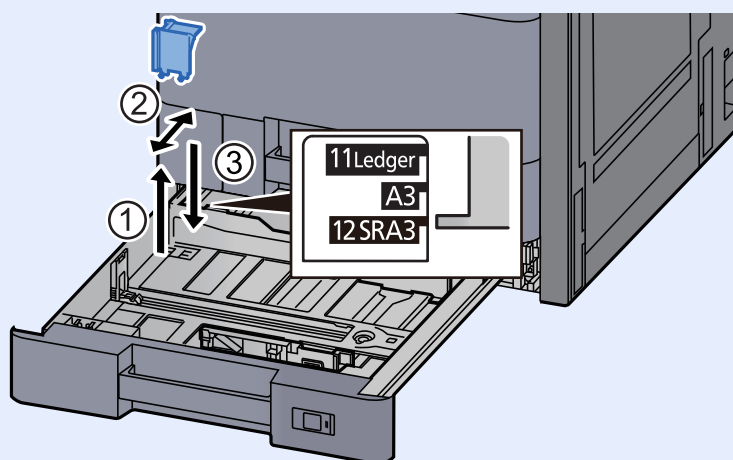


3 カセットの用紙幅ガイドを調整する

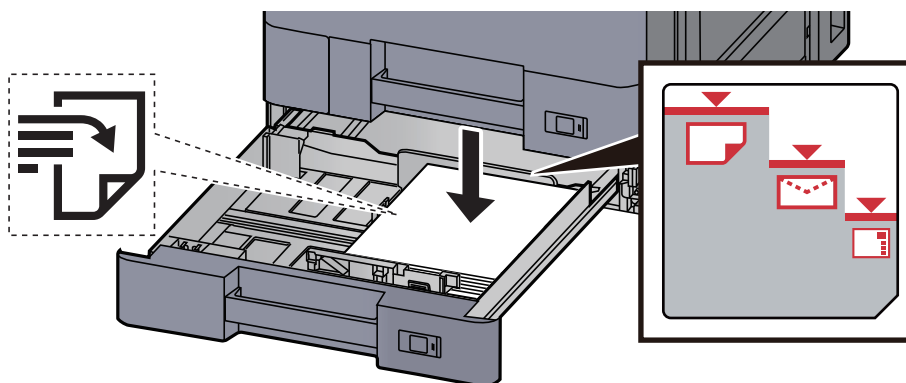


参考

SRA3/12×18"、A3、Ledgerの用紙を使用する場合は、補助ガイドを調整してください。



4 用紙をセットする

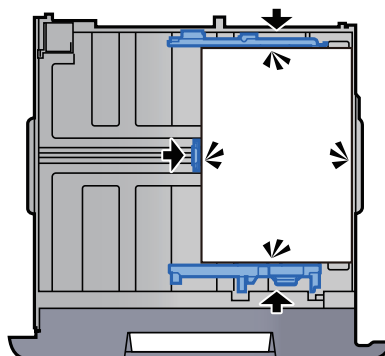


重要

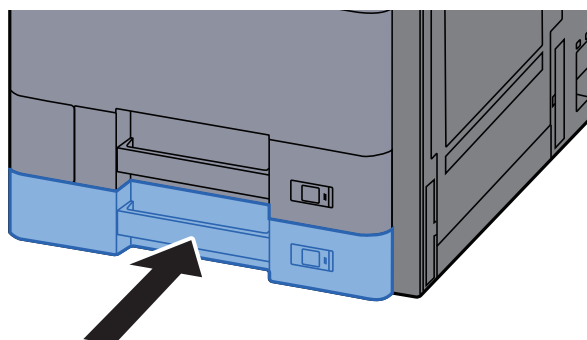
- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ➡ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-2ページ\)](#)
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

5 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認する

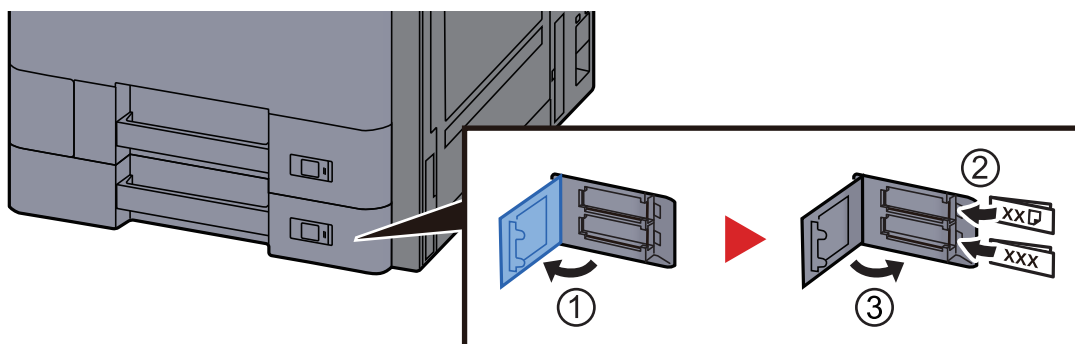
隙間があるときは用紙長さガイドまたは用紙幅ガイドを合わせ直します。



6 カセットをゆっくり奥まで押し込む



7 用紙サイズと用紙種類のシートを差し込む



8 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > 「カセット2」[次へ]

9 設定する

用紙サイズと用紙種類を選択します。

➡ [カセット1\(～5\) \(8-6ページ\)](#)



参考

用紙サイズを自動で検知できます。次を参照してください。

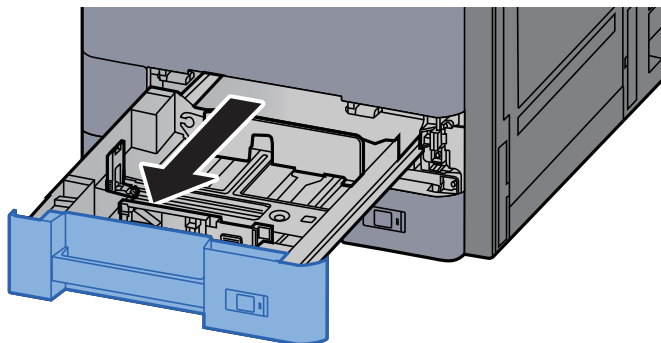
➡ [用紙選択 \(6-5ページ\)](#)

➡ [カセット1\(～5\) \(8-6ページ\)](#)

カセットにはがき、封筒をセットする

カセットにはがき、封筒をセットします。ここでは、カセット1を例に説明します。

1 カセット1を引き出す

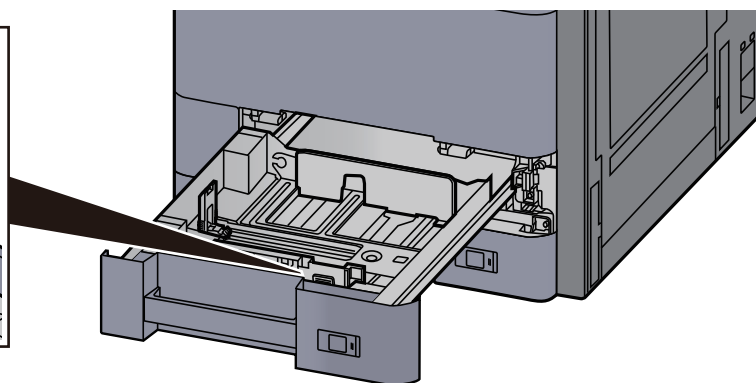
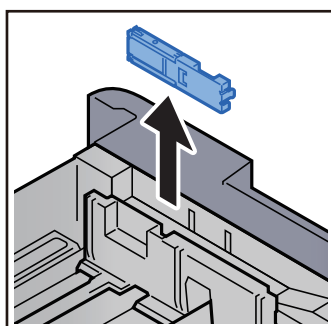


参考

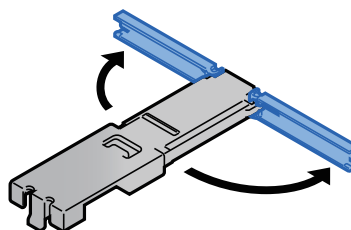
複数のカセットを同時に引き出さないようにしてください。

2 封筒給紙ガイドを取り出す

はがきの場合は、手順5に進んでください。

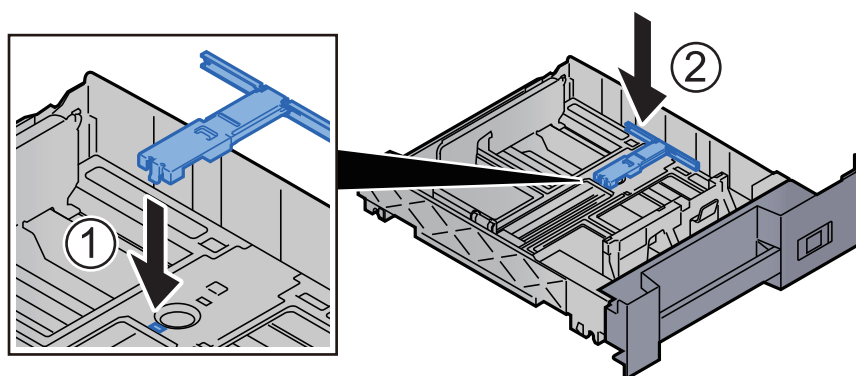


3 Envelope C5(幅162 mm)以上の封筒を使用する場合は、封筒給紙ガイドのレバーを広げる

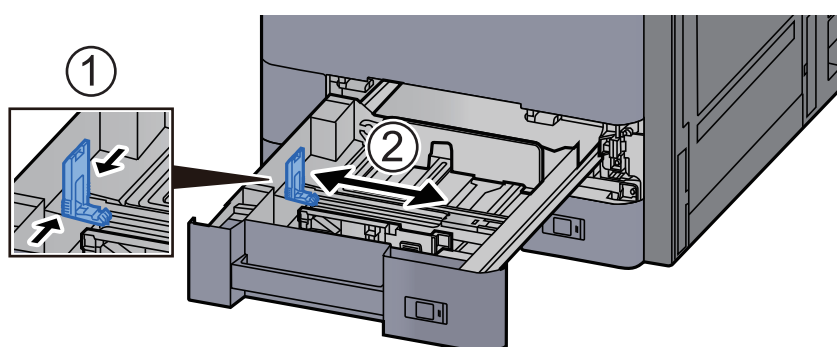


4 図のように、封筒給紙ガイドをカセットに取り付ける

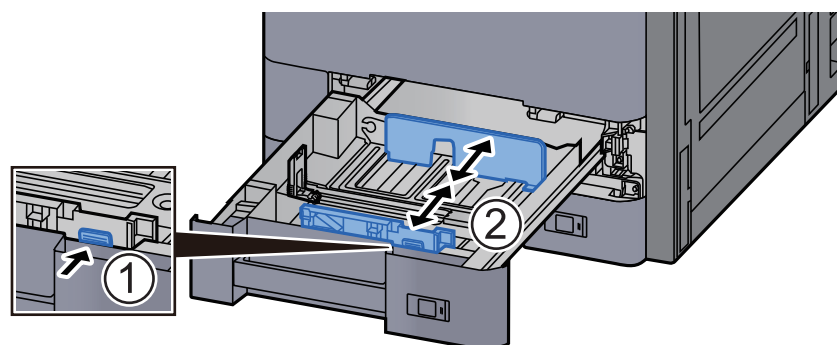
図は、レバーを広げた状態を表します。



5 カセットの用紙長さガイドを調整する

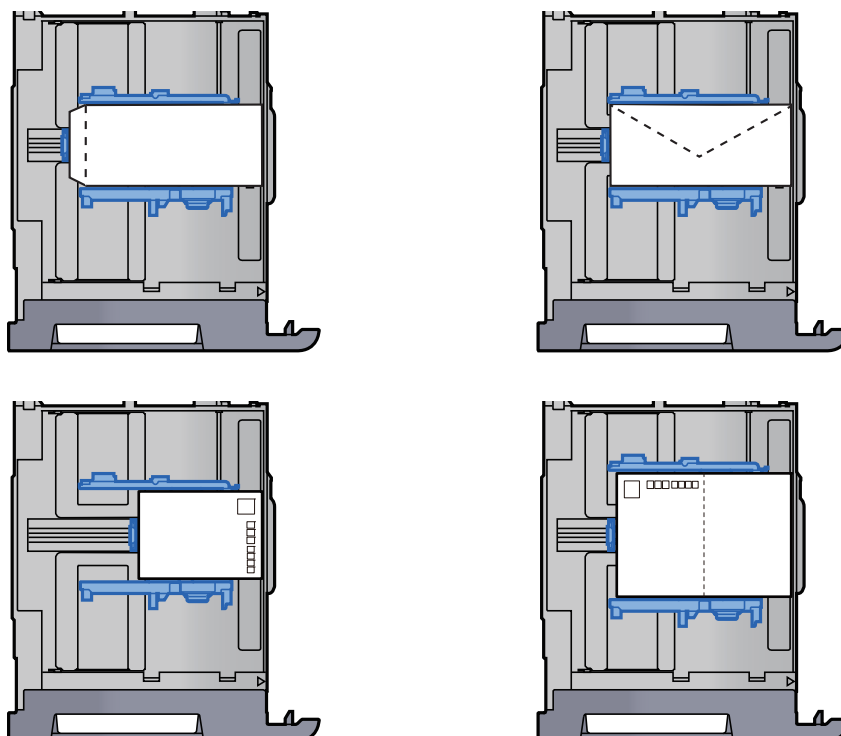


6 カセットの用紙幅ガイドを調整する



7 印刷する面を上にしてセットする

例) 宛名を印刷する場合



☑ 重要

- ・ 封筒の補給のしかた(向き、裏表)は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。
- ・ 封筒の量は、収納上限を示すラベルの目盛り以下にしてください。

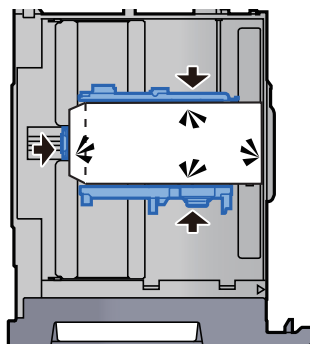


参考

はがきは約100枚、また、封筒は約30枚セットできます。

8 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認する

隙間があるときは用紙長さガイドまたは用紙幅ガイドを合わせ直します。



9 カセットをゆっくり奥まで押し込む

10 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > 「カセット1」[次へ]

11 設定する

はがき、封筒のサイズと種類を設定します。

➡ [カセット1\(～5\) \(8-6ページ\)](#)

12 プ린タードライバーで設定する

プリンタードライバーから、印刷するはがき、封筒のサイズと種類を設定してください。

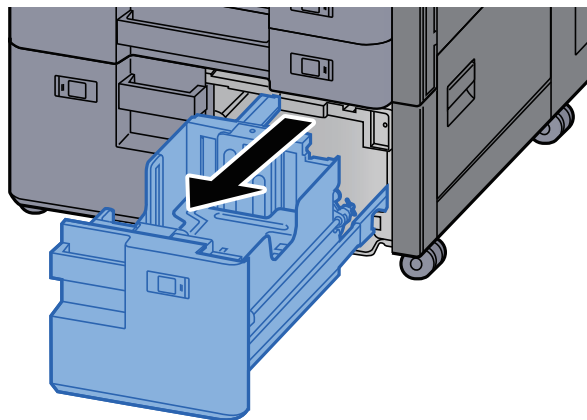
➡ [定形サイズ of 用紙に印刷する \(4-4ページ\)](#)

➡ [不定形サイズ of 用紙に印刷する \(4-6ページ\)](#)

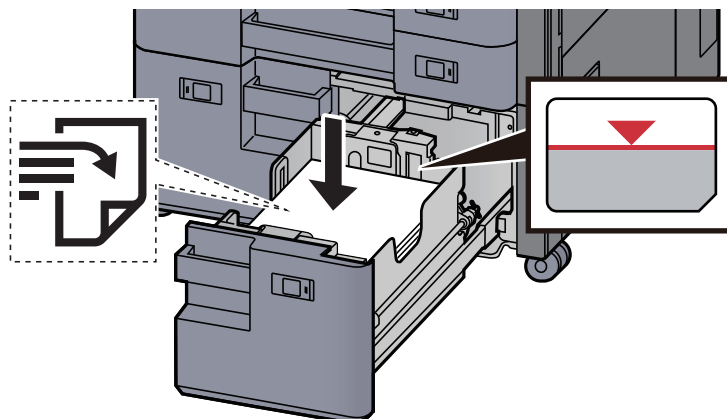
大容量フィーダーにセットする

ここではカセット3を例に説明します。

1 カセットを本機から引き出す



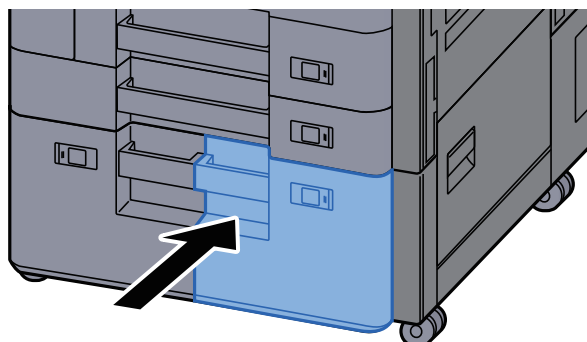
2 用紙をセットする



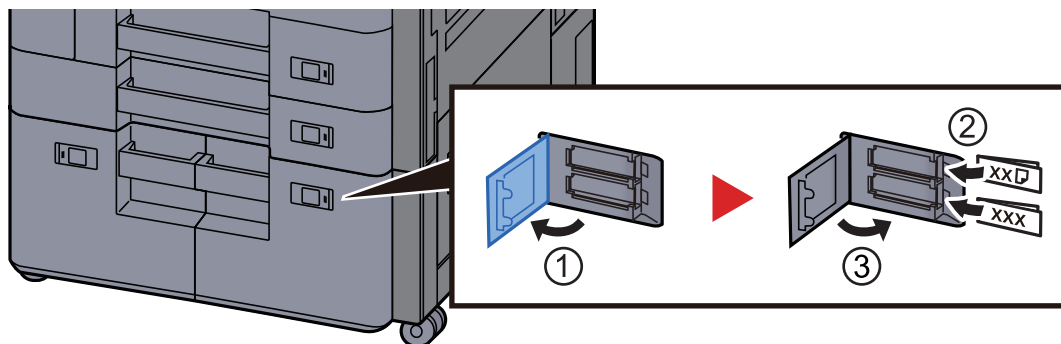
☑ 重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ➡ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-2ページ\)](#)
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。

3 カセットをゆっくり奥まで押し込む



4 用紙サイズと用紙種類のシートを差し込む



5 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > 「カセット3」[次へ] > 「用紙種類」[変更]

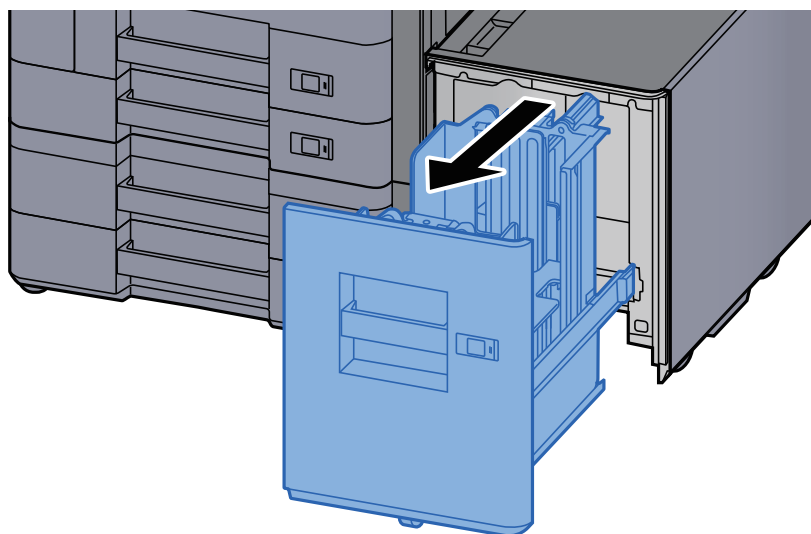
6 設定する

用紙種類を選択します。

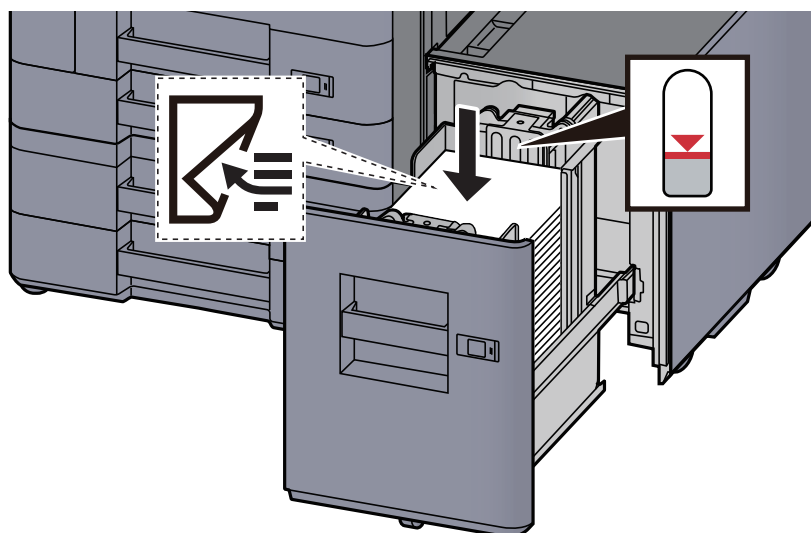
➡ [カセット1\(～5\) \(8-6ページ\)](#)

サイドフィーダーにセットする

1 カセットを本機から引き出す



2 用紙をセットする



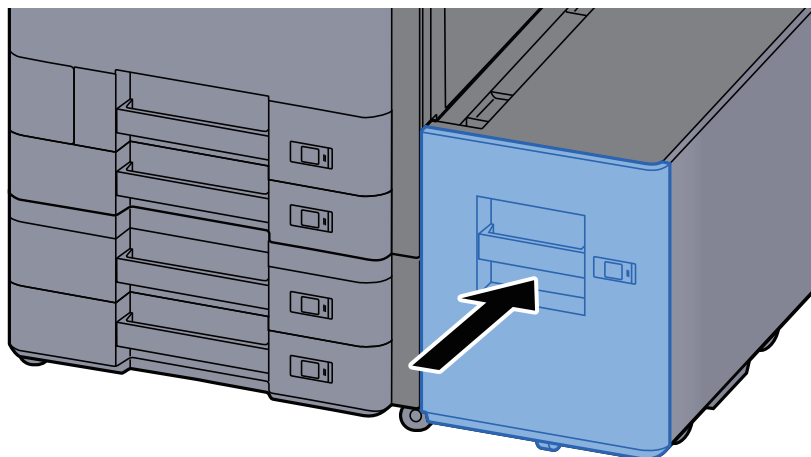
Ⓢ 重要

- 印刷する面を下にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。

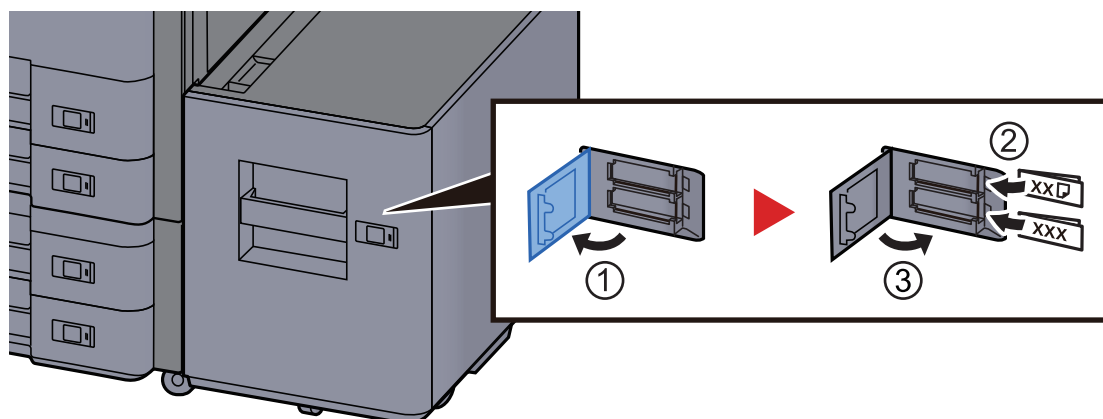
➡ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-2ページ\)](#)

- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。

3 カセットをゆっくり奥まで押し込む



4 用紙サイズと用紙種類のシートを差し込む



5 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > 「カセット5」[次へ] > 「用紙種類」[変更]

6 設定する

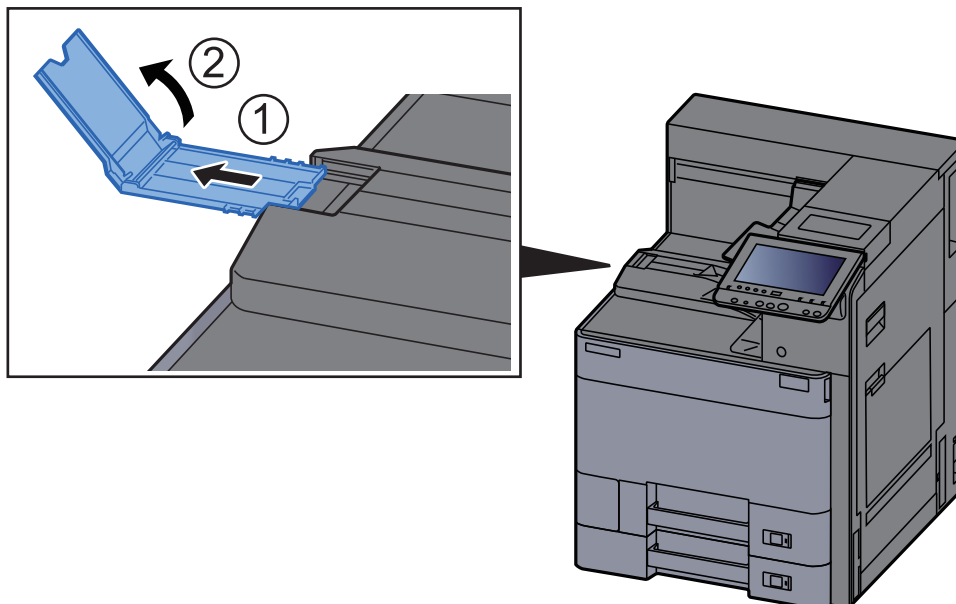
用紙種類を選択します。

➡ [カセット1\(～5\) \(8-6ページ\)](#)

用紙を排出するときの留意点

排紙ストッパー

A3/Leger以上の用紙を使用するときは、排紙ストッパーを図のように開いてください。

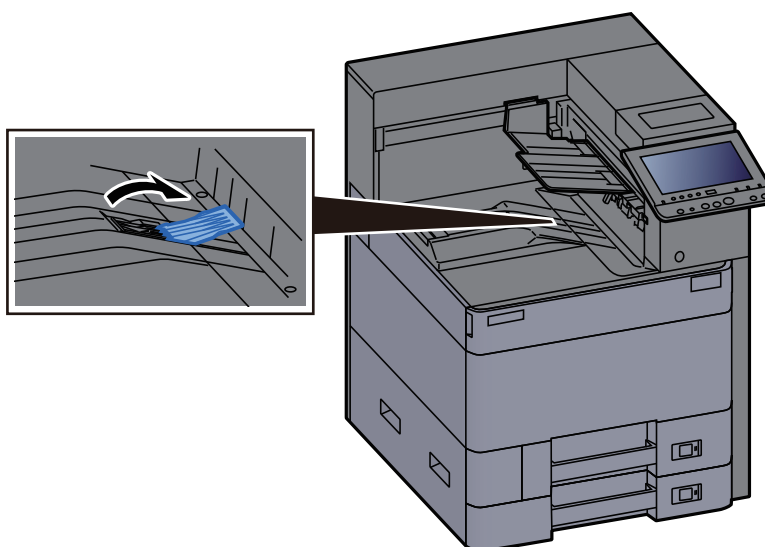


参考

ジョブセパレータートレイから排出する場合も、必要に応じてジョブセパレータートレイの排紙ストッパーを開いてください。

封筒ガイド

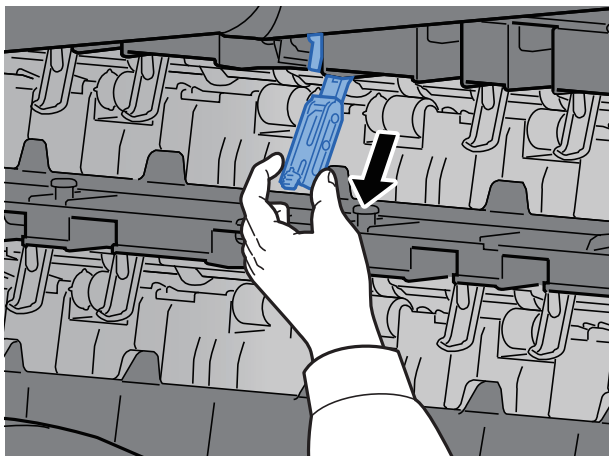
封筒を使用するときは、封筒ガイドを図のように開いてください。



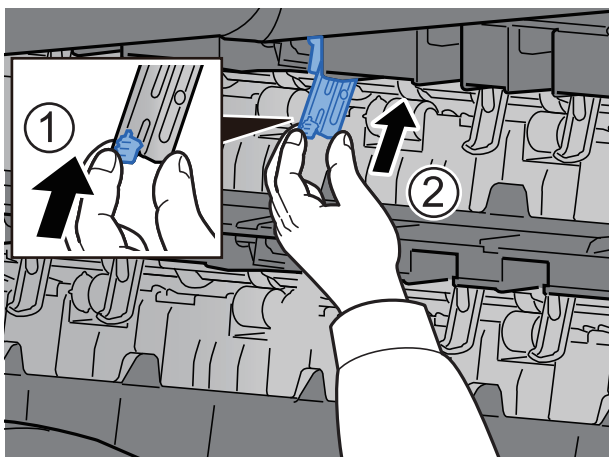
排紙容量調整レバー

ジョブセパレーターに排出された用紙のカールが大きい場合は、図のように排紙容量調整レバーを伸ばしてください。

排紙容量調整レバーを伸ばす場合



排紙容量調整レバーを元に戻す場合



写真やイラスト画像排出時の留意点

メイントレイに写真やイラスト画像を大量に排出する場合は、あらかじめメイントレイの封筒ガイドを開いてから、排紙容量調整レバーを伸ばしてください。

☑ 重要

排出直後の用紙を大量に積み重ねて保管すると、余熱により用紙同士が張り付いてしまう場合があります。排出した用紙を積み重ねる前に、十分にさばいてください。

4 パソコンからの印刷

この章では、次の項目について説明します。

プリンタードライバーのプロパティ画面	4-2
プリンタードライバーのヘルプを表示する	4-3
プリンタードライバーの初期設定値を変更する (Windows 8.1の場合)	4-3
パソコンから印刷する	4-4
定形サイズ of 用紙に印刷する	4-4
不定形サイズ of 用紙に印刷する	4-6
バナー用紙に印刷する	4-9
パソコンで印刷を中止する	4-15
携帯端末から印刷する	4-16
AirPrintで印刷	4-16
Google Cloud Printで印刷	4-16
Mopriaで印刷	4-16
Wi-Fi Directで印刷	4-17
NFCで印刷	4-17
本体に保存したデータを印刷する	4-18
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する	4-18
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	4-19
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する	4-19
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する	4-20
ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する	4-20
クイックコピーボックスからジョブを印刷する	4-21
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する	4-21
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	4-22
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する	4-22
本機の状態をパソコンから確認するには (ステータスマニター)	4-23
ステータスマニターを起動する	4-23
ステータスマニターを終了する	4-23
Quick View State	4-23
印刷情報アイコンタブ	4-24
用紙情報アイコンタブ	4-24
トナー情報アイコンタブ	4-24
アラート情報アイコンタブ	4-25
ステータスマニターコンテキストメニュー	4-25
ステータスマニターの通知機能を設定する	4-26

プリンタードライバーのプロパティ画面

プリンタードライバーのプロパティ画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。

➡ プリンタードライバー操作手順書

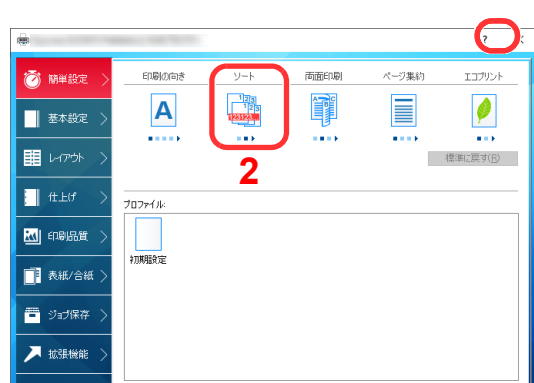


No.	説明
1	【簡単設定】タブ よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックすることにより印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。  【基本設定】タブ よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや排紙先、両面印刷の設定ができます。 【レイアウト】タブ ブックレット印刷、ページ集約、ポスター印刷、変倍などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができます。 【仕上げ】タブ とじ方向やステープルなど、印刷した用紙の仕上げに関する設定ができます。 【印刷品質】タブ 印刷結果の品質に関する設定ができます。 【表紙/合紙】タブ 印刷ジョブ用に表紙や合紙を作成したり、OHPフィルムの上に合紙を挿入できます。 【ジョブ保存】タブ 印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的に使う文書などを本機に保存しておくと簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を印刷する際などにも便利です。 【拡張機能】タブ 印刷データにテキストページやウォーターマーク(すかし文字)を付加するための設定ができます。

No.	説明
2	[プロファイル] プリンタードライバーの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておく便利です。
3	[標準に戻す] クリックすると設定内容を初期値に戻すことができます。

プリンタードライバーのヘルプを表示する

プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。



- 1 設定画面右上の[?]ボタンをクリックします。
- 2 知りたい設定項目をクリックします。



参考

知りたい設定項目をクリックした後、キーボードの[F1]キーを押した場合もヘルプを表示することができます。

プリンタードライバーの初期設定値を変更する(Windows 8.1の場合)

プリンタードライバーの初期設定値は変更することができます。よく使う機能を設定しておくことで、印刷時の操作を省略することができます。設定項目については、次を参照してください。

▶ プリンタードライバー操作手順書

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]をクリックする
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックする
- 3 [全般]タブの[基本設定]ボタンをクリックする
- 4 初期設定値を設定し、[OK]ボタンをクリックする

パソコンから印刷する

ここではKXドライバーを使用して印刷する方法について説明します。

参考

- パソコンで作成した文書を本機で印刷するには、DVD (Product Library) を使って、パソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。
- お使いのディスプレイの解像度によっては、プリンタードライバーの下部に現在の設定値が表示されることがあります。



- はがきや封筒を印刷する場合は、本機の手差しトレイにはがきや封筒をセットしてから操作を行ってください。

➔ [はがき、封筒をセットする \(5-4ページ\)](#)

定形サイズ of 用紙に印刷する

本機 of 出力用紙サイズにある用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバー of 印刷設定画面にある【基本設定】タブで用紙サイズを選択します。

参考

本機 of 操作パネルから、印刷する用紙 of サイズと種類を設定してください。

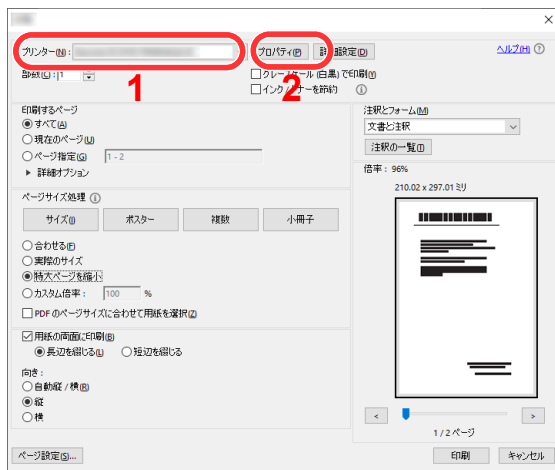
➔ [カセット/手差しトレイ設定 \(8-6ページ\)](#)

1 画面を表示する

【ファイル】をクリックし、【印刷】を選択します。

2 設定する

- 1 「プリンター」メニューから本機を選択し、【プロパティ】ボタンをクリックします。



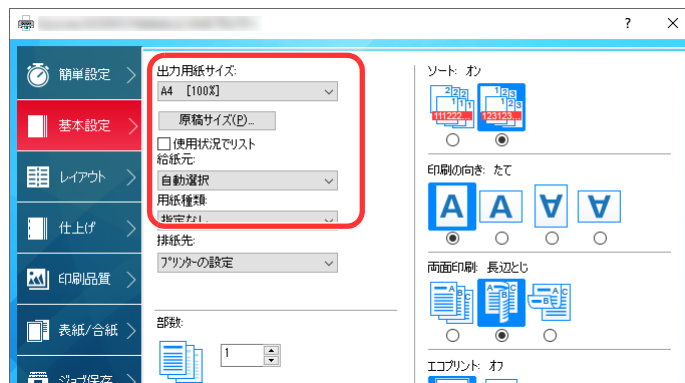
- 2 【基本設定】タブを選択します。

3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、印刷する用紙サイズを選択します。

はがきや封筒など、本機の出力用紙サイズにない用紙サイズをセットしたときは、用紙サイズを登録する必要があります。

➡ [不定形サイズの下紙に印刷する \(4-6ページ\)](#)

厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



4 [OK] ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

3 印刷を開始する

[OK] ボタンをクリックします。

不定形サイズ of 用紙に印刷する

本機 of 出力用紙サイズにはない用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバー of 印刷設定画面にある[基本設定]タブで用紙サイズを登録します。

登録したサイズは、「出力用紙サイズ」メニューから選択できるようになります。



参考

本機 of 操作パネルから、印刷する用紙 of サイズと種類を設定してください。

➔ [カセット/手差しトレイ設定 \(8-6ページ\)](#)

1 画面を表示する

- 1 デスクトップ of チャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンター of 表示]を選択します。



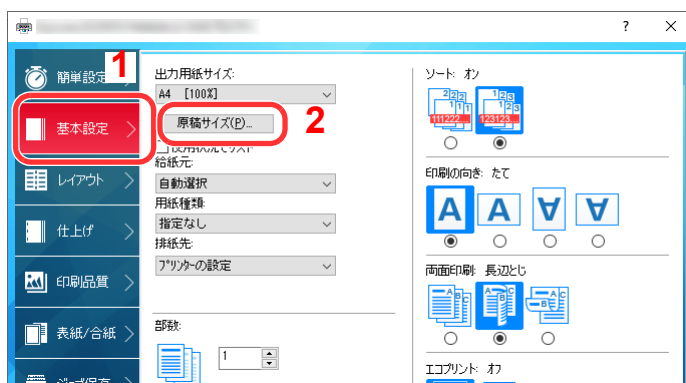
参考

Windows 7 of 場合は[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

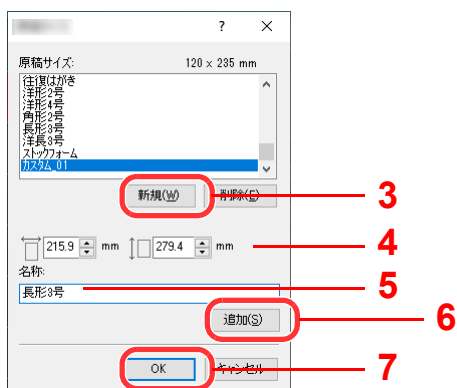
- 2 本機 of プリンタードライバー of アイコンを右クリックして、[プリンター of プロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [全般]タブ of [基本設定]をクリックします。

2 登録する

- 1 [基本設定]タブをクリックします。

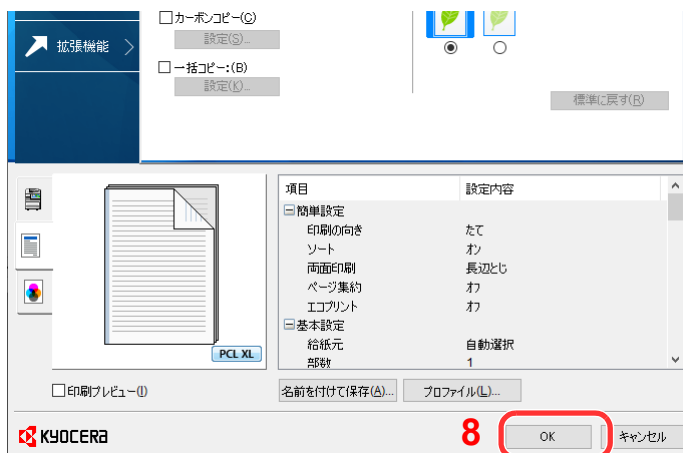


- 2 [原稿サイズ]ボタンをクリックします。
- 3 [新規]ボタンをクリックします。



- 4 用紙サイズを入力します。

- 5 用紙の名前を入力します。
- 6 [追加] ボタンをクリックします。
- 7 [OK] ボタンをクリックします。
- 8 [OK] ボタンをクリックします。

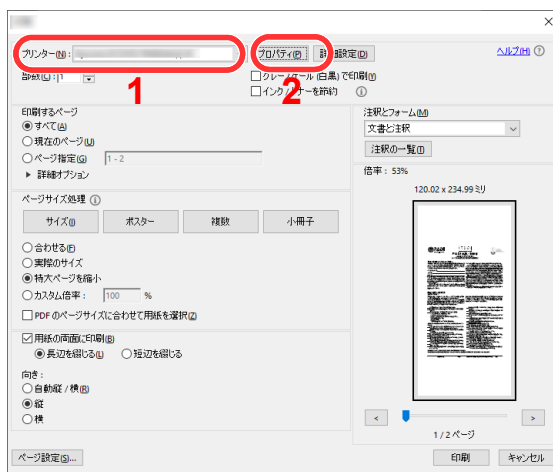


3 印刷設定画面を表示する

[ファイル] をクリックし、[印刷] を選択します。

4 不定形サイズ of 用紙サイズと種類を選択する

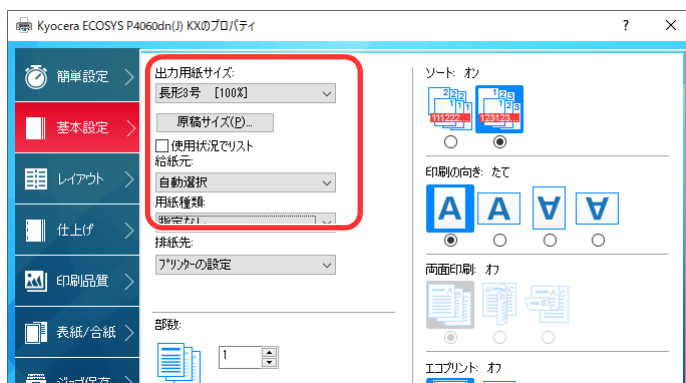
- 1 「プリンター」メニューから本機を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



- 2 [基本設定] タブを選択します。

- 3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、手順2で登録した原稿サイズ(名)を選択します。

厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



参考

はがきまたは封筒をセットした場合は、「用紙種類」メニューで[はがき]または[封筒]を選択してください。

- 4 「給紙元」メニューで給紙元を選択します。
- 5 [OK]ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

5 印刷を開始する

[OK]ボタンをクリックします。

バナー用紙に印刷する

長さ470.1 mm以上(18.5"以上)、最大1,220 mm(48")までの用紙サイズを指定して印刷すると、バナー印刷として扱われます。

最大セット枚数	1枚(手差しトレイ)、10枚(オプションのバナートレイ装着時*)
用紙幅	210 mm～304.8 mm(8.26"～12")
用紙長	470.1 mm～1,220 mm(18.5"～48")
使用用紙ペーパー紙厚	136～163 g/m ²
用紙種類	重い2

* バナートレイ(オプション)を使用すると、バナー用紙を10枚まで連続給紙できます。詳しくは次を参照してください。

➔ [バナートレイ\(オプション\)を使用する \(4-12ページ\)](#)

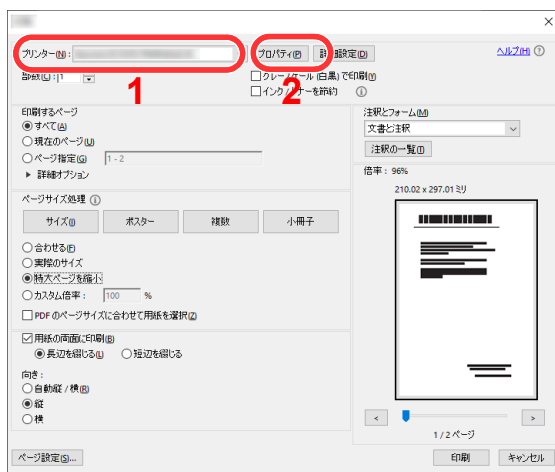
手差しトレイを使用する

1 画面を表示する

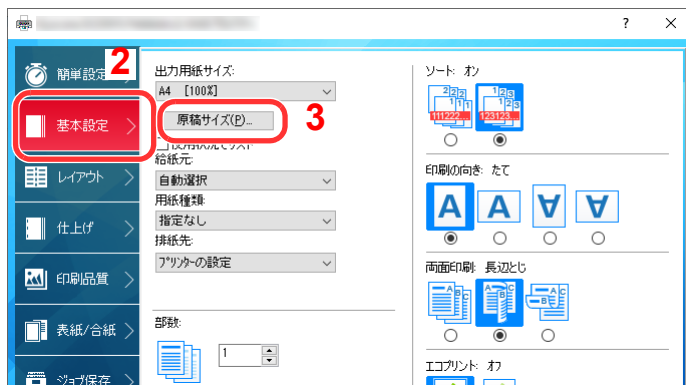
[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択します。

2 原稿サイズの登録画面を表示する

1 「名前」メニューから本機を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

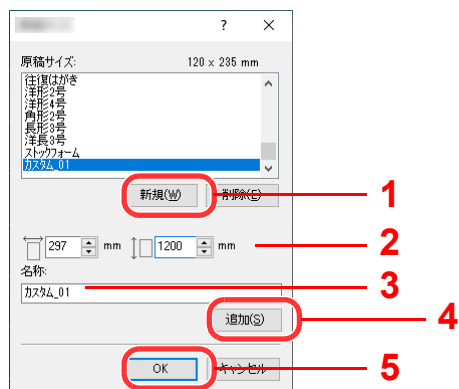


2 [基本設定]タブを選択します。



3 [原稿サイズ]を選択します。

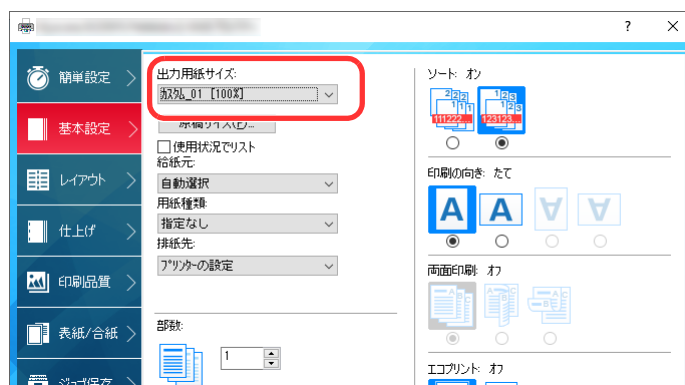
3 原稿サイズを登録する



- 1 [新規] ボタンをクリックします。
- 2 登録するカスタム用紙の長さ (470.1 mm以上) および幅を入力します。
- 3 用紙の名前を入力します。
- 4 [追加] ボタンをクリックします。
- 5 [OK] ボタンをクリックします。

4 出力用紙サイズを設定する

- 1 「出力用紙サイズ」メニューで、登録した原稿サイズ (名) を選択します。



- 2 [OK] ボタンをクリックします。



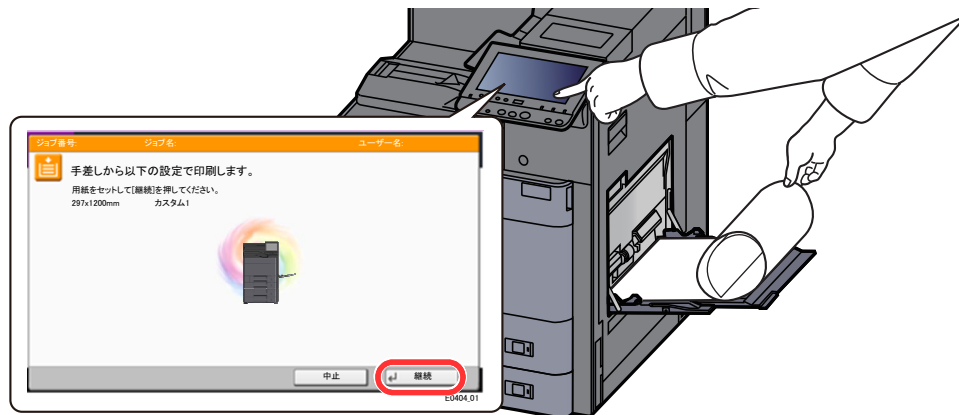
参考

プリンタードライバーの「PDL」設定をKPDLで使用する場合は、長さを470.5 mm以上 (18.53"以上) に設定すると、バナー印刷として扱われます。

5 印刷する

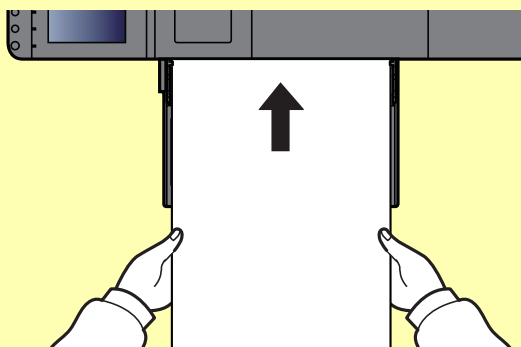
[OK]ボタンをクリックします。

印刷を実行すると、本機の操作パネルにメッセージが表示されるので、手差しトレイに用紙をセットし、落ちないように支えたまま[継続]を選択してください。[中止]を選択すると印刷は中止されます。

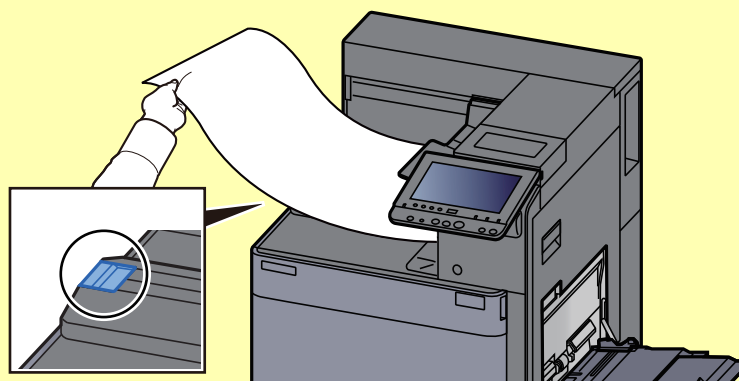


❑ 重要

- メールボックス(オプション)など、バナー用紙の排紙先として指定できないトレイをプリンタードライバーで選択している場合は、自動的に排紙可能なトレイに変更されます。
- [継続]を選択した後は、用紙が正しく給紙されるように、用紙を両手で支えてください。



- 排紙が始まったら、トレイから落ちないように用紙を受けてください。メイントレイに排紙される場合は、排紙ストッパーを立てないでください。



複数枚印刷する際に、1枚ごとに確認画面を表示するかどうかを設定できます。

➡ [バナー印刷前の確認 \(8-19ページ\)](#)

バナートレイ(オプション)を使用する

バナートレイ(オプション)を使用すると、バナー用紙を10枚まで連続給紙できます。

プリンタードライバーでバナー用紙を設定する操作手順は、手差しトレイを使用する場合と同じです。

▶ [手差しトレイを使用する \(4-9ページ\)](#)



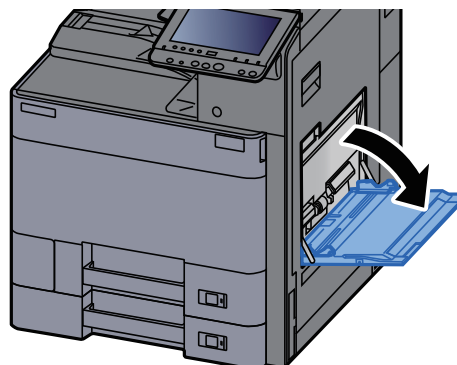
参考

バナートレイにセットできる用紙長は470.1 mm～1,220 mm (18.5"～48")です。

1 手差しトレイを開く

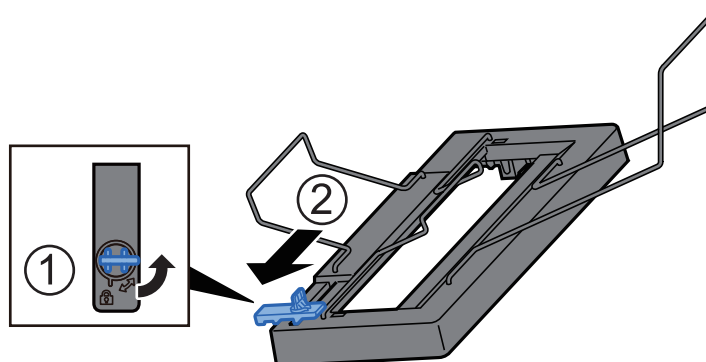
手差しトレイを止まるまで開けます。

手差し補助トレイは伸ばさないでください。

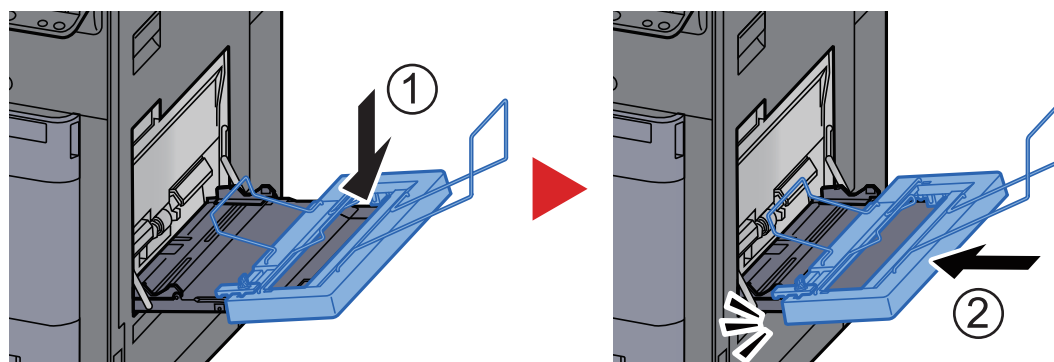


2 バナートレイを取り付ける

1 バナートレイの用紙幅ガイドのロックを解除して最大まで開きます。

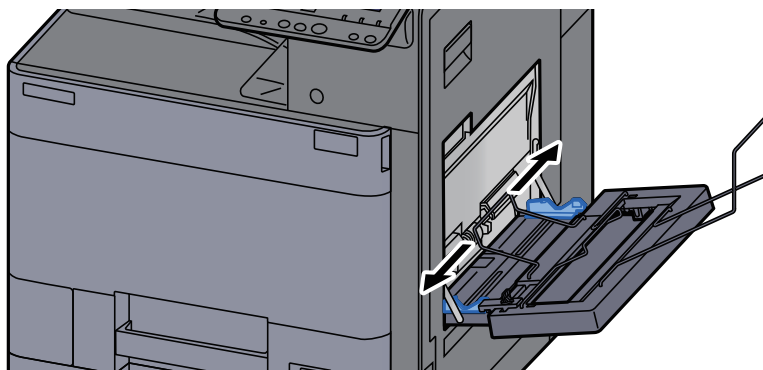


2 手差しトレイにバナートレイを取り付けます。



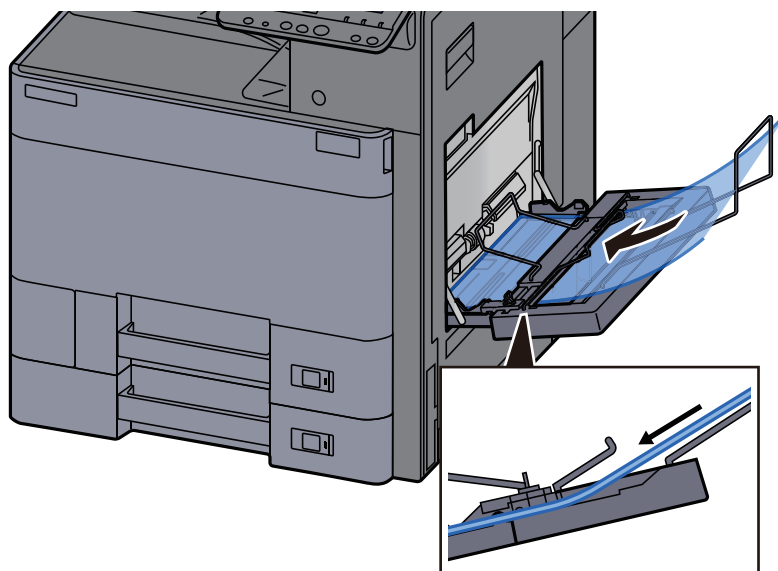
3 用紙をセットする

- 1 手差しトレイの用紙幅ガイドを最大まで開きます。

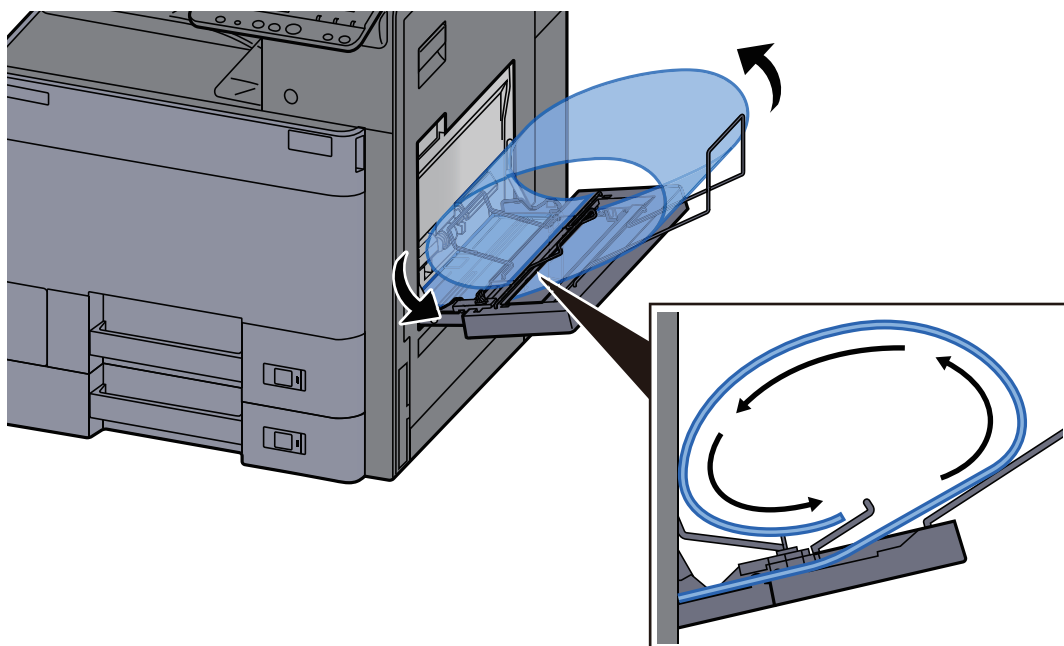


手差しトレイの用紙幅ガイドよりも、バナー用紙の用紙幅ガイドが外側になるように取り付けられているか確認してください。

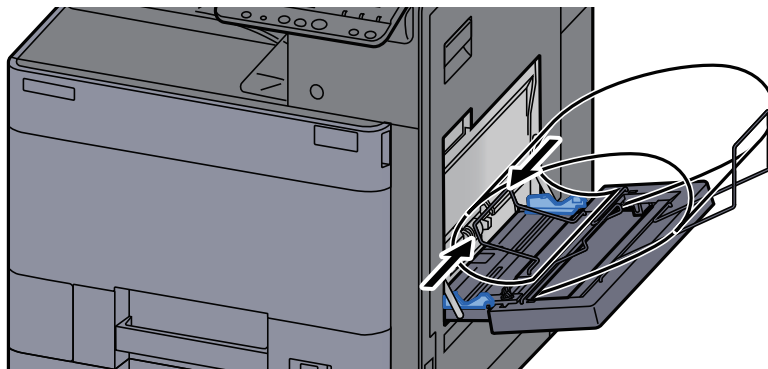
- 2 バナー用紙を、用紙押さえ軸の下を通してセットします。



- 3 バナー用紙を内側に丸めて、用紙の後端を用紙サポートに掛けます。



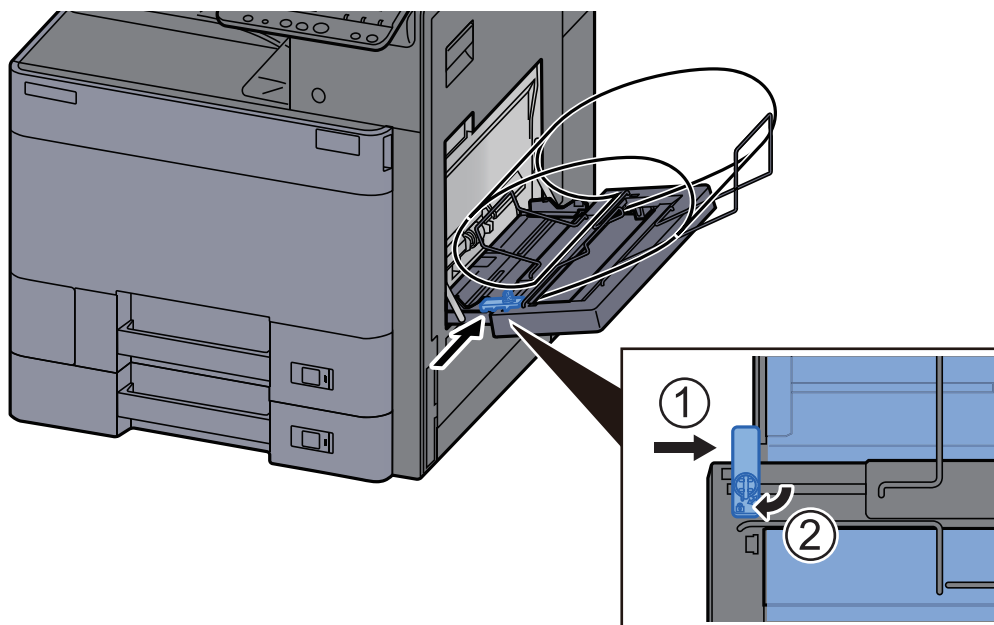
- 4 用紙の幅に用紙幅ガイドを合わせます。



✓ 重要

用紙と用紙幅ガイドの間に隙間があるときは、斜め給紙や紙づまりの原因となりますので、隙間が生じないようにガイドを調整し直してください。

- 5 バナートレイの用紙幅ガイドを手差しトレイの用紙幅ガイドに合わせ、ロックします。



✓ 重要

バナー印刷が終了したとき、およびバナートレイを使用しないときは用紙を取り除いてください。

🔍 参考

バナートレイを取り付けたときは、印刷実行の確認画面が表示されないようにシステムメニューで設定することができます。この設定を行うことで、複数部印刷する際に連続給紙が可能になります。

詳しくは、次を参照してください。

➡ [バナー印刷前の確認 \(8-19ページ\)](#)

パソコンで印刷を中止する

プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。



参考

本機で印刷を中止する場合は、次を参照してください。

➡ [印刷ジョブをキャンセルする \(5-14ページ\)](#)

- 1 Windows画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン()をダブルクリックして、ダイアログボックスを表示する**
- 2 印刷を中止したいファイルをクリックし、「ドキュメント」メニューから[キャンセル]を選択する**

携帯端末から印刷する

本機は、AirPrint、Google Cloud Print、Mopriaに対応しています。

アプリケーションとOSの対応状況によって、機種ごとにプリンタードライバーをインストールしなくても、携帯端末やパソコンから印刷できます。

AirPrintで印刷

AirPrintは、iOS 4.2以降またはMac OS X 10.7以降の製品に標準で搭載されている印刷機能です。

AirPrintを使用するには、Command Center RXでAirPrintが有効に設定されていることを確認してください。

➡ Command Center RX操作手順書



Google Cloud Printで印刷

Google Cloud Printは、Google社が提供するプリントサービスです。Googleアカウントのユーザーがインターネットに接続された機器から印刷できるサービスです。

機器の設定はCommand Center RXで行います。

➡ Command Center RX操作手順書



Google Cloud Printを利用するためには、Googleアカウントが必要です。お持ちでない場合は、Googleアカウントを取得してください。

またGoogle Cloud Printサービスに、機器を事前に登録する必要があります。機器の登録は、同じネットワークに接続されているパソコンで行います。

Mopriaで印刷

Mopria(モプリア)は、Android 4.4以降でサポートが開始された印刷機能の規格です。事前にMopria Print Serviceがインストールされ、有効化されている必要があります。

詳しい使用方法については、Mopria AllianceのWebサイトを参照してください。



Wi-Fi Directで印刷

Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceが定めた無線LAN規格です。無線LANの機能の一つで、無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを介さずに、機器同士が一对一で直接通信できます。

Wi-Fi Directで印刷する手順は、通常の携帯端末からの手順と同じです。

プリンタープロパティのポート指定でプリンター名またはBonjour名を使用する場合は、Wi-Fi Direct接続時でもその名称を指定して印刷できます。

ポートにIPアドレスを使用する場合は、本体側のIPアドレスを指定してください。

NFCで印刷

Wi-FiおよびWi-Fi Directがあらかじめ設定されている場合は、NFCタグをタップするだけで本機と携帯端末とのネットワークが接続されます。

- ➡ [ワイヤレスネットワークを設定する \(2-27ページ\)](#)
- ➡ [Wi-Fi Directを設定する \(2-31ページ\)](#)

本体に保存したデータを印刷する

ジョブボックスを使用して本機に印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。

プリンタードライバーの[ジョブ保存]タブで設定を行い印刷すると、ジョブボックス(メモリー)に印刷データが保存され、本体側の操作で印刷を実行することができます。

ジョブボックスを使用するときは、次の流れで操作してください。

パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する。(4-18ページ)



操作パネルからボックス内のファイルを指定して印刷する。

次のボックスから印刷できます。

- ➡ プライベートプリントボックス (4-19ページ)
- ➡ ジョブ保留ボックス (4-20ページ)
- ➡ クイックコピーボックス (4-21ページ)
- ➡ 試し刷り後保留ボックス (4-22ページ)

パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する

- 1** アプリケーションソフトの[ファイル]をクリックし、[印刷]を選ぶ
印刷ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 名前の[▼]ボタンをクリックして、リストから本機を選択する
- 3** [プロパティ]ボタンをクリックする
プロパティダイアログボックスが表示されます。
- 4** [ジョブ保存]タブをクリックし、[ジョブ拡張機能]のチェックボックスにチェックを入れて機能を設定する



参考

プリンタードライバーの操作方法は、次を参照してください。

- ➡ プリンタードライバー操作手順書

プライベートプリントボックスからジョブを印刷する

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバで4桁のアクセスコードを指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでアクセスコードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源スイッチを切ったとき、データは消去されます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留] > [開く]
- 3 文書を作成したユーザーを選択 > [開く]

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 アクセスコードを入力します。
- 3 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 4 [印刷開始]を選択します。
印刷を開始します。
印刷が終了すると、プライベートプリントのデータは自動で消去されます。

プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留] > [開く]
- 3 文書を作成したユーザーを選択 > [開く]

2 文書を削除する

削除する文書を選択 > [削除] > アクセスコードを入力



文書が削除されます。

ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する

ジョブ保留は、アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します。必要に応じて、アクセスコードを設定することができます。アクセスコードを設定した場合は、印刷時にアクセスコードを入力してください。印刷データは、印刷後本機の内部メモリーに保存されます。繰り返し同じデータを印刷することができます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留] > [開く]
- 3 文書を作成したユーザーを選択 > [開く]

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [印刷開始]を選択します。
印刷を開始します。



参考

文書にアクセスコードを設定している場合は、アクセスコードの入力画面が表示されます。テンキーでアクセスコードを入力してください。

ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留] > [開く]
- 3 文書を作成したユーザーを選択 > [開く]

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択 > [削除]
- 2 文書にアクセスコードを設定している場合は、コードを入力します。
文書が削除されます。

クイックコピーボックスからジョブを印刷する

クイックコピーは、一度印刷した文書を追加印刷する機能です。パソコンからクイックコピーを有効にして文書を印刷すると、同時に印刷データがこのボックスに保存されます。再度印刷が必要になったときに、タッチパネルの操作で印刷することができます。保存できる最大文書数は、工場出荷時は32件です。データは電源スイッチを切ると消去されます。



参考

- 最大文書数を超えて文書を保存すると、古い文書から順に新しい文書が上書きされます。
- ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。

➔ [クイックコピージョブ保持数 \(8-21ページ\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留] > [開く]
- 3 文書を作成したユーザーを選択 > [開く]

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [印刷開始]を選択します。
印刷を開始します。

クイックコピーボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留] > [開く]
- 3 文書を作成したユーザーを選択 > [開く]

2 文書を削除する

- 削除する文書を選択 > [削除] > [はい]
文書が削除されます。

試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、タッチパネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留] > [開く]
- 3 文書を作成したユーザーを選択 > [開く]

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [印刷開始]を選択します。
印刷を開始します。

試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留] > [開く]
- 3 文書を作成したユーザーを選択 > [開く]

2 文書を削除する

- 削除する文書を選択 > [削除] > [はい]
- 文書が削除されます。

本機の状態をパソコンから確認するには(ステータスマニター)

ステータスマニターは、プリンターの状態を監視し、報告する機能を備えています。



参考

ステータスマニターを起動する場合は、以下の内容を確認してください。

- KX Driverがインストールされている。
- [Enhanced WSD]または[EnhancedWSD(SSL)]が使用可能であること。

➔ [ネットワーク設定 \(8-30ページ\)](#)

ステータスマニターを起動する

印刷を開始すると、同時にステータスマニターも起動します。

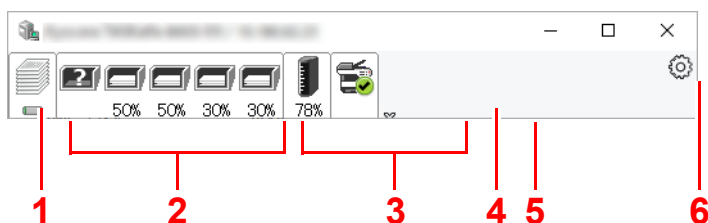
ステータスマニターを終了する

ステータスマニターは、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了:
設定アイコンをクリックしてメニューを表示し、アプリケーションの終了を選択するとステータスマニターが終了します。
- 自動的に終了:
操作を行わない状態で7分経過すると、ステータスマニターが自動的に終了します。

Quick View State

プリンターの状態がアイコンで表示されます。Expandボタンをクリックすると詳細情報を表示します。

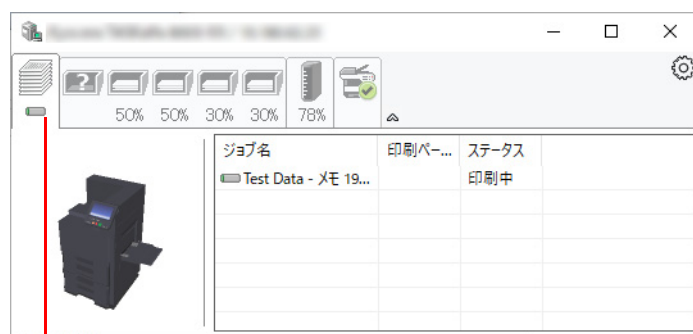


- 1 印刷情報アイコンタブ
- 2 用紙情報アイコンタブ
- 3 トナー情報アイコンタブ
- 4 アラート情報アイコンタブ
- 5 Expandボタン
- 6 設定アイコン

各アイコンタブをクリックすると、各詳細情報が表示されます。

印刷情報アイコンタブ

印刷ジョブの状況が表示されます。



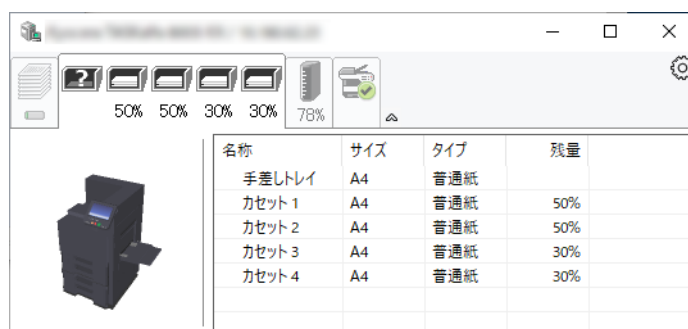
1 ステータスアイコン

2 ジョブリスト

ジョブリストでジョブを選択し、右クリックで表示されるメニューでキャンセルできます。

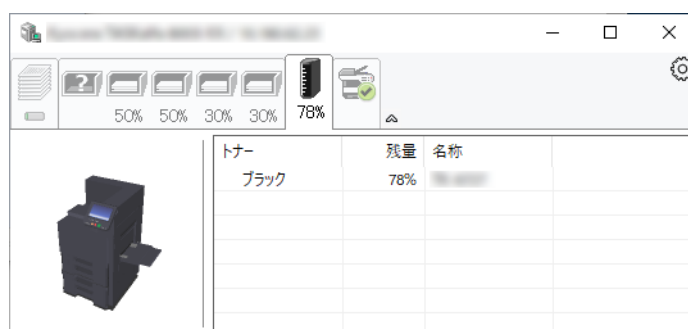
用紙情報アイコンタブ

プリンターにセットされている用紙の情報と用紙残量が表示されます。



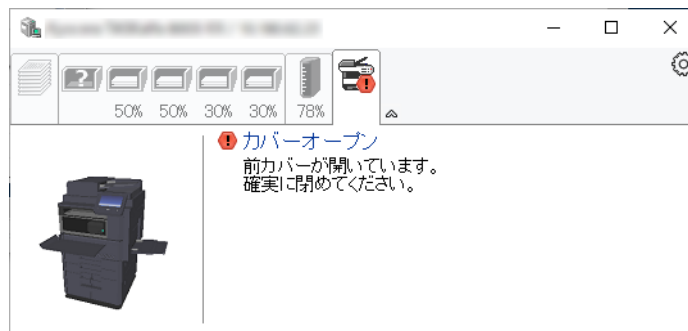
トナー情報アイコンタブ

トナー残量が表示されます。



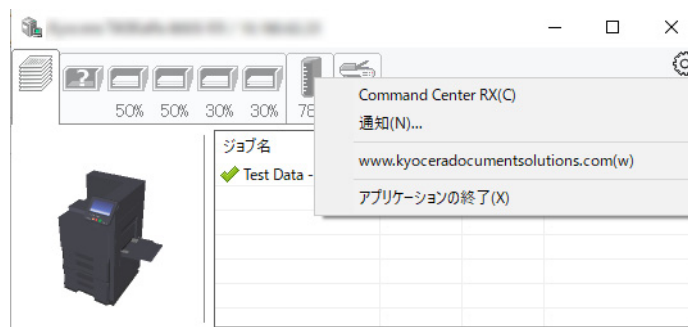
アラート情報アイコンタブ

エラーが発生した場合、3Dイメージとメッセージでお知らせが表示されます。



ステータスマニターコンテキストメニュー

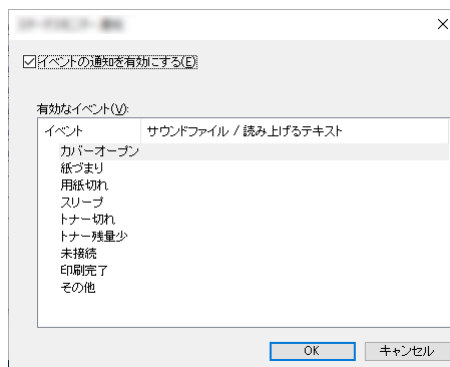
設定アイコンをクリックすると、以下のメニューが表示されます。



- Command Center RX
TCP/IPネットワーク環境で接続し、IPアドレスを所有している場合、Webブラウザを使ってCommand Center RXにアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。このメニューはUSB接続の場合は表示されません。
▶ [Command Center RX操作手順書](#)
- 通知
ステータスマニターの表示の設定を行います。
▶ [ステータスマニターの通知機能を設定する \(4-26ページ\)](#)
- www.kyoceradocumentsolutions.com
弊社のホームページを開きます。
- アプリケーションの終了
ステータスマニターが終了します。

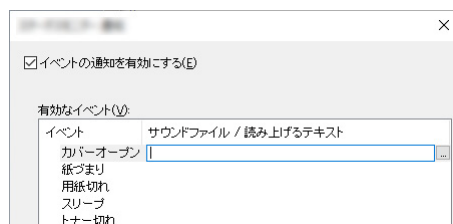
ステータスマニターの通知機能を設定する

ステータスマニターの設定とイベントリストの内容が表示されます。



イベントリストに該当するエラーが発生した場合、通知を行うかどうかを設定します。

- 1 イベントの通知を有効にするを選択します。**
この設定をオフにすると、印刷を実行しても、ステータスマニターが起動しません。
- 2 有効なイベントリストから音声で通知するイベントを選択します。**
- 3 サウンドファイル/読み上げるテキスト欄をクリックします。**
ブラウズ(...) ボタンをクリックして、ファイルを指定します。



参考

使用できるファイルの形式はWAVファイルです。

画面に読み上げるテキストを作成する場合は、テキストボックスにテキストを入力してください。

5 本体側の操作

この章では、次の項目について説明します。

手差しトレイに用紙をセットする	5-2
よく使う機能呼び出す(プログラム)	5-6
プログラムを登録する	5-6
プログラムを呼び出す	5-7
プログラムを編集する	5-7
プログラムを削除する	5-8
アプリケーションとは	5-9
アプリケーションをインストールする	5-9
アプリケーションを起動する	5-10
アプリケーションを停止する	5-11
アプリケーションをアンインストールする	5-11
よく使う機能を登録する(ショートカット登録)	5-12
ショートカットを登録する	5-12
ショートカットを削除する	5-13
ショートカットを削除する	5-13
印刷ジョブをキャンセルする	5-14
文書ボックスを使用する	5-15
ユーザーボックスとは	5-15
ジョブボックスとは	5-15
外部メモリーボックスとは	5-15
文書ボックスの基本操作	5-16
ユーザーボックスを作成する(新規作成)	5-20
ボックスを編集する	5-21
ボックスを削除する	5-22
ユーザーボックスに印刷データを保存する	5-22
ユーザーボックス内の文書を印刷する	5-23
ユーザーボックス内の文書を移動する	5-24
ユーザーボックス内の文書を削除する	5-24
USBメモリーの操作	5-25
USBメモリー内のデータを印刷する	5-25
USBメモリー情報を確認する	5-26
USBメモリーを取り外す	5-26
インターネットブラウザを使用するには	5-27
ブラウザを起動/終了する	5-27
ブラウザ画面の操作について	5-28
マニュアルステープルを使用する	5-29

手差しトレイに用紙をセットする

セットできる用紙サイズの詳細については、次を参照してください。

➡ [適正な用紙の選択 \(11-19ページ\)](#)

用紙種類の設定については、次を参照してください。

➡ [用紙種類の設定について \(8-11ページ\)](#)

特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

✓ 重要

- 106 g/m²以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙にして、用紙の重さを使用用紙の重さに合わせて設定してください。
- OHPフィルムは1枚排紙されるごとにメイントレイから取り除いてください。紙づまりの原因となることがあります。

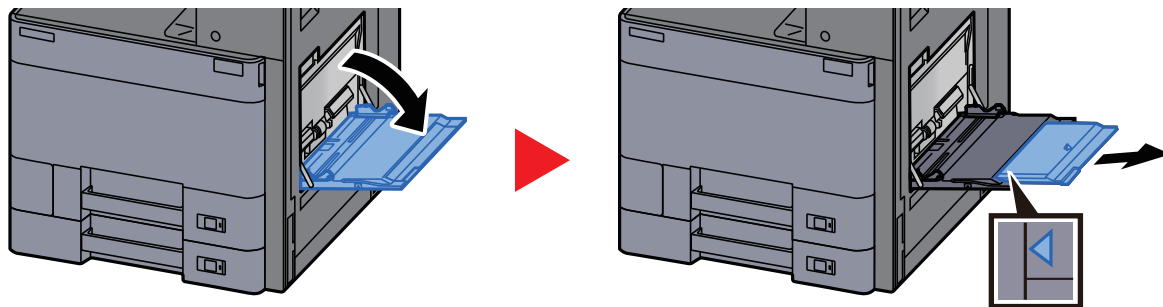
手差しトレイにセットできる用紙種類と枚数は次のとおりです。

- A4以下の普通紙 (80 g/m²)、再生紙、カラー紙: 150枚
- A4より大きいサイズの普通紙 (80 g/m²)、再生紙、カラー紙: 50枚
- 厚紙 (209 g/m²): 10枚
- 厚紙 (157 g/m²): 50枚
- 厚紙 (104.7 g/m²): 50枚
- はがき: 30枚
- Envelope DL、Envelope C5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6 3/4、Envelope Monarch、洋形4号、洋形2号: 10枚
- OHP フィルム: 10枚
- 加工紙: 10枚
- バナー用紙 (長さが470.1~1,220 mm): 1枚 (バナートレイ (オプション) 装着時: 10枚)
- インデックス紙: 15枚

💡 参考

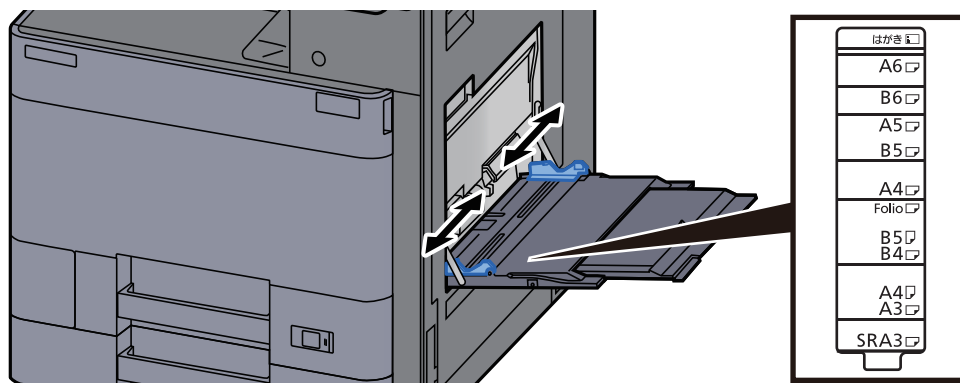
- 不定形サイズの用紙をセットするときは、用紙のサイズを入力してください。
 - ➡ [カセット/手差しトレイ設定 \(8-6ページ\)](#)
- OHPフィルムや厚紙などの特殊紙を使用するときは、用紙種類を設定してください。
 - ➡ [手差しトレイ \(8-7ページ\)](#)
- 用紙サイズを自動で検知できます。次を参照してください。
 - ➡ [用紙選択 \(6-5ページ\)](#)
 - ➡ [手差しトレイ \(8-7ページ\)](#)

1 手差しトレイを開ける



2 手差しトレイのサイズを調整する

用紙サイズは手差しトレイに表示されています。



3 用紙をセットする



用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。

包装紙から出した用紙は、セットする前にさばいてください。

➡ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-2ページ\)](#)

ⓧ 重要

- 印刷する面を下にしてください。
- 反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。
- 手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙と合わせてさばいてから再度補給してください。
- 用紙と用紙ガイドの間に隙間があるときは、斜め給紙や紙づまりの原因となりますので、隙間が生じないようにガイドを調整し直してください。
- 用紙の量は、収納上限を示す用紙上限表示以下にしてください。

4 手差しトレイにセットする用紙を操作パネルで設定する

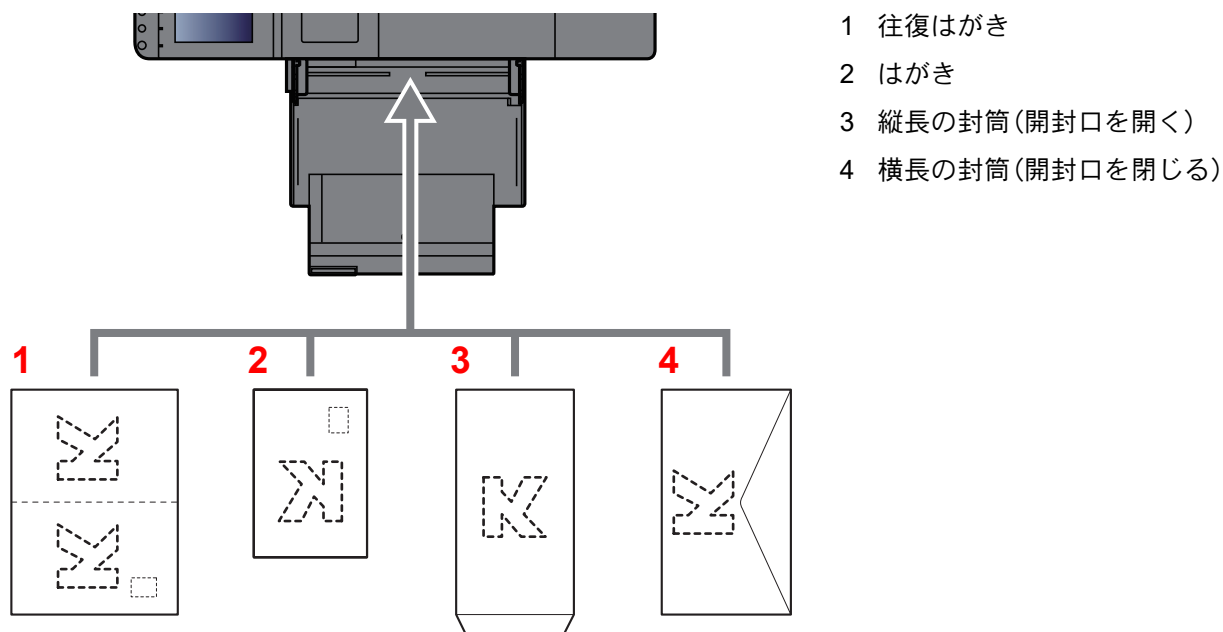
➡ [手差しトレイ \(8-7ページ\)](#)

はがき、封筒をセットする

印刷する面を下にしてセットします。印刷のしかたについては、次を参照してください。

➡ [プリンタードライバー操作手順書](#)

例) 宛名を印刷する場合

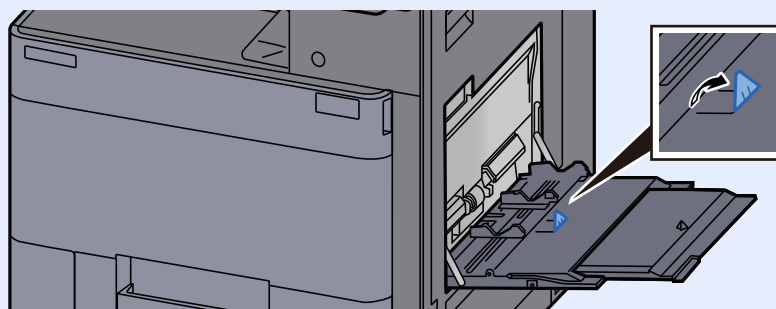


☑ 重要

- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- 封筒のセットのしかた (向き、裏表) は、封筒の種類によって異なります。正しくセットしないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

💡 参考

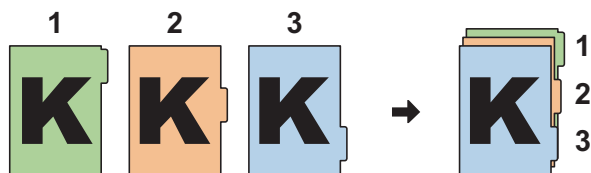
- 手差しトレイに封筒をセットするときは、封筒の種類を設定してください。
➡ [手差しトレイ \(8-7ページ\)](#)
- 手差しトレイにA6サイズの手紙またははがきをセットするときは、ストッパーを立ててください。



インデックス紙をセットするとき

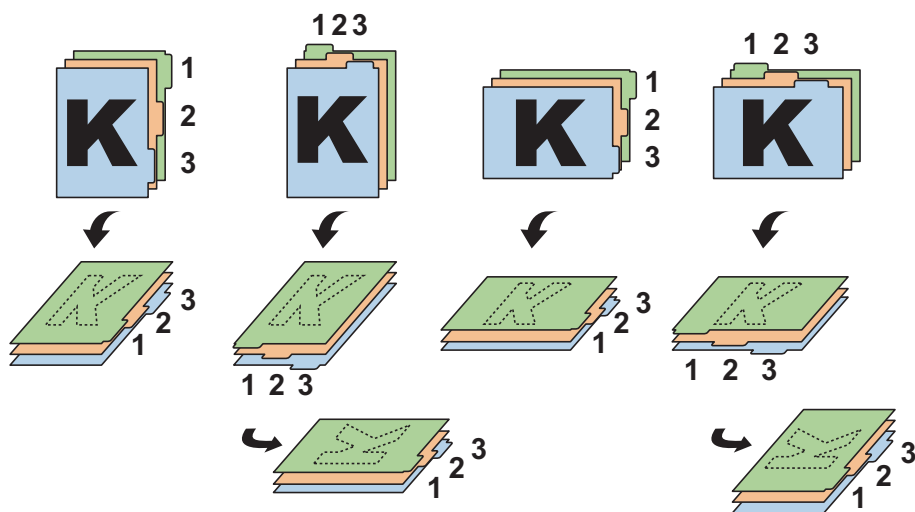
1 用紙を準備する

1ページ目が後ろになるように用紙の順番を並べ替えます。



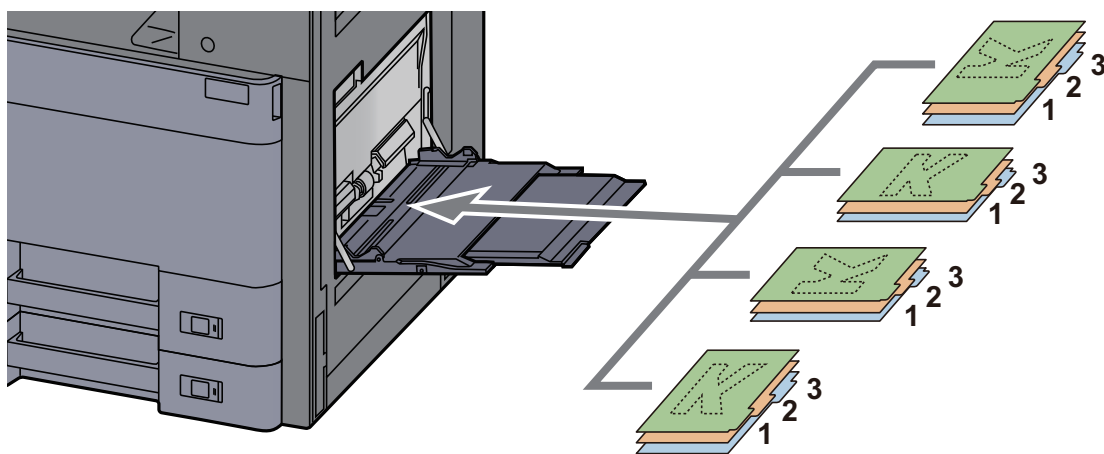
2 用紙の向きを合わせる

印刷する面を下にして、タブが給紙方向の後ろ側になるように向きを合わせます。



3 用紙をセットする

トレイに用紙をセットします。



印刷のしかたについては次を参照してください。

➡ プリンタードライバー操作手順書

セットできるインデックス紙の仕様は次のとおりです。

項目	仕様	項目	仕様
用紙サイズ	A4/Letter	タブ数	1～15個
用紙重量	136～256 g/m ²	タブ長さ	最大30 mm

よく使う機能呼び出す(プログラム)

よく使う機能をプログラムに登録して、簡単に呼び出すことができます。



参考

- 50件までプログラムに登録できます。
- ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると登録できます。

プログラムに登録する

ここではユーザーボックス内の文書を印刷する場合を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- 2 印刷したい文書が入っているボックスを選択します。



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

- 3 [開く]を選択します。
- 4 リストの中から、チェックボックスを選択して印刷する文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークが付きます。



参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 5 [印刷]を選択します。
- 6 用紙の選択や片面/両面印刷などを設定した状態で、[プログラム]タブを選択します。

2 プログラムに登録する

- 1 [新規登録] > 登録するプログラム番号(01~50)を選択 > [次へ]



参考

すでに登録されているプログラム番号を選択すると、現在登録されている機能を置き換えることができます。

- 2 プログラム名を入力 > [登録]
プログラムが登録されます。
登録したプログラムをホーム画面に表示させたい場合は、表示される確認画面で[はい]を選択して、手順2-3に進んでください。
- 3 登録されたプログラムのアイコンを表示させたい位置を指定します。
- 4 [登録]を選択します。

プログラムを呼び出す

1 プログラムを呼び出す

- 1 ホーム画面の[プログラム]または登録しているプログラムのキーを選択します。
登録しているプログラムのキーを選択するとプログラムが呼び出されます。[プログラム]を選択した場合は、次の手順に進んでください。
- 2 呼び出すプログラムのキーを選択します。
[番号]またはテンキーの短縮キーを選択すると、プログラム番号(01~50)を直接入力して呼び出すことができます。

参考

- プログラムが呼び出せない場合は、プログラムの中で指定されている文書ボックスやイメージ合成のフォームが削除されている可能性があります。文書ボックスを確認してください。
- ユーザーボックス内の文書を印刷する機能を登録している場合は、印刷する文書を選択する画面が表示されます。文書を選択して[OK]を選択してください。

2 プログラムを実行する

[スタート]キーを押します。

参考

各機能で[プログラム]タブを選択すると、その機能で登録したプログラムを呼び出すことができます。

プログラムを編集する

プログラム番号やプログラム名を変更できます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [プログラム]
- 2 [編集]を選択します。

2 プログラムを編集する

- 1 変更したいプログラム番号(01~50)のキーを選択します。
- 2 [編集]を選択して、プログラム番号とプログラム名を変更します。
➡ [プログラムを登録する \(5-6ページ\)](#)
- 3 [登録] > [はい]

プログラムを削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [プログラム]
- 2 [編集]を選択します。

2 プログラムを削除する

- 1 削除したいプログラム番号(01～50)のキーを選択します。
- 2 [削除] > [はい]

アプリケーションとは

本機は、アプリケーションをインストールして機能を拡張することができます。

お客様の業務内容に合わせた認証機能などのアプリケーションを提供し、日常の業務をより効率的に行えるようサポートします。

詳細につきましては、販売担当者または購入元にお問い合わせください。

アプリケーションをインストールする

アプリケーションを使用するには、まず本機にアプリケーションをインストールし、その後アプリケーションを起動します。

参考

本機にアプリケーションおよび証明書をインストールできます。なお、アプリケーションの種類によって実行できるアプリケーション数が異なります。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アプリケーション]

参考

- ・ ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名:6000
ログインパスワード:6000
- ・ [レポート印刷]を選択すると、アプリケーションレポートが印刷されます。

2 インストールする

1 [新規追加] > [OK]

2 インストールするアプリケーションが保存されているUSBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。

参考

「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか?」が表示された場合は、[いいえ]を選択してください。

3 インストールするアプリケーションを選択 > [インストール]

[詳細]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

4 確認画面で[はい]を選択します。

アプリケーションのインストールが開始されます。インストールするアプリケーションによっては、インストールに時間がかかる場合があります。

インストールが終了すると、元の画面に戻ります。



参考

- 他のアプリケーションをインストールする場合は、手順2-3～2-4を繰り返してください。
- USBメモリーを取り外す場合は、[メモリー取り外し]を選択し、「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたらUSBメモリーを取り外してください。

アプリケーションを起動する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アプリケーション]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

2 起動する

1 使用するアプリケーションを選択して、[起動]を選択します。

[詳細]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

2 ライセンスキーを入力して、[正規使用]を選択します。

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がない場合があります。ライセンスキーの入力画面が表示されない場合は手順2-3に進んでください。お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[お試し使用]を選択してください。

3 確認画面で[はい]を選択します。



重要

- 日付設定を変更すると、アプリケーションをお試しで使用することができなくなります。
- 起動したアプリケーションのアイコンは、ホーム画面に表示されます。

3 ホーム画面のアプリケーションアイコンを選択して起動する

アプリケーションアイコンを選択します。

アプリケーションが起動します。

アプリケーションを停止する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アプリケーション]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

2 停止する

停止するアプリケーションを選択して、[停止]を選択します。



参考

- ・ 起動済みのアプリケーションを終了する場合は、画面の[×]を選択してください。

- ・ アプリケーションにより、終了の手順が異なる場合があります。

アプリケーションをアンインストールする

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アプリケーション]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

2 削除する

1 削除するアプリケーションを選択 > [削除]

[詳細]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

2 削除の確認画面で[はい]を選択します。

よく使う機能を登録する(ショートカット登録)

よく使う機能を簡単に呼び出せるように、ショートカットとして登録することができます。登録したショートカットキーに表示される機能名は、必要に応じて変更できます。

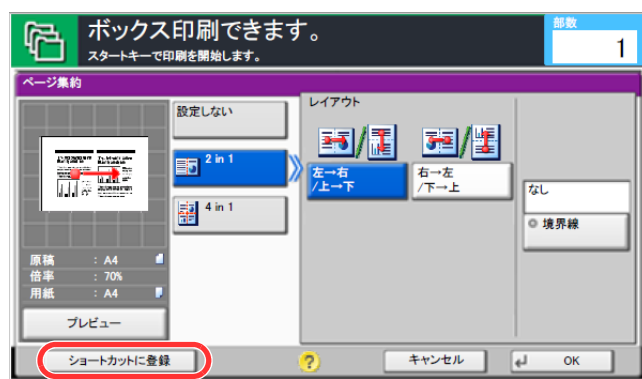
ショートカットを登録する

ショートカットの登録は、各機能の設定画面で行います。画面に[ショートカットに登録]が表示される機能はすべて、ショートカットに登録できます。

1 各機能で、登録したい設定画面を表示する

2 ショートカットを登録する

- 1 登録したい設定を選択します。
- 2 [ショートカットに登録]を選択します。



- 3 登録するショートカット番号(1~6)のキーを選択します。



参考

すでに登録されているショートカット番号を選択すると、新しいショートカットに置き換えることができます。

- 4 名前を入力 > [登録]



登録したショートカットが追加されます。

ショートカットを編集する

- 1** 機能一覧画面で、画面下の[ショートカットに登録]を選択する
- 2** ショートカットを編集する
 - 1** [編集]を選択します。
 - 2** 編集するショートカットを選択します。
 - 3** 「ショートカット番号」[変更]または「ショートカット名」[変更] > 設定を変更 > [OK]
 - 4** [登録] > [はい]

ショートカットを削除する

- 1** 機能一覧画面で、画面下の[ショートカットに登録]を選択する
- 2** ショートカットを削除する
 - 1** [編集]を選択します。
 - 2** 削除するショートカットを選択 > [このショートカットを削除] > [はい]

印刷ジョブをキャンセルする

1 印刷中画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを選択する

2 キャンセルする

印刷を一時停止し、ジョブ中止画面が表示されます。

キャンセルするジョブを選択 > [中止] > [はい]

文書ボックスを使用する

文書ボックスでは、文書を保存して再利用したり、複数のユーザーで文書を共有したりできます。

文書ボックスにはユーザーボックス、ジョブボックス、外部メモリーボックスがあります。

ユーザーボックスとは

文書ボックス内に作成し、再利用するデータを保存するための汎用ボックスです。ユーザーボックス内には、ユーザーがボックスを作成したり削除したりできます。

ユーザーボックスでできる主な作業は次のとおりです。

- ユーザーボックスを作成する
- ユーザーボックス内の文書を印刷する
- ユーザーボックス内の文書を編集する
- ユーザーボックス内の文書を削除する



参考

ユーザーボックスでできる主な作業は、Command Center RXでも行えます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

ジョブボックスとは

「プライベートプリント/ジョブ保留ボックス」、「クイックコピー/試し刷り後保留ボックス」の総称です。（これらのボックスをユーザーが削除したり、新たなボックスを作成したりすることはできません。）



参考

- ジョブボックスの一時保存文書を自動的に消去するように設定できます。

➡ [一時保存文書の自動消去 \(8-21ページ\)](#)

- 「プライベートプリント/ジョブ保留ボックス」、「クイックコピー/試し刷り後保留ボックス」の操作については、次を参照してください。

➡ [本体に保存したデータを印刷する \(4-18ページ\)](#)

外部メモリーボックスとは

USBメモリーを本機のUSBメモリースロットに接続し、保存されているデータを印刷できます。パソコンを使うことなく手軽に印刷できます。

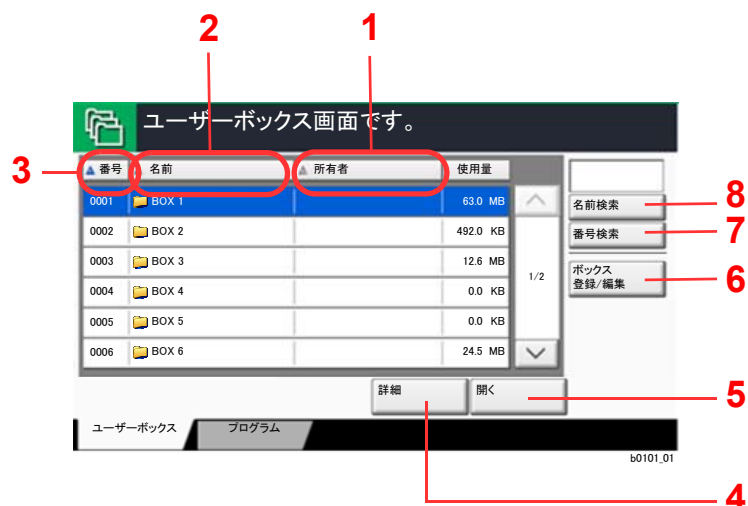
文書ボックスの基本操作

ユーザーボックスで作業を行う場合を例に、文書ボックスの基本操作を説明します。

参考
ここでは、ユーザー管理が無効であるものとして説明します。ユーザー管理が有効の場合の操作については、次を参照してください。

➡ [ボックスを編集する \(5-21ページ\)](#)

ボックス一覧で操作する

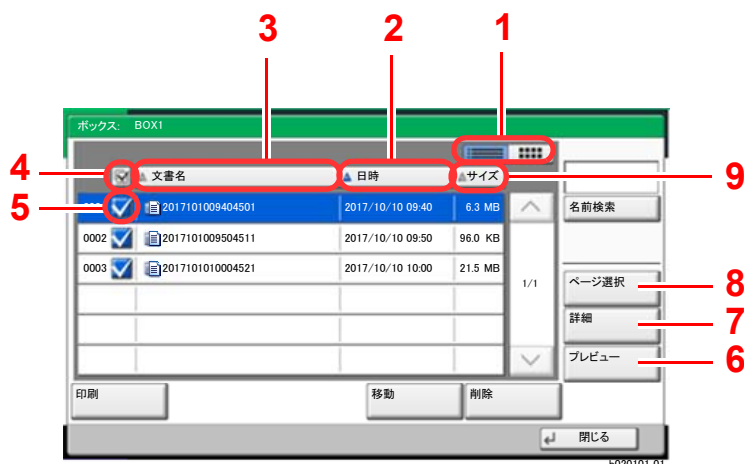


- 1 所有者名の昇順/降順で並べ替えます。
- 2 ボックス名の昇順/降順で並べ替えます。
- 3 ボックス番号の昇順/降順で並べ替えます。
- 4 選択されているボックスの詳細情報が表示されます。
- 5 選択されているボックスを開きます。
- 6 ボックスの新規登録、ボックス情報の確認、変更および削除ができます。
- 7 文書ボックスをボックス番号で検索できます。
- 8 文書ボックスをボックス名で検索できます。

文書一覧で操作する

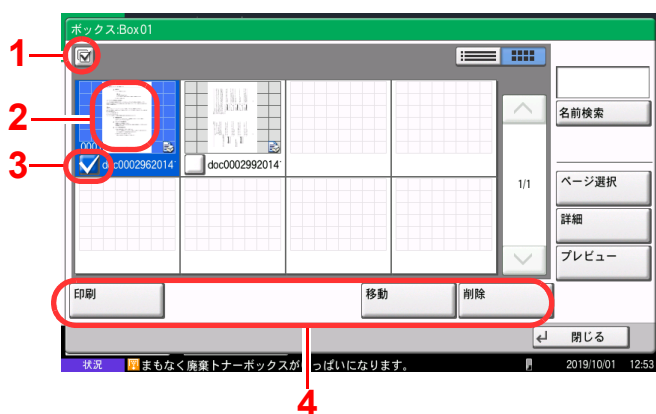
文書一覧は、ユーザーボックスに保存されている文書の一覧です。文書一覧にはリスト表示とサムネイル表示があり、次のような操作ができます。

リスト表示



- 1 リスト表示とサムネイル表示を切り替えます。
- 2 更新日時の昇順/降順で並べ替えます。
- 3 文書名の昇順/降順で並べ替えます。
- 4 複数の文書を一度に選択/選択解除します。
- 5 チェックをつけると選択されます。
- 6 選択されている文書のプレビューが表示されます。
- 7 文書リストで文書を選択し、[詳細]を選択すると、文書の詳細情報を表示することができます。
- 8 文書リストで文書を選択し、[ページ選択]を選択すると、ページを選択して文書を表示することができます。
- 9 文書サイズの昇順/降順で並べ替えます。

サムネイル表示



- 1 複数の文書を一度に選択/選択解除します。
- 2 ここを選択して文書を反転表示させ、[詳細]を選択すると、文書の詳細情報が表示されます。
- 3 チェックをつけると選択されます。
- 4 選択されている文書の印刷、移動および削除ができます。



参考

それぞれの文書のチェックボックスを選択して、複数の文書を選択できます。

ボックス情報を確認する

- 1 ボックス一覧画面で、[ボックス登録 / 編集]を選択する
- 2 ボックス情報を確認するボックスを反転させて、[詳細 / 編集]を選択する



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

3 ボックスの情報を確認する

4 [キャンセル] > [閉じる]

文書ボックスの初期画面に戻ります。

ボックス情報を変更する

1 ボックス一覧画面で、[ボックス登録 / 編集]を選択する

2 ボックス情報を編集するボックスを反転させて、[詳細 / 編集]を選択する



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

3 ボックスの情報を変更する

変更する項目の[変更]を選択し、新しい情報を入力して[OK]を選択してください。

4 情報を変更した場合は[登録]を選択し、確認画面で[はい]を選択する

情報を変更しない場合は、[いいえ]を選択してください。

5 [閉じる]を選択する

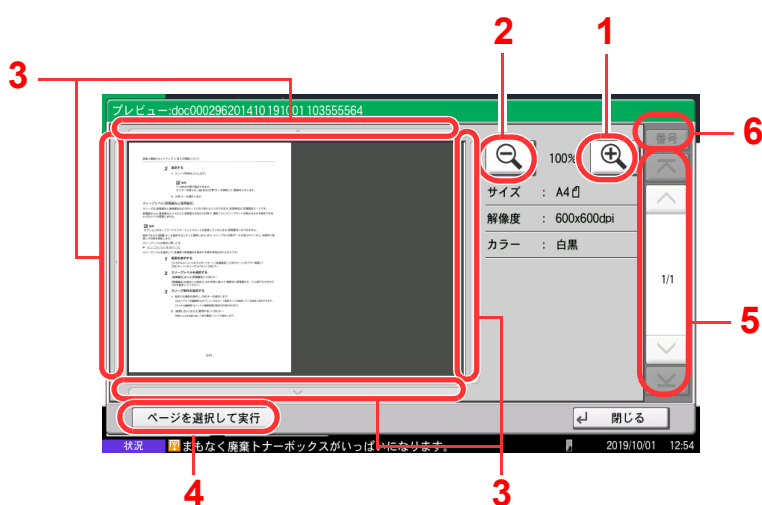
文書ボックスの初期画面に戻ります。

文書のプレビューまたは文書情報を確認する

1 文書一覧画面で、文書を1つ選択し(反転させ)、[プレビュー]または[詳細]を選択する

2 プレビューまたは文書情報を確認する

プレビューの画面では次の操作ができます。



1 拡大します。

2 縮小します。

3 拡大したとき、表示する範囲を移動できます。

4 開いている文書のページを任意で選択して、印刷するときを選択します。

➡ [任意のページを指定する \(5-19ページ\)](#)

5 複数ページあるときは、ページを切り替えることができます。

6 複数ページあるときは、ページ番号を入力して、ページを切り替えることができます。

プレビュー画面が表示されているとき、タッチパネルに触れている指の動きで次のような操作を行うことができます。

機能	説明
ドラッグ機能	タッチパネルをタッチした状態で指をスライドさせることで、表示されているプレビューの位置を移動します。
ピンチイン機能 ピンチアウト機能	2本の指でタッチパネルをタッチした状態で、タッチしている指の間隔を狭めたり広げたりすることで表示の拡大や縮小を行います。

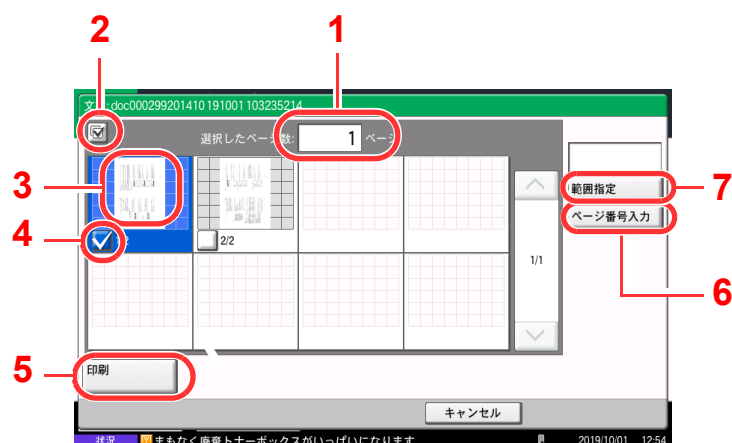
3 内容を確認したら、[閉じる]を選択する

任意のページを指定する

ユーザーボックスの文書を印刷する場合、任意でページを指定することができます。

ユーザーボックスの文書一覧画面で[ページ選択]を選択する、あるいはプレビュー画面で[ページを選択して実行]を選択するとページ選択画面が表示されます。

操作したいページを選択して[印刷]を選択してください。



- 1 選択したページ数を表示します。
- 2 複数の文書を一度に選択/選択解除します。
- 3 文書を選択すると反転表示します。
- 4 チェックをつけると選択されます。
- 5 選択されているページの印刷ができます。
- 6 [ページ番号入力]を選択すると、選択するページを指定できます。
- 7 [範囲指定]を選択すると、選択する範囲を指定できます。

➡ [ユーザーボックス内の文書を印刷する \(5-23ページ\)](#)

➡ [ユーザーボックス内の文書を移動する \(5-24ページ\)](#)

ユーザーボックスを作成する(新規作成)

参考

- ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインする必要があります。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名:6000
ログインパスワード:6000
- ユーザー管理が有効の場合、ユーザー権限では、次の操作ができません。管理者の権限で操作してください。
 - ボックスの作成
 - 所有者が異なるボックスの削除

1 画面を表示する

- [ホーム]キー > [ユーザーボックス] > [ボックス登録/編集]

2 ボックスを登録する

- [新規登録] > 各項目を設定 > [OK]

設定する項目は、次のとおりです。

項目	説明
ボックス番号	[+], [-]またはテンキーで、ボックス番号を入力してください。ボックス番号は0001～1000の範囲で入力できます。同じ番号を複数のボックスにつけることはできません。0000を入力すると、空いている番号のうち最も小さい番号が自動でつけられます。
所有者 ^{*1}	ボックスの所有者を設定します。表示されるユーザーリストから所有者を選択してください。
ボックス名	ボックスの名前を32文字以下で入力してください。 ➡ 文字の入力 (11-8ページ)
使用量制限	ボックスの使用量を制限することができます。使用量を制限する場合は[+]、[-]またはテンキーで制限値(MB)を入力してください。制限値は、作成されているユーザーボックスの数で変わりますが、最大で1～30000(MB)の範囲で入力できます。
ボックスパスワード	ボックスにパスワードをつけて、アクセスできるユーザーを制限することができます。必要に応じて入力してください。[パスワード]と[パスワード(確認)]それぞれに同じパスワードを16文字以下で入力してください。 共有設定で[共有する]を選択した場合に設定できます。
共有設定 ^{*2}	ボックスを共有するかどうかを設定します。
自動文書削除	一定期間後に、保存した文書を自動消去します。自動消去する場合は、[設定する]を選択し、[+]、[-]またはテンキーで、文書を保存する日数を入力してください。1～31(日)の範囲で入力できます。自動消去しない場合は[設定しない]を選択してください。
上書き保存許可	保存されている古い文書に上書きして新しい文書を保存することを許可するかどうかを設定します。上書きする場合[許可する]を選択してください。上書きしない場合[禁止する]を選択してください。

項目	説明
空き容量	ボックスの空き容量が表示されます。
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。文書を削除する場合、[設定する]を選択してください。文書を削除しない場合は[設定しない]を選択してください。

*1 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

*2 「所有者」が[所有者なし]の場合は表示されません。

2 [登録]を選択します。

ボックスが作成されます。

ボックスを編集する

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [ユーザーボックス] > [ボックス登録/編集]

2 ボックスを編集する

ボックスを選択 > [詳細/編集] > 各項目を設定 > [OK]



参考

- ユーザー権限でログインしている場合は、所有者が、ログインしているユーザーに設定されているボックスしか編集できません。
- 管理者の権限でログインしている場合は、すべてのボックスを編集できます。

ユーザー管理が有効の場合、ログインしているユーザーの権限により変更できる項目が異なります。

権限	変更できる機能	権限	変更できる機能
管理者	ボックス番号 所有者 ボックス名 使用量制限 ボックスパスワード 共有設定 自動文書削除 上書き保存許可 印刷後削除	ユーザー	ボックス名 ボックスパスワード 共有設定 自動文書削除 上書き保存許可 印刷後削除

各項目詳細については、次を参照してください。

➡ [ユーザーボックスを作成する\(新規作成\) \(5-20ページ\)](#)

3 [登録] > [閉じる]

文書ボックスの初期画面に戻ります。

ボックスを削除する

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [ユーザーボックス] > [ボックス登録/編集]

2 ボックスを削除する

ボックスを選択 > [削除] > [はい]



参考

- ユーザー権限でログインしている場合は、所有者が、ログインしているユーザーに設定されているボックスしか削除できません。
- 管理者の権限でログインしている場合は、すべてのボックスを削除できます。

ユーザーボックスに印刷データを保存する

ユーザーボックスには、パソコンから送られてきた印刷データが登録されます。パソコン側の印刷操作は、次を参照してください。

▶ プリンタードライバー操作手順書

ユーザーボックス内の文書を印刷する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- 2 印刷したい文書が入っているボックスを選択します。



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

- 3 [開く]を選択します。

2 印刷する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択して印刷する文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。



参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [印刷]を選択します。
- 3 必要に応じて、用紙の選択や片面/両面印刷などを設定します。
設定できる機能については、次を参照してください。
➔ [ユーザーボックス \(6-2ページ\)](#)



参考

プログラムの登録やプログラムの呼び出しを行うときは、[プログラム]タブを選択してください。

- ➔ [プログラムを登録する \(5-6ページ\)](#)
- ➔ [プログラムを呼び出す \(5-7ページ\)](#)

使用する印刷設定の選択画面が表示されます。

- 印刷時(文書保存時)の設定を使用する場合
[そのまま印刷する] > [印刷開始]
印刷が開始されます。
- 印刷設定を変更する場合
[設定を変更して印刷する] > [文書の設定を使用する]または[文書の設定を使用しない] > [次へ] > 印刷設定を変更する

- 4 [スタート]キーを押します。
選択した文書の印刷が開始されます。

ユーザーボックス内の文書を移動する

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択 > [開く]



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書进行操作する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択して移動する文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。



参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [移動] > 移動先の選択 > [移動] > [はい]

選択した文書が移動します。



参考

移動先のユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

ユーザーボックス内の文書を削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- 2 削除したい文書が入っているボックスを選択 > [開く]



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書を削除する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択して削除する文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。



参考

- 文書を選択しないと、[削除]を選択することはできません。
- 選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [削除] > [はい]

選択された文書が削除されます。

USBメモリーの操作

USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されているデータをパソコンを使うことなく手軽に印刷できます。
印刷可能なデータは、以下のとおりです。

- PDFファイル(バージョン 1.7以下)
- TIFFファイル(TIFF V6/TTN2形式)
- JPEGファイル
- XPSファイル
- OpenXPSファイル
- 暗号化PDFファイル

USBメモリー内のデータを印刷する

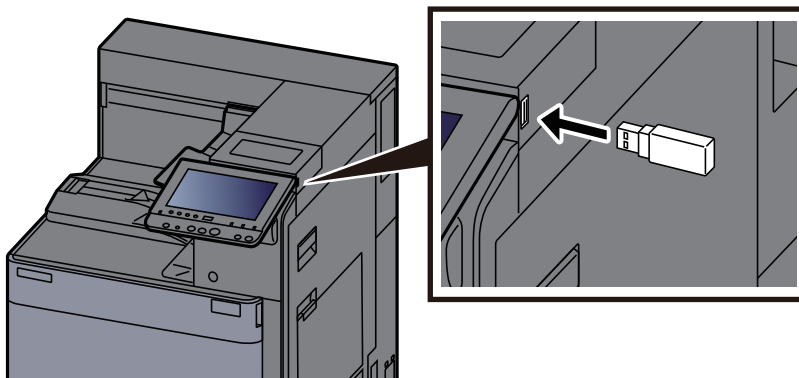


参考

- 印刷するPDFファイルには拡張子(.pdf)が必要です。
- 印刷するファイルは、ルートディレクトリーを含め、3階層までのフォルダーに保存してください。
- USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。
- USBメモリーは、本機のUSBメモリースロットに直接挿入してください。

1 USBメモリーを接続する

- 1 USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



- 2 挿入したUSBメモリーを認識すると、「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。[はい]を選択します。
外部メモリー画面が表示されます。



参考

メッセージが表示されない場合は、ホーム画面の[外部メモリー]を選択してください。

2 文書を印刷する

- 1 印刷したいファイルが保存されているフォルダーを選択 > [開く]
ルートディレクトリーを含め、3階層目までのフォルダーにある文書が表示できます。



参考

- 表示できる文書数は1,000件までです。
- 1つ上の階層に戻る場合は、[上へ]を選択してください。

- 2 印刷するファイルを選択 > [印刷]
- 3 必要に応じて、印刷部数や片面/両面印刷などを変更します。
設定できる機能については、次を参照してください。
➡ [外部メモリー \(6-4ページ\)](#)
- 4 [スタート]キーを押します。
選択したファイルの印刷を開始します。

USBメモリー情報を確認する

- 1 外部メモリーの基本画面で[外部メモリー情報]を選択する
- 2 情報を確認後、[閉じる]を選択する

USBメモリーを取り外す



重要

正しい手順で取り外さないと、データやUSBメモリーが破損するおそれがあります。

- 1 画面を表示する
[ホーム]キー > [外部メモリー]
- 2 外部メモリーの基本画面で[メモリー取り外し]を選択する
「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたら、[OK]を選択してUSBメモリーを取り外してください。



参考

USBメモリーの取り外しは、デバイスの状態確認からも実行できます。

- ➡ [デバイスの状態\(デバイス/通信\)を確認する \(7-11ページ\)](#)

インターネットブラウザを使用するには

本機がネットワークに接続されている場合、タッチパネルでインターネットを閲覧することができます。



参考

インターネットブラウザを使用する場合は、システムメニューから[インターネット]の「インターネットブラウザ」で[設定する]を選択する必要があります。

ブラウザを起動 / 終了する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [インターネットブラウザ]
インターネットブラウザが起動します。
- 2 ブラウザー画面を操作してWebページを閲覧します。
ブラウザー画面の操作については、次を参照してください。
➡ [ブラウザー画面の操作について \(5-28ページ\)](#)
- 3 終了する場合は[×] (閉じる) を選択し、終了の確認画面で[はい]を選択します。



参考

インターネットブラウザの表示のしかたなどを設定することができます。

➡ [ブラウザーの環境設定 \(8-53ページ\)](#)

ブラウザー画面の操作について

インターネットブラウザーの画面では、次のような操作ができます。



- 1 タイトル表示: ページのタイトルを表示します。
- 2 テキストボックス: テキストボックスを選択するとキーボードが表示され、文字が入力できます。
- 3 閉じる: インターネットブラウザーを閉じて、アプリケーションの一覧画面に戻ります。
- 4 スクロールバー: [へ]、[↓]または[<]、[>]を選択したり、スライドバーを指で押しながらスライドさせて、表示しているページを上下または左右にスクロールできます。
- 5 戻る / 進む: 前のページまたは次のページを表示します。
- 6 再読み込み: ページを更新します。
- 7 ホームページ: 設定されているホームページを表示します。
- 8 URL入力: URLを入力して目的のページを表示します。
- 9 検索(インターネット検索 / ページ内検索): インターネット検索に使用する検索サイトまたは「ページ内検索」を選択するための検索メニューが表示されます。

インターネット検索: 選択した検索サイトを使用し、入力したキーワードで検索します。

ページ内検索: 表示されているページ内を、入力されたキーワードで検索します。[上へ検索]、[下へ検索]を選択して検索を続けることができます。
- 10 メニュー: ブラウザーの設定メニューが表示されます。ブラウザーの表示倍率の設定、文字のエンコード方式の設定、サーバー証明書の確認が行えます。
- 11 ローダー / プログレスバー: ページの読み込み状況を表示します。ページを読み込んでいるときは、ローダーがアニメーション表示になります。
- 12 セキュリティ鍵マーク: 保護されているページを表示しているときに表示されます。



参考

インターネットブラウザーを表示中に[リセット]キーを選択すると、インターネットブラウザー終了の確認画面を表示しないで、アプリケーションの一覧画面に戻ります。

マニュアルステープルを使用する

手動でステープル操作のみを行うことができます。印刷時にステープルし忘れたときなどに便利です。

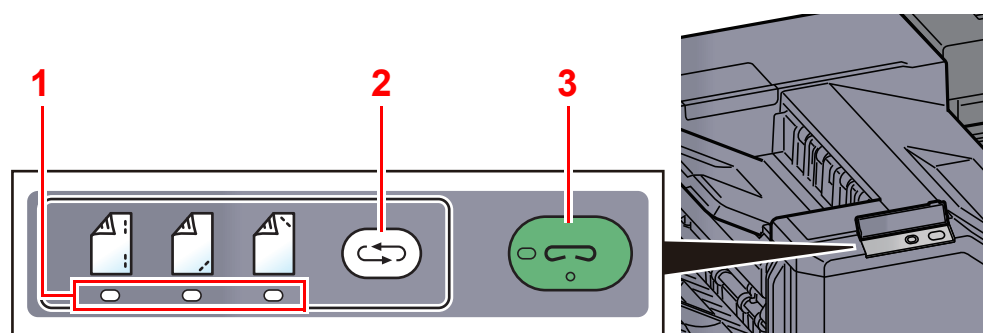
参考

- この機能を利用するには、オプションのフィニッシャーが必要です。
 - ➔ [4,000枚フィニッシャー \(11-30ページ\)](#)
- マニュアルステープル操作中、ステープル針が無い場合、ステープル位置ランプおよびステープル位置切替キーLEDが全点滅します。ステープルの針の補充を行ってください。詳細は、次を参照してください。
 - ➔ [ステープル針を補充する\(4,000枚フィニッシャー\) \(10-8ページ\)](#)
- 本機が動作中のときは、マニュアルステープルが使用できません。

◆マニュアルステープルできる枚数

用紙サイズ	坪量 (52～74 g/m ²)	坪量 (75～90 g/m ²)	坪量 (91～105 g/m ²)
A4、A4-R、B5、Letter、Letter-R、16K	70枚	65枚	55枚
A3、B4、Folio、Ledger	30枚	30枚	30枚

マニュアルステープルは、フィニッシャー操作部のキーを使って行います。



- 1 ステープル位置ランプ
- 2 ステープル位置切替キー
- 3 ステープルキー/ランプ

1 ステープル位置切替キーを選択する

排紙部のシャッターが開き、マニュアルステープルモードに入ります。

2 ステープル位置を設定する

ステープル位置切替キーを選択して、ステープル位置(奥 /手前 /2点 )を切り替えます。

ステープル位置ランプが点滅中は操作できません。点灯に変わってから操作します。

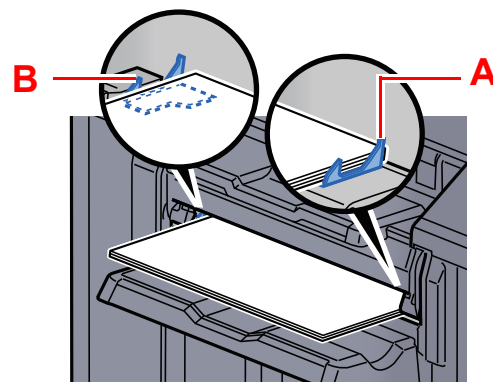
3 用紙をセットする

用紙をよくそろえて表面を下向きにし、排紙部のシャッターが開いたところにセットします。

用紙の手前側()をステープルするときは、手前側のガイド(A)に用紙を合わせてセットします。

用紙の奥側()をステープルするときは、奥側のガイド(B)に用紙を合わせてセットします。

用紙の端2点()をステープルするときは、両側のガイド(AとB)の間に用紙の中央を合わせてセットします。



注意

シャッターが開いたところに手を入れないでください。



参考

- ステープル位置切替キーは、用紙をセットする前に選択してください。用紙をセットすると、ステープル位置切替キーは使用できません。
- 用紙を正しくセットするとステープルキーのランプが点灯します。ランプが点灯しない場合は、用紙をセットし直してください。

4 ステープルする

用紙から手を離し、ステープルキーを選択します。

ステープルが実行されます。ステープルが終了し、トレイAに用紙を排紙します。



注意

マニュアルステープル操作は、用紙から手を離れた状態で実行してください。

マニュアルステープルモードを終了する

ステープル位置切替キーを数回選択して、ステープル位置ランプが消灯した状態にします。排紙部のシャッターが閉まり、マニュアルステープルモードが終了します。

また、何も操作しない状態で約10秒経過すると、マニュアルステープルモードは自動的に終了します。



参考

マニュアルステープルモードが自動的に終了するまでの時間は変更することができます。詳細は、次を参照してください。

➡ [マニュアルステープル \(8-17ページ\)](#)

6 さまざまな機能を使う

この章では、次の項目について説明します。

さまざまな機能を使う	6-2
本機に用意されている機能について	6-2
ユーザーボックス	6-2
外部メモリー	6-4
各種機能	6-5
用紙選択	6-5
紙折り	6-7
ソート/仕分け	6-8
ステープル/パンチ	6-9
排紙先	6-12
エコプリント	6-13
縮小/拡大	6-14
ページ集約	6-14
とじしろ/センター移動、とじしろ	6-16
小冊子	6-17
両面	6-19
表紙付け	6-20
イメージ合成	6-21
ページ番号	6-22
文字スタンプ	6-24
連番スタンプ	6-26
ジョブ終了通知	6-27
文書名入力	6-28
優先印刷	6-28
印刷後削除	6-28
暗号化PDFパスワード	6-28
JPEG/TIFF印刷方法	6-29
XPS印刷サイズ調整	6-29

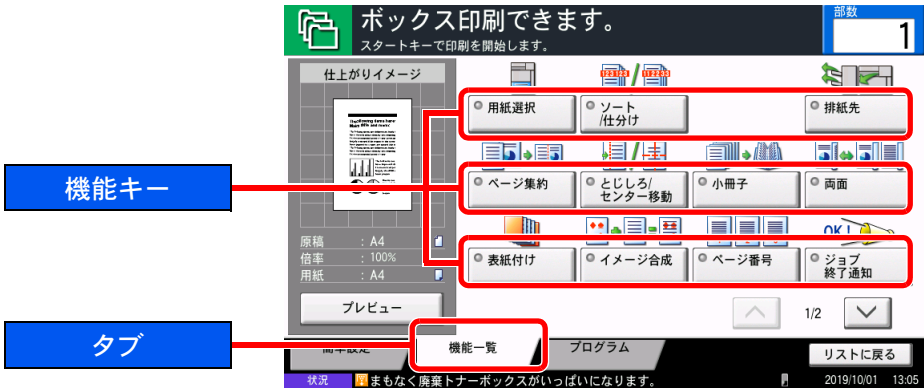
さまざまな機能を使う

本機に用意されている機能について

本機にはさまざまな機能が用意されています。

ユーザーボックス

タブを選択して、機能キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。



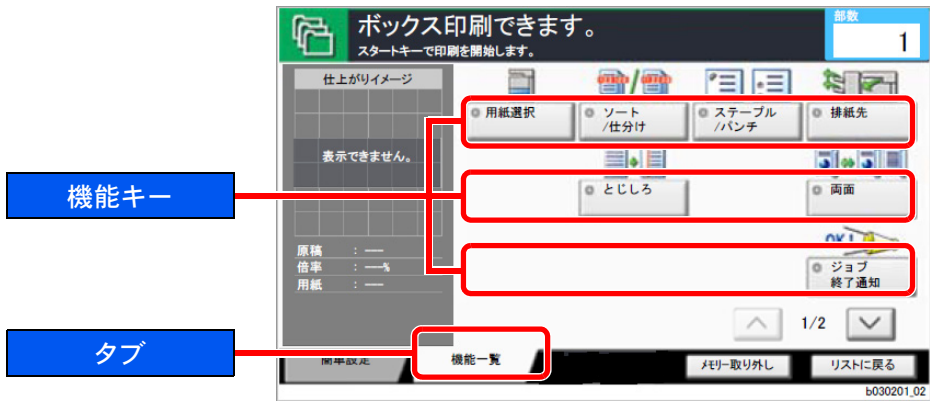
各機能の詳細については、次の表を参照してください。

タブ	機能キー	説明	参照ページ
機能一覧 ユーザーボックスから印刷するときに、用紙の選択や両面印刷などの設定が行えます。	用紙選択	使用したいサイズ of 用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-5ページ
	ソート/仕分け	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	6-8ページ
	ステープル/パンチ	印刷された文書をステープルしたり、穴を開けたりします。	6-9ページ
	排紙先	排紙先のトレイを指定します。	6-12ページ
	ページ集約	2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。	6-14ページ
	とじしろ/センター移動	とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら面のとじしろを設定したりすることもできます。 センター移動は、原稿のサイズと用紙サイズが異なる場合、画像を中央に移動します。	6-16ページ
	小冊子	印刷された文書を重ねて折ると、小冊子になるように面付けして印刷します。	6-17ページ
	両面	文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。	6-19ページ
	表紙付け	印刷した文書に表紙をつけることができます。	6-20ページ
	イメージ合成	帳票などのフォームやイメージを、原稿と合成して印刷します。	6-21ページ

タブ	機能キー	説明	参照ページ
機能一覧 ユーザーボックスから印刷するときに、用紙の選択や両面印刷などの設定が行えます。	ページ番号	印刷された文書にページ番号をつけます。	6-22ページ
	ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-27ページ
	文書名入力	文書に名前を付けます。	6-28ページ
	印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。	6-28ページ
	優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-28ページ
	エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-13ページ
	縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-14ページ
	紙折り	印刷された文書を折ります。	6-7ページ
	文字スタンプ	印刷する文書に指定した文字列を付けます。	6-24ページ
	連番スタンプ	印刷する文書に連番、日付または文字列などの付加情報を付けます。	6-26ページ

外部メモリー

タブを選択して、機能キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。

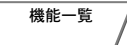
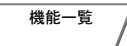


各機能の詳細については、次の表を参照してください。

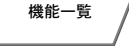
タブ	機能キー	説明	参照ページ
機能一覧 外部メモリーから印刷するときに、用紙の選択や両面印刷などの設定が行えます。	用紙選択	使用したいサイズ of 用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-5ページ
	ソート/仕分け	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	6-8ページ
	ステープル/パンチ	印刷された文書をステープルしたり、穴を開けたりします。	6-9ページ
	排紙先	排紙先のトレイを指定します。	6-12ページ
	とじしろ	とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら面のとじしろを設定したりすることもできます。	6-16ページ
	両面	文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。	6-19ページ
	ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-27ページ
	優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-28ページ
	エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-13ページ
	紙折り	印刷された文書を折ります。	6-7ページ
	文字スタンプ	印刷する文書に指定した文字列を付けます。	6-24ページ
	連番スタンプ	印刷する文書に連番、日付または文字列などの付加情報を付けます。	6-26ページ
	暗号化PDFパスワード	あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。	6-28ページ
	JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。	6-29ページ
	XPS印刷サイズ調整	XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。	6-29ページ

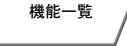
各種機能

便利な機能を説明しているページでは、その機能を使用できるモードをアイコンで示しています。

アイコン	説明
 	各機能へのアクセス方法をアイコンで示しています。 例) ユーザーボックス画面で[機能一覧]タブを選択して、機能へアクセスします。
 	各機能へのアクセス方法をアイコンで示しています。 例) USBメモリー画面で[機能一覧]タブを選択して、機能へアクセスします。

用紙選択

使用したいサイズ of 用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。

[自動]を選択すると、原稿と同じサイズの用紙を自動で選択します。

 参考

- カセットに補給されている用紙サイズおよび用紙種類をあらかじめ登録してください。
➔ [カセット/手差しトレイ設定 \(8-6ページ\)](#)
- オプションのペーパーフィーダーが装着された場合、カセット3以降のカセットが表示されます。

[手差しトレイ]を選択する場合は、[用紙設定]を選択して用紙サイズと用紙種類を変更してください。

選択できる用紙サイズと用紙種類は次のとおりです。

設定項目		設定値	説明
用紙サイズ	定形サイズ1	A3 ^{*1*3} 、A4-R ^{*2*3} 、A4 ^{*2*3} 、A5-R ^{*2*3} 、A5 ^{*2} 、A6-R ^{*2*3} 、B4 ^{*1*3} 、B5-R ^{*2*3} 、B5 ^{*2*3} 、B6-R ^{*2*3} 、216×340 mm ^{*4} 、SRA3 ^{*1*3}	定形サイズから選択します。
	定形サイズ2	Ledger ^{*1*3} 、Letter-R ^{*2*3} 、Letter ^{*2*3} 、Legal ^{*2*3} 、Statement-R ^{*2*3} 、Executive、12×18" ^{*1*3} 、Oficio II、Folio ^{*2*3} 、8K ^{*4} 、16K-R、16K	定形サイズ1以外の定形サイズから選択します。
	その他	ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4 ^{*4} 、はがき ^{*3} 、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム1～4 ^{*5}	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。
	サイズ入力	センチ X: 148～457 mm (1 mm単位) Y: 98～320 mm (1 mm単位)	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。 ^{*6} [サイズ入力]を選択した場合は、[+]、[-]またはテンキーで、「X」(よこ)と「Y」(たて)のサイズを設定してください。[テンキー]を選択するとテンキーで入力することができます。
		インチ X: 5.83～18.00" (0.01"単位) Y: 3.86～12.60" (0.01"単位)	

設定項目	設定値	説明
用紙種類	普通紙 (60～105 g/m ²)、OHPフィルム、薄紙 (52～105 g/m ²)、ラベル紙、再生紙、プレブリント ^{*7} 、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*7} 、レターヘッド ^{*7} 、厚紙 (106 g/m ² 以上)、封筒、加工紙、上質紙、インデックス紙、カスタム1～8 ^{*7}	

*1 カセット(カセット1を除く)で自動検知できる用紙サイズ。

*2 カセットで自動検知できる用紙サイズ。

*3 手差しトレイで自動検知できる用紙サイズ。

*4 カセット1では使用できません。

*5 カスタム用紙サイズの登録方法は、次を参照してください。

➡ [カスタム用紙サイズ登録 \(8-9ページ\)](#)

*6 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。

➡ [入力長さ単位 \(8-11ページ\)](#)

*7 用紙種類のカスタム1～8の登録方法は、次を参照してください。

➡ [用紙種類の設定について \(8-11ページ\)](#)

プレブリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

➡ [特定用紙種類の動作設定 \(8-10ページ\)](#)



重要

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を変更した場合、[用紙選択]が選択されます。このとき、[手差しトレイ]を選択すると設定が解除されますのでご注意ください。



参考

• よく使用する用紙サイズと用紙種類は、あらかじめ初期設定として選択しておく便利です。

➡ [手差しトレイ \(8-7ページ\)](#)

• 指定されている用紙サイズの用紙が給紙元のカセットまたは手差しトレイに入っていない場合、確認画面が表示されます。[自動]に設定している場合は、原稿サイズの用紙が入っていないと、用紙の確認画面が表示されます。手差しトレイに使用したい用紙を補給して[継続]を選択してください。印刷が開始されます。

紙折り

ユーザーボックス

機能一覧

USBメモリー

機能一覧

印刷した文書を折ります。紙折りの方法を選択してください。
原稿の向きと仕上がリイメージは、次のとおりです。

原稿の向き			横向き	縦向き
設定項目				
2つ折り				
	中とじステープル			
3つ折り	内側	右→左/下→上		
		左→右/上→下		
	外側	右→左/下→上		
		左→右/上→下		



参考

- 紙折りをするには、4,000枚フィニッシャーと中折りユニットが必要です。
- 紙折り可能な用紙サイズや枚数の詳細は、次を参照してください。

➡ [中折りユニット \(4,000枚フィニッシャーオプション\) \(11-31ページ\)](#)

ソート/仕分け



機能一覧



機能一覧

用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。

設定項目	イメージ	説明
ソート		ソートを使用すると、複数枚の原稿から、ページ順に並んだ印刷を必要部数作成します。
仕分け	オプションのフィニッシャーがない場合 	用紙を1部ごと（またはページごと ^{*1} ）に90°回転して排紙します。 参考 - 仕分けするには、選択した給紙段とは別の給紙段に同じサイズで向きが異なる用紙が入っている必要があります。 - 仕分けに使用できる用紙サイズ：A4、B5、Letter、16K
	オプションのフィニッシャーがある場合 	用紙を1部ごと（またはページごと ^{*1} ）に仕分けして排紙します。 参考 - この機能を使用するには、オプションのフィニッシャーが必要です。 ➡ 1,000枚フィニッシャー（11-30ページ） ➡ 4,000枚フィニッシャー（11-30ページ） - 仕分けに使用できる用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、216×340 mm、Letter、Legal、Ledger、Oficio II、8K、16K

^{*1} 「ソート」の設定で[設定しない]を選択した場合は[ページごと]が、[設定する]を選択した場合は[1部ごと]が表示されます。

ステープル/パンチ

ユーザーボックス

機能一覧

USBメモリー

機能一覧

ステープル

 参考

この機能を使用するには、オプションのフィニッシャーが必要です。また、中とじステープルを行う場合は中折りユニットが必要です。ステープル可能な用紙サイズや枚数の詳細は、次を参照してください。

➡

[1,000枚フィニッシャー \(11-30ページ\)](#)

➡

[4,000枚フィニッシャー \(11-30ページ\)](#)

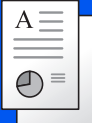
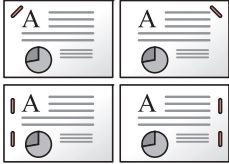
➡

[中折りユニット\(4,000枚フィニッシャーオプション\) \(11-31ページ\)](#)

印刷された文書にステープルします。ステープルする位置を指定することもできます。

設定項目	設定値	説明
ステープル	設定しない	
	左上	ステープルをする位置を設定します。原稿の方向とステープルの位置については、次を参照してください。 ➡ 原稿の方向と、ステープルされる位置 (6-10ページ)
	右上	
	左2点	
	上2点	
	右2点	
	中とじステープル	印刷した文書の中央にステープルをして2つに折るかどうかを設定します。 中とじステープルについては、次を参照してください。 ➡ 小冊子 (6-17ページ)

原稿の方向と、ステープルされる位置

原稿の方向	縦向き	横向き
用紙のセット向き		
カセット内用紙方向		
カセット内用紙方向		



参考

次の用紙サイズは、1点ステープルは斜めではなくなります。
B5-R、16K-R

パンチ

印刷した文書にパンチ穴を開けます。



参考

- この機能を使用するには、オプションの1,000枚フィニッシャーまたは4,000枚フィニッシャーと、パンチユニットが必要です。
- パンチ可能な用紙サイズの詳細は、次を参照してください。

➡ [パンチユニット\(1,000枚/4,000枚フィニッシャーオプション\) \(11-31ページ\)](#)

設定項目	設定値	説明
パンチ	設定しない	
	左2穴	パンチする位置を設定します。原稿の方向とパンチ穴の位置については、次を参照してください。 ➡ 原稿の方向とパンチ穴の位置 (6-11ページ)
	上2穴	
	右2穴	

原稿の方向とパンチ穴の位置

原稿の方向	縦向き	横向き
用紙のセット向き		
カセット内用紙方向 		
カセット内用紙方向 		

排紙先



機能一覧



機能一覧

排紙先のトレイを指定します。

ジョブセパレーターを装着している場合

設定項目	説明
メイントレイ	本体のメイントレイに排紙します。
ジョブセパレーター	ジョブセパレーターに排紙します。

1,000枚フィニッシャーを装着している場合

設定項目	説明
フィニッシャートレイ	フィニッシャーのトレイに排紙します。
ジョブセパレーター ^{*1}	ジョブセパレーターに排紙します。

^{*1} 排紙できない用紙サイズ：SRA3、12×18"

4,000枚フィニッシャーを装着している場合

設定項目	説明
トレイA	フィニッシャーのトレイAに排紙します。
トレイB	フィニッシャーのトレイBに排紙します。 用紙の重さ[重い5] (257 g/m ² ～300 g/m ²) で、排紙先にトレイBを選択した場合、自動的にトレイAに変更されます。
ジョブセパレーター ^{*1}	ジョブセパレーターに排紙します。

^{*1} 排紙できない用紙サイズ：SRA3、12×18"

メールボックスを装着している場合

設定項目	説明
トレイA	フィニッシャーのトレイAに排紙します。
トレイB	フィニッシャーのトレイBに排紙します。 用紙の重さ[重い5] (257 g/m ² ～300 g/m ²) で、排紙先にトレイBを選択した場合、自動的にトレイAに変更されます。
ジョブセパレーター ^{*1}	ジョブセパレーターに排紙します。
トレイ1～7	メールボックスのトレイ1～7(1が最上段)に排紙します。 用紙の重さ[重い3]～[重い4] (164 g/m ² ～256 g/m ²) で、排紙先にメールボックス(オプション)を選択した場合、自動的にトレイBに変更されます。また、用紙の重さ[重い5] (257 g/m ² ～300 g/m ²) の場合、自動的にトレイAに変更されます。

^{*1} 排紙できない用紙サイズ：SRA3、12×18"



参考

- ・ [排紙先]は、オプションのジョブセパレーターまたはフィニッシャーを装着している場合に表示されます。
- ・ 排紙先を初期設定で変更することができます。

➡ [排紙先 \(8-13ページ\)](#)

エコプリント

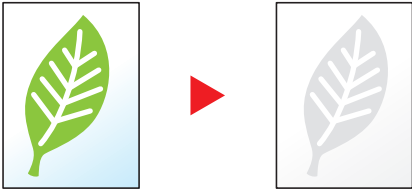


機能一覧



機能一覧

エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。試し印刷など高品質な印刷が必要でないときに使用してください。



設定項目	設定値	説明
設定しない		
設定する	[1] (低い)～[5] (高い)	トナー節約レベルを調整してください。

縮小/拡大

ユーザーボックス

機能一覧

倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。

設定項目	説明
100%	原稿と同じサイズで処理します。
自動	用紙サイズに合わせて縮小または拡大します。

参考

- 縮小または拡大する場合は、用紙サイズを選択してください。
➔ [用紙選択 \(6-5ページ\)](#)
- 原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによっては、画像が用紙の端に配置されます。上下左右の中央に配置するには、次を参照して、センター移動設定を行ってください。
➔ [とじしろ/センター移動、とじしろ \(6-16ページ\)](#)

ページ集約

ユーザーボックス

機能一覧

2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。

ページの並び順を指定したり、印刷に境界線を入れることもできます。

境界線の線種は次のとおりです。

なし

実線

点線

マーク

なし

実線

点線

マーク

設定項目		設定値	説明
設定しない			
2in1	レイアウト	左→右/上→下、右→左/下→上	原稿の並べかたを選択します。
	境界線	なし、実線、点線、マーク	境界線の線種を設定します。 [境界線]を選択して、線種を選択し、 [OK]を選択してください。

設定項目	設定値	説明
4in1	レイアウト	左上→右、右上→左、左上→下、右上→下
	境界線	なし、実線、点線、マーク 境界線の線種を設定します。 [境界線]を選択して、線種を選択し、 [OK]を選択してください。

レイアウトイメージ

設定項目	イメージ
2 in 1	左→右/上→下
	右→左/下→上
4 in 1	左上→右
	右上→左
	左上→下
	右上→下



参考

集約に使用できる用紙サイズ：A3、A4-R、A4、A5-R、A5、B4、B5-R、B5、Folio、216×340 mm、SRA3、Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Oficio II、8K、16K-R、16K

とじしろ/センター移動、とじしろ

ユーザーボックス

機能一覧

USBメモリー

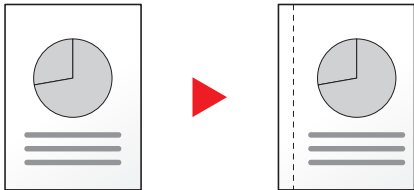
機能一覧

とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら面のとじしろを設定したりすることもできます。
センター移動は、原稿のサイズと用紙サイズが異なる場合、画像を中央に移動します。

 **参考**

とじしろ幅の初期値を変更することができます。

[▶ とじしろ初期値 \(8-14ページ\)](#)



設定項目		設定値	説明
設定しない			
とじしろ	左右	センチ：-18 mm～+18 mm (1 mm単位) インチ：-0.75～+0.75" (0.01"単位)	とじしろの幅を設定します。 ^{*1} [+]または[-]で「左右」、「上下」のとじしろを入力してください。[テンキー]を選択するとテンキーで入力することができます。
	上下		
	うら面設定	自動、手動	両面印刷のときは、[うら面設定]を選択し、[自動]か[手動]かを選択してください。 [自動]に設定すると、うら面はおもて面の設定と仕上がりのとじ方向に応じて自動的にとじしろをつけます。 [手動]に設定すると、おもて面とは違うとじしろを設定できます。表示される画面でとじしろを設定してください。設定値はおもて面と同じです。
センター移動 ^{*2}		センター移動を設定します。	

^{*1} 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。

▶ [入力長さ単位 \(8-11ページ\)](#)

^{*2} 外部メモリーから印刷する場合は表示されません。

小冊子



機能一覧

小冊子を利用すると、週刊誌やパンフレットのような冊子を作ることができます。原稿を見開き両面に印刷し、仕上がった出力紙を重ねて折ると、冊子になります。

表紙だけを別の用紙(カラー紙や厚紙)に印刷することもできます。表紙に使う用紙は、手差しトレイから給紙します。カセットから給紙させるには、次を参照してください。

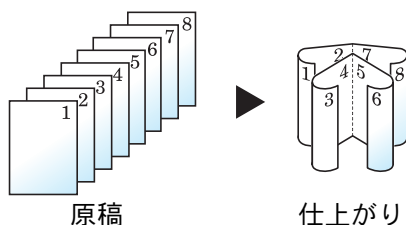
➡ [表紙給紙元 \(8-10ページ\)](#)



参考

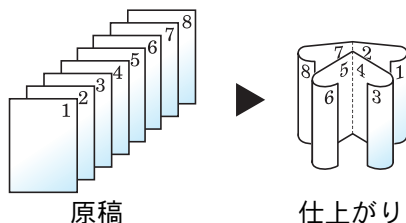
- 小冊子に使用できる用紙サイズ: A3、A4-R、A4、A5、B4、B5-R、B5、Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Oficio II、8K
- オプションの4,000枚フィニッシャーおよび中折りユニットを使用すると、中とじステープル(仕上がりの中央にステープルして2つに折ること)ができます。このときの用紙サイズはA3、A4-R、B4、Ledger、Legal、Letter-R、Oficio II、8Kに限られます。

仕上がりが左とじの場合



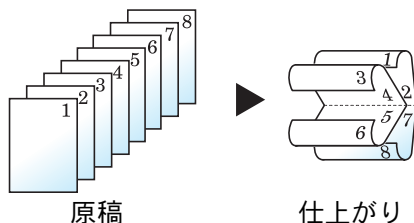
仕上がりを重ねて折ると、ページが左から右へ進むように印刷します。

仕上がりが右とじの場合



仕上がりを重ねて折ると、ページが右から左へ進むように印刷します。

仕上がりが上とじの場合



仕上がりを重ねて折ると、ページが上から下へ進むように印刷します。

設定項目		設定値	説明
設定しない			
小冊子	とじ方向		左とじ、右とじ、上とじ
	仕上がり		仕上りのとじ方向を設定します。
	表紙付け	設定しない	
		表紙あり： おもて表紙印刷 設定	印刷しない、 おもて面のみ、 うら面のみ、両面
		表紙あり： うら表紙印刷設 定	印刷しない、 おもて面のみ、 うら面のみ、両面
	表紙の印刷設定		表紙を挿入するかどうかを設定します。 また挿入する表紙の印刷方法を設定し ます。 [表紙付け] > [表紙あり]の順に選択し て、挿入する表紙の印刷設定を行いま す。[印刷しない]、[うら面のみ]、[おも て面のみ]または[両面]から選択して、 [OK]を選択してください。
	ステープル/中折り		設定しない、 中折りのみ、 中とじステープル
	中折りの設定		仕上りを中央で折る場合は、[ステー プル/中折り] > [中折りのみ]を選択し てください。 中とじステープルを行う場合は、[ス テープル/中折り] > [中とじステー プル]を選択してください。



参考

中折りや中とじステープルできる枚数は、坪量によって異なります。詳細は次を参照してください。

➡ [中折りユニット\(4,000枚フィニッシャーオプション\) \(11-31ページ\)](#)

両面

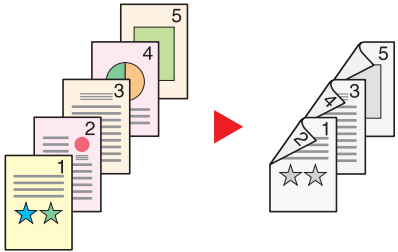
ユーザーボックス

機能一覧

USBメモリー

機能一覧

用紙の両面に印刷できます。原稿が奇数枚のときは、最終ページのうら面が白紙になります。



原稿

A

B

仕上がり

とじ方法は次の2とおりです。

A 左/右とじ：うら面をおもて面と同じ方向で印刷します。

B 上とじ：うら面をおもて面に対して180°回転させて印刷します。仕上がりを上でとじると、各見開きのページが同じ方向になります。

参考

両面印刷に使用できる用紙サイズ：A3、A4-R、A4、A5-R、A5、A6-R、B4、B5-R、B5、B6-R、216×340 mm、SRA3、Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Executive、12×18"、Oficio II、Folio、8K、16K-R、16K、ISO B5、はがき、往復はがき、カスタム1～4

設定項目	設定値	説明
片面	—	この機能を設定しません。
両面	左/右とじ	用紙を左/右でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。
	上とじ	用紙を上でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。

表紙付け

ユーザーボックス

機能一覧

印刷した文書に表紙をつけることができます。文書の1ページ目と最終ページだけ給紙元を変更して、別の用紙(カラー紙や厚紙など)に印刷します。つけられる表紙は次の2種類です。表紙に使う用紙は、手差しトレイから給紙します。カセットから給紙させるには、次を参照してください。

➡ [表紙給紙元 \(8-10ページ\)](#)

また、表紙の印刷方法を設定することができます。表紙ごとに印刷の設定を行ってください。

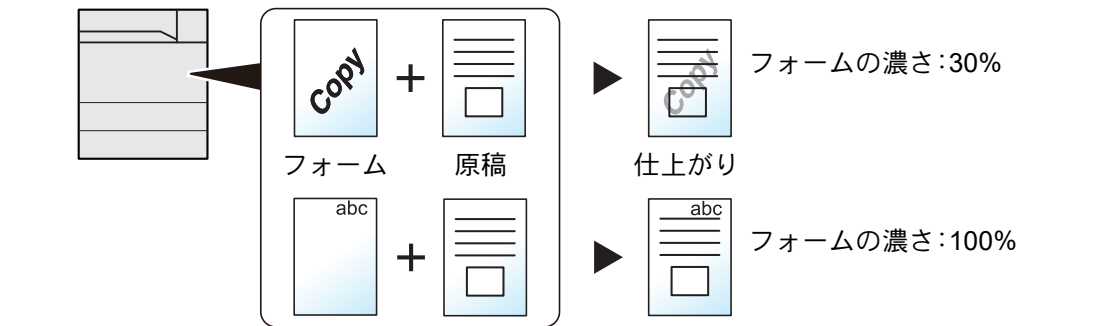
設定項目		設定値	説明
設定しない			
おもて表紙		印刷しない、おもて面のみ、 うら面のみ、両面	文書の1ページ目に別の用紙を挿入します。 挿入する用紙の印刷設定を[印刷しない]、 [おもて面のみ]、[うら面のみ]または[両面]から選択してください。
おもて+うら表紙	おもて表紙印刷設定	印刷しない、おもて面のみ、 うら面のみ、両面	文書の1ページ目と最終ページに別の用紙を挿入します。
	うら表紙印刷設定	印刷しない、おもて面のみ、 うら面のみ、両面	挿入する用紙の印刷設定を[印刷しない]、 [おもて面のみ]、[うら面のみ]または[両面]から選択してください。

イメージ合成

ユーザーボックス

機能一覧

帳票などのフォームやイメージを、原稿と合成して印刷します。あらかじめユーザーボックスに保存された文書をフォームとして使用します。



1 フォームを保存する

パソコンから、フォームとして使用するデータをユーザーボックスに保存します。パソコン側の印刷操作は、次を参照してください。

➡ [プリンタードライバー操作手順書](#)

2 印刷する文書を選択する

ユーザーボックスから原稿を選択します。文書の実行については、次を参照してください。

➡ [ユーザーボックス内の文書を印刷する \(5-23ページ\)](#)

3 イメージ合成を設定する

[機能一覧] > [イメージ合成] > 各項目を設定 > [OK]

設定する項目は、次のとおりです。

設定項目		設定値	説明
設定しない			
フォーム呼び出し	濃度	10%～100%	合成するフォームの濃度を設定します。「濃度」の[+]または[-]を選択してください。
	仕上がりイメージ	合成	フォームと原稿を合成します。
		フォームを上へ	フォームを原稿の上に重ねます。
		原稿を上へ	フォームを原稿の下に重ねます。
	フォーム選択	—	手順1で保存したフォームを選択します。[フォーム選択]を選択すると、ユーザーボックスが表示されます。ボックスから使用するフォームを選択して、[OK]を選択してください。

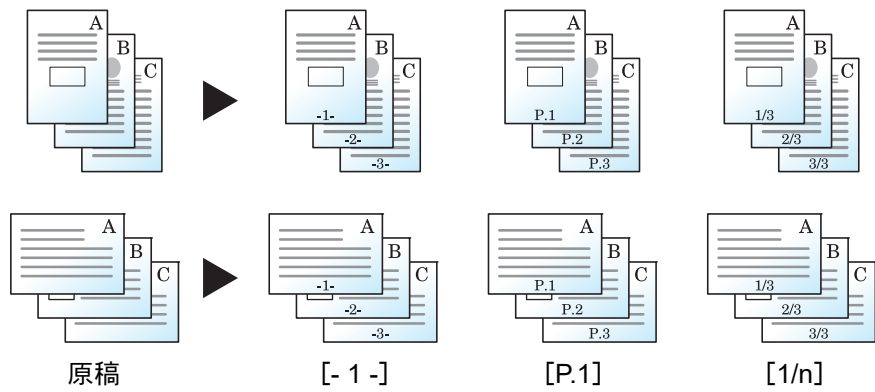
4 [スタート]キーを押す

ページ番号

ユーザーボックス

機能一覧

印刷された文書にページ番号をつけます。ページ番号のスタイルは[- 1 -]、[P.1]、[1/n]の3種類があります。[1/n]を選択したときは、「n」に総ページ数が印刷されます。



[- 1 -]、[P.1]、[1/n]からページ番号のスタイルを選択してください。

設定項目		設定値	説明
設定しない			
-1-、P.1、1/n	位置	左上、中央上、右上、左下、中央下、右下、詳細	ページ番号を入れる位置を設定します。 [詳細]を選択するとページ番号の位置の詳細を設定したり、両面印刷時のうら面に印刷されるページ番号の位置([おもて面と同じ]、[おもて面と対称])を設定できます。
	開始ページ	1～10	ページ番号を途中のページからつける場合は、「開始ページ」の[+]または[-]で、開始ページを入力してください。[テンキー]を選択するとテンキーで入力することができます。
	開始番号	1～999	ページ番号を1以外の番号から開始する場合は、「開始番号」の[+]または[-]で、開始番号を入力してください。[テンキー]を選択するとテンキーで入力することができます。
	終了ページ	自動、手動(－10～0)	最終ページまで番号つけをしない場合は、[手動]を選択し、番号つけを終了するページ(最終ページから逆に数えたマイナスのページ数)を、[+]または[-]で入力して[OK]を選択してください。－10ページまで設定できます。[テンキー]を選択するとテンキーで入力することができます。

設定項目			設定値	説明
-1-, P.1、 1/n	フォント	サイズ	フォント(ページ番号) 設定したフォントサイズが表示されます。 ➡ フォント(ページ番号) (8-15ページ)	ページ番号のフォントサイズを設定します。
		スタイル	なし、太字、斜体、 太字/斜体	ページ番号のフォントのスタイルを設定します。 チェックをつけると選択されます。
		フォント	Courier、Letter Gothic、 明朝、ゴシック	ページ番号のフォントを設定します。
		色	黒、白	ページ番号の色を設定します。
		濃度	10～100% (10%単位)	ページ番号の色の濃さを設定します。[+]または [-]で入力します。
		表示 パターン	透かし、切り抜き、上書き	ページ番号の表示方法を設定します。
	分母番号 ^{*1}		自動、手動(1～999)	[1/n]を選択した場合は、総ページ数の「n」を手動で 変更できます。[分母番号]を選択してください。[手 動]を選択して、[+]または[-]で「n」の数値を入力 し、[OK]を選択してください。[テンキー]を選択す るとテンキーで入力することができます。

*1 [1/n]を選択した場合に表示されます。

文字スタンプ

ユーザーボックス

機能一覧

USBメモリー

機能一覧

印刷する文書に指定した文字列を付けます。

 **参考**
システム設定で文字スタンプを設定している場合、設定することができません。
➡ [印刷ジョブ \(8-16ページ\)](#)

設定項目		設定値	説明
設定しない			
設定する	スタンプ	キーボード、 テンプレート1～8	[キーボード]を選択して印字する文字列を入力するか、表示されているテンプレートの中から印字する文字スタンプを選択してください。  参考 テンプレートは設定している場合に表示されます。 ➡ 文字列(文字スタンプ) (8-15ページ)
	スタンプ方式	印刷ページごと、 原稿ページごと	スタンプの押しかたを選択します。 [スタンプ方式]を選択して文字スタンプの押しかたを設定してください。
	位置	左上、中央上、右上、 中央左、中央、中央右、 左下、中央下、右下、詳細	スタンプを印字する位置を設定します。 [位置]を選択して文字スタンプの印字位置を選択してください。 [詳細]を選択するとスタンプ位置の詳細を設定したり、両面印刷時の裏面に押すスタンプ位置やスタンプの角度を設定できます。

設定項目			設定値	説明
設定する	フォント	サイズ	登録されたフォントサイズが表示されます。 フォントサイズの登録については、次を参照してください。 ➡ フォント(文字スタンプ) (8-15ページ)	印字する文字スタンプのフォントサイズを設定します。
		囲み線	設定しない、円、四角、下線	囲み線や下線の設定をします。
		スタイル	なし、太字、斜体、太字/斜体	追加する文字スタンプのフォントのスタイルを設定します。チェックをつけると選択されます。
		フォント	Courier、Letter Gothic、明朝、ゴシック	追加する文字スタンプのフォントを設定します。
		色	黒、白	印字する文字スタンプの色を設定します。
		濃度	10～100% (10%単位)	印字する文字スタンプの色の濃さを設定します。 [+]または[-]で入力します。
		表示パターン	透かし、切り抜き、上書き	追加する文字スタンプの表示方法を設定します。

連番スタンプ

ユーザーボックス

機能一覧

USBメモリー

機能一覧

印刷する文書に連番、日付または文字列などの付加情報を付けます。

 **参考**

システム設定で連番スタンプを設定している場合、設定することができません。詳細は、次を参照してください。

➡ [印刷ジョブ \(8-16ページ\)](#)

設定項目		設定値	説明
設定しない			
設定する	スタンプ	日時、ユーザー名、シリアル番号、連番、文字列1、文字列2	印字するスタンプを設定します。 [文字列1]または[文字列2]を設定した場合は、下にある[変更]を選択して印字する文字列を入力します。 [日時]を設定した場合は、[日付形式]を選択し、[月/日/年]、[日/月/年]または[年/月/日]から選択し、日付の表示形式を設定します。 [連番]を設定した場合は、[連番の初期値]を選択して連番の開始番号(1～9999999)を設定します。[桁の固定] > [設定する]を選択すると、連番の桁数(1～7桁)を設定できます。
	位置	左上、中央上、右上、中央左、中央、中央右、左下、中央下、右下、詳細	スタンプを印字する位置を設定します。 [位置]を選択して連番スタンプの印字位置を選択してください。 [詳細]を選択するとスタンプ位置の詳細を設定したり、両面印刷時の裏面に押すスタンプ位置を設定できます。

設定項目			設定値	説明
設定する	フォント	サイズ	登録されたフォントサイズが表示されます。 フォントサイズの登録については、次を参照してください。 ➔ フォント(文字スタンプ) (8-15ページ)	印字する連番スタンプのフォントサイズを設定します。
		スタイル	なし、太字、斜体、太字/斜体	印字する連番スタンプのフォントのスタイルを設定します。チェックをつけると選択されます。
		フォント	Courier、Letter Gothic、明朝、ゴシック	印字する連番スタンプのフォントを設定します。
		色	黒、白	印字する連番スタンプの色を設定します。
		濃度	10～100% (10%単位)	印字する連番スタンプの色の濃さを設定します。 [+]または[-]で入力します。
		表示パターン	透かし、切り抜き、上書き	印字する連番スタンプの表示方法を設定します。

ジョブ終了通知



機能一覧



機能一覧

ジョブが終了したことをメールで通知します。ジョブが中断したときに通知することもできます。

離れた席にいてもジョブの終了を知ることができるため、終わるまで本機の近くで待機する必要がありません。



参考

- あらかじめパソコンで、メールを使用できるようにしてください。詳細は、次を参照してください。

➔ [Command Center RXとは \(2-50ページ\)](#)

- メールを送る宛先は1件です。

設定項目		説明
設定しない		
アドレス入力		通知先を直接入力します。[メールアドレス]を選択して、メールアドレスを128文字以内で入力し、[OK]を選択します。
	ジョブ中断時に通知	ジョブが中断したときもメールで通知する場合はチェックを入れてください。

文書名入力



機能一覧

文書に名前を付けます。

ジョブ番号、日時の付加情報も設定できます。ここで付けた名前、日時、ジョブ番号を使用して、ジョブの履歴やステータスの確認ができます。

文書名を32文字以内で入力し、[OK]を選択してください。

日時を付加する場合は[日時]を、ジョブ番号を付加する場合は[ジョブ番号]を選択してください。付加された情報は「付加情報」に表示されます。

優先印刷



機能一覧



機能一覧

印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。

優先した印刷ジョブが終了すると、中断していたジョブの印刷を再開します。

(設定値:[設定しない]/[設定する])



参考

- 印刷中の文書が優先印刷の場合は、中断できません。
- 印刷中のジョブの状況やメモリーの使用状況によっては、優先印刷が実行できない場合があります。

印刷後削除



機能一覧

印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。

(設定値:[設定しない]/[設定する])

暗号化PDFパスワード



機能一覧

あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。

パスワードを入力し、[OK]を選択してください。



参考

パスワードの入力については、次を参照してください。

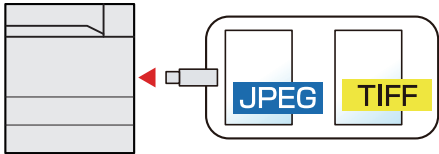
▶ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

JPEG/TIFF印刷方法

USB
メモリー

機能一覧

JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。



設定項目	説明
用紙サイズに合わせる	選択した用紙サイズに合わせて印刷します。
画像解像度のまま	画像解像度のままで印刷します。
印刷解像度に合わせる	印刷解像度に合わせて印刷します。

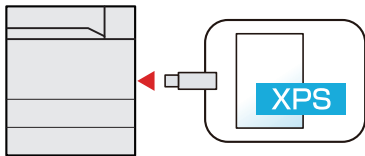
XPS印刷サイズ調整

USB
メモリー

機能一覧

XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



7 ジョブ/消耗品/デバイスを管理する

この章では、次の項目について説明します。

ジョブの状況を確認する	7-2
状況確認画面の内容	7-3
ジョブの詳細情報を確認する	7-6
ジョブの履歴を確認する	7-7
ジョブ履歴の詳細情報を確認する	7-8
ジョブ履歴を送信する	7-8
ジョブの操作	7-9
ジョブの一時停止と再開	7-9
ジョブをキャンセルする	7-9
印刷ジョブの中断と割り込み(優先印刷)	7-9
印刷ジョブを入れ替える	7-10
デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する	7-11
トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する	7-12

ジョブの状況を確認する

実行中または待機中のジョブの状況を確認できます。

確認できる状況の種類

実行中/待機中のジョブの状況は、印刷ジョブ、保存ジョブの2種類の画面に分けてタッチパネルに表示されます。
各画面で表示されるジョブは次のとおりです。

状況確認画面	表示されるジョブ
印刷ジョブ	• プリンター印刷 • メール受信印刷 • 文書ボックスからの印刷 • 外部メディアのデータ印刷 • アプリケーション印刷 • レポート/リスト印刷
保存ジョブ	• プリンター保存

状況確認画面を表示する

- 1

画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択する。
- 2

確認したいジョブを選択する

[印刷ジョブ]、[保存ジョブ]から確認するジョブを選択します。

➡

[印刷ジョブ状況画面 \(7-3ページ\)](#)

➡

[保存ジョブ状況画面 \(7-5ページ\)](#)

状況確認画面の内容

 参考

すべてのユーザーのジョブ状況を表示したり、自分だけのジョブ状況を表示したりすることができます。

➡ [状況/履歴の表示 \(8-19ページ\)](#)

また、この設定は、Command Center RXからも変更できます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

印刷ジョブ状況画面



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	受付時刻	ジョブの受付時刻
3	種類	ジョブの種類を示すアイコン  プリンター印刷  文書ボックスからの印刷  メール受信印刷  外部メディアのデータ印刷  アプリケーション印刷  レポート/リスト印刷
4	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名
5	ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名
6	状況	ジョブの状態 処理中:印刷を開始する前の状態 印刷中:印刷中 待機中:印刷待機中 一時停止:印刷の一時停止やエラーにより印刷を一時停止 中止中:ジョブのキャンセル中
7	「ジョブ種類」の [▽]	特定の種類のジョブだけを表示できます。

番号	項目	説明
8	[全印刷一時停止]	印刷中のジョブを一時停止します。もう一度選択すると印刷が再開されます。
9	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。
10	[優先印刷]	優先印刷したいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。 ➡ 印刷ジョブの中断と割り込み(優先印刷) (7-9ページ)
11	[順位を上げる]	印刷の順番を上げたいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。 ➡ 印刷ジョブを入れ替える (7-10ページ)
12	[詳細]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。 ➡ ジョブの詳細情報を確認する (7-6ページ) 詳細情報画面で「部数」の[変更]を選択すると、印刷される部数を変更することができます。



参考

ジョブ名とユーザー名は、必要に応じて他の項目に置き換えることができます。

➡ [状況確認画面の設定 \(8-19ページ\)](#)

保存ジョブ状況画面



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	受付時刻	ジョブの受付時刻
3	種類	ジョブの種類を示すアイコン  プリンター保存
4	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。
5	ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名
6	状況	ジョブの状態 処理中:保存を開始する前の状態 保存中:データ保存中 中止中:ジョブのキャンセル中 一時停止:ジョブの一時停止中
7	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。
8	[詳細]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。 ➡ ジョブの詳細情報を確認する (7-6ページ)



参考

ジョブ名とユーザー名は、必要に応じて他の項目に置き換えることができます。

➡ [状況確認画面の設定 \(8-19ページ\)](#)

ジョブの詳細情報を確認する

1 画面を表示する

➔ [状況確認画面の内容 \(7-3ページ\)](#)

2 確認する

- 1 詳細を確認したいジョブの[詳細]を選択します。



詳細情報が表示されます。

[▽]または[△]を選択して、次/前のページの情報を確認できます。

- 2 確認が終了したら、[閉じる]を選択します。

ジョブの履歴を確認する



参考

- ジョブ履歴はパソコンからCommand Center RXまたはKYOCERA Net Viewerを使って確認することもできます。
 - ➡ Command Center RX操作手順書
 - ➡ KYOCERA Net Viewer操作手順書
- すべてのユーザーのジョブ履歴を表示したり、自分だけのジョブ履歴を表示したりすることができます。
 - ➡ [状況/履歴の表示 \(8-19ページ\)](#)
- この設定は、Command Center RXからも変更できます。
 - ➡ Command Center RX操作手順書

確認できるジョブ履歴の種類

ジョブの履歴は、印刷ジョブ、保存ジョブの2種類の履歴画面に分けて表示されます。
各画面で確認できるジョブ履歴は次のとおりです。

履歴画面	表示されるジョブ履歴
印刷ジョブ	- プリンター印刷 - メール受信印刷 - 文書ボックスからの印刷 - レポート/リスト印刷 - 外部メディアのデータ印刷 - アプリケーション印刷
保存ジョブ	プリンター保存

ジョブの履歴画面を表示する

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 確認したいジョブを選択する

[履歴]タブを選択し、確認するジョブを選択します。

ジョブ履歴の詳細情報を確認する

1 画面を表示する

➡ [ジョブの履歴画面を表示する \(7-7ページ\)](#)

2 確認する

1 確認するジョブを選択し、[詳細]を選択します。



選択したジョブの詳細情報が表示されます。



参考

[▽]または[△]を選択して、次/前のページの情報を確認できます。

2 確認が終了したら、[閉じる]を選択します。

ジョブ履歴を送信する

ジョブ履歴をメールで送信することができます。必要なときに手動で送信したり、件数を設定して定期的に自動送信することもできます。

➡ [履歴送信 \(8-26ページ\)](#)

ジョブの操作

ジョブの一時停止と再開

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを一時停止/再開することができます。

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 印刷ジョブ状況確認画面の[全印刷一時停止]を選択する

印刷が一時停止します。

一時停止中のジョブの印刷を再開するときは、[全印刷再開]を選択します。

ジョブをキャンセルする

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを中止することができます。

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、[中止]を選択する

3 確認画面で[はい]を選択する

印刷ジョブの中断と割り込み(優先印刷)

出力中の印刷ジョブを中断し、印刷待ちのジョブを先に印刷します。これを優先印刷と呼びます。

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 印刷ジョブ状況確認画面の[優先印刷]を選択する

3 確認画面で[はい]を選択する

印刷中の印刷ジョブが中断し、優先印刷するジョブの印刷が開始されます。

優先印刷が終了すると、中断していた印刷ジョブが再開されます。

印刷ジョブを入れ替える

待機中のジョブを選択して、出力順位を上げることができます。

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 印刷ジョブ状況確認画面の[順位を上げる]を選択する

3 確認画面で[はい]を選択する

選択したジョブの出力順位が1つ上がります。

もう1つ順位を上げたい場合は、もう一度[順位を上げる]を選択してください。[順位を上げる]を選択するごとに、1つずつ順位が上がります。

デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する

本機を構成するデバイスや本機に接続されている機器/回線の状態を確認できます。

1 画面を表示する

1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 [デバイス/通信]を選択します。

デバイスの状態を確認または、操作するための画面が表示されます。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「プリンター」

紙づまりやトナー切れ、用紙切れなどのエラー情報や、待機中、印刷中などの状態が表示されます。

「外部メモリー(USBメモリー)」

- 本機に接続した外部メディアの使用量/全容量/空き容量が表示されます。
- [フォーマット]を選択すると、外部メディアをフォーマットできます。



重要

[フォーマット]を選択すると外部メディアの中のデータがすべて消去されます。

- [取り外し]を選択すると、外部メディアを安全に取り外すことができます。

「ハードディスク」

フォーマット中、上書き消去中、エラー発生などの情報が表示されます。

「外部接続」

[外部接続]を選択すると、ネットワークの接続状況やオプションキーボードの状態が表示されます。

トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する

タッチパネルで、トナーや用紙の有無を確認できます。

1 画面を表示する

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。
- 2 [用紙/消耗品]を選択します。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「トナー情報」

トナー残量が段階的に表示されます。また、廃棄トナーボックスの状態が確認できます。

「用紙」

給紙元の用紙のサイズと向き、種類、残量が確認できます。また、用紙残量は段階的に表示されます。

「その他」

ステープルの針の有無やパンチくずボックスの状態が確認できます。

8 システムメニュー

この章では、次の項目について説明します。

本機の初期設定(システムメニュー)	8-2
操作方法	8-2
システムメニューの項目	8-3
カウンター	8-6
カセット/手差しトレイ設定	8-6
共通設定	8-8
ホーム	8-21
文書ボックス/外部メモリー	8-21
プリンター	8-22
レポート	8-25
システム/ネットワーク	8-30
ユーザー/部門管理	8-48
ユーザー情報	8-49
日付/タイマー/節電	8-49
調整/メンテナンス	8-52
インターネット	8-53
アプリケーション	8-53

本機の初期設定(システムメニュー)

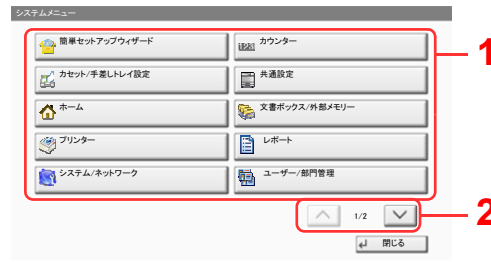
システムメニューは、本機の動作全般に関わる設定です。使用用途に応じて、工場出荷時の設定値を変更してください。

操作方法

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キーを選択します。

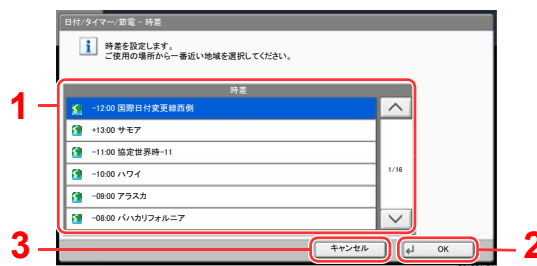
2 選択する



- 1 システムメニューの項目を表示します。
- 2 画面をスクロールして、表示されていない項目を表示します。
- 3 設定項目を表示します。
各項目のキーを選択して設定画面を表示します。
- 4 前の画面に戻ります。



3 設定する



- 1 設定項目を選択すると、設定が確定します。
- 2 設定を確定して終了します。
- 3 設定を変更せずに前の画面に戻ります。



参考

- 管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名:6000
ログインパスワード:6000
- 機能初期値を変更した場合、各機能の画面で[リセット]キーを選択すると設定がすぐに切り替わります。

次のシステムメニューの項目を参照して、必要な設定を行ってください。

システムメニューの項目

ここでは、システムメニューで設定できる機能を説明しています。システムメニューの項目を選択して、さらに設定項目を選択すると、設定を行うことができます。詳細については、次の表を参照してください。

システムメニューの項目	説明	参照ページ
簡単セットアップウィザード	ウィザード形式で省エネ、ネットワークの設定を行います。	2-36ページ
カウンター	印刷枚数を参照します。	8-6ページ
カセット/手差しトレイ設定	カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。	8-6ページ
カセット1(～5)	カセット1(～5)で使用する用紙の設定を行います。	8-6ページ
手差し設定	手差しトレイで使用する用紙の設定を行います。	8-7ページ
共通設定	本機全般について設定します。	8-8ページ
言語選択	タッチパネルに表示される言語を設定します。	8-8ページ
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。	8-8ページ
ブザー	本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。	8-8ページ
用紙設定	用紙に関する設定を行います。	8-9ページ
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから選択できます。	8-11ページ
エラー処理設定	エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。	8-12ページ
排紙先	文書ボックスからの印刷、パソコンからの印刷について、それぞれ別の排紙先を指定することができます。	8-13ページ
機能キー登録	各機能キーに機能を割り当てます。	8-14ページ
機能初期値	電源を入れてウォームアップが終了した後や[リセット]キーを選択した後に、自動的に設定される内容を初期値と呼びます。 ここでは、本機で使用する機能の初期値を設定することができます。よく使用する設定を初期値にしておけば、使用するたびに設定し直す必要がなく便利です。	8-14ページ
キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。	8-15ページ
システムスタンプ	ヘッダーやフッタ、スタンプに関する設定を行います。	8-15ページ
マニュアルステープル	マニュアルステープルに関する設定を行います。	8-17ページ
ジョブごとの文書仕分け	文書をジョブごとに仕分けするかどうかを設定します。	8-17ページ
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったことを通知するトナー残量を設定します。	8-18ページ
廃棄トナーボックス満杯通知	廃棄トナーボックスが満杯になることを通知する廃棄トナーボックス容量を設定します。	8-18ページ
1 ページ文書の仕分け	1 ページの文書を仕分けするかどうかを設定します。	8-18ページ
状況/履歴の表示	状況／履歴の表示を設定します。	8-19ページ
バナー印刷前の確認	バナー用紙に複数部数印刷したい場合に、1 枚ごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。	8-19ページ
状態確認画面の設定	印刷ジョブ状況画面に表示する項目を設定します。	8-19ページ

システムメニューの項目		説明	参照ページ
	掲示板設定	掲示板に関する設定を行います。	8-20ページ
	テンキーボード設定	テンキーを初期表示するかどうか選択します。	8-20ページ
	電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか設定します。	8-21ページ
ホーム		ホーム画面の設定を行います。	2-13ページ
文書ボックス/外部メモリー		ユーザーボックスやジョブボックスに関する設定を行います。	8-21ページ
プリンター		パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。	8-22ページ
レポート		本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。	8-25ページ
	レポート印刷	各種レポート、履歴の印刷設定を行います。	8-25ページ
	履歴送信		8-26ページ
	ログイン履歴設定		8-27ページ
	デバイス履歴設定		8-28ページ
	セキュリティ通信エラー履歴設定		8-29ページ
システム/ネットワーク		本機のシステムについて設定します。	8-30ページ
	ネットワーク設定	ネットワークに関する設定を行います。	8-30ページ
	オプションネットワーク	オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットの設定を行います。	8-42ページ
	優先ネットワーク(クライアント)	本機がクライアント側として動作する場合の接続時に使用するネットワークインターフェイスを選択します。	8-44ページ
	セキュリティレベル	セキュリティレベルの設定は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。	—
	インターフェイスブロック設定	USB ホストやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。	8-45ページ
	データセキュリティ	本機のハードディスクやメモリーに保存されているデータに関する設定を行います。	8-46ページ
	オプション機能	本機にインストールされているアプリケーションの起動を行います。	8-47ページ
	Bluetooth設定	Bluetoothキーボードの設定を行います。	8-47ページ
	デバイスの再起動	電源スイッチを切ることなく、CPUを再起動することができます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。	8-48ページ
	NFC	NFCの設定を行います。	8-48ページ

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ユーザー/部門管理	本機の管理に関する設定を行います。 ユーザー管理の詳細は、次を参照してください。 ➡ ユーザー管理を有効にする (9-3ページ) 部門管理の詳細は、次を参照してください。 ➡ 部門管理を有効にする (9-21ページ)	—
ユーザー情報	ログインしたユーザーに関する情報の確認や変更を行います。	8-49ページ
日付/タイマー/節電	日付や時間、節電に関する設定を行います。	8-49ページ
調整/メンテナンス	印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。	8-52ページ
インターネット	アプリケーションのインターネットに関する設定を行います。	8-53ページ
アプリケーション	本機にインストールされているアプリケーションの設定を行います。	8-53ページ

カウンター

[システムメニュー/カウンター]キー > [カウンター]

印刷枚数を参照します。

カセット/手差しトレイ設定

カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。

カセット1(～5)

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > [カセット1(～5)]

カセット1～5の用紙サイズと用紙種類について設定します。

選択する項目		選択できるサイズ/種類
用紙サイズ ^{*1}	自動	用紙のサイズを自動で検知・選択します。 設定値: A系/B系、インチ系
	定形サイズ1	定形サイズから選択します。 設定値: A3 ^{*2} 、A4-R ^{*3} 、A4 ^{*3} 、A5-R ^{*3} 、A5 ^{*3} 、A6-R ^{*3} 、B4 ^{*2} 、B5-R ^{*3} 、B5 ^{*3} 、B6-R ^{*3} 、216×340 mm ^{*3} 、SRA3 ^{*2}
	定形サイズ2	定形サイズ1以外の定形サイズから選択します。 設定値: Ledger ^{*2} 、Letter-R ^{*3} 、Letter ^{*3} 、Legal ^{*3} 、Statement-R ^{*3} 、Executive、12×18" ^{*2} 、Oficio II、Folio ^{*3} 、8K ^{*2} 、16K-R、16K
	その他	特殊な定形サイズから選択します。 設定値: ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4 ^{*2} 、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号
	サイズ入力	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。 設定値 カセット1 センチ X: 148～356 mm(1 mm単位)、Y: 98～297 mm(1 mm単位) インチ X: 5.83～14.02"(0.01"単位)、Y: 3.86～11.69"(0.01"単位) カセット2～4 センチ X: 148～457 mm(1 mm単位)、Y: 98～320 mm(1 mm単位) インチ X: 5.83～18.00"(0.01"単位)、Y: 3.86～12.60"(0.01"単位)
用紙種類 ^{*4}		用紙種類を選択します。 設定値: 普通紙(60～105 g/m ²)、薄紙(52～105 g/m ²)、再生紙、プレプリント ^{*5} 、ポンド紙、はがき ^{*6} 、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*5} 、レターヘッド ^{*5} 、封筒 ^{*5} 、厚紙(106～300 g/m ²)、上質紙、カスタム1～8

*1 オプションの大容量フィーダー(1,650枚×2)およびサイドフィーダー(3,500枚)を使用するときは、用紙サイズは表示されません。

*2 カセット1では表示されません。

*3 カセットで自動検知できる用紙サイズ。

*4 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

➡ [用紙種類の設定について \(8-11ページ\)](#)

用紙種類の設定で、用紙の重さがカセットから給紙できない重さに設定されている場合、用紙種類は表示されません。

*5 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

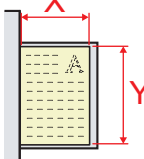
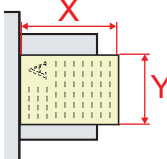
➡ [特定用紙種類の動作設定 \(8-10ページ\)](#)

*6 大容量フィーダー(1,650枚×2)およびサイドフィーダー(3,500枚)では表示されません。

手差しトレイ

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > [手差し設定]

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類について設定します。

項目		説明
用紙サイズ	自動	用紙のサイズを自動で検知・選択します。 設定値: A系/B系、インチ系
	定形サイズ1	定形サイズから選択します。 設定値: A3 ^{*1} 、A4-R ^{*1} 、A4 ^{*1} 、A5-R ^{*1} 、A5、A6-R ^{*1} 、B4 ^{*1} 、B5-R ^{*1} 、B5 ^{*1} 、B6-R ^{*1} 、216×340 mm、SRA3 ^{*1}
	定形サイズ2	定形サイズ1以外の定形サイズから選択します。 設定値: Ledger ^{*1} 、Letter-R ^{*1} 、Letter ^{*1} 、Legal ^{*1} 、Statement-R ^{*1} 、Executive、12×18" ^{*1} 、Oficio II、Folio ^{*1} 、8K、16K-R、16K
	その他	特殊な定形サイズから選択します。 設定値: ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき ^{*1} 、往復はがき、洋形4号、洋形2号
	サイズ入力	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。 設定値 センチ X: 148～457 mm(1 mm単位)、Y: 98～320 mm(1 mm単位) インチ X: 5.83～18.00"(0.01"単位)、Y: 3.54～12.59"(0.01"単位) X=長さ、Y=幅 縦向き  横向き 
用紙種類 ^{*2}		用紙種類を選択します。 設定値: 普通紙(60～105 g/m ²)、OHPフィルム、薄紙(52～105 g/m ²)、ラベル紙、再生紙、プレプリント ^{*3} 、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*3} 、レターヘッド ^{*3} 、封筒、厚紙(106～300 g/m ²)、加工紙、上質紙、インデックス紙、カスタム1～8

*1 手差しトレイで自動検知できる用紙サイズ。

*2 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

➡ [用紙種類の設定について \(8-11ページ\)](#)

*3 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

➡ [特定用紙種類の動作設定 \(8-10ページ\)](#)

共通設定

本機全般について設定します。

言語選択

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [言語選択]

項目	説明
言語選択	タッチパネルに表示される言語を設定します。

初期画面

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [初期画面]

項目	説明
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。 設定値: ホーム、状況確認、ユーザーボックス、ジョブボックス、外部メモリー、プログラム、インターネットブラウザ ^{*1} 、アプリケーション名 ^{*2}

*1 インターネットブラウザを設定する場合は、インターネットで必要な設定を行ってください。

➡ [インターネット\(8-53ページ\)](#)

*2 起動しているアプリケーションが表示されます。

➡ [アプリケーションとは\(5-9ページ\)](#)

ブザー

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [ブザー]

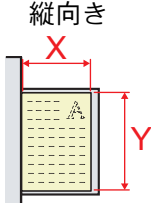
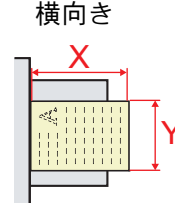
本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。

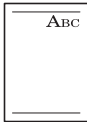
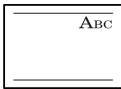
項目	説明
音量	ブザーの音量を設定します。 設定値: 0(消音)、1(小)、2、3(中)、4、5(大)
操作確認音	操作パネルやタッチパネルのキーを選択したときに鳴る音、またはオートクリアが働くときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
正常終了音	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
準備完了音	操作が可能になったときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
オプションキーボード	USBキーボードの操作状況を知らせる音です。 設定値: 使用しない、使用する

用紙設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [用紙設定]

用紙に関する設定を行います。

項目	説明
用紙種類の設定	それぞれの用紙種類に対して、重さ(用紙の厚さ)を設定します。 また、カスタム1～8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。 設定値は、次を参照してください。 ➡ 用紙種類の設定について (8-11ページ)
カスタム用紙サイズ登録	よく使用する不定形の用紙サイズを、カスタムサイズとして登録します。 登録したサイズは、手差しトレイの用紙サイズ選択時に表示されます。 [使用する]を選択して、サイズを入力してください。カスタムサイズは4種類まで登録できます。 設定値 センチ X:148～457 mm(1 mm単位)、Y: 98～320 mm(1 mm単位) インチ X:5.83～18.00"(0.01"単位)、Y:3.86～12.60"(0.01"単位) X=長さ、Y=幅 縦向き  横向き  用紙種類:普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、加工紙、上質紙、インデックス紙、カスタム1～8
優先給紙元	優先して使用する給紙元を設定します。 設定値:カセット1～5、手差し  参考 [カセット3]～[カセット5]は以下のオプションが装着されているときに表示されます。 [カセット3]:ペーパーフィーダー(550枚×2)または大容量フィーダー(1,650枚×2) [カセット4]:ペーパーフィーダー(550枚×2)または大容量フィーダー(1,650枚×2) [カセット5]:サイドフィーダー(3,500枚)
自動切替	大容量フィーダーを選択した場合、本機の使用状況に応じて自動的に別の大容量フィーダーに切り替えることができます。 設定値:設定しない、設定する
用紙セット時の確認	用紙をセットした時に、用紙設定の確認画面を表示するかどうかを各カセットごとに設定します。 設定値:設定しない、設定する
カセット1～5	
手差しトレイ	 参考 [カセット3]～[カセット5]は以下のオプションが装着されているときに表示されます。 [カセット3]:ペーパーフィーダー(550枚×2)または大容量フィーダー(1,650枚×2) [カセット4]:ペーパーフィーダー(550枚×2)または大容量フィーダー(1,650枚×2) [カセット5]:サイドフィーダー(3,500枚)

項目	説明
表紙給紙元	表紙付け機能で使用する表紙をセットする供給元を設定します。 設定値:カセット1~5、手差し  参考 [カセット3]~[カセット5]は以下のオプションが装着されているときに表示されます。 [カセット3]:ペーパーフィーダー(550枚×2)または大容量フィーダー(1,650枚×2) [カセット4]:ペーパーフィーダー(550枚×2)または大容量フィーダー(1,650枚×2) [カセット5]:サイドフィーダー(3,500枚)
特定用紙種類の動作設定	パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドに印刷するとき、文書の向きや印刷機能の組み合わせによっては、穴の位置が揃わなかったり、天地が逆に印刷されたりすることがあります。そのようなときに、この設定で[印刷方向を合わせる]を選択し、仕上りの向きを揃えます。仕上りの用紙の天地が逆になっても問題がない場合は、[速度優先]を選択します。 [印刷方向を合わせる]を選択した場合は、次の方法で用紙を補給してください。 例:レターヘッドに印刷する場合  原稿  用紙  仕上がり  カセット  手差しトレイ  原稿  用紙  仕上がり  カセット  手差しトレイ 設定値:印刷方向を合わせる、速度優先

用紙種類の設定について

各用紙種類に設定できる用紙の重さは次のとおりです。

用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類	用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類
軽い ^{*1}	52 g/m ² ～59 g/m ²	重い2 ^{*1}	136 g/m ² ～163 g/m ²
普通1	60 g/m ² ～74 g/m ²	重い3 ^{*1}	164 g/m ² ～220 g/m ²
普通2	75 g/m ² ～90 g/m ²	重い4 ^{*1}	221 g/m ² ～256 g/m ²
普通3	91 g/m ² ～105 g/m ²	重い5 ^{*1}	257 g/m ² ～300 g/m ²
重い1 ^{*1}	106 g/m ² ～135 g/m ²	非常に重い ^{*1}	OHPフィルム

^{*1} 通常よりも処理スピードが遅くなります。

各用紙種類に設定されている重さの初期値は次のとおりです。

用紙種類	初期値	用紙種類	初期値
普通紙	普通1	パンチ済み紙	普通1
薄紙	軽い	レターヘッド	重い1
ラベル紙	重い2	封筒	重い3
再生紙	普通1	厚紙	重い3
プレプリント	重い1	上質紙	普通1
ボンド紙	普通3	加工紙	普通3
はがき	重い3	インデックス紙	重い4
カラー紙	普通1	カスタム1～8	普通1

また、カスタム1～8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。

項目		説明
両面印刷	許可する	両面印刷できます。
	禁止する	両面印刷は禁止されます。
名前		カスタム1～8の名前を変更します。16文字以内で入力できます。手差しトレイに用紙種類を選択するときなどに、変更した名前が表示されます。 ➡ 文字の入力 (11-8ページ)

入力長さ単位

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [入力長さ単位]

項目	説明
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。 設定値 : mm、inch

エラー処理設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [エラー処理設定]

エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。

項目	説明
両面エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を設定します。 設定値 片面印刷: 片面印刷で印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。
後処理エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で後処理(ステープル/パンチ/仕分け)できない場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する: 設定を無視して印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。
ステープル針なし	印刷中にステープルの針がなくなった場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する: 途中からはステープルしないで、印刷を続行します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。  参考 オプションのフィニッシャーが必要です。
後処理枚数の超過	印刷中に後処理(ステープル/仕分け)できる枚数を超えた場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する: 途中からは後処理なしで、印刷を続行します。 エラーで停止: エラーメッセージが表示され、印刷を停止します。  参考 オプションのフィニッシャーが必要です。
パンチくず満杯	印刷の途中でボックスがいっぱいになった場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する: 途中からはパンチ穴を開けずに、印刷を続行します。 エラーで停止: エラーメッセージが表示され、印刷を停止します。  参考 オプションのフィニッシャーとパンチユニットが必要です。
用紙ミスマッチエラー	カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しない場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する: 設定を無視して印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。

項目	説明
給紙時のサイズエラー	手差しトレイに設定している用紙サイズと実際に給紙した用紙サイズが異なっていることを検知した場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する: 設定を無視して印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。
ステープル時の紙づまりエラー	ステープルを実行するジョブで紙づまりが発生した場合の再開するページ位置を選択できます。 設定値 先頭ページから再開: 原稿の先頭のページから印刷を再開します。 紙づまりページから再開: 紙づまりしたページから印刷を再開します。  参考 オプションのフィニッシャーが必要です。

排紙先

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [排紙先]

項目	説明
排紙先	文書ボックスからの印刷、パソコンからの印刷について、それぞれ別の排紙先を指定することができます。 設定値 ジョブセパレーター装着時 - メイントレイ: 本体のメイントレイに排紙します。 - ジョブセパレーター: ジョブセパレータートレイに排紙します。 1,000枚フィニッシャー装着時 - ジョブセパレーター^{*1}: ジョブセパレータートレイに排紙します。 - フィニッシャートレイ: フィニッシャーのトレイに排紙します。 4,000枚フィニッシャー装着時 - ジョブセパレーター^{*1}: ジョブセパレータートレイに排紙します。 - トレイA、トレイB: トレイA、トレイBに排紙します。 メールボックス装着時 - ジョブセパレーター^{*1}: ジョブセパレータートレイに排紙します。 - トレイA、トレイB: トレイA、トレイBに排紙します。 - トレイ1~7: メールボックスの1~7(1が最上段)に排紙します。  参考 - この機能は、オプションのジョブセパレーターまたはフィニッシャーを装着している場合に表示されます。

*1 排紙できない用紙サイズ: SRA3、12×18"

機能キー登録

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [機能キー登録]

各機能キーに機能を割り当てます。

項目	説明
機能キー1	設定値 : なし、ユーザーボックス、ジョブボックス、外部メモリー、インターネットブラウザ、プログラム ^{*1} 、アプリケーション ^{*2}  参考 [すべて]、[アプリケーション]、[プログラム]、[その他]で、表示される機能を選択することができます。
機能キー2	
機能キー3	

*1 登録されているプログラム名を表示します。

*2 登録されているアプリケーション名を表示します。

機能初期値

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [機能初期値]

項目	説明
縮小/拡大	縮小/拡大の初期値を設定します。 設定値 : 100%、自動
とじしろ初期値	とじしろ幅の初期値を設定します。 設定値 センチ 左右: -18～18 mm(1 mm単位)、上下: -18～18 mm(1 mm単位) インチ 左右: -0.75～0.75"(0.01" 単位)、上下: -0.75～0.75"(0.01" 単位)
エコプリント	エコプリントの初期値を設定します。 設定値 : 設定しない、設定する
ソート/仕分け	ソート/仕分けの初期値を設定します。 設定値 ソート: 設定しない、設定する 仕分け: 設定しない、1部ごと(「ソート」で[設定しない]を選択したときは、[ページごと]になります。)
トナー節約レベル(エコプリント)	トナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します。 設定値 : [1](低い)～[5](高い)  参考 レベルをあげるとトナーの消費を抑えられますが、画質は落ちます。
文書名入力	ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前(名前の初期値)を設定します。また付加情報として、日時とジョブ番号の有無も設定できます。 設定値 文書名: 32文字以内で入力できます。 付加情報: なし、日時、ジョブ番号、ジョブ番号 & 日時、日時 & ジョブ番号

項目	説明
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ(解像度)の初期値を設定します。 設定値 : 用紙サイズに合わせる、画像解像度のまま、印刷解像度に合わせる
XPS印刷サイズ調整	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。 設定値 : 設定しない、設定する

キーボード入力方式

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [キーボード入力方式]

項目	説明
キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。 設定値 : ローマ字漢字、かな漢字入力

システムスタンプ

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [システムスタンプ]

項目	説明
基本設定	追加するスタンプに関する設定を行います。
文字列(文字スタンプ)	[登録/編集]を選択して、テンプレートの文字列を編集します。テンプレートは8個まで登録できます。削除する場合は、[削除]を選択します。
フォント(ページ番号)	ページ番号を使用するときに、印字されるページ番号のフォントサイズを設定します。 設定値 サイズ1~3: 6.0~64.0 pt
フォント(連番スタンプ)	連番スタンプを使用するときに、印字される連番スタンプのフォントサイズを設定します。 設定値 サイズ1~3: 6.0~64.0 pt
フォント(文字スタンプ)	文字スタンプを使用するときに、印字されるスタンプのフォントサイズを設定します。 設定値 サイズ1~3: 6.0~64.0 pt

項目	説明
印刷ジョブ	文書を印刷するときのスタンプに関する設定を行います。 設定後はシステムメニューから、ユーザーボックス(文書の印刷)の操作画面に戻り、[リセット]キーを選択してください。
文字スタンプ	印刷ジョブに文字スタンプをつけるかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合、印刷時に文字スタンプ設定を変更することができません。
文字スタンプの編集	文字スタンプの初期値を設定します。
スタンプ	スタンプする文字列をテンプレートの中から選択するか、[スタンプ]を選択して印刷する文字列を32文字以内で入力します。  参考 テンプレートは設定している場合にのみ表示されます。テンプレートの登録については、次を参照してください。 ➡ 文字列(文字スタンプ) (8-15ページ)
スタンプ方式	文字スタンプの押しかたを選択します。 設定値: 印刷ページごと、原稿ページごと
位置	文字スタンプを印字する位置を設定します。 設定値: 左上、中央上、右上、中央左、中央、中央右、左下、中央下、右下、詳細  参考 [詳細]を選択するとスタンプ位置の詳細を設定したり、両面印刷時の裏面に押すスタンプ位置やスタンプの角度を設定できます。
フォント	文字スタンプのフォントについて設定します。 設定値 サイズ: フォント(文字スタンプ)登録されたフォントサイズが表示されます。 ➡ フォント(文字スタンプ) (8-15ページ) 囲み線: 設定しない、円、四角、下線 スタイル: なし、太字、斜体、太字/斜体 フォント: Courier、Letter Gothic、明朝、ゴシック 色: 黒、白 濃度: 10～100% (10%単位) 表示パターン: 透かし、切り抜き、上書き

項目	説明
印刷ジョブ	
連番スタンプ	印刷ジョブに連番スタンプをつけるかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する] を選択した場合、印刷時に連番スタンプ設定を変更することができません。
連番スタンプの編集	連番スタンプの初期値を設定します。 設定値: 日時、ユーザー名、シリアル番号、連番、文字列1、文字列2、日付形式、連番の初期値、位置、フォント  参考 ・ [文字列1] または [文字列2] を設定する場合は、下にある [変更] を選択し、文字列を32文字以内で入力してください。 ・ [日時] を設定する場合は、[日付形式] を選択して日付の表示形式を設定してください。 ・ [連番] を設定する場合は、[連番の初期値] を選択して連番の開始番号(1～9999999)を設定してください。[桁の固定] > [設定する] を選択すると、連番の桁数(1～7桁)を設定できます。 ・ 「位置」で [詳細] を選択した場合、スタンプ位置の詳細を設定したり、両面印刷時の裏面に押すスタンプ位置を設定できます。

マニュアルステープル

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [マニュアルステープル]



参考

オプションの4,000枚フィニッシャーを装着している場合に表示されます。

項目	説明
マニュアルステープル	マニュアルステープルを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する] を選択した場合は、マニュアルステープルモードを自動的に解除するまでの時間を設定してください。設定範囲は5～60秒(5秒単位)です。
ステープル位置	ステープル位置の初期値を設定します。 設定値: A4、Letter

ジョブごとの文書仕分け

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [ジョブごとの文書仕分け]

項目	説明
ジョブごとの文書仕分け	文書をジョブごとに仕分けをするかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 この機能は、オプションのフィニッシャーを装着している場合に表示されます。

トナー残量少の通知

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [トナー残量少の通知]

項目	説明
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。この通知は、Event Report、ステータスマニター、SNMP Trap(印刷機器管理システム等)に使用するものです。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、通知するトナー残量を設定してください。設定範囲は5～100%(1%単位)です。

廃棄トナーボックス満杯通知

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [廃棄トナーボックス満杯通知]

項目	説明
廃棄トナーボックス満杯通知	廃棄トナーボックスが満杯になることをユーザーまたは管理者に通知します。通知するタイミングを廃棄トナーボックスの内容量で設定してください。
操作パネルで通知	廃棄トナーボックスが満杯になることを操作パネルで通知します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、通知するタイミングを廃棄トナーボックスの内容量で設定してください。設定範囲は10～90%(10%単位)です。
外部へ通知(管理者向け)	廃棄トナーボックスが満杯になることを管理者に通知します。この通知は、Event Report、ステータスマニター、SNMP Trap(印刷機器管理システム等)に使用するものです。  参考 [設定する]を選択した場合は、通知するタイミングを廃棄トナーボックスの内容量で設定してください。設定範囲は10～90%(10%単位)です。

1ページ文書の仕分け

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [1ページ文書の仕分け]

項目	説明
1ページ文書の仕分け	1ページの文書を仕分けするかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 この機能は、オプションのフィニッシャーを装着している場合に表示されます。

状況/履歴の表示

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [状況/履歴の表示]

状況/履歴の表示を設定します。

項目	説明
ジョブ状況の詳細の表示	設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
ジョブ履歴の表示	設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない

バナー印刷前の確認

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [バナー印刷前の確認]

項目	説明
バナー印刷前の確認	バナー用紙に複数部数印刷したい場合に、1枚ごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する

状況確認画面の設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [状況確認画面の設定]

印刷ジョブ、保存ジョブの状況画面に表示する項目を設定します。

項目	説明
印刷ジョブの列1	設定値: ジョブ名、ユーザー名、印刷ページ数 x 部数、合計印刷ページ数
印刷ジョブの列2	設定値: ジョブ名、ユーザー名、印刷ページ数 x 部数、合計印刷ページ数
保存ジョブの列1	設定値: ジョブ名、ユーザー名、原稿ページ数、カラー/白黒
保存ジョブの列2	設定値: ジョブ名、ユーザー名、原稿ページ数、カラー/白黒

掲示板設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [掲示板設定]

項目		説明
掲示板		掲示板を使用するかどうかを設定します。 設定値 : 設定しない、設定する
メッセージリスト		登録されている掲示板の管理を行います。
	新規登録	新しい掲示板を登録します。
	表示するデバイス	メッセージを表示するデバイスを設定します。 設定値 表示しない: メッセージを表示しません。 操作パネル: 操作パネルに表示します。 Embedded Web Server: Command Center RXに表示します。 操作パネル + Web Server: 操作パネルとCommand Center RXに表示します。
	メッセージの種類	メッセージの種類を設定します。 設定値 : 標準、警告、禁止
	表示する場所	操作パネルでメッセージを表示する場所を設定します。 設定値 認証画面: ユーザー認証で表示されるログイン画面 ホーム画面: ホーム画面 認証画面 + ホーム画面: ユーザー認証で表示されるログイン画面とホーム画面
	優先表示	掲示板の上にメッセージを表示します。 設定値 : 設定しない、設定する
	タイトル	掲示板に表示するタイトルを30文字以内で入力します。
	本文	掲示板に表示する本文を300文字以内で入力します。
	削除	リストで選択した掲示板を削除します。
	優先順位を上げる	リストで選択した掲示板の優先順位を上げます。
	優先順位を下げる	リストで選択した掲示板の優先順位を下げます。
	詳細/編集	選択した掲示板の情報を表示または編集します。

テンキーボード設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [テンキーボード設定]

項目		説明
初期表示	ボックス印刷	テンキーを初期表示するかどうか選択します。 設定値 : 使用しない、使用する
	HyPASアプリケーション	
レイアウト(HyPASアプリケーション)		HyPASアプリケーション起動時のテンキーボードレイアウトを選択します。 設定値 : 浮動、水平、右側

電源オフ時の確認

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [電源オフ時の確認]

項目	説明
電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか設定します。 設定値 : 設定しない、設定する

ホーム

[システムメニュー/カウンター]キー > [ホーム]

ホーム画面の設定を行います。

➡ [ホーム画面を編集する \(2-14ページ\)](#)

文書ボックス/外部メモリー

[システムメニュー/カウンター]キー > [文書ボックス/外部メモリー]

ユーザーボックスやジョブボックスに関する設定を行います。

項目	説明
ユーザーボックス	ユーザーボックスに関する設定を行います。
ボックス登録/編集	➡ ユーザーボックスを作成する(新規作成) (5-20ページ)
初期設定	文書自動消去時刻 保存されている文書を自動的に消去する時刻を設定することができます。
ジョブボックス	ジョブボックスに関する設定を行います。
クイックコピージョブ保持数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。 設定値 : 0 ~ 300の範囲  参考 0を設定するとクイックコピーは使用できません。
一時保存文書の自動消去	ジョブボックスのプライベートプリント、クイックコピー、試し刷り後保留の一時保存文書を、保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。 設定値 : 設定しない、1時間、4時間、1日、1週間  参考 この機能は、設定後に保存した文書に有効です。この機能の設定に関わらず、電源スイッチを切ると一時保存文書は消去されます。
簡単設定登録	簡単設定で使用する機能を登録することができます。簡単設定画面の6つのキーには、あらかじめ代表的な機能が割り当てられていますが、必要に応じて変更できます。登録できるのは、次の機能のうちの6つです。 用紙選択、ソート/仕分け、ステープル/パンチ ^{*1} 、両面、ページ集約、印刷後削除 設定値 : 設定しない、キー1~6

*1 オプションのフィニッシャーを装着している場合に表示されます。また、パンチユニットを装着していない場合、項目名は「ステープル」になります。

プリンター

[システムメニュー/カウンター]キー > [プリンター]

パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。

項目	説明
エミュレーション	本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。 設定値: PCL6、PC-PR201/65A、IBM5577、EPSON VP-1000、KPD L、KPD L(自動)  参考 - PC-PR201/65A、IBM5577、EPSON VP-1000はオプションのエミュレーションアップグレードキットを装着しているときに表示されます。 [KPD L(自動)]を選択した場合は、「代替エミュレーション」の設定も行ってください。 [KPD L]または[KPD L(自動)]を選択した場合は、「KPD Lエラーレポート」の設定も行ってください。
代替エミュレーション	エミュレーションモードに[KPD L(自動)]を選択すると、印刷するデータに応じてKPD Lともう1つのエミュレーションモード(代替エミュレーション)を自動的に切り替えることができます。 設定値: PCL6、PC-PR201/65A、IBM5577、EPSON VP-1000  参考 PC-PR201/65A、IBM5577、EPSON VP-1000はオプションのエミュレーションアップグレードキットを装着しているときに表示されます。
KPD Lエラーレポート	KPD Lエミュレーションモードで印刷中にエラーが発生した場合に、エラーレポートを出力するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
エコプリント	エコプリントとは、トナーの消費量を抑える機能です。ただし印刷は薄くなりますので、試し印刷などのときに設定してください。 設定値: 設定しない、設定する
トナー節約レベル (エコプリント)	トナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します。 設定値: 1(低い)～5(高い)  参考 レベルをあげるとトナーの消費を抑えられますが、画質は悪くなります。
A4/Letterの共通使用	サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。 設定値 設定しない: A4サイズとLetterサイズは共通サイズとみなされません。 設定する: A4サイズとLetterサイズが共通サイズとみなされます。どちらかのサイズが給紙元にあれば給紙されます。
両面印刷	両面印刷時の、仕上がりの方角を設定します。 設定値: 片面、両面長辺とじ、両面短辺とじ
部数	印刷部数を1～999部まで設定します。 設定値: 1～999部
印刷の向き	印刷方向を[たて]または[よこ]に設定します。 設定値: たて、よこ

項目	説明
改ページ待ち時間	本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がないと、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ(印刷)を行います。この待ち時間を5～495秒の範囲で設定します。 設定値: 5～495秒(5秒単位)
改行(LF)動作	本機が改行コード(文字コード0AH)を受信したときの動作を設定します。 設定値: 改行(LF)のみ、改行(LF)+復帰(CR)、改行(LF)を無視する
復帰(CR)動作	本機が復帰コード(文字コード0DH)を受信したときの動作を設定します。 設定値: 復帰(CR)のみ、改行(LF)+復帰(CR)、復帰(CR)を無視する
ジョブ名	プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用する]を選択した場合は、使用するジョブ名を[ジョブ名]、[ジョブ番号&ジョブ名]、[ジョブ名&ジョブ番号]の中から選択してください。
ユーザー名	プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。 設定値 自動: 用紙サイズおよび用紙種類にあわせて給紙元を選択し、印刷します。 固定: 選択した給紙元の用紙で印刷します。
印刷範囲の補正	プリンターの印刷範囲を補正します。アプリケーションによっては、印刷位置が意図したものと異なる場合があります。この場合には印刷位置を補正して、印刷位置を縦横方向にずらすことができます。 設定値 たて: -76.0～+76.0 mm よこ: -76.0～+76.0 mm
手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。 設定値 設定しない: プリンタードライバーの設定に従います。 自動給紙時: プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。 常時: 手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイから給紙します。
自動カセット切り替え	印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 ・ [設定しない]を選択すると、用紙がなくなった場合、「カセット○に以下の用紙を補給してください。」(○はカセットの番号)または「手差しトレイに以下の用紙を補給してください。」と表示して印刷を停止します。 ・ メッセージに表示されたカセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。 ・ 他のカセットから印刷する場合は、[用紙選択]を選択して給紙元を選択します。 ・ [設定する]を選択すると、用紙がなくなっても、用紙サイズと種類が一致する他のカセットがあるときは、印刷を自動的に継続します。

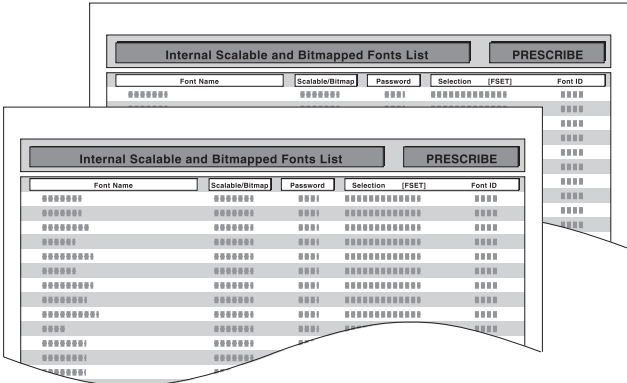
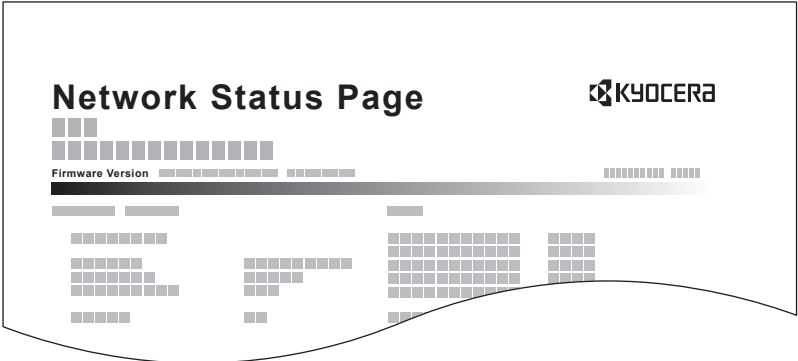
項目	説明
ワイドA4	この設定を[設定する]にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します(10 cpi)。この設定はPCL6のエミュレーションでのみ有効になります。 設定値 : 設定しない、設定する
解像度	印刷時の解像度を設定します。 設定値 : 600 dpi、1200 dpi  参考 操作パネルの設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。
KIR	KIR(スムージング)の初期状態を設定します。 設定値 : 設定しない、設定する
印刷ジョブの終端	使用環境や他の理由で印刷ジョブが最後まで処理されなかった場合に、ジョブ終端とみなす条件を設定します。 設定値 EOJ(End of Job): ジョブデータの終端を表すコマンドの検出までを1ジョブとします。 ネットワークセッションの終了: ネットワーク接続の1セッション中に含まれるデータを1ジョブとします。 UEL(Universal Exit Language): ジョブの終端部のUELの検出までを1ジョブとします。

レポート

本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。

レポート印刷

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [レポート印刷]

項目	説明
ステータスページ	ステータスページを印刷します。現在の設定内容、使用可能メモリー、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。 
フォントリスト	フォントリストを印刷します。本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。 
ネットワークステータス	ネットワークステータスページを印刷します。ネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。 
サービスステータスページ	サービスステータスページを印刷します。ステータスページよりも詳細な情報が確認できます。サービス担当者がメンテナンスの際に印刷するのが主な用途です。

項目	説明
オプションネットワークステータス	オプションネットワークステータスページを印刷します。オプションネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。  参考 この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。
設定情報リスト	システムメニューの設定値を一覧で印刷します。本機の設定が確認できます。
セキュリティデータ完全消去レポート	セキュリティデータの完全消去レポートを印刷します。

履歴送信

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [履歴送信]

項目	説明
自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、自動送信をするジョブ履歴の件数を設定してください。設定範囲は1～1500件です。
履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。
送信先	ジョブ履歴を送信する送信先を設定します。設定できるアドレスはメールアドレスのみです。
ジョブ履歴件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値: 60字以内
個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。 設定値: 含める、含めない

ログイン履歴設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [ログイン履歴設定]

項目	説明
ログイン履歴	ログイン履歴を残すかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、保持する履歴数を設定してください。設定範囲は1～1,000件です。
自動送信	履歴件数が「ログイン履歴」で設定した件数になったとき、設定した宛先に自動で送信するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 この機能は、「ログイン履歴」を[設定する]にしている場合に表示されます。
送信先	ログイン履歴を送信する宛先を設定します。設定できる宛先はメールアドレスのみです。  参考 この機能は、「ログイン履歴」を[設定する]にしている場合に表示されます。
件名	ログイン履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値: 60字以内  参考 この機能は、「ログイン履歴」を[設定する]にしている場合に表示されます。
ログイン履歴リセット	保持しているログイン履歴をリセットします。

 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 6000
ログインパスワード: 6000

デバイス履歴設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [デバイス履歴設定]

項目	説明
デバイス履歴	デバイス履歴を残すかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、保持する履歴件数を設定してください。設定範囲は1～1,000件です。
自動送信	履歴件数が「デバイス履歴」で設定した件数になったとき、設定した宛先に自動で送信するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 この機能は、「デバイス履歴」を[設定する]にしている場合に表示されます。
送信先	デバイス履歴を送信する宛先を設定します。設定できる宛先はメールアドレスのみです。  参考 この機能は、「デバイス履歴」を[設定する]にしている場合に表示されます。
件名	デバイス履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値: 60字以内  参考 この機能は、「デバイス履歴」を[設定する]にしている場合に表示されます。

 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 6000
ログインパスワード: 6000

セキュリティ通信エラー履歴設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [セキュリティ通信エラー履歴設定]

項目	説明
セキュリティ通信エラー履歴	セキュリティ通信エラー履歴を残すかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、保持する履歴件数を設定してください。設定範囲は1～1,000件です。
自動送信	履歴件数が「セキュリティ通信エラー履歴」で設定した件数になったとき、設定した宛先に自動で送信するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 この機能は、「セキュリティ通信エラー履歴設定」を[設定する]にしている場合に表示されます。
送信先	セキュリティ通信エラー履歴を送信する宛先を設定します。設定できる宛先はメールアドレスのみです。  参考 この機能は、「セキュリティ通信エラー履歴設定」を[設定する]にしている場合に表示されます。
件名	セキュリティ通信エラー履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値: 60字以内  参考 この機能は、「セキュリティ通信エラー履歴設定」を[設定する]にしている場合に表示されます。

 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 6000

ログインパスワード: 6000

システム/ネットワーク

本機のシステムについて設定します。

ネットワーク設定

ネットワークに関する設定を行います。

ホスト名

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ホスト名]

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。 ➡ デバイス情報を変更する (2-53ページ)

Wi-Fi Direct設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct設定]

Wi-Fi Directの設定を行います。

 **参考**

この機能は、オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-35) を装着している場合に表示されます。

項目	説明
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
デバイス名	デバイス名を設定します。  参考 - 文字数は最大32文字までです。 - この機能は、Wi-Fi Directが[設定する]の場合に表示されます。
IPアドレス	本機のIPアドレスを確認します。 ➡ TCP/IP設定 (8-35ページ)  参考 この機能は、Wi-Fi Directが[設定する]の場合に表示されます。
自動切断	Wi-Fi Directで接続された機器を自動的に切断します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、自動的に切断するまでの時間を設定してください。 - この機能は、Wi-Fi Directが[設定する]の場合に表示されます。

Wi-Fi設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi設定]

Wi-Fiの設定を行います。



参考

この機能は、オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-35) を装着している場合に表示されます。

Wi-Fi

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fiを使用するかどうか設定します。 設定値: 設定しない、設定する

セットアップ

項目	説明
接続の状態	無線LANの状態を確認できます。
簡単セットアップ	ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。
利用可能なネットワーク	接続可能なアクセスポイントを選択し、事前共有キーを入力すると接続を開始します。
WEPキーインデックス	アクセスポイントで設定しているキーインデックスの値を選択してください。 設定値: 0～3
プッシュボタン方式	アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。 参考 プッシュボタン式はWPSのみに対応しています。
PINコード方式(本体)	本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。

項目	説明		
カスタムセットアップ	無線LANの詳細設定を変更できます。		
ネットワーク名(SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier)を設定します。  参考 32 文字まで入力できます。		
ネットワーク認証	ネットワーク認証の方式を選んでください。 設定値: オープンシステム、WPA2/WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA2/WPA-EAP、WPA2-EAP		
暗号化	暗号化方式を設定します。ネットワーク認証の方式により設定値が異なります。		
	ネットワーク認証	暗号化方式	
	オープンシステム	無効	—
		WEP	WEPキー: 26文字まで WEPキーインデックス: 0~3
	WPA2/WPA-PSK	データの暗号化: AES、自動 事前共有キー: 64文字まで	
	WPA2-PSK	データの暗号化: AES 事前共有キー: 64文字まで	
	WPA2/WPA-EAP	データの暗号化: AES、自動	
	WPA2-EAP	データの暗号化: AES	

TCP/IP設定

項目	説明
TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
IPv4	TCP/IP (IPv4)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレースアウトになり、入力できません。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレースアウトになり、入力できません。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレースアウトになり、入力できません。
DHCP	DHCP (IPv4)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する

 重要

- Auto IPを使用する場合、IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。
- 設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

項目	説明
IPv6	TCP/IP (IPv6)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
IPv6	IPv6を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Link Local)]/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
RA(Stateless)	RA(Stateless)を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateless)]/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
手動設定	TCP/IP (IPv6)のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入力します。 設定値 IPアドレス(手動): 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割 プレフィックス長: 0~128 デフォルトゲートウェイ: 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割  参考 この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [デフォルトゲートウェイ]を入力する場合は、[RA(Stateless)]を[使用しない]に設定します。
DHCP	DHCP (IPv6)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateful)]/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。

 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

ネットワークの再起動

項目	説明
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します。

有線設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [有線設定]

有線ネットワークの設定を行います。

TCP/IP設定

項目	説明
TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
IPv4	TCP/IP (IPv4) でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。
DHCP	DHCP (IPv4) サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
DNSサーバー	DNSサーバー (IPv4) を設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 [手動]を選択した場合は、「DNSサーバー(プライマリー)」と「DNSサーバー(セカンダリー)」を入力してください。

 重要

- Auto IPを使用する場合、IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。
- 設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

項目	説明
IPv6	TCP/IP (IPv6)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
IPv6	IPv6を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Link Local)/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
RA(Stateless)	RA(Stateless)を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 - この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateless)/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
手動設定	TCP/IP (IPv6)のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入力します。 設定値 IPアドレス(手動): 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割 プレフィックス長: 0~128 デフォルトゲートウェイ: 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割  参考 - この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [デフォルトゲートウェイ]を入力する場合は、[RA(Stateless)]を[使用しない]に設定します。
DHCP	DHCP (IPv6)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 - この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateful)/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
DNSサーバー	DNSサーバー (IPv6)を設定します。 設定値: 自動(DHCP)、手動  参考 [手動]を選択した場合は、「DNSサーバー(プライマリー)」と「DNSサーバー(セカンダリー)」を入力してください。

**重要**

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

LANインターフェイス

項目	説明
LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。 設定値: 自動、10BASE-T Half、10BASE-T Full、100BASE-TX Half、100BASE-TX Full、1000BASE-T

**重要**

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

Bonjour

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Bonjour]

項目	説明
Bonjour	Bonjourを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	
有線	

IPSec

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [IPSec]

項目	説明
IPSec	IPSecを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する

プロトコル設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定]

プロトコルの設定を行います。

項目	説明
SMTP(メール送信)	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
POP3(メール受信)	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する

項目	説明
ThinPrint	ThinPrintを使用するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を選択してください。ポート番号の工場出荷時の値は4000です。 ^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する  参考 この機能は、ThinPrint Optionが起動していない場合は表示されません。
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	
有線	
Thin Print over SSL	Thin Print over SSLを使用するには、本設定で[使用する]を、「セキュリティ設定」の[SSL]で[使用する]を選択してください。 設定値: 使用しない、使用する  参考 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
FTPサーバー(受信)	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	
有線	
LPD	LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	
有線	
NetBEUI	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	
有線	
Raw	Raw Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	
有線	

項目	説明
WSD印刷	弊社が独自に提供するWeb サービスを使用するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	
SNMPv1/v2c	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	
SNMPv3	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	
Enhanced WSD	弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	
Enhanced WSD over SSL	弊社が独自に提供するWebサービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	
IPP	IPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を選択し、「セキュリティ設定」の[SSL]で[使用しない]を選択してください。そして、Command Center RXからセキュリティ設定で[非セキュア (IPPSとIPP)]を選択してください。ポート番号の工場出荷時の値は631です。 ^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	

項目	説明
IPP over SSL	SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を、「セキュリティ設定」の[SSL]で[使用する]を選択してください。ポート番号の工場出荷時の値は443です。^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する  参考 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	
HTTP	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。^{*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	
HTTPS	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	
LDAP	LDAPを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
VNC (RFB)	弊社製以外のVNC Viewer(例:Real VNC)を起動して、リモート操作を使用する場合に設定します。^{*1} ポート番号の工場出荷時の値は9062です。 設定値: 使用しない、使用する
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	
VNC (RFB) over SSL	弊社製以外のVNC Viewer(例:Real VNC)を起動して、SSLで保護されたリモート操作を使用する場合に設定します。^{*1*2} ポート番号の工場出荷時の値は9063です。 設定値: 使用しない、使用する  参考 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。
Wi-Fi	設定値: 無効、有効
有線	

項目	説明
EnhancedVNC over SSL	Command Center RXを起動して、SSLで保護されたリモート操作を使用する場合に設定します。^{*1*2} ポート番号の工場出荷時の値は9061です。 設定値: 使用しない、使用する  参考 - 工場出荷時の設定値は、[使用する]です。 - 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
Wi-Fi Direct	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	
有線	

*1 「セキュリティ設定」で「SSL」を[使用する]にしてください。

➡ [セキュリティ設定 \(8-41ページ\)](#)

*2 デバイスまたはネットワークの再起動後に設定が切り替わります。



重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

セキュリティ設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [セキュリティ設定]

項目	説明
SSL	通信にSSLを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する

プロキシ

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロキシ]

項目	説明
プロキシ	アプリケーションからインターネットへ接続するときのプロキシを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
すべてのプロトコルでこのプロキシを使用する	すべてのプロトコルに同じプロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。チェックボックスにチェックを入れます。
プロキシサーバー (HTTP)	プロキシサーバー (HTTP) を設定します。 設定値: (プロキシのアドレスとポート番号を入力します)
プロキシサーバー (HTTPS)	プロキシサーバー (HTTPS) を設定します。「すべてのプロトコルでこのプロキシを使用する」の設定が[使用しない]の場合に設定できます。 設定値: (プロキシのアドレスとポート番号を入力します)
プロキシを使用しないドメイン	プロキシを使用しないドメインを設定します。 設定値: (ドメインを入力します)

Ping

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Ping]

項目	説明
Ping	送信先のホスト名またはIPアドレスを入力することで、送信先と通信ができるかどうかを確認します。  参考 この機能は、[優先ネットワーク(クライアント)]を[オプションネットワーク]に設定している場合は表示されません。

ネットワークの再起動

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワークの再起動]

項目	説明
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します。

オプションネットワーク

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプションネットワーク]

基本設定

オプションのネットワークインターフェイスキットの設定を行います。

 **参考**
このメニューは、オプションのネットワークインターフェイスキットまたは、ワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。 ➡ デバイス情報を変更する (2-53ページ)
TCP/IP設定	設定値は、次を参照してください。 ➡ TCP/IP設定 (8-35ページ) ➡ Bonjour (8-37ページ) ➡ IPSec (8-37ページ)
NetWare	NetWareを使用して文書を受信します。 ➡ ネットワークインターフェイスキットの使用説明書 設定値: 使用しない、使用する
AppleTalk	AppleTalkを使用して文書を受信するかどうかを設定します。^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
LANインターフェイス	LANインターフェイスを選択します。^{*1} 設定値: 自動、10Base-Half、10Base-Full、100Base-Half、100Base-Full、1000BASE-T  参考 この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
MACアドレスフィルター	MACアドレスフィルターを使用するかどうかを設定します。  ネットワークインターフェイスキットの使用説明書 設定値: 使用しない、使用する
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

ワイヤレスネットワーク

オプションのワイヤレスインターフェイスキットの設定を行います。



参考

この機能は、オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-51) を装着している場合に表示されます。

項目	説明
接続の状態	オプションのワイヤレスインターフェイスキットが装着されている場合、無線LANの状態を確認できます。
簡単セットアップ	ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。
利用可能なネットワーク	接続可能なアクセスポイントを選択し、事前共有キーを入力すると接続を開始します。
プッシュボタン方式	アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。  参考 プッシュボタン式はWPSのみに対応しています。
PINコード方式(本体)	本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。
PIN方式(端末)	アクセスポイントのPINコードで接続を開始します。アクセスポイントのPINコードを入力してください。
カスタムセットアップ	無線LANの詳細設定を変更できます。
ネットワーク名 (SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier) を設定します。  参考 文字数は最大32文字までです。
接続モード	接続モードを設定します。 設定値: アドホック、インフラストラクチャー  参考 - アドホック: アクセスポイントを介せずに直接機器と通信します。2台以上の機器と接続はできません。 - インフラストラクチャー: アクセスポイントを介して通信を行います。
チャンネル	チャンネルを設定します。[-][+]またはテンキーで数値を入力してください。 設定値: 1～11

項目	説明
ネットワーク認証	ネットワーク認証の方式を選んでください。他の認証方式を選択する場合は、コンピュータからwebページにアクセスして設定してください。 設定値: オープンシステム、共有キー、WPA-PSK^{*1}、WPA2-PSK^{*1}
暗号化	暗号化方式を設定します。[無効]以外を設定した場合は、WEPキーまたは事前共有キーを入力してください。ネットワーク認証の方式により設定値が異なります。[データの暗号化]を選択してください。 ネットワーク認証の方式が[オープンシステム]または[共有キー]の場合 設定値: 無効、WEP ネットワーク認証の方式が[WPA-PSK]または[WPA2-PSK]の場合 設定値: TKIP^{*2}、AES、自動^{*2}、事前共有キー  参考 • [WEP]を選択した場合、WEPキーを入力してください。文字数は最大26文字までです。 • [TKIP]、[AES]、または[自動]を選択した場合、事前共有キーを入力してください。文字数は8～64文字までです。

*1 「接続モード」で[アドホック]にしている場合は表示されません。

*2 「ネットワーク認証」で[WPA2-PSK]にしている場合は表示されません。

優先ネットワーク(クライアント)

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [優先ネットワーク(クライアント)]



参考

この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50) またはワイヤレスインターフェイスキット (IB-35またはIB-51) を装着している場合に表示されます。

項目	説明
優先ネットワーク(クライアント)	本機がクライアント側として動作する場合の接続時に使用するネットワークインターフェイスを選択します。 設定値: Wi-Fi、有線、オプションネットワーク  参考 • [Wi-Fi]はオプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-35) を装着している場合に表示されます。 • [オプションネットワーク]はオプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50) またはワイヤレスインターフェイスキット (IB-51) を装着している場合に表示されます。

セキュリティーレベル

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [セキュリティーレベル]

項目	説明
セキュリティーレベル	セキュリティーのレベルを設定します。 設定値 低い:メンテナンス時に使用します。通常は使用しないでください。 高い:弊社が推奨するセキュリティー設定です。通常はこの設定を使用してください。 最高:[高い]の状態に加えて、外部のコマンドから本体の設定を変更できないようにします。  参考 この機能は機器管理者の権限でログインしたときのみ設定できます。 ➡ ユーザー情報を変更する (9-4ページ)

インターフェイスブロック設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [インターフェイスブロック設定]

USBホストやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。

項目	説明
USBホスト	USBポートおよびUSBポート (USBホスト)をブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
USBデバイス	USBインターフェイスコネクタ (USBデバイス)をブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
USBストレージ	USBメモリースロットをブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする  参考 この機能は、USBホストを[ブロックしない]にしている場合に設定できます。
オプションインターフェイス (スロット1)	オプションインターフェイスをブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
オプションインターフェイス (スロット2)	 参考 この機能は、各オプションインターフェイスで設定できます。



重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

データセキュリティ

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [データセキュリティ]

SSD、ハードディスク、またはメモリーに保存されているデータに関する設定を行います。

項目	説明
ハードディスク/SSDの初期化	セキュリティ機能の設定を変更します。  参考 - この機能は、オプションのセキュリティキットを起動している場合に表示されます。 - セキュリティ機能の設定を変更するには、セキュリティパスワードの入力が必要です。工場出荷時は000000となっています。
データ上書き消去方式	データの上書き消去方式を変更します。消去方式の詳細については、次を参照してください。 ➡ Data Security Kit (E)使用説明書 設定値 1回上書き方式: 不要なデータ保存領域(上書き消去の場合)またはすべての領域(システムの初期化の場合)に「0」を上書きし、データの復元を不可能にします。 3回上書き方式 (DoD): 米国国防総省 (DoD) の規格に準拠した上書き方法で、ハードディスクの不要なデータ保存領域(上書き消去の場合)またはすべての領域(システムの初期化の場合)に、特定の文字、その補数、ランダムな文字の書き込みなどを行いデータの復元を不可能にします。高度な復元作業でもデータの復元が不可能になり、1回上書き方式に比べセキュリティが強化されます。  参考 多くのデータ量を上書き消去する場合、3回上書き方式 (DoD) は1回上書き方式に比べ所要時間が増加することがあります。
セキュリティパスワード	セキュリティパスワードを工場出荷時の値から変更して、管理者だけがセキュリティキットを操作できるようにします。 パスワードは6～16桁の数字で入力してください。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力する必要があります。  重要 セキュリティパスワードは11111111や12345678など推測されやすい番号の使用はできるだけ避けてください。
システムの初期化	ハードディスク/SSDの内容を完全に消去することができます。本体の使用を中止するときなどに行ってください。  重要 初期化中に電源スイッチを切ると、ハードディスク/SSDが破損し、初期化が完了しなくなるおそれがあります。  参考 万一初期化中に電源スイッチを切ってしまった場合は、電源スイッチを入れ直してください。自動的に初期化が再開します。

項目	説明
セキュリティデータの完全消去	本機に登録されている次の情報を、工場出荷時に戻します。 - システム設定 - ユーザーボックス内のデータ - オプションアプリケーションデータ  参考 - ステータスページを印刷して、セキュリティデータが確実に消去されていることを確認してください。 ➡ ステータスページ (8-25ページ) - 途中で処理を取り消すことはできません。 - この操作を行う前にネットワークケーブルなどを外してください。 - 消去中に電源を切らないでください。消去中に電源を切った場合、電源起動後に自動的に消去を実行しますが、完全な動作保証はできません。
ソフトウェア検証	本機のソフトウェアの検証を行います。 [実行]を選択して検証を開始します。 ソフトウェア検証で異常が発生した場合は、サービス担当者に連絡してください。

消去される項目

分類	消去されるデータ
機器/ジョブ	- ユーザーが設定したジョブの設定値 - ネットワークの設定 - 文書ボックスなどに保存された画像データ - ジョブの履歴 - ユーザー情報(ユーザーが登録した文書ボックスなど) - 部門管理の部門情報 - ネットワーク証明書 - サービス担当者を変更した本機の起動画面
アプリケーション/プログラム	- ユーザーやサービス担当者が登録したアプリケーション/プログラム - お試し機能

オプション機能

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプション機能]

項目	説明
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。 ➡ オプションのアプリケーションについて (11-6ページ)

Bluetooth設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [Bluetooth設定]

項目	説明
Bluetoothキーボード	Bluetoothキーボードを使用します。 設定値: 設定しない、設定する
デバイス検索	利用するキーボードを選択してください。

デバイスの再起動

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [デバイスの再起動]

項目	説明
デバイスの再起動	電源スイッチを切ることなく、CPUを再起動することができます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。

リモートサービス設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [リモートサービス設定]

本機で問題が発生したときに、弊社営業拠点からインターネットを介して、本機の操作パネル画面にリモートでアクセスし、画面を操作しながら操作手順やトラブルの解決方法を説明することができます。

 **参考**
 リモートサービス設定を使用するときは、弊社と契約をする必要があります。詳しくは弊社営業拠点または購入元にお問い合わせください。

NFC

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [NFC]

項目	説明
NFC	NFC(近距離通信)を使用します。 設定値 : 設定しない、設定する

リモート操作

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [リモート操作]

項目	説明
リモート操作	リモート操作の設定を行います。 設定値: 使用しない、使用する [使用する]を選択した場合は、使用制限を設定してください。 [制限しない]: 管理者権限のないユーザーでもリモート操作を使用できます。 [パスワードを使用]: リモート操作を使用するためのパスワードを入力してください。 [管理者のみ許可]: 管理者だけがリモート操作を使用できます。  参考 [管理者のみ許可]を選択した場合は、VNCソフトウェアからのリモート操作ができません。

ユーザー/部門管理

[システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

本機の管理に関する設定を行います。

- ➡ [ユーザー管理とは \(9-2ページ\)](#)
- ➡ [部門管理とは \(9-20ページ\)](#)
- ➡ [不明ユーザー処理方法を設定する \(9-34ページ\)](#)

ユーザー情報

[システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー情報]

現在ログインしているユーザーの情報の参照と、一部の情報を変更します。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

日付/タイマー/節電

[システムメニュー/カウンター]キー > [日付/タイマー/節電]

日付や時間に関する設定を行います。

項目	説明
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。 設定値: 年(2000～2037)、月(1～12)、日(1～31)、時(00～23)、分(00～59)、秒(00～59) ➡ 日付と時刻を設定する (2-24ページ)  参考 日付設定を変更すると、オプションやアプリケーションをお試しで 사용할 ことができなくなります。
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。 ➡ 日付と時刻を設定する (2-24ページ)
オートパネルリセット	オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。ここでは、オートパネルリセットを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 リセットされるまでの時間は、次を参照してください。 ➡ パネルリセット時間 (8-50ページ)
エラー後自動継続	処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。エラー後自動継続は、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。 設定値: 設定しない、設定する  参考 エラー後、印刷を再開するまでの時間は、次を参照してください。 ➡ エラー後自動継続時間 (8-50ページ)
低電力モード時間	低電力モードに入る時間を設定します。 設定値: 1～120分(1分単位) ➡ 低電力モードとは (2-34ページ)

項目	説明
パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合は、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。 設定値: 5～495秒(5秒単位)  参考 この機能は、[オートパネルリセット]を[設定する]にしている場合に表示されます。
スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。 設定値: 1～120分(1分単位) ➡ スリープとは (2-34ページ)
Pingタイムアウト時間	「システム/ネットワーク」の[Ping]を実行した場合、タイムアウトになるまでの時間を設定します。 設定値: 1～30秒(1秒単位)
エラージョブのスキップ	ジョブを開始する際、「カセット○に用紙を補給してください。」と「手差しトレイに用紙を補給してください。」のエラーが発生した場合に、一定時間が経過すると自動的にエラーとなったジョブをスキップさせるかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 - スキップされたジョブは、待機中のジョブの最後に移動されます。 [設定する]を選択した場合は、スキップするまでの時間を設定してください。設定範囲は5～90秒(5秒単位)です。
エラー後自動継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。 設定値: 5～495秒(5秒単位)  参考 この機能は、[エラー後自動継続]を[設定する]にしている場合に表示されます。

項目	説明
スリープレベル ^{*1}	スリープレベルを設定します。 節電優先を設定すると、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えることができます。 設定値: 復帰優先、節電優先
	スリープ条件 次の機能別に、節電優先を使用するかどうかを設定します。 ・ネットワーク接続時 ・USBケーブル接続時 ・ICカードリーダー接続時^{*2} ・アプリケーション起動時 設定値: 使用しない、使用する  参考 節電優先のスリープモードに入ると、USBケーブルで接続したパソコンから印刷データを受信しても、本機はスリープモードから復帰しません。また、ICカードも認識しません。
節電復帰レベル	節電状態からの復帰方法を設定します。 設定値: 全体復帰:すべての機能をすぐに使えるよう復帰するモードです。ただし、節電効果は低いです。 通常復帰:すべての機能をすぐに使えるよう復帰するか、使用したい機能のみ使えるよう復帰するか、操作に応じて使い分けができるモードです。 すべての機能をすぐに使いたい場合は、[節電]キーを選択すると復帰します。 省電力復帰:使用したい機能のみ使えるよう復帰するモードです。節電効果が一番高いです。
週間予約設定	各曜日で指定した時刻に、本機を自動的にスリープにしたり、復帰させるように設定します。
	週間予約 週間予約をするかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
	スケジュール 本機をスリープにしたり、復帰させる時刻を各曜日ごとに設定します。。
	リトライ回数 本機をスリープにする動作のリトライ回数を設定します。 設定値: 回数を制限する、回数を制限しない  参考 ・ [回数を制限する]を選択した場合は、リトライする回数を設定してください。設定範囲は0～10回です。0回に設定した場合は、リトライしません。 ・ [回数を制限しない]を選択した場合は本機がスリープになるまでリトライします。
	リトライ間隔 リトライする間隔を設定します。 [－][＋]で数値を入力してください。 設定値: 10～60秒(10秒単位)

*1 オプションのネットワークインターフェイスキットを装着している場合は表示されません。

*2 オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。

調整/メンテナンス

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス]

印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。

項目	説明
ドラムリフレッシュ	印刷された画像の流れたようにじみや白点を改善します。約1、2分かかります。所要時間は使用環境により異なる場合があります。 ➡ ドラムリフレッシュを実行する (10-31ページ)  参考 印刷中、ドラムリフレッシュはできません。印刷が終了してから実行してください。
自動ドラムリフレッシュ	自動ドラムリフレッシュの実行時間を設定できます。 設定値: 設定しない: 自動ドラムリフレッシュを実行しません。 短い: 自動ドラムリフレッシュが実行される時間を短くします。 標準: 自動ドラムリフレッシュが実行される時間を標準にします。 長い: 自動ドラムリフレッシュが実行される時間を長くします。
ドラムヒーター	ドラムヒーターの設定をします。 設定値: 設定しない、設定する
レーザースキャナークリーニング	印刷された画像に入る縦の白線を改善します。 ➡ レーザースキャナークリーニングを実行する (10-32ページ)
現像リフレッシュ	トナーが十分ある場合の印刷のうすれやかすれを改善します。 ➡ 現像リフレッシュを実行する (10-32ページ)  参考 現像リフレッシュを実行中に機械内部でトナー補給動作が行われると、待ち時間が長くなることがあります。
システムの初期化	本機に内蔵されているハードディスク/SSDを初期化し、工場出荷時の状態に戻します。  参考 この機能は、オプションのセキュリティーキットを起動している場合は表示されません。
画面の明るさ	タッチパネルの明るさを調整します。 設定値: 1 (暗く)、2、3、4、5 (明るく)
静音モード	静音モードを設定します。動作音が気になるときに設定してください。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合、次の印刷準備に時間がかかることがあります。
メモリー診断	本体のメモリーを診断する場合、この操作を実行してください。

項目	説明
キャリブレーション	印刷された画像の濃淡を改善します。 ➡ キャリブレーションを実行する (10-31ページ)
自動キャリブレーションサイクル	キャリブレーションが実行される周期を設定します。 設定値: 自動:キャリブレーションが実行される周期を自動的に設定します。 短い:画質維持を優先します。 標準:画質維持と印刷処理を両立します。 長い:印刷処理を優先します。  参考 設定項目に[カスタム]が表示されている場合は、設定を変更できません。

インターネット

[システムメニュー/カウンター]キー > [インターネット]

インターネットブラウザに関する設定を行います。

項目	説明
インターネットブラウザ	インターネットブラウザを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
ブラウザの環境設定	ホームページの設定や表示のしかたなど、インターネットブラウザの環境設定を行います。 設定値: ホームページ: (ホームページのアドレスを入力します。) 文字サイズ: 大、中、小 表示モード: 通常、画面幅に合わせて表示、レイアウトを調整して表示 Cookie: 受信する、受信しない、受信前に確認する  参考 この機能はインターネットブラウザを[設定する]にしている場合に表示されます。 ➡ インターネットブラウザ (8-53ページ)

 **参考**
インターネットブラウザでプロキシを使用する場合は、システムメニューのプロキシで設定してください。
➡ [プロキシ \(8-41ページ\)](#)

アプリケーション

[システムメニュー/カウンター]キー > [アプリケーション]

アプリケーションに関する設定を行います。

➡ [アプリケーションとは \(5-9ページ\)](#)

9 ユーザー認証、集計管理 (ユーザー管理、部門管理)

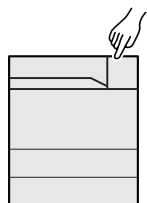
この章では、次の項目について説明します。

ユーザー管理とは	9-2
パソコンからユーザーを管理する	9-2
ユーザー管理を有効にする	9-3
ユーザー管理を設定する	9-4
ユーザー情報を変更する	9-4
印刷のユーザー管理	9-7
グループ認可を設定する	9-9
ゲスト認可を設定する	9-11
ネットワークユーザー情報を取得する	9-13
簡単ログイン設定とは	9-15
ICカード認証方法を設定する	9-17
PINコード認証を設定する	9-18
ユーザー管理の使いかた	9-19
ログイン/ログアウトをする	9-19
部門管理とは	9-20
部門管理を有効にする	9-21
部門管理方式を設定する	9-21
部門管理(ローカル)を設定する	9-22
部門を新規に登録する(部門リスト)	9-22
使用制限を設定する	9-23
部門情報を編集する	9-23
部門を削除する	9-24
印刷の部門管理をする	9-25
部門管理の運用	9-27
初期設定	9-27
使用枚数を集計する	9-29
部門レポートを印刷する	9-31
部門管理の使いかた	9-32
ログイン/ログアウトをする	9-32
制限超過時設定	9-33
不明ユーザー処理方法を設定する	9-34
ID不明ジョブ処理を設定する	9-34
ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する	9-35

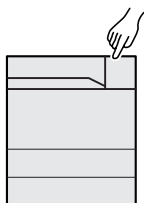
ユーザー管理とは

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力されたログインユーザー名とパスワードがあらかじめ登録されたものと一致すれば、ユーザーが認証され、本機へのログインができます。

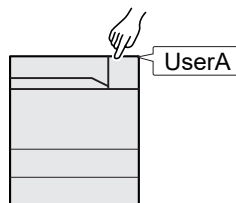
1 ユーザー管理を有効にする ([9-3ページ](#))



2 ログアウトする ([9-19ページ](#))



3 ログインユーザー名とパスワードを入力してジョブを実行する ([2-22ページ](#))



ユーザーは、その権限によって「ユーザー」と「管理者」および「機器管理者」に分けられます。セキュリティレベルの設定は、機器管理者だけが変更できます。

本機の認証は、ネットワーク認証サーバーを使用します。ユーザーの登録はサーバーで行ってください。

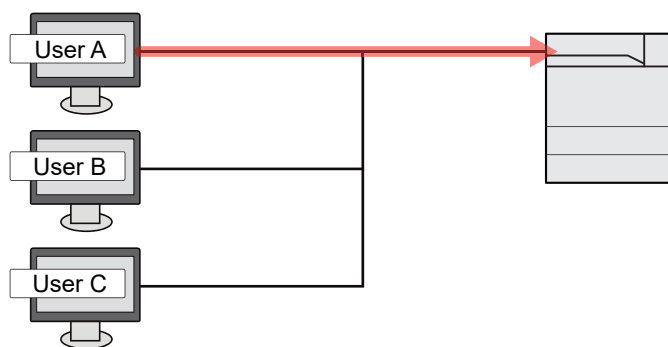
パソコンからユーザーを管理する

パソコンから本機を使用するユーザーを管理するには、次の設定が必要です。

パソコンから印刷するユーザーを管理する場合

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

1 プリンタードライバーでユーザー管理を設定する ([9-7ページ](#)) **2** 印刷する



ユーザー管理を有効にする

ユーザー管理を行うかどうかと認証ネットワークサーバーの設定を行います。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「ユーザー管理」[変更]

2 設定する

- 1 [ネットワーク認証]を選択します。

ユーザー管理を無効にする場合は[設定しない]を選択します。

[ネットワーク認証]を選択した場合は、サーバータイプを[NTLM][Kerberos]または[Ext.]から選択してください。また、認証サーバーのホスト名(64文字以内)とドメイン名(256文字以内)を入力してください。

サーバータイプで[Ext.]を選択した場合は、ポート番号を入力します。



参考

「ドメイン」[登録/編集]を選択するとドメイン登録リストが表示されます。ドメイン登録リスト画面にある[登録/編集]を選択して、ドメイン名を入力してください。ドメイン名は10件まで登録できます

- 2 [OK]を選択します。

[OK]を選択すると「新しい機能をホーム画面に登録しますか?」と表示されます。新しい機能を登録する場合は[はい]を選択してください。ホーム画面に表示する機能の選択画面が表示されます

➡ [デスクトップに表示できる機能 \(2-14ページ\)](#)



参考

ログインユーザー名とパスワードが認証されないとき、以下の設定を確認してください。

- 本機のネットワーク認証の設定
- 認証サーバーのユーザープロパティ
- 本機と認証サーバーの時刻設定

本機の設定でログインできない場合、ローカルユーザーリストに登録されている管理者でログインし、設定を修正してください。

ユーザー管理を設定する

ユーザーの変更、確認、ユーザー管理の設定を行います。

ユーザー情報を変更する

本機に登録されているユーザーの情報を確認したり、変更することができます。



参考

- 工場出荷時は、機器管理者の権限を持つデフォルトユーザーと管理者の権限を持つデフォルトユーザーが各1人登録されています。各デフォルトユーザーのユーザー情報は次のとおりです。(大文字・小文字は区別されます。)

機器管理者

ユーザー名:	DeviceAdmin
ユーザー名(フリガナ):	DeviceAdmin
ログインユーザー名:	6000
ログインパスワード:	6000
アクセスレベル:	機器管理者

管理者

ユーザー名:	Admin
ユーザー名(フリガナ):	Admin
ログインユーザー名:	Admin
ログインパスワード:	Admin
アクセスレベル:	管理者

- ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードはセキュリティ保護のため、定期的に変更することをお勧めします。
- 機器管理者のユーザー情報を変更する場合は、機器管理者の権限でログインしてください。その他のユーザーでログインした場合は、ユーザー情報の参照しかできません。

「管理者」の権限を持つユーザーでログインする

ユーザー情報の変更ができます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000
ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「ローカルユーザーリスト」[編集]
- 3 ユーザーを選択 > [詳細]

2 ユーザー情報を変更する

1 各項目を設定 > [OK]

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログインユーザー名は重複して登録することはできません。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを、64文字以内で入力します。
アクセスレベル	ユーザーの権限を参照します。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。所属部門を登録したユーザーでログインすると、部門コードを入力する必要がなくなります。 ➡ 部門管理とは (9-20ページ)  参考 ・ [フリガナ検索]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。 ・ [表示順]で[部門名(フリガナ)]または[部門コード]を選択すると、部門リストの並べ替えができます。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスが登録できます。メール送信を使用する場合は登録してください。登録されたアドレスはメール機能が必要とされる動作のとき自動的に選択されます。
マイパネル	ユーザーごとに言語選択と初期画面の設定を登録します。ここで登録しておけば、ログインするだけで設定が適用されます。

2 [登録] > [はい]

ユーザー情報が変更されます。

ログインしているユーザーのユーザー情報を変更する(ユーザー情報)

ユーザー自身のユーザー情報を一部変更できます。変更できる項目は、「ユーザー名」、「ユーザー名(フリガナ)」、「ログインパスワード」、「メールアドレス」、「簡単ログイン」および「マイパネル」です。

「ログインユーザー名」、「アクセスレベル」および「部門名」の変更はできませんが、現在の登録を参照できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー情報]

2 ユーザー情報を変更する

1 各項目を設定 > [OK]

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を変更します。32文字まで入力できます。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを変更します。32文字まで入力できます。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を参照します。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを変更します。64文字まで入力できます。
アクセスレベル	ユーザーの権限を参照します。
マイパネル	ユーザーごとに言語選択と初期画面を登録します。ここに登録しておけば、ログインするだけで設定が適用されます。ネットワークユーザーは表示しません。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを変更します。128文字まで入力できます。  参考 ユーザー権限でログインし、「新規宛先の入力」が[禁止する]に設定されている場合は、メールアドレスの確認のみできます。
認可情報	ログインしているユーザーに設定されている使用制限を参照します。  参考 この機能は、グループ認可設定が[設定する]、またはゲスト認可設定が[設定する]の場合に表示します。 [部門管理情報]で、ログインしているユーザーに設定されている部門名および部門に設定されている使用制限を参照します。 この機能は、部門管理が[設定する]の場合に表示されます。 ➡ 部門管理を有効にする (9-21ページ)
簡単ログイン	簡単ログインを設定している場合は、内容を変更します。  参考 この機能は、簡単ログインが[設定しない]、または簡単ログインに登録していない場合は表示されません。
ICカード情報	ログインしているユーザーのICカード情報を参照します。  参考 この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。 ➡ ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット> (11-5ページ) この機能は、ネットワーク認証のサーバータイプで[Ext.]を選択していて、そのタイプのサーバーで管理されているユーザーでログインした場合は表示されません。

2 [登録]を選択します。

ユーザー情報が変更されます。

印刷のユーザー管理

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理することができます。

プリンタードライバーを設定する

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

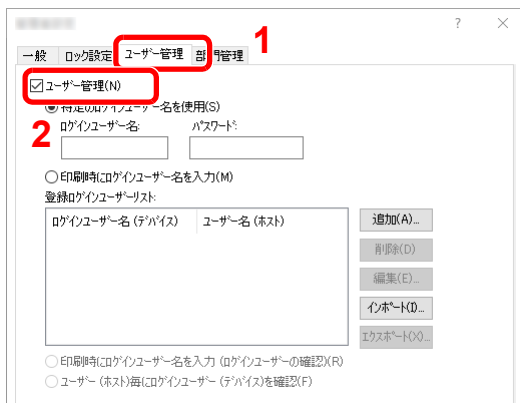
参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [ユーザー管理]タブの[ユーザー管理]を選択します。



- 2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]:特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびにユーザー名とパスワードを入力する必要はありません。

[印刷時にログインユーザー名を入力]:印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にログインユーザー名を入力(ログインユーザーの確認)]:印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは「登録ログインユーザーリスト」に登録されているものを入力します。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[ユーザー(ホスト)毎にログインユーザー(デバイス)を確認]:印刷時に、Windowsユーザー名を「登録ログインユーザーリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、ユーザー権限のみのユーザーは印刷がキャンセルされます。管理者権限を持つユーザーはユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

3 [OK]をクリックします。



参考

ユーザー管理についてのその他の設定は、次を参照してください。

➡ [プリンタードライバー操作手順書](#)

グループ認可を設定する

認証サーバーに登録されたグループごとに本機の使用制限を設定します。

参考

グループ認可設定を使用する場合は、ユーザー管理を有効に設定する必要があります。また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を[使用する]に設定してください。

- ➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)
- ➡ [プロトコル設定 \(8-37ページ\)](#)

グループ認可設定を有効にする

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000
ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「グループ認可設定」[次へ] > 「グループ認可」[変更]

2 設定する

- 1 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 2 [OK]を選択します。

グループリストに登録する(最大登録件数:20件)

本機の使用を制限するグループに登録します。グループリストに登録したグループに属さないユーザーやグループは、すべて「その他」になります。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000
ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「グループ認可設定」[次へ] > 「グループリスト」[次へ]

2 設定する

[新規登録] > 各項目を設定 > [OK]

項目	詳細
グループID ^{*1}	グループリストに表示されるIDを、1～4294967295までの最大10桁で入力します。
グループ名	グループリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
アクセスレベル	グループ制限を、[管理者]または[ユーザー]から選択します。
プリンター印刷制限	プリンターの印刷機能を使用禁止にすることが設定できます。 該当する印刷機能は次のとおりです。 • ボックスからの印刷 • 外部メモリーからの印刷 • パソコンからの印刷
両面制限	両面印刷のみを許可することが設定できます。
集約制限	ページ集約の印刷のみを許可することが設定できます。
エコプリント制限	エコプリントのみ許可することが設定できます。
ボックス保存制限	ボックス保存機能を使用禁止にすることが設定できます。

^{*1} 「グループID」は、WindowsのActive Directoryでユーザーに割り当てているPrimaryGroupIDを設定してください。Windows Server 2008では、ユーザーのプロパティ画面の属性エディタタブで確認できます。



参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

3 登録する

[登録]を選択します。

グループリストに新しいグループが追加されます。

ゲスト認可を設定する

ユーザー管理が有効のとき、本機にログインできないゲストユーザーが使用できる機能を設定します。



参考

ゲスト認可設定を使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザー管理を有効に設定する必要があります。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

ゲスト認可設定を有効にする

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「ゲスト認可設定」[次へ] > 「ゲスト認可」[変更]

2 設定する

- 1 [設定する]または[設定しない]を選択します。
- 2 [OK]を選択します。



参考

ゲスト認可設定を有効にした場合、ログイン時に[認証/ログアウト]キーを選択する必要があります。

ゲストプロパティを設定する

ゲストユーザーの情報と制限する機能を設定します。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「ゲスト認可設定」[次へ] > 「ゲストプロパティ」[次へ]

2 設定する

各項目を設定 > [OK]

項目	詳細
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
アクセスレベル	ユーザーの権限が表示されます。変更はできません。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。 部門に所属していない場合は、[その他]を選択してください。
認可情報	制限する機能を設定します。 制限できる項目は次のとおりです。 プリンター印刷制限: プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 • ボックスからの印刷 • 外部メモリーからの印刷 両面制限: 両面印刷のみを許可するかどうか設定します。 集約制限: ページ集約の印刷のみを許可するかどうか設定します。 エコプリント制限: エコプリントのみ許可するかどうか設定します。

3 登録する

[登録]を選択します。

ネットワークユーザー情報を取得する

LDAPサーバーからユーザー情報を取得するために必要な項目を設定します。この設定で取得されたユーザー名やメールアドレスは、ユーザー情報、状況確認画面やメールのヘッダーに表示されます。



参考

LDAPサーバーからネットワークユーザー情報を取得する設定を行うには、ユーザー管理を有効に設定する必要があります。ただし、サーバータイプが「Ext.」の場合、この設定は表示されません。

また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を[使用する]に設定してください。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

➡ [プロトコル設定 \(8-37ページ\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「ネットワークユーザー情報の取得」[変更]

2 設定する

各項目を設定 > [OK]

項目	詳細
サーバー名 ^{*1}	LDAPサーバーのサーバー名またはIPアドレスを64文字以内で入力します。サーバー名を入力しない場合、ネットワーク認証で設定しているサーバーからユーザー情報を取得します。
ポート	LDAPサーバーのポート番号です。ポート番号の工場出荷時の値は389です。
名前1 ^{*2}	LDAPサーバーから表示するユーザー名を取得する際のLDAPアトリビュートを32文字以内で入力します。
名前2 ^{*3}	LDAPサーバーから表示するユーザー名を取得する際のLDAPアトリビュートを32文字以内で入力します。
メールアドレス ^{*4}	LDAPサーバーからメールアドレスを取得する際のLDAPアトリビュートを32文字以内で入力します。
認証方式 ^{*5}	認証方式を設定します。[簡易認証]または[SASL]のどちらかを選択してください。設定変更後にシステムの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行ってください。

項目	詳細
検索タイムアウト時間	タイムアウトするまでの時間を5～255秒の秒単位で入力します。
LDAPセキュリティ	接続するLDAPサーバーがサポートしているセキュリティに合わせて、タイプを変更する場合は選択します。設定値は[設定しない]、[SSL/TLS]または[STARTTLS]です。

- *1 WindowsのActive Directoryの場合、通常はネットワーク認証で設定したサーバー名と同じです。
- *2 WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のdisplayNameを使用します。
- *3 「名前2」は省略できます。「名前1」にdisplayName、「名前2」にdepartmentを設定し、WindowsのActive Directoryの値がdisplayName=山田 太郎、department=営業部の場合、ユーザー名は「山田 太郎 営業部」と表示します。
- *4 WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のmailを使用します。
- *5 「ネットワーク認証」でサーバータイプを「Kerberos」に設定している場合に表示されます。

簡単ログイン設定とは

簡単ログインは、ユーザーを選択するだけでログインできる機能です。ユーザーはあらかじめ登録しておく必要があります。



参考

- 本機の認証は、ネットワーク認証サーバーを使用します。ユーザーの登録はサーバーで行ってください。
- 簡単ログインを使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザー管理を有効に設定する必要があります。
➔ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)
- ゲスト認可を有効にした場合、簡単ログイン画面は表示されません。

簡単ログイン設定を有効にする

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「簡単ログイン設定」[次へ] > 「簡単ログイン」[変更]

2 設定する

- 1 [設定する]または[設定しない]を選択します。
- 2 [OK]を選択します。

簡単ログインキーを登録する

簡単ログインを使用するユーザーを登録します。ユーザーは20人まで登録できます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「簡単ログイン設定」[次へ] > 「簡単ログインキー」[次へ]

2 ユーザー情報を入力する

- 1 設定したいキーを選択します。
- 2 [登録/編集]を選択します。
- 3 「表示名」[変更] > 表示するユーザー名を入力 > [OK]



参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 4 「ユーザー」[変更]を選択します。
- 5 ユーザーをローカルユーザーから指定するときは[ローカルユーザー]を、ネットワークユーザーを指定するときは[ネットワークユーザー]を選択します。
選択した指定方法によって、操作手順が異なります。

ローカルユーザーからユーザーを指定するとき
簡単ログインを設定するユーザーを選択してください。

ネットワークユーザーからユーザーを指定するとき

[ログインユーザー名]、[ログインパスワード]を選択して登録するユーザーの情報を入力して、[OK]を選択してください。

ネットワーク認証でドメインを設定しているユーザーを指定するときは、「ドメイン」でユーザーを登録しているドメインを選択してください。



参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 6 「パスワード認証」[変更] > [設定する]または[設定しない]を選択 > [OK] > 「アイコン」[変更]
- 7 表示するユーザーのアイコンを選択 > [OK]

3 登録する

[登録]を選択します。

ICカード認証方法を設定する

ICカード認証が有効の場合、認証方法を設定します。



参考

この機能は、ICカード認証キットが起動されている場合に表示されます。

➡ [ICカード認証キット\(B\)<ICカード認証キット> \(11-5ページ\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000
ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「ICカード設定」[次へ]

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
キーボードログイン	ICカード認証が有効の場合、キーボードによるログインを許可するかどうかを設定します。 設定値: 許可する、禁止する
追加認証 ^{*1}	ICカードで認証後、パスワードを入力させるかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、パスワードを使う、PINコードを使う

^{*1} ネットワーク認証のサーバータイプを[NTLM]または[Kerberos]に設定している場合は表示されません。

PINコード認証を設定する

参考

PINコード認証を使用する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを[Ext.]に設定する必要があります。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「ユーザー管理設定」[次へ] > 「PINコード認証」[変更]

2 設定する

- 1 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 2 [OK]を選択します。

ユーザー管理の使いかた

ユーザー管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウトをする

ユーザー管理が有効の場合は、本機を使用するとき、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

ログインする

本機の操作中にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら次を参照してください。

➡ [ログインする \(2-22ページ\)](#)

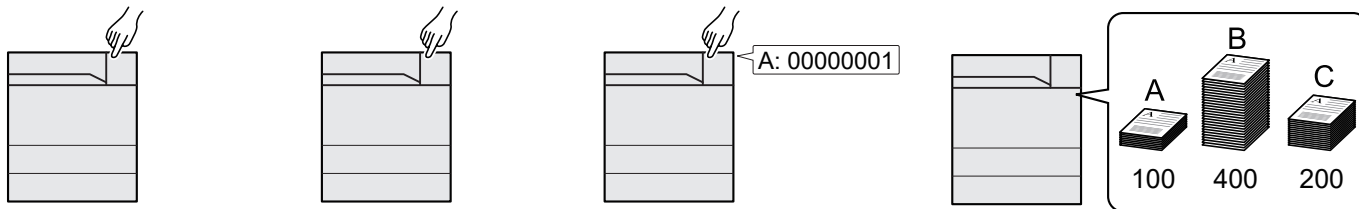
ログアウトする

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

部門管理とは

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別に印刷の使用枚数を管理できる機能です。

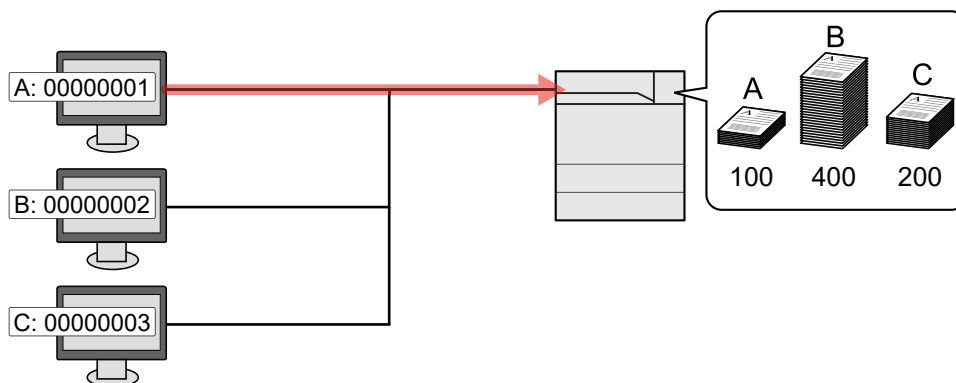
- 1 部門管理を有効にする ([9-21ページ](#))
- 2 部門を設定する ([9-22ページ](#))
- 3 部門コードを入力してジョブを実行する ([9-32ページ](#))
- 4 使用枚数が集計される。



パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する

パソコンから本機で印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

- 1 プリンタードライバーでパソコンに部門管理を設定する ([9-25ページ](#))
- 2 印刷する
- 3 使用枚数が集計される。



部門管理を有効にする

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「部門管理設定」[次へ] > 「部門管理」[変更]

2 設定する

- [設定する] > [OK]



参考

- ・ 部門管理を無効にする場合は、[設定しない]を選択してください。
- ・ 初期画面に戻ると、自動でログアウトされ、部門コードを入力する画面が表示されます。つづけて作業を行う場合は、部門コードを入力してください。

部門管理方式を設定する

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「部門管理設定」[次へ] > [部門管理方式]

2 設定する

- 1 [ローカル]または[ネットワーク]を選択します。

- 2 [OK]を選択します。



参考

PINコード認証を使用する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを[Ext.]に設定する必要があります。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

部門管理(ローカル)を設定する

部門の登録や編集、削除をしたり、部門ごとに使用制限を設定できます。

部門を新規に登録する(部門リスト)

1,000部門まで登録できます。登録できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
部門名	部門名を、32文字以内で入力してください。
部門名(フリガナ)	部門名のフリガナを、32文字以内で入力してください。
部門コード	部門コードを、0～99999999までの最大8桁で入力してください。
使用制限	印刷の禁止や、使用できる枚数を制限します。 ➡ 使用制限を設定する (9-23ページ)

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「部門管理設定」[次へ] > 「部門管理(ローカル)」[次へ] > 「部門リスト」[登録/編集] > [新規登録]

2 部門情報を入力する

- 1 「部門名」[変更] > 部門名を入力 > [OK]



参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 2 「部門名(フリガナ)」[変更] > 部門名(フリガナ)を入力 > [OK]

- 3 「部門コード」[変更] > 部門コードを入力 > [OK]



参考

すでに登録されている「部門コード」は使用できません。別の部門コードを入力してください。

- 4 使用制限の方法を選択します。
➡ [使用制限を設定する \(9-23ページ\)](#)

- 5 [登録]を選択します。
部門リストに新しい部門が追加されます。

使用制限を設定する

部門ごとに使用を禁止したり、使用できる枚数を制限したりすることができます。

使用制限できる項目

項目	詳細
プリンター印刷制限(合計)	印刷の使用枚数を制限します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 - ボックスからの印刷 - 外部メモリーからの印刷 - パソコンからの印刷

使用制限の方法

使用制限の方法は次のとおりです。

項目	詳細
制限しない	使用を制限しません。
カウンター制限	使用枚数を、1～9,999,999枚の範囲(1枚単位)で制限します。
使用禁止	使用を禁止します。

部門情報を編集する

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「部門管理設定」[次へ] > 「部門管理(ローカル)」[次へ] > 「部門リスト」[登録/編集]

2 編集する

- 1 部門情報を変更する部門の[詳細]を選択します。



参考

- ・[フリガナ検索]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。
- ・「表示順」で[部門名(フリガナ)]または[部門コード]を選択すると、部門名の並べ替えができます。

- 2 変更する部門情報を選択して、部門情報を変更してください。

3 [登録] > [はい]

部門情報が変更されます。

部門を削除する

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

2 「部門管理設定」[次へ] > 「部門管理(ローカル)」[次へ] > 「部門リスト」[登録/編集]

2 削除する

1 削除する部門を選択します。

2 [削除] > [はい]

部門が削除されます。

印刷の部門管理をする

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理することができます。

プリンタードライバーを設定する

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。



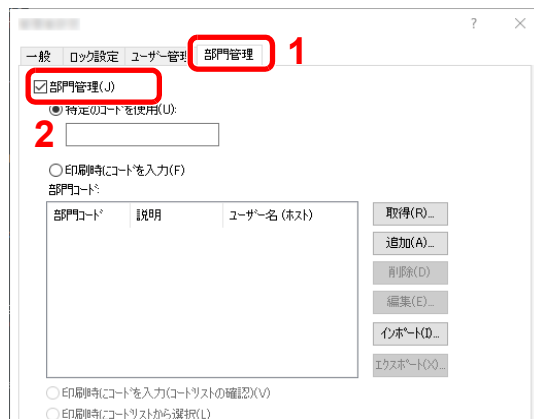
参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [部門管理]タブの[部門管理]を選択します。



- 2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]: 特定の部門コードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびに部門コードを入力する必要がありません。

[印刷時にコードを入力]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードを入力(コードリストの確認)]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されているものを入力します。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードリストから選択]: 印刷時に部門コードリストが表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されている必要があります。

[ユーザー(ホスト)ごとに部門コードを確認]: 印刷時に、Windowsユーザー名を「部門コードリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、部門コードを入力する画面が表示されます。

3 [OK]をクリックします。



参考

部門管理についてのその他の設定は、次を参照してください。

➡ [プリンタードライバー操作手順書](#)

部門管理の運用

初期設定

使用制限の初期値や用紙サイズ別集計を行うかどうかを設定します。

カウンター制限初期値

新規部門登録を行う場合の、制限枚数の初期値を変更することができます。設定範囲は1 ～ 9,999,999 枚です。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「部門管理設定」[次へ] > 「部門管理(ローカル)」[次へ] > 「初期設定」[次へ] > 「カウンター制限初期値」[次へ]

2 設定する

- 1 制限枚数の初期値を設定する項目の[変更]を選択 > [+], [-]またはテンキーで制限枚数の初期値を入力

項目	説明
プリンター印刷制限 (合計)	印刷の制限枚数の初期値を設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 • ボックスからの印刷 • 外部メモリーからの印刷 • パソコンからの印刷

- 2 [OK]を選択します。
- 3 他の制限枚数の初期値を設定する場合は、手順1、2を繰り返します。

用紙サイズ別に集計する

特定の用紙サイズ(例:A4)の使用枚数を集計することができます。

参考

用紙サイズは、1～5の5種類を指定することができます。この5種類の使用枚数は、部門レポートに記載されています。

➡ [部門レポートを印刷する \(9-31ページ\)](#)

用紙サイズ指定時に、合わせて用紙種類も指定できます(例:A4サイズでカラー紙の使用枚数を集計する)。用紙種類を指定しない場合は、用紙種類に関係なく指定した用紙サイズの使用枚数が集計されます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「部門管理設定」[次へ] > 「部門管理(ローカル)」[次へ] > 「初期設定」[次へ] > 「用紙サイズ別集計」[次へ] > 「用紙サイズ1(～5)」[変更]

2 設定する

- 1 [設定する]を選択します。
- 2 指定する用紙サイズを選択します。
- 3 用紙種類を指定する場合は、[用紙種類]を選択します。
- 4 指定する用紙種類を選択して、[OK]を選択します。
- 5 [OK]を選択します。

使用枚数を集計する

使用枚数を集計することができます。集計は、全部門または部門別に行います。また、一定期間管理した使用枚数をリセットして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「部門管理設定」[次へ] > 「部門管理(ローカル)」[次へ] > 「全部門集計」[次へ]または「部門別集計」[参照]

2 設定する

参照できる項目は次のとおりです。

項目	説明
印刷ページ数	プリンターの使用枚数が表示されます。また、「用紙サイズ別集計」、「両面集計」、「集約集計」でそれぞれの使用枚数も確認できます。
白黒	白黒印刷の使用枚数が表示されます。
合計	プリンターの使用枚数が表示されます。
用紙サイズ別集計	特定の用紙サイズ、およびその他の用紙の使用枚数が表示されます。
両面/集約集計	両面(片面印刷)、両面(両面印刷)、およびその合計と、集約(なし)、集約(2 in 1)、集約(4 in 1)、およびその合計の使用枚数が確認できます。
カウンターリセット	使用枚数をリセットします。 確認画面で[はい]を選択してください。

全部門を集計する

全部門の使用枚数を集計します。また、全部門の使用枚数を一括でリセットできます。

1 画面を表示する

集計を参照する機能の[参照]を選択します。集計結果が表示されます。

2 参照する

- 1 集計結果を参照します。
- 2 内容を確認したら、[閉じる]を選択します。

部門別に集計する

部門別の使用枚数を集計します。また、部門別に使用枚数をリセットできます。

1 画面を表示する

- 1 集計を参照する部門を選択します。
- 2 [詳細]を選択します。



参考

- [フリガナ検索]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。自部門以外を表示するときは[その他部門]を選択してください。
- 「表示順」で[部門名(フリガナ)]または[部門コード]を選択すると、部門名の並べ替えができます。

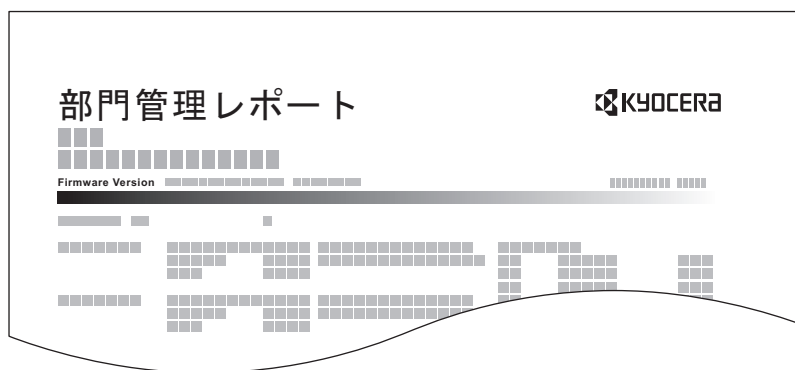
- 3 参照する機能の[参照]を選択します。
集計結果が表示されます。

2 参照する

内容を確認したら、[閉じる]を選択します。

部門レポートを印刷する

全部門で集計された枚数を、部門レポートとして印刷できます。



用紙サイズ別集計を行っている場合は、サイズ別でレポートが印刷されます。

部門管理レポートを印刷する操作手順は、次のとおりです。

1 用紙を準備する

カセットにA4またはLetterの用紙が補給されていることを確認します。

2 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「部門管理設定」[次へ] > 「部門管理(ローカル)」[次へ]

3 印刷する

「部門管理レポート印刷」[印刷] > [はい]

部門管理レポートが印刷されます。

部門管理の使いかた

部門管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウトをする

部門管理が有効の場合は、本機を使用するとき、部門コードを入力する画面が表示されます。

ログインする

本機を操作して部門コードを入力する画面が表示されたら、次の操作をしてください。

1 テンキーで部門コードを入力 > [ログイン]を選択



参考

- 入力を間違えたときは、[クリア]キーを選択して入力し直してください。
- 登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴り、ログインできません。正しい部門コードを入力してください。
- [カウンター参照]を選択すると、印刷枚数を参照することができます。

ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたとき

ユーザー管理が有効の場合は、部門コードを入力する画面の代わりに、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。ユーザーに部門情報が登録されているときは、部門コードの入力は省略されます。

➡ [ユーザー情報を変更する \(9-4ページ\)](#)

2 通常の操作を行う

ログアウトする

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを選択します。部門コードを入力する画面に戻ります。

制限超過時設定

制限枚数に達したときの処理を変更できます。処理の内容は次のとおりです。

項目	詳細
即時禁止 ^{*1}	制限枚数に達した時点でジョブの処理が禁止されます。
次ジョブから禁止	印刷中のジョブは続行されますが、次のジョブから使用禁止になります。
警告のみ	警告メッセージが表示されますが、ジョブの処理は続行されます。

^{*1} ジョブボックスを使用して印刷するときは、制限枚数に達した時点で処理が禁止されます。ジョブボックスまたは文書ボックスにジョブを保存する処理は禁止されません。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

- 2 「部門管理設定」[次へ] > 「制限超過設定」[変更]

2 設定する

- 1 [即時禁止]、[次ジョブから禁止]、または[警告のみ]を選択します。
- 2 [OK]を選択します。

不明ユーザー処理方法を設定する

ID不明ジョブ処理を設定する

ログインユーザー名(ユーザーID)が不明なジョブ、またはログインユーザー名(ユーザーID)のないジョブがパソコンから届いた場合の処理方法を選択することができます。ユーザー管理が無効で、部門管理を有効にしている場合は、ジョブの部門コードが不明のときの処理方法となります。

設定項目は次のとおりです。

項目	詳細
許可する	ジョブを処理します。
拒否する	ジョブを処理しません。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000
ログインパスワード:6000

- 2 「不明ユーザー設定」[次へ] > 「ID不明ジョブ処理」[変更]を選択します。

2 設定する

[拒否する]または[許可する]を選択します。

ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する

ID不明ユーザーのユーザー情報を登録すると、ジョブ状況画面やジョブ履歴画面で確認できるようになります。また、使用できる機能を制限することができます。



参考

この設定は、「ID不明ジョブ処理」を[許可する]にしている場合に表示されます。

➡ [ID不明ジョブ処理を設定する \(9-34ページ\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000
ログインパスワード:6000

- 2 「不明ユーザー設定」[次へ] > 「ユーザー情報」[次へ]を選択します。

2 ユーザー情報を登録する

各項目を設定 > [OK]

項目	説明
ユーザー名	ユーザー名を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
部門名	ID不明ユーザーに部門を登録します。 ➡ 部門管理とは (9-20ページ) 参考 ・ [フリガナ検索]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。 ・ 「表示順」で[部門名(フリガナ)]または[部門コード]を選択すると、部門リストの並べ替えができます。
認可情報	使用制限を設定します。 使用制限できる項目は次のとおりです。 プリンター印刷制限: プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ・ パソコンからの印刷

10 こんなときには

この章では、次の項目について説明します。

消耗品の交換と補充	10-2
消耗品の交換と補充について	10-2
トナーコンテナを交換する	10-2
廃棄トナーボックスを交換する	10-5
用紙を補給する	10-6
ステープル針を補充する(1,000枚フィニッシャー)	10-7
ステープル針を補充する(4,000枚フィニッシャー)	10-8
ステープル針を補充する(中折りユニット)	10-10
パンチくずを廃棄する	10-11
一般的なトラブル	10-15
トラブルが発生したら	10-15
機械動作のトラブル	10-15
画像のトラブル	10-18
リモート操作について	10-20
こんな表示がでたら	10-22
メッセージが表示されたら	10-22
エラーメッセージ一覧	10-22
調整/メンテナンスメニュー	10-31
調整/メンテナンスメニューについて	10-31
ドラムリフレッシュを実行する	10-31
キャリブレーションを実行する	10-31
レーザースキャナークリーニングを実行する	10-32
現像リフレッシュを実行する	10-32
紙づまりの解除	10-33
紙づまりが発生したら	10-33
紙づまり表示の見かたと位置の確認	10-33
カセット1の紙づまりを除去する	10-34
カセット2の紙づまりを除去する	10-37
カセット3、4(550枚×2)の紙づまりを除去する	10-40
カセット3(1,650枚×2)の紙づまりを除去する	10-42
カセット4(1,650枚×2)の紙づまりを除去する	10-44
カセット5(サイドフィーダー)の紙づまりを除去する	10-47
手差しトレイの紙づまりを除去する	10-49
右カバー1の紙づまりを除去する	10-50
右カバー2(550枚×2)の紙づまりを除去する	10-54

右カバー2(1,650枚×2)の紙づまりを除去する	10-55
中継搬送ユニットの紙づまりを除去する	10-57
メールボックスの紙づまりを除去する	10-58
1,000枚フィニッシャーの紙づまりを除去する	10-59
4,000枚フィニッシャー(内部)の紙づまりを除去する	10-62
4,000枚フィニッシャー(トレイA)の紙づまりを除去する	10-63
4,000枚フィニッシャー(トレイB)の紙づまりを除去する	10-67
中折りユニットの紙づまりを除去する	10-70
中折りトレイの紙づまりを除去する	10-75
針づまりの解除	10-80
1,000枚フィニッシャーの針づまりを解除する	10-80
4,000枚フィニッシャーの針づまりを解除する	10-83
中折りユニットの針づまりを解除する	10-85

消耗品の交換と補充

消耗品の交換と補充について

トナーがなくなったときやカセットの用紙がなくなったときは、本体の画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、消耗品を交換および補充してください。

トナーコンテナを交換する

トナーがなくなったときは、次のメッセージが表示されます。

「トナーがありません。」

また、トナー残量が少なくなると次のメッセージが表示されます。新しいトナーコンテナをご用意ください。

「トナーが残り少なくなっています。(なくなったら交換)」



参考

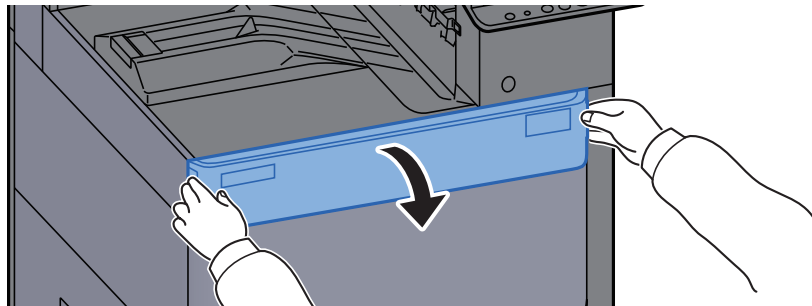
- 品質維持のため、トナーコンテナは数々の品質検査に合格した弊社純正品の使用をお勧めします。
- 本製品のトナーコンテナに装着されているメモリーチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。



注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

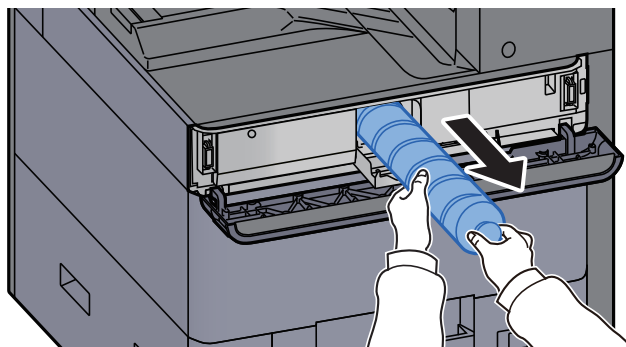
1 前カバーを開ける



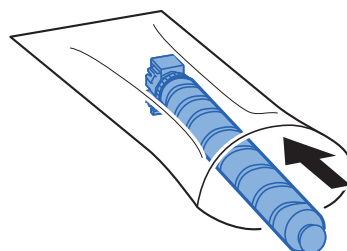
参考

トナーコンテナカバーが閉まっている場合は、[トナーコンテナカバーを開ける]を選択してトナーコンテナカバーを開けてください。

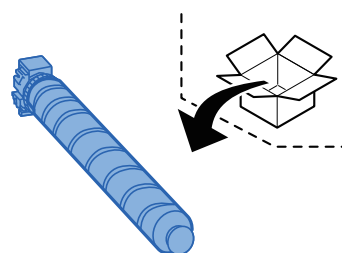
2 トナーコンテナを取り出す



3 使用済みトナーコンテナを廃棄用ポリ袋に入れる

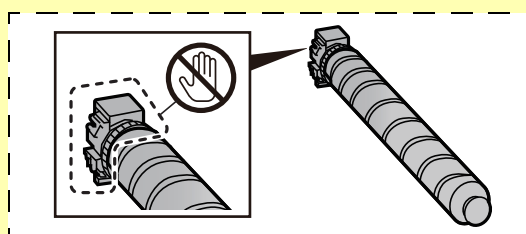


4 新しいトナーコンテナを取り出す

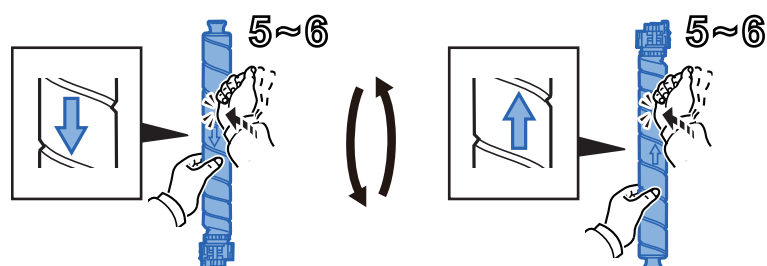


重要

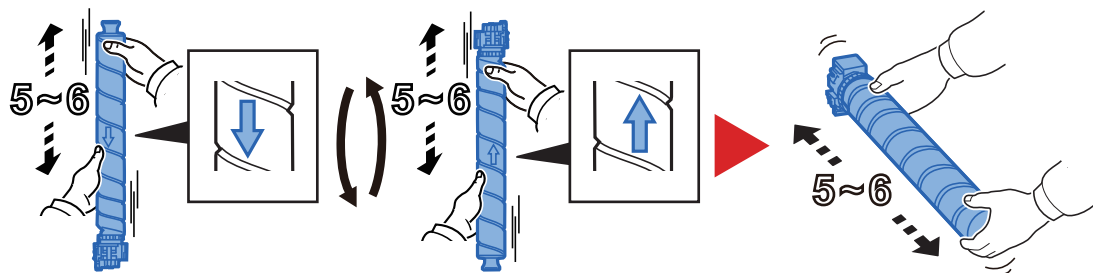
破線部分は手で触らないでください。



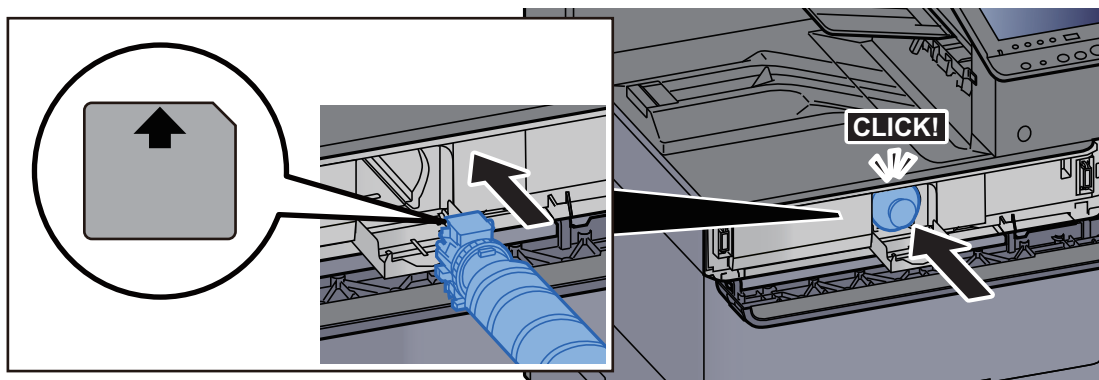
5 トナーコンテナを軽くたたく



6 トナーコンテナを振る



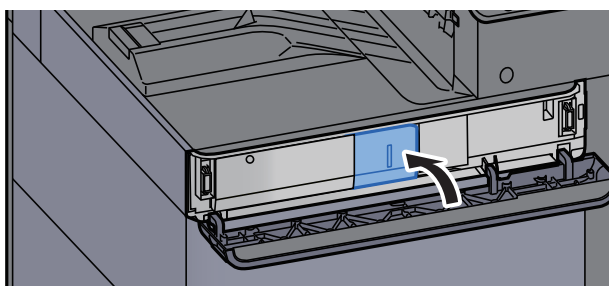
7 トナーコンテナを装着する



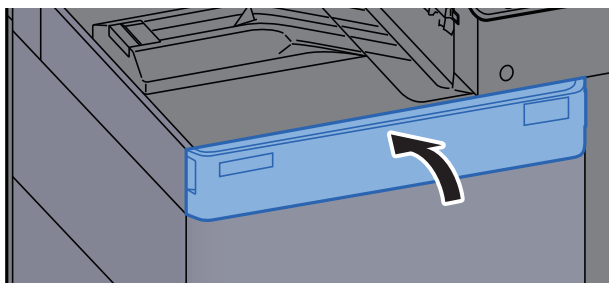
重要

トナーコンテナは、奥まで挿入してください。

8 トナーコンテナカバーを閉める



9 前カバーを閉める



参考

- トナーコンテナカバー、前カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しく装着されているか確認してください。
- 使用後、不要となったトナーコンテナは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

廃棄トナーボックスを交換する

廃棄トナーボックスがいっぱいになったときは、次のメッセージが表示されます。廃棄トナーボックスを交換してください。

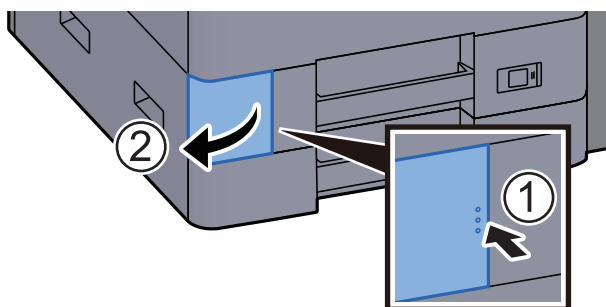
「廃棄トナーボックスがいっぱいです。」



注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

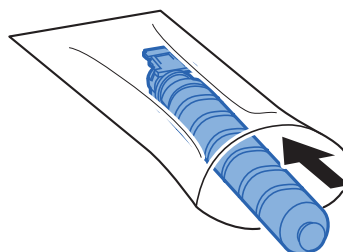
1 廃棄トナーボックスカバーを開ける



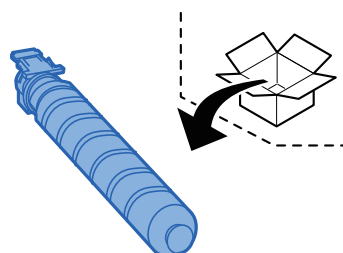
2 廃棄トナーボックスを取り出す



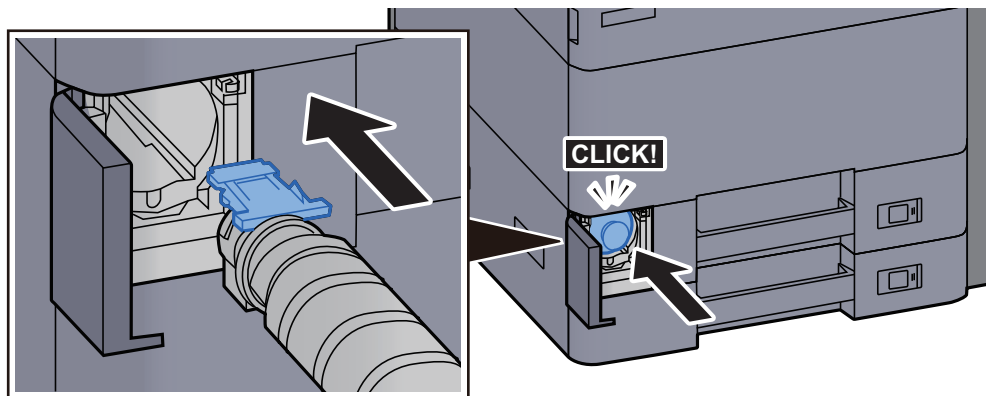
3 使用済み廃棄トナーボックスを廃棄用ポリ袋に入れる



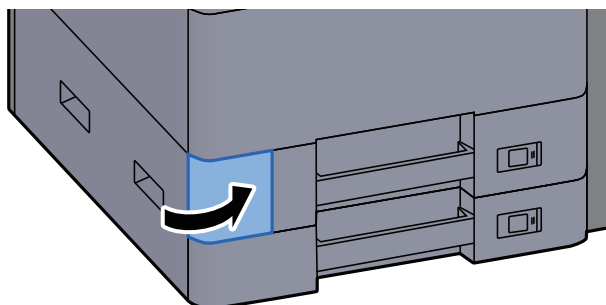
4 新しい廃棄トナーボックスを取り出す



5 廃棄トナーボックスを装着する



6 廃棄トナーボックスカバーを閉める



参考

使用後、不要となった廃棄トナーボックスは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収された廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

用紙を補給する

給紙段の用紙がなくなったときは、次のメッセージが表示されます。用紙を補給してください。

「カセット○に以下の用紙を補給してください。」(○はカセットの番号)

「手差しトレイに以下の用紙を補給してください。」

- ➡ [カセット1に用紙をセットする \(3-4ページ\)](#)
- ➡ [カセット2に用紙をセットする \(3-7ページ\)](#)
- ➡ [大容量フィーダーにセットする \(3-14ページ\)](#)
- ➡ [サイドフィーダーにセットする \(3-16ページ\)](#)
- ➡ [手差しトレイに用紙をセットする \(5-2ページ\)](#)

参考

用紙を補給したとき、[用紙セット時の確認]を[設定する]に設定している場合は、用紙設定の確認画面が表示されます。用紙を変更した場合、[変更]を選択して、用紙の設定を変更してください。

- ➡ [カセット1\(～5\) \(8-6ページ\)](#)
- ➡ [手差しトレイ \(8-7ページ\)](#)

ステープル針を補充する(1,000枚フィニッシャー)

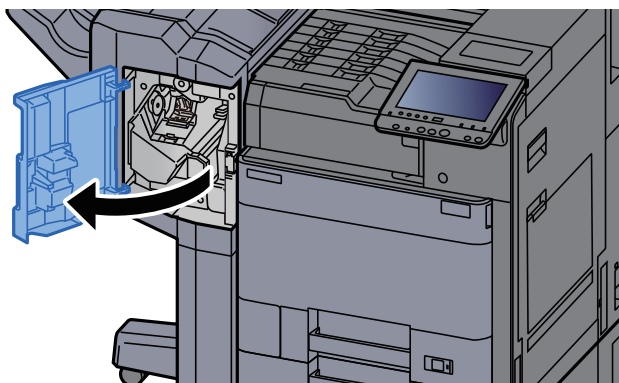
ステープル針がなくなったときは、次のメッセージが表示されます。ステープル針を補給してください。
「ステープル針がありません。」



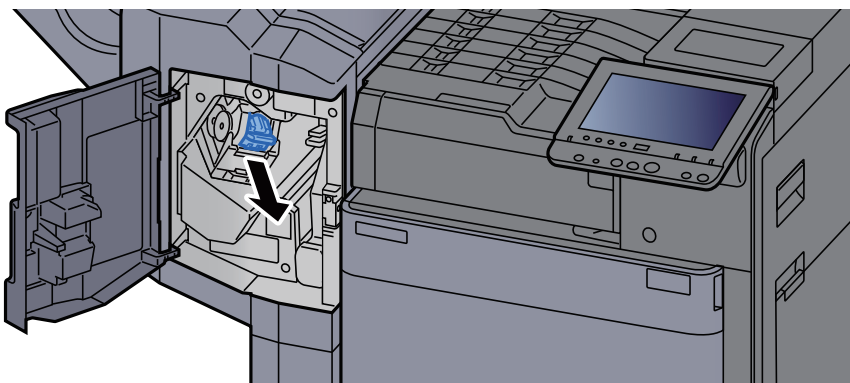
参考

ステープルの針がなくなった場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。

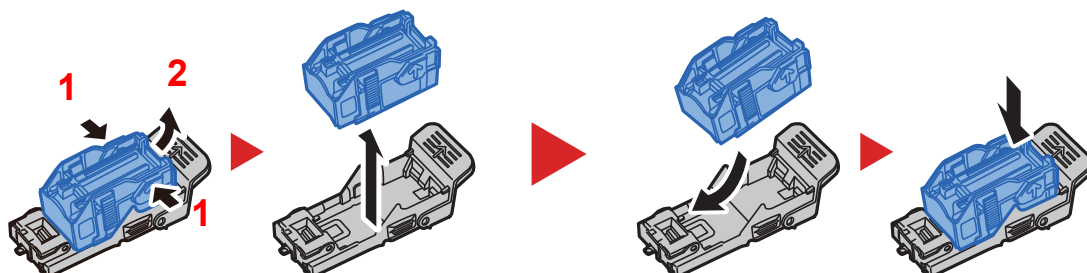
1 1,000枚フィニッシャーの前カバーを開ける



2 ステープルカートリッジホルダーを取り外す



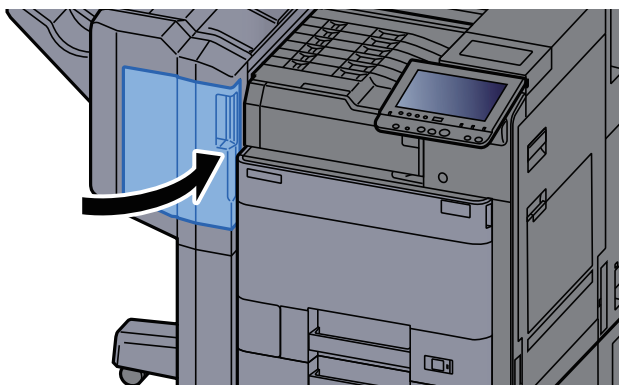
3 ステープル針を交換する



4 ステープルカートリッジホルダーを装着する



5 前カバーを元の位置に戻す



ステープル針を補充する(4,000枚フィニッシャー)

ステープル針がなくなったときは、次のメッセージが表示されます。ステープル針を補給してください。

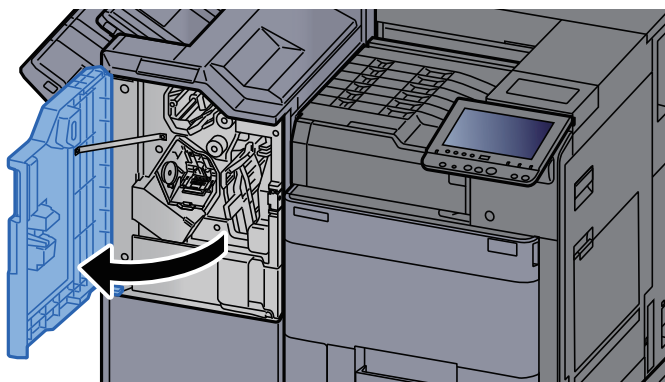
「ステープル針がありません。」



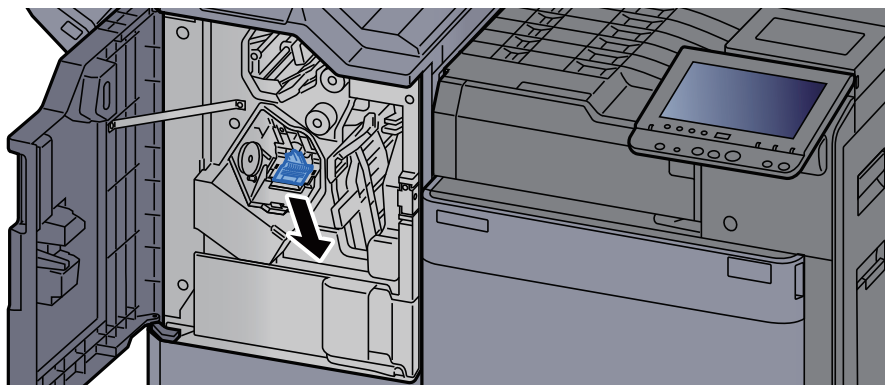
参考

ステープルの針がなくなった場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。

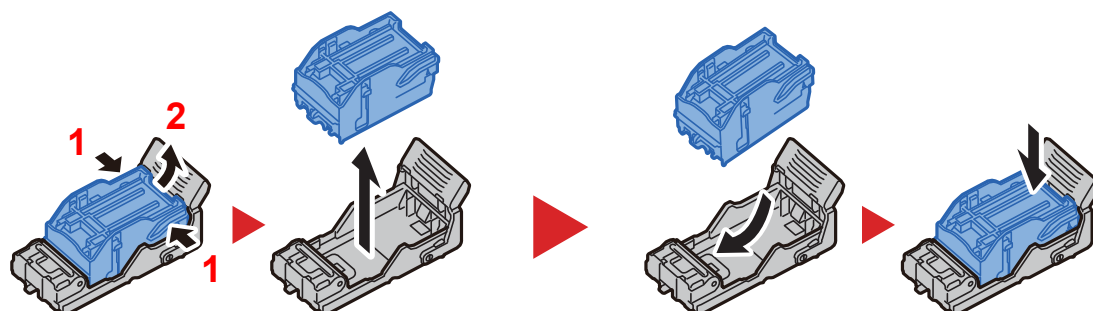
1 4,000枚フィニッシャーの前カバー1を開ける



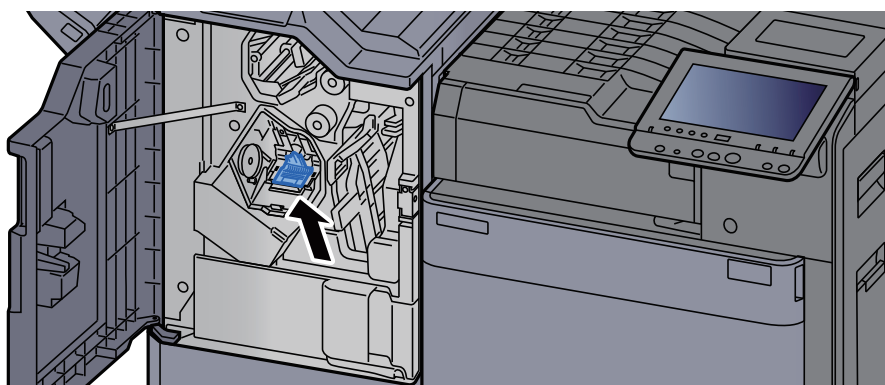
2 ステープルカートリッジホルダーAを取り外す



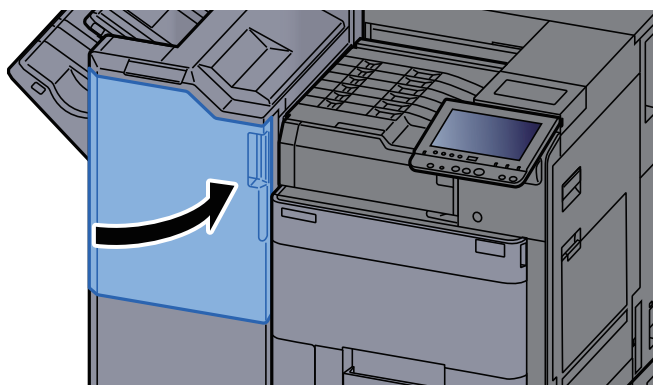
3 ステープル針を交換する



4 ステープルカートリッジホルダーAを装着する



5 前カバー1を元の位置に戻す



ステープル針を補充する(中折リユニット)

ステープル針がなくなったときは、次のメッセージが表示されます。ステープル針を補給してください。

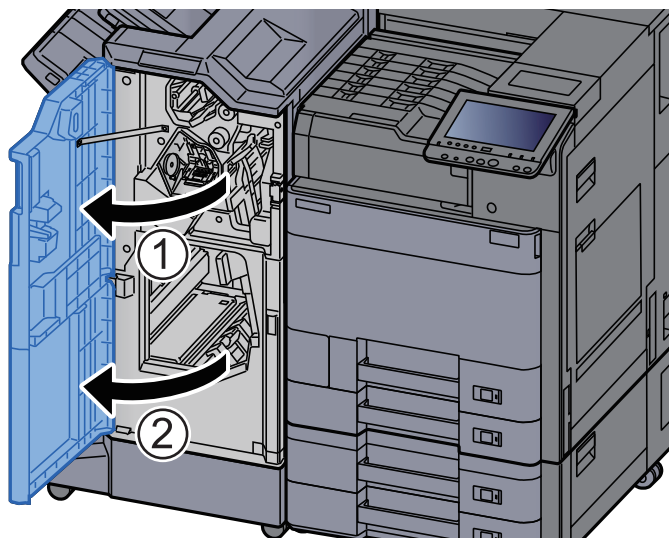
「ステープル針がありません。」



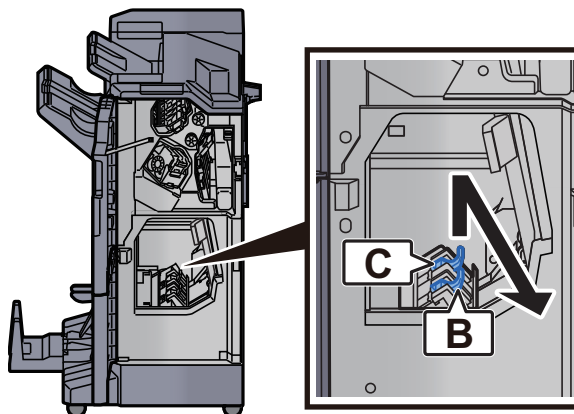
参考

ステープルの針がなくなった場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。

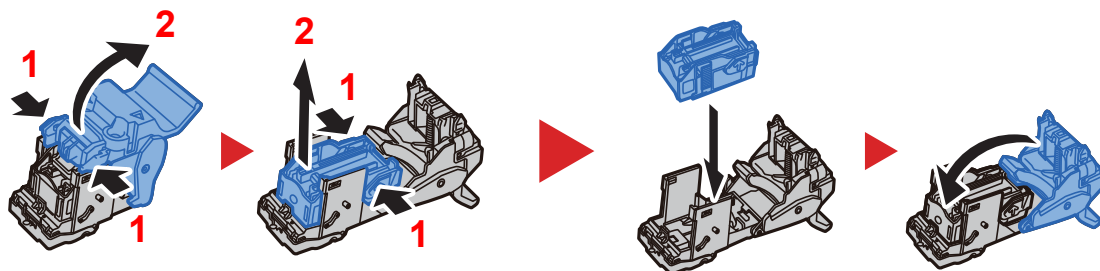
1 4,000枚フィニッシャーの前カバー1および前カバー2を開ける



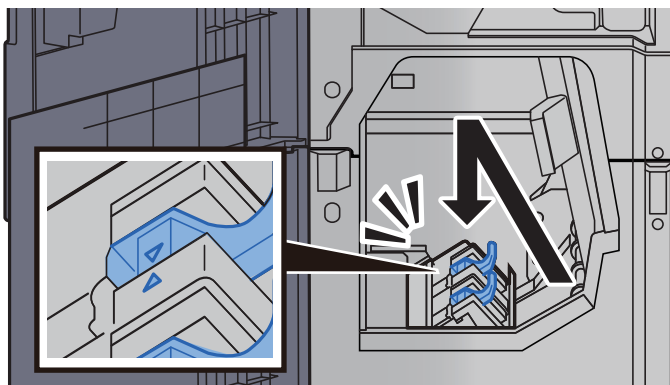
2 ステープルカートリッジホルダーBまたはCを取り外す



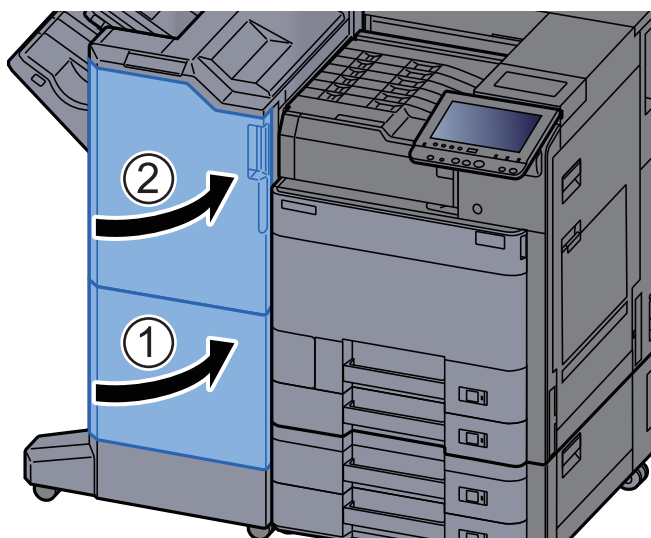
3 ステープル針を交換する



4 ステープルカートリッジホルダーBまたはCを装着する



5 前カバー1および前カバー2を元の位置に戻す



パンチくずを廃棄する

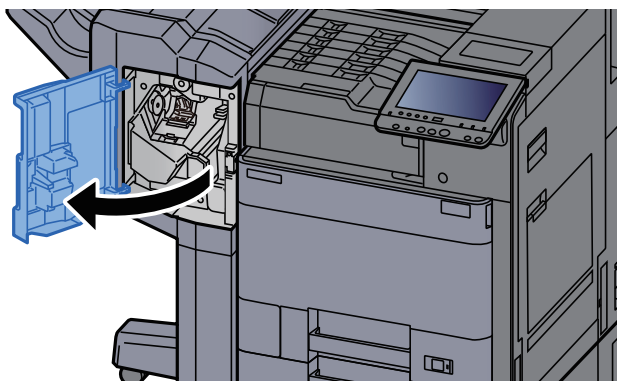
パンチくずがいっぱいになったときは、次のメッセージが表示されます。パンチくずを必ず捨ててください。

「パンチくずを捨ててください。」

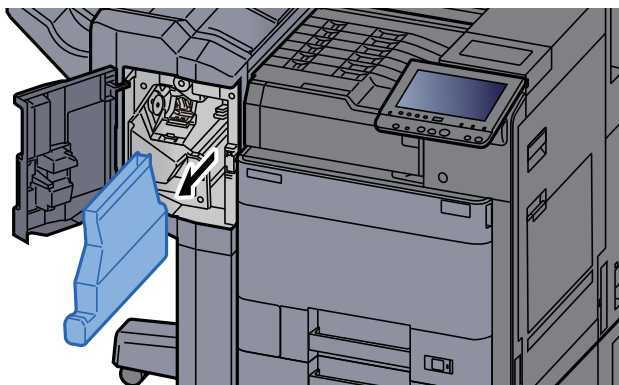
パンチくずを廃棄するときは、本機の電源をON(|)にしたままで行ってください。

1,000枚フィニッシャーの場合

1 1,000枚フィニッシャーの前カバーを開ける



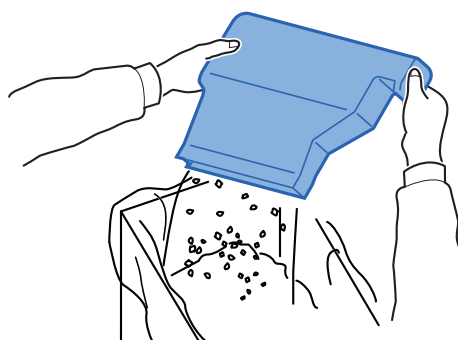
2 パンチくずボックスを取り外す



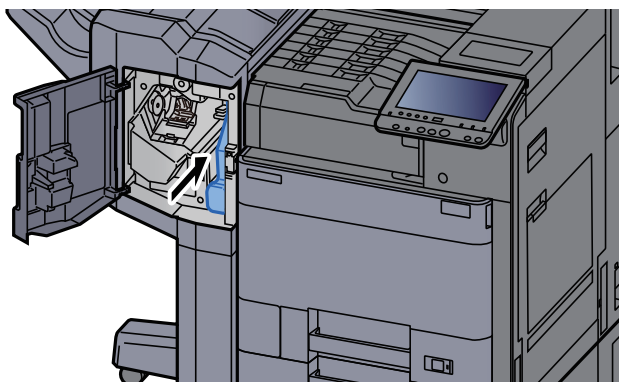
参考

取り外しの際に、ボックスの中のパンチくずをこぼさないように注意してください。

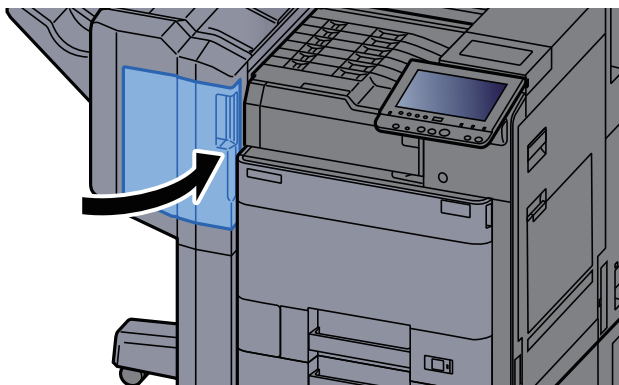
3 パンチくずを捨てる



4 パンチくずボックスを装着する

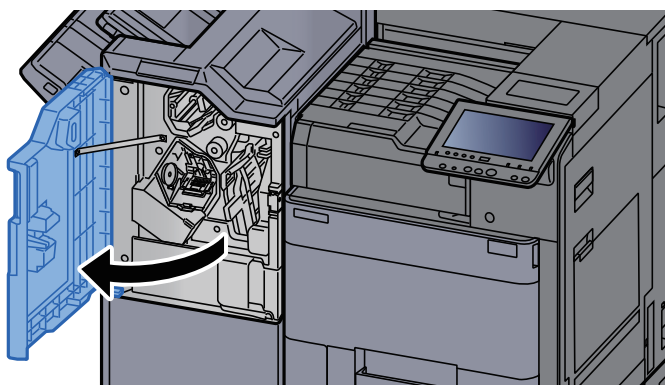


5 前カバーを元の位置に戻す

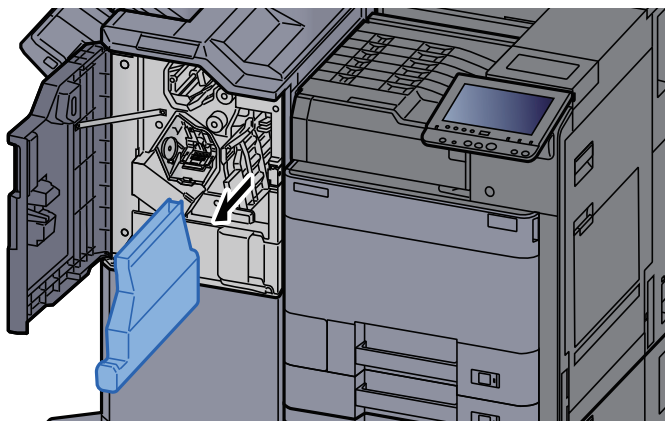


4,000枚フィニッシャーの場合

1 4,000枚フィニッシャーの前カバー1を開ける



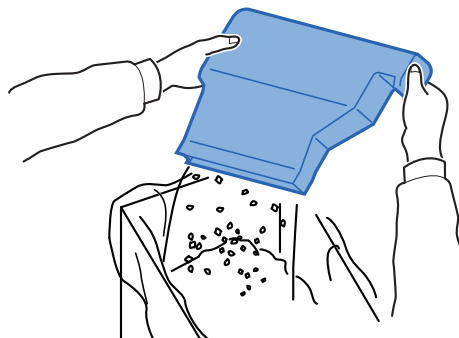
2 パンチくずボックスを取り外す



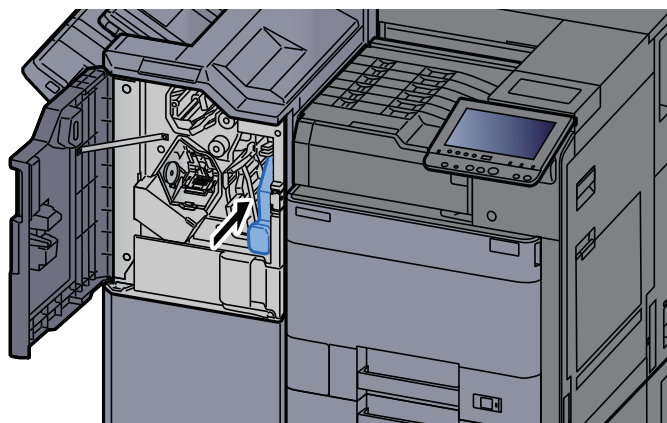
参考

取り外しの際に、ボックスの中のパンチくずをこぼさないように注意してください。

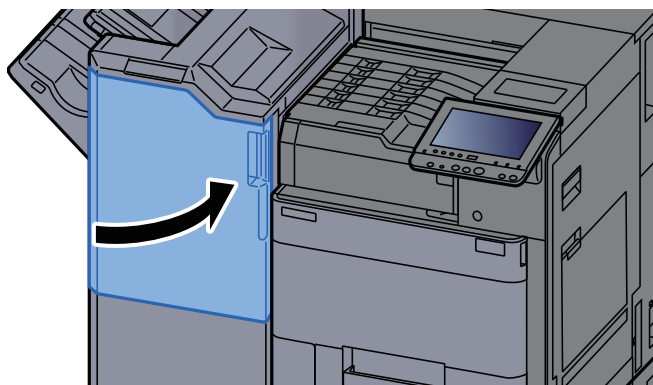
3 パンチくずを捨てる



4 パンチくずボックスを装着する



5 前カバー1を元の位置に戻す



一般的なトラブル

トラブルが発生したら

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってください。

ここで説明する処置を行っても問題が解決されないときは、購入元または弊社お客様相談窓口ご連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。



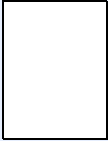
参考

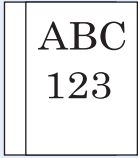
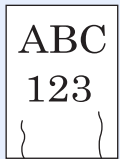
お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。
シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

➡ [機器情報を表示する \(2-16ページ\)](#)

機械動作のトラブル

機械動作のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
アプリケーションが立ち上がらない。	オートパネルリセットの設定時間が短くありませんか？	オートパネルリセットの設定時間を30秒以上に設定してください。	8-49ページ
電源を入れても、画面に何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか？	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	—
	主電源スイッチが入っていますか？	主電源スイッチを入れてください。	2-2ページ
[スタート]キーを押しても印刷できない。	画面にメッセージが表示されていませんか？	メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	10-22ページ
	スリープ状態になっていませんか？	操作パネルのいずれかのキーを選択してください。	2-34ページ
何も印刷しない。 	—	アプリケーションソフトの設定を確認してください。	—

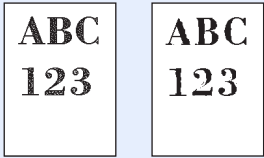
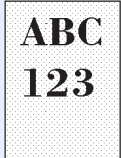
現象	確認事項	処置	参照ページ
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-4ページ
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-2ページ
	用紙の種類や保管状態は正しいですか？	用紙をカセットから一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	3-2ページ
	用紙がカールしたり、折れやシワがありませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-2ページ
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか？	つまった用紙を取り除いてください。	10-33ページ
用紙が2枚以上重なって でる。(重送) 	—	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-4ページ
用紙にシワが発生する。 	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-4ページ
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-2ページ
	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	3-2ページ
用紙にカールが発生する。 	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙を裏返してセットし直す、または用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-2ページ
	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	3-2ページ
プリンタードライバーがインストールできない。	Wi-FiまたはWi-Fi Direct機能が使用できる状態で、ドライバーをホスト名でインストールしていませんか？	ホスト名の代わりにIPアドレスを指定してください。	2-40ページ

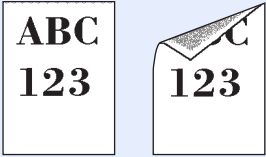
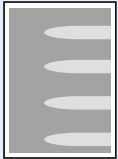
現象	確認事項	処置	参照ページ
印刷が開始されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか？	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	—
	主電源スイッチが入っていますか？	主電源スイッチを入れてください。	2-2ページ
	USBケーブルやネットワークケーブルが、正しく接続されていますか？	USBケーブルやネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-7ページ
	印刷ジョブが一時中止になっていませんか？	印刷を再開してください。	7-9ページ
	名前解決を使った有線およびWi-Fiネットワークを設定している場合、アクセスできないもう一方のネットワークのIPアドレス(プライベートアドレス)が混在していませんか？	本機で使用できるホスト名およびドメイン名はそれぞれ1つずつです。この制限事項を考慮してネットワークの運用設定をしてください。	—
		Command Center RXで、NetBEUIやDNSなどの名前解決の設定を変更するか、ネットワーク環境の設定を変更してください。	Command Center RX操作手順書
		優先ネットワーク(クライアント)で、制限なく使用するネットワークとしてWi-Fi、有線またはオプションネットワークを選択してください。	8-44ページ
USBメモリーで印刷できない。 USBメモリーを認識しない。	USBホストの設定が、[ブロックする]になっていませんか？	USBホストの設定を、[ブロックしない]に変更してください。	8-45ページ
	—	USBメモリーが、本機にしっかり接続されているか確認してください。	—
[Auto IP]を[使用する]に設定したが、リンクローカルのIPアドレスが取得できない。	TCP/IP(v4)のIPアドレスに0.0.0.0以外アドレスがすでに設定されていませんか？	TCP/IP(v4)のIPアドレスに0.0.0.0を設定してください。	2-25ページ
Wi-Fi Directを使って本機に接続できない。	3台の携帯端末が同時に接続されていませんか？	接続中の携帯端末を手動で接続解除するか、自動切断で接続時間を設定して接続を解除した後、接続を設定してください。	8-30ページ
メールが送信できない。	本機に登録しているSMTPサーバーでメールの送信サイズに制限がありませんか？	Command Center RXの[メール] > 「メール送信のサイズ制限」に制限値が入力されているかどうかを確認し、必要に応じて設定を変更してください。	2-54ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
排紙口付近から湯気が出る	本機を使用している場所の温度が低いのか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	本機を使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。	—

画像のトラブル

画像のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
印刷が全体的にうすい。 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-2ページ
	エコプリントを設定していませんか？	[エコプリント]の設定を、[設定しない]に切り替えてください。	8-22ページ
	—	[現像リフレッシュ]を実行してください。	10-32ページ
	—	[レーザースキャナークリーニング]を実行してください。	10-32ページ
	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	8-6ページ
画像の白地部分が全体的に色がついて見える。 	—	[現像リフレッシュ]を実行してください。	10-32ページ
画像の白地部分に黒点や色点が入る。 	—	[現像リフレッシュ]を実行してください。	10-32ページ
印刷がぼける。 印刷が欠ける 	湿気が高い、または急激に温度や湿度が変化する場所で使用していませんか？	湿度が適切な環境で使用してください。	—
	—	[ドラムヒーター]を[設定する]にしてください。	8-52ページ
	—	[ドラムリフレッシュ]を実行してください。	10-31ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
印刷位置がズレる。 	用紙が正しくセットされていますか？	カセットの用紙幅ガイドの位置を確認してください。	3-4ページ
縦線が入る。 	—	[レーザースキャナークリーニング]を実行してください。	10-32ページ
用紙の先端や裏側が汚れる 	本体内部が汚れていませんか？	右カバーを開け、本体内部がトナーなどで汚れている場合は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。	—
画像の一部が周期的にうすい、または白いすじが入る。 	—	右カバーを開けて、閉め直してください。	—
	—	[ドラムリフレッシュ]を実行してください。	10-31ページ
	—	[現像リフレッシュ]を実行してください。	10-32ページ

リモート操作について

本機能を使用すると、システム管理者はブラウザーまたはVNCソフトウェアから本機の操作パネル画面にリモートでアクセスし、画面を操作しながら操作手順やトラブルの解決方法をユーザーに説明することができます。

ブラウザーから起動する

対応ブラウザーは次のとおりです。

- Google Chrome (バージョン21.0以降)
- Internet Explorer (バージョン9.0以降)
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox (バージョン14.0以降)
- Safari (バージョン5.0以降)

ここでは、Google Chromeを使用して、Command Center RXからリモート操作を実行する手順を説明します。



参考

Google Chrome以外のブラウザーを使ってリモート操作を実行する手順については、次を参照してください。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定]

2 Enhanced VNC over SSLを[使用する]に設定する

➡ [プロトコル設定 \(8-37ページ\)](#)



参考

Command Center RXからもプロトコルを設定できます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

3 リモート操作の設定をする

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [リモート操作] > [変更] > [使用する]

2 [制限しない]、[パスワードを使用]、[管理者のみ許可]から選択します。

[パスワードを使用]を選択した場合、[パスワード]および[パスワード(確認)]にパスワードを入力し、[OK]を選択してください。

➡ [リモート操作 \(8-48ページ\)](#)



参考

Command Center RXからもリモート操作の設定ができます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

4 本機を再起動する

➡ [デバイスの再起動 \(8-48ページ\)](#)

5 ブラウザーを起動する

https://[本機のホスト名]を指定して、Command Center RXを起動します。

➔ [Command Center RX へアクセスする \(2-51ページ\)](#)

6 デバイス情報/リモート操作 > リモート操作

7 [開始]をクリックする



参考

- ユーザーが本機にログインしている場合、操作パネルに許可確認画面が表示されます。[はい]を選択してください。
- リモート操作の接続時にブラウザーのポップアップブロックが発生した場合は、「http://[ホスト名]のポップアップを常に許可する」を選択し、[完了]をクリックします。1分以上待ってから[開始]をクリックしてください。

リモート操作が起動すると、システム管理者およびユーザーのパソコン画面に、操作パネル画面が表示されます。

VNCソフトウェアから起動する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定]

2 VNC (RFB) を[使用する]に設定する

➔ [プロトコル設定 \(8-37ページ\)](#)



参考

- VNC (RFB) over SSLを[使用する]に設定すると、通信が暗号化されます。
- Command Center RXからもプロトコルを設定できます。

➔ [Command Center RX操作手順書](#)

3 リモート操作を起動する

1 VNCソフトウェアを起動します。

2 IPアドレス入力欄に、次のようにコロンで区切る形式で入力し、リモート操作を起動します。

「IPアドレス:ポート番号」



参考

手順2でプロトコルをVNC (RFB) に設定した場合、工場出荷時のポート番号は9062になります。VNC (RFB) over SSLに設定した場合、工場出荷時のポート番号は9063になります。

➔ [プロトコル設定 \(8-37ページ\)](#)

こんな表示がでたら

メッセージが表示されたら

画面にメッセージが出たときには、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。

問題が解決されないときは、主電源スイッチを一度切り、5秒以上あけて主電源スイッチを入れてください。それでも問題が解決されないときは、購入元または弊社お客様相談窓口に連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。



参考

お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。
シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

➡ [機器情報を表示する \(2-16ページ\)](#)

エラーメッセージ一覧

画面に次のようなエラーメッセージが表示されます。メッセージに応じて、処置を行ってください。

英数字

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ICカード情報を読み取れません。	—	IC カード情報の登録時、ICカード情報を正しく読み取れませんでした。もう一度ICカードをICカード読取部にかざしてください。 同じメッセージが再度表示されるときは、本製品に対応していないICカードの場合があります。別のICカードと交換してください。	—
KPDLエラーです。*1	—	PostScriptエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
SSDエラーです。	—	SSDでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 01:一度に保存できるデータ容量を超えています。システムを再起動、または電源をOFF/ON してください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。 それでも解消されない場合はSSDが壊れています。[システムの初期化]を実行してください。 04:SSD上の空き容量が足りません。データを移動する、または不要なデータを削除してください。 参考 システムの初期化を実行するとSSDに保存されているデータは削除されますのでご了承ください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-49ページ\)](#)

あ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
アクセスポイントが検出できませんでした。	—	アクセスポイントが正しく設定されているか確認してください。	—
温度調整中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—

か行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
カセット○でエラーが発生しました。	—	カセットを引き出してください。機械内部を確認し、用紙を取り除いてください。	—
カセット○に用紙を補給してください。	表示されているカセットの用紙がなくなっていないですか？	用紙を補給してください。別の給紙元の用紙を選択して[継続]を選択すると、用紙を変えて印刷をします。	3-4ページ
	5枚以下の封筒をセットしていませんか？	カセットを引き出し、用紙幅ガイドを少し広げてください。	3-10ページ
カバーが開いています。	開いているカバーはありませんか？	画面に表示されているカバーを閉じてください。	—
紙折りの制限枚数を超えました。	紙折りの制限枚数を超えていませんか？	処理可能な枚数毎に紙折りを実行して印刷する場合は[継続]を、ジョブを中止する場合は[中止]を選択してください。	—
紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	10-33ページ
起動エラーです。	—	アプリケーションの起動に失敗しました。管理者に連絡してください。	—
	—	拡張認証が機能しません。電源スイッチを入れ直してください。問題が解決しない場合は管理者に連絡してください。	2-9ページ
キャリブレーション中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—
高温環境を検知しました。室温を調整してください。	—	印刷品質が劣化するおそれがあります。機械設置場所の空調温度を調整してください。	—
故障が発生しました。	—	本機内部で異常が発生しています。画面に表示されているエラーコードを書きとめて、サービス担当者にご連絡ください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
故障のため〇〇〇を使用できません。	—	サービス担当者にご連絡ください。	—
このICカードはすでに他のユーザーが使用しているため、登録できません。	—	ご使用のICカードは、すでに登録されています。別のICカードと交換してください。	—
このジョブは実行できません。 ^{*1}	—	認可設定で使用が禁止されています。 ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
	—	部門管理で使用が禁止されています。 ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
この用紙は紙折りできません。	紙折りできないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	そのまま[継続]を選択すると、紙折りを解除して印刷します。 別の給紙元の用紙を選択して[継続]を選択すると、用紙を変えて印刷をします。	—
この用紙は仕分けできません。	仕分けできないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	そのまま[継続]を選択すると、仕分けを解除して印刷します。 別の給紙元の用紙を選択して[継続]を選択すると、用紙を変えて印刷をします。	—
この用紙はステープルできません。	ステープルできないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	そのまま[継続]を選択すると、ステープルを解除して印刷します。 別の給紙元の用紙を選択して[継続]を選択すると、用紙を変えて印刷をします。	—
この用紙はパンチできません。	パンチできないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	そのまま[継続]を選択すると、パンチを解除して印刷します。 別の給紙元の用紙を選択して[継続]を選択すると、用紙を変えて印刷をします。	—
この用紙は両面印刷できません。	両面印刷できないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	そのまま[継続]を選択すると、両面印刷を解除して印刷します。 別の給紙元の用紙を選択して[継続]を選択すると、用紙を変えて印刷をします。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-49ページ\)](#)

さ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
サーバーに接続できません。	—	サーバーとの接続状況を確認してください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
最大接続数を超えるため接続できません。	3台の携帯端末が同時に接続されていませんか？	使用していない携帯端末の接続を解除するか、または、本機の自動切断時間を設定して、携帯端末の接続を切断してください。	8-30ページ
サイドフィーダーを確認してください。	—	サイドフィーダーが正しくセットされていません。サイドフィーダーをセットしてください。	—
システムエラーです。	—	システムエラーが発生しています。画面に表示された手順に従って処理してください。	—
指定外のトナーが装着されています。	装着されたトナーは純正消耗品(指定トナー)ですか？	純正消耗品以外の消耗品(指定外トナー)が原因の故障については、責任を負いかねますのでご了承ください。	—
指定外のトナーが装着されています。PC	装着されたトナーの販売地域が、本体と一致していますか？	本体販売地域と一致したトナーを使用してください。	—
指定された位置にステープルできません。	ステープルできない位置を選択していませんか？	そのまま[継続]を選択すると、ステープルを解除して印刷します。 別の給紙元の用紙を選択して[継続]を選択すると、用紙を変えて印刷をします。	6-9ページ
指定された位置にパンチできません。	パンチできない位置を選択していませんか？	そのまま[継続]を選択すると、パンチを解除して印刷します。 別の給紙元の用紙を選択して[継続]を選択すると、用紙を変えて印刷をします。	6-10ページ
指定された部数を印刷できません。	—	1部だけ印刷することができます。印刷する場合は[継続]を選択してください。ジョブを中止する場合は[中止]を選択してください。	—
ジョブセパレーターが用紙オーバーです。	収納できる枚数を超えていますか？	用紙を取り除いて[継続]を選択してください。印刷が再開されます。	—
ジョブ保留のデータを保存できませんでした。	—	ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
ステープルの制限枚数を超えました。	ステープルの制限枚数を超えていますか？	ステープル設定を解除して印刷する場合は[継続]を、ジョブを中止する場合は[中止]を選択してください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ステープル針がありません。	ステープルカートリッジホルダーの針がなくなっていますか？	ステープルの針がなくなると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って針ケースを交換してください。 ステープルせずに出力するときは[継続]を選択してください。 ジョブを中止するときは[中止]を選択してください。	10-7ページ 10-8ページ 10-10ページ
ステープル針がありません。(マニュアルステープル)	ステープルカートリッジホルダーAの針がなくなっていますか？	ステープルカートリッジホルダーAに針を補給してください。	10-8ページ
ステープル針づまりです。	—	ステープルの針づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	10-80ページ 10-83ページ 10-85ページ
セキュリティ機能を実行中です。	—	セキュリティ機能を実行中です。しばらくお待ちください。	—
接続できません。	—	Wi-FiまたはWi-Fi Directの接続が完了しなかった場合に表示されます。設定内容や電波の状態を確認してください。	8-30ページ 8-31ページ

た行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
低温環境を検知しました。室温を調整してください。	—	印刷品質が劣化する恐れがあります。機械設置場所の空調温度を調整してください。	—
手差しに用紙を補給してください。	表示されている手差しトレイの用紙がなくなっていますか？	用紙を補給してください。 別の給紙元の用紙を選択して[継続]を選択すると、用紙を変えて印刷をします。	3-4ページ
手差しの用紙を確認してください。	—	給紙した用紙のサイズが違います。選択したサイズの用紙をセットして[継続]を選択してください。	3-4ページ
トナーがありません。	—	当社指定のトナーコンテナに交換してください。	10-2ページ
トナーが残り少なくなっています。 (なくなったら交換)	—	トナーコンテナの交換時期が近づいています。トナーコンテナを準備してください。	—
トナーコンテナが正しく装着されていません。	—	トナーコンテナが正しく装着されていないか、抜けています。 前カバーを開け、トナーコンテナすべてを正しくセットし直してください。	10-2ページ

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
トナーコンテナを確認してください。	—	本体前カバーを開け、トナーコンテナを取り出してください。トナーコンテナをよく振り再度セットしてください。  参考 [トナーコンテナカバーを開ける]を選択すると、閉じてしまったトナーコンテナカバーを再び開けることができます。	—
ドラムリフレッシュ実行中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—
トレイ〇が用紙オーバーです。	収納できる枚数を超過していますか？	用紙を取り除いてください。印刷が再開されます。	—
	用紙がカールしていませんか？	「一般的な問題について」の「用紙にカールが発生する。」の確認事項を確認し、適切な処置をしてください。	10-16ページ

な行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
中折りトレイが用紙オーバーです。	収納できる枚数を超過していますか？	用紙を取り除いてください。印刷が再開されます。	—
中折りユニットが開いています。	—	中折りユニットを押し込んでください。	—
認識できません。	—	ご使用のICカードが登録されているか確認してください。	—
認証サーバーに接続できません。 ^{*1}	—	本機の時刻とサーバーの時刻を合わせてください。	2-24ページ
	—	ドメイン名を確認してください。	9-3ページ
	—	ホスト名を確認してください。	9-3ページ
	—	サーバーとの接続状況を確認してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-49ページ\)](#)

は行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ハードディスクエラーです。	—	ハードディスクでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 01:一度に保存できるデータ容量を超えています。システムを再起動、または電源をOFF/ONしてください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。 それでも解消されない場合はハードディスクが壊れています。[システムの初期化]を実行してください。 04:ハードディスク上の空き容量が足りません。データを移動する、または不要なデータを削除してください。	—
ハードディスクが故障しています。サービス担当者に連絡してください。	—	サービス担当者にご連絡ください。	—
廃棄トナーがいっぱいになります。	—	廃棄トナーボックスの交換時期が近づいています。廃棄トナーボックスを準備してください。	—
廃棄トナーボックスがいっぱいです。	廃棄トナーボックスがいっぱいになっていませんか？	廃棄トナーボックスを交換してください。	10-5ページ
廃棄トナーボックスをセットしてください。	—	廃棄トナーボックスが正しくセットされていません。廃棄トナーボックスを正しくセットしてください。	10-5ページ
バナー印刷は実行できません。	—	システムスタンプが有効になっているため、バナー印刷は実行できません。	—
パンチくずボックスをセットしてください。	—	画面に表示された手順に従って、パンチくずボックスをセットしてください。	10-11ページ
パンチくずを捨ててください。	パンチくずボックスがいっぱいになっていませんか？	画面に表示された手順に従って、パンチくずを捨ててください。	10-11ページ
フィニッシュートレイが用紙オーバーです。	収納できる枚数を超えていますか？	用紙を取り除いてください。印刷が再開されます。	—
部門管理の制限を超えました。	部門管理で設定されている制限ページ数を超えていますか？	部門管理で設定されている制限ページ数に達したため、これ以上印刷できません。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
部門管理の設定に失敗しました。 ^{*1}	—	外部からジョブを実行する際に、部門管理の設定に失敗しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
部門コードが違います。 ^{*1}	—	外部からジョブを実行する際に、部門コードが間違っています。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
プリンター準備中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—
ボックスが見つかりません。	—	指定されたボックスが見つかりません。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
ボックスのパスワードが違います。	—	外部からジョブを実行する際に、ボックスのパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
ボックスを使用する権限がありません。	—	指定されたボックスを使用する権限がありません。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
本体メイントレイが用紙オーバーです。	収納できる枚数を超過していますか？	用紙を取り除いてください。印刷が再開されます。	—

^{*1} エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-49ページ\)](#)

ま行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
まもなく定期点検の時期です。○○○	—	サービス担当者にご連絡ください。	—
メールボックストレイが用紙オーバーです。	収納できる枚数を超過していますか？	用紙を取り除いてください。印刷が再開されます。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
メモリーオーバーフローです。 ^{*1}	—	メモリー不足のため、処理できません。[終了]のみ表示されている場合は[終了]を選択してください。このジョブは中止されます。 メモリー不足が頻繁に発生する場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。	—
	—	空きメモリーがなくなったため、これ以上ジョブを継続できません。読み込んだページを処理するときは[継続]を選択してください。一部処理されないページがあります。ジョブを中止するときは[中止]を選択してください。	—
メモリーが不足しています。	—	ジョブを開始できません。しばらくしてからやり直してください。	—

^{*1} エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-49ページ\)](#)

や行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
用紙が残っています。	—	ドキュメントフィニッシャーの用紙を取り除いてください。	—
	—	フィニッシャートレイの用紙を取り除いてください。	—
	—	フィニッシャー中折りユニットの用紙を取り除いてください。	—

ら行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
リモート印刷は実行できません。	—	リモートからの印刷は禁止されています。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
ログインユーザー名またはパスワードが違います。 ^{*1}	—	外部からジョブを実行する際に、ログインユーザー名またはパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—

^{*1} エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-49ページ\)](#)

調整/メンテナンスメニュー

調整/メンテナンスメニューについて

画面に調整メニューやメンテナンスメニューを実行するよう表示されたときや、画像に問題があったときは、システムメニューの調整/メンテナンスメニューを実行してください。

実行できるメニューは、次のとおりです。

メニュー	内容	参照ページ
ドラムリフレッシュ	印刷された画像の流れたようにじみや白点を改善します。	10-31ページ
キャリブレーション	印刷された画像の濃淡を改善します。	10-31ページ
レーザースキャナークリーニング	印刷された画像に入る縦の白線を改善します。	10-32ページ
現像リフレッシュ	トナーが十分ある場合の印刷のうすれやかすれを改善します。	10-32ページ

ドラムリフレッシュを実行する

印刷された画像の流れたようにじみや白点を改善します。



参考

印刷中、ドラムリフレッシュはできません。印刷が終了してから実行してください。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > 「ドラムリフレッシュ」[次へ]

2 調整する

[実行]を選択します。ドラムリフレッシュが開始されます。

キャリブレーションを実行する

印刷された画像の色ずれや色合いを改善します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > 「キャリブレーション」[次へ]

2 調整する

[実行]を選択します。キャリブレーションが開始されます。

レーザーキャナークリーニングを実行する

印刷された画像に入る縦の白線を改善します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > 「レーザーキャナークリーニング」[次へ]

2 調整する

[実行]を選択します。レーザーキャナークリーニングが開始されます。

現像リフレッシュを実行する

トナーが十分ある場合の印刷のうすれやかすれを改善します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > 「現像リフレッシュ」[次へ]

2 調整する

[実行]を選択します。現像リフレッシュが開始されます。



参考

現像リフレッシュを実行中に機械内部でトナー補給動作が行われると、待ち時間が長くなることがあります。

紙づまりの解除

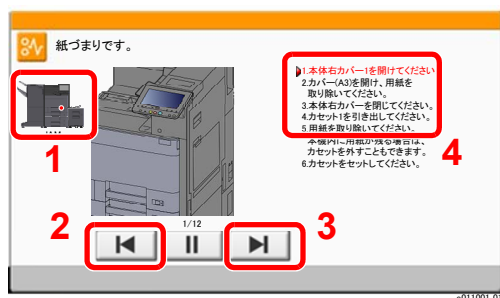
紙づまりが発生したら

紙づまりが発生すると、印刷が停止し、タッチパネルに紙づまりの位置とともに次のメッセージが表示されます。

「紙づまりです。」

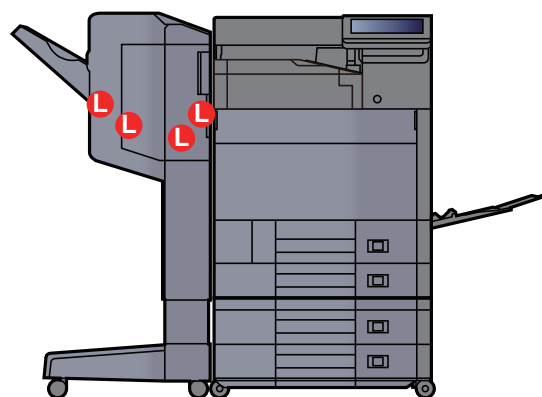
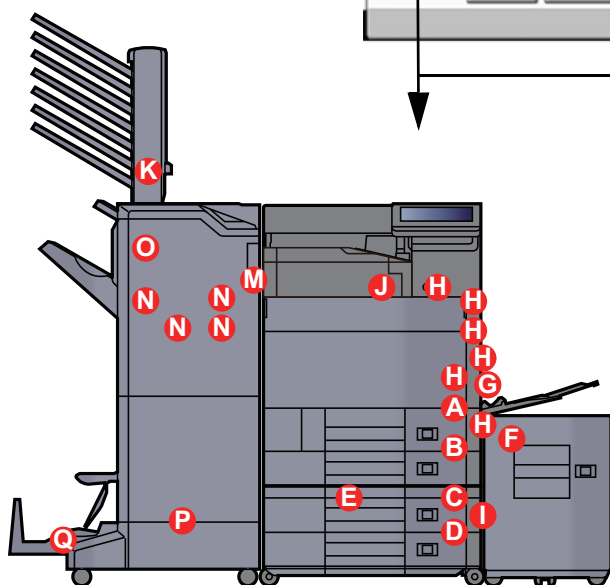
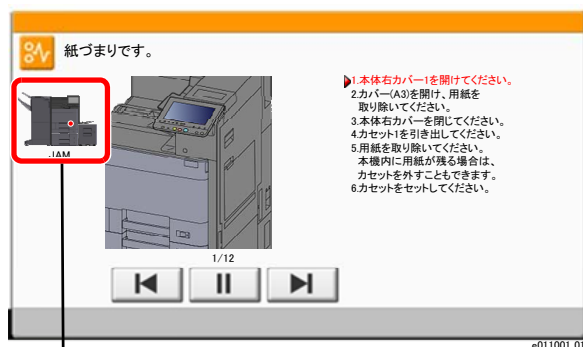
以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除いてください。

紙づまり表示の見かたと位置の確認



- 1 紙づまりの位置情報を表示します。
- 2 前の手順を表示します。
- 3 次の手順を表示します。
- 4 処理の手順を表示します。

紙づまりが発生すると、タッチパネルに紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。



紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
A	カセット1	10-34ページ
B	カセット2	10-37ページ
C	カセット3 (550枚×2)	10-40ページ
	カセット3 (1,650枚×2)	10-42ページ
D	カセット4 (550枚×2)	10-40ページ
E	カセット4 (1,650枚×2)	10-44ページ
F	カセット5 (サイドフィーダー)	10-47ページ
G	手差しトレイ	10-49ページ
H	右カバー1	10-50ページ
I	右カバー2	10-54ページ
		10-55ページ
J	中継搬送ユニット	10-57ページ
K	メールボックス	10-58ページ
L	1,000枚フィニッシャー	10-59ページ
M	4,000枚フィニッシャー (内部)	10-62ページ
N	4,000枚フィニッシャー (トレイA)	10-63ページ
O	4,000枚フィニッシャー (トレイB)	10-67ページ
P	中折りユニット	10-70ページ
Q	中折りトレイ	10-75ページ

紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットし直されます。

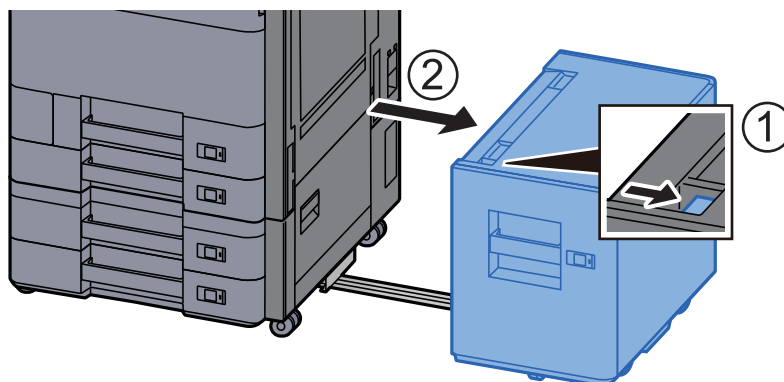
カセット1の紙づまりを除去する



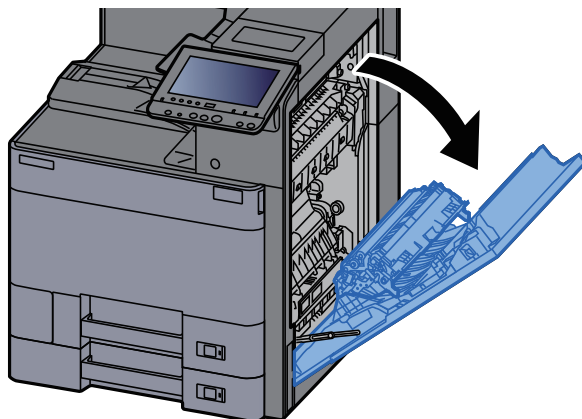
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

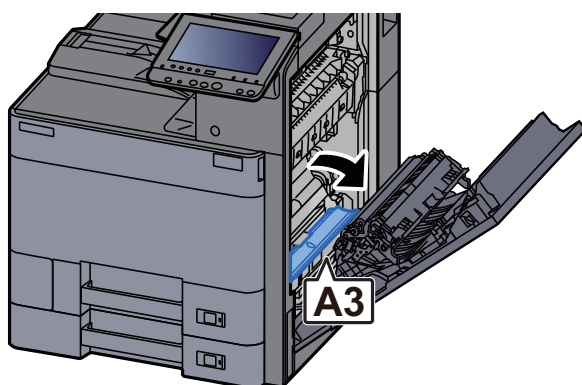
1 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、本体から切り離す



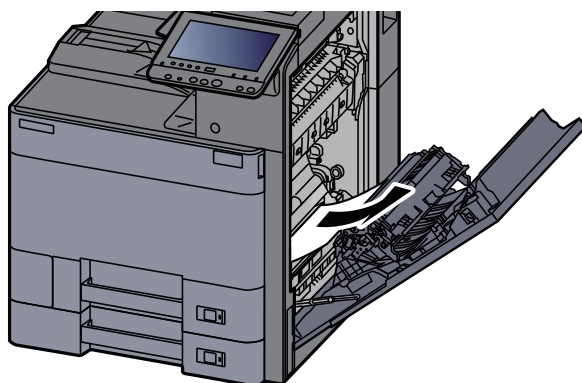
2 右カバー1を開ける



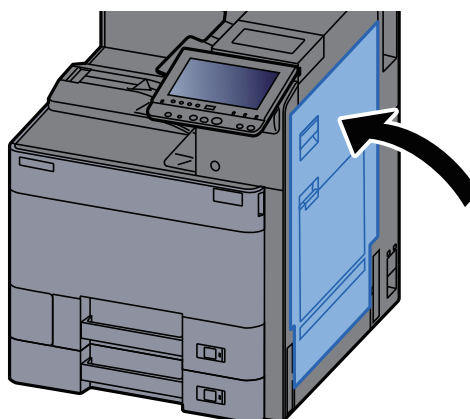
3 カバーA3を開ける



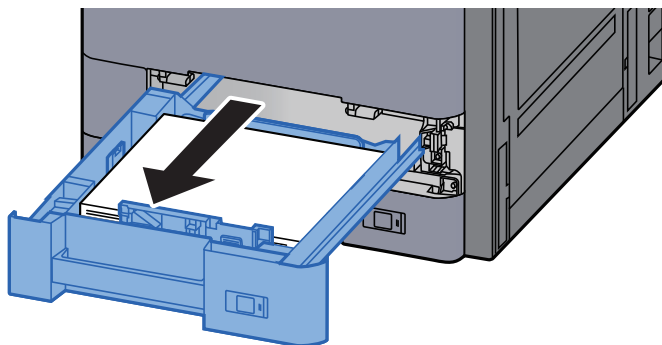
4 つまった用紙を取り出す



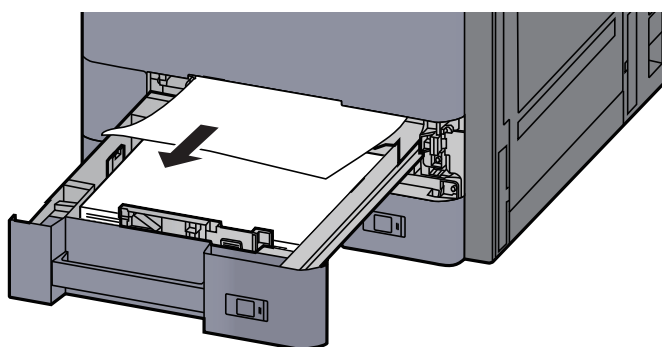
5 右カバー1を元の位置に戻す



6 カセット1を引き出す

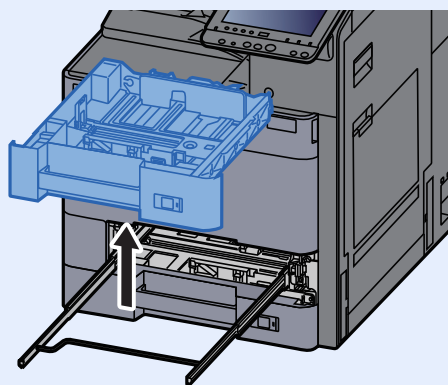


7 つまった用紙を取り出す

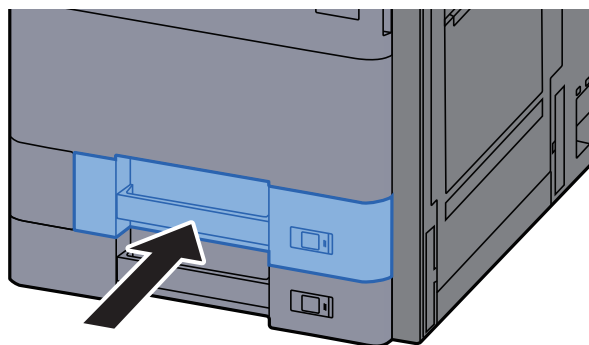


参考

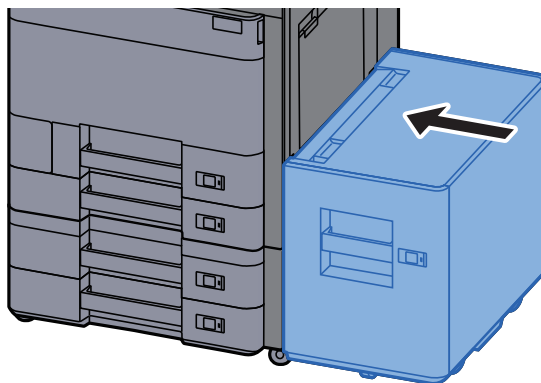
本機内に用紙が残る場合は、カセットを外すこともできます。



8 カセット1を元の位置に戻す



9 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、元の位置に戻す



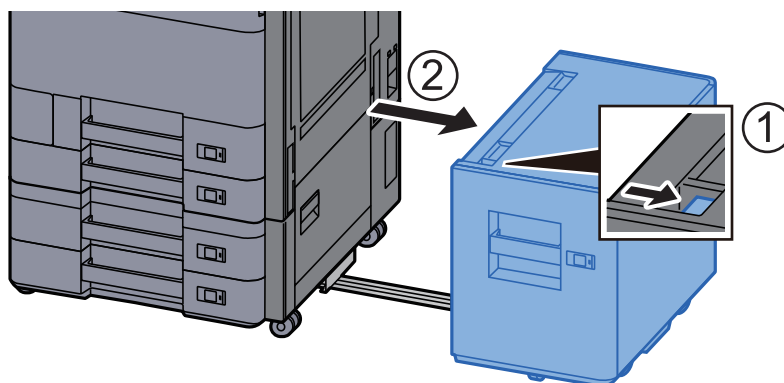
カセット2の紙づまりを除去する



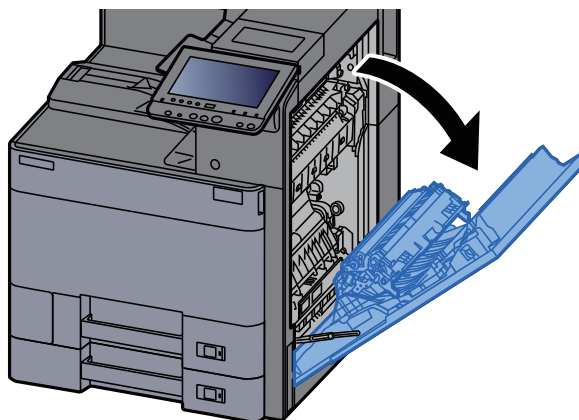
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

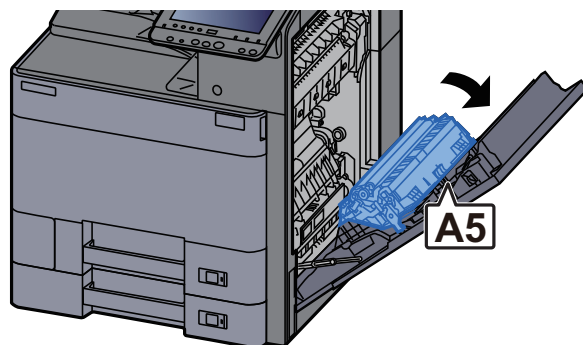
1 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、本体から切り離す



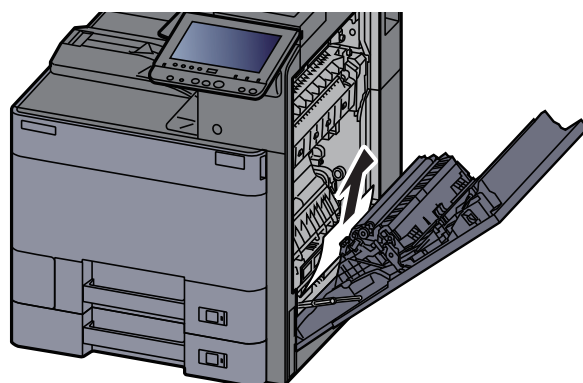
2 右カバー1を開ける



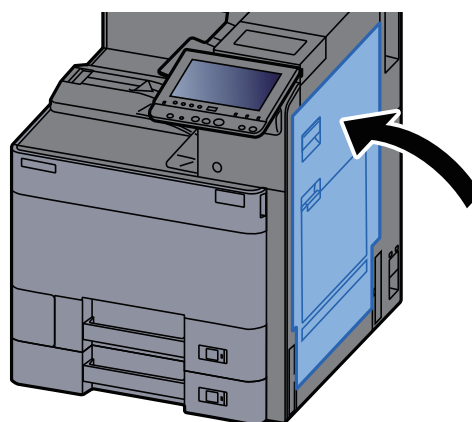
3 両面ユニットA5を閉じる



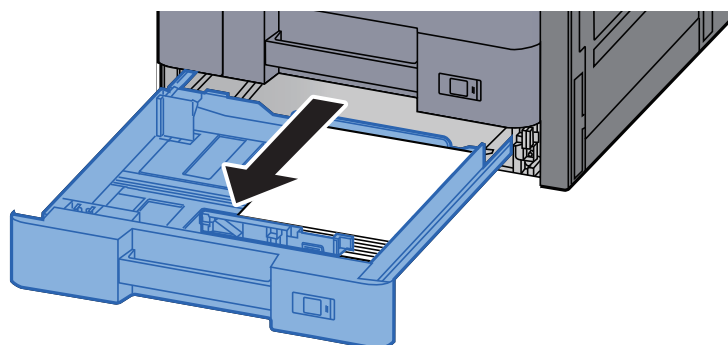
4 つまった用紙を取り出す



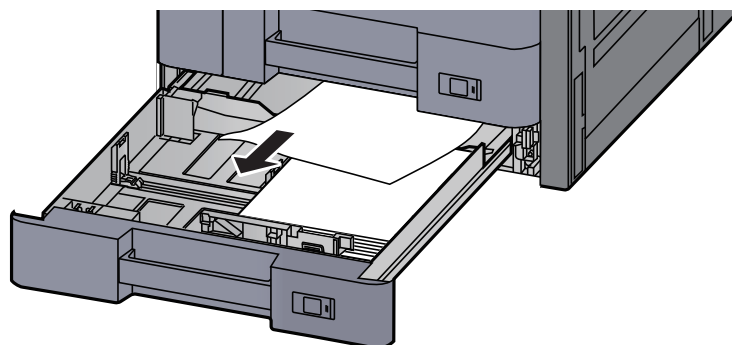
5 右カバー1を元の位置に戻す



6 カセット2を引き出す

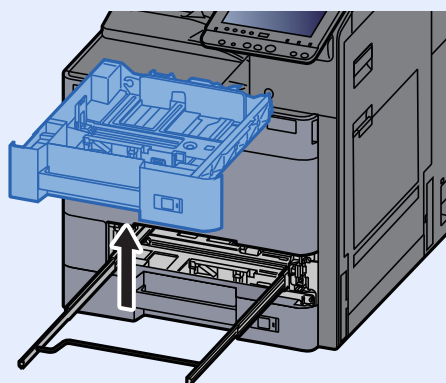


7 つまった用紙を取り出す

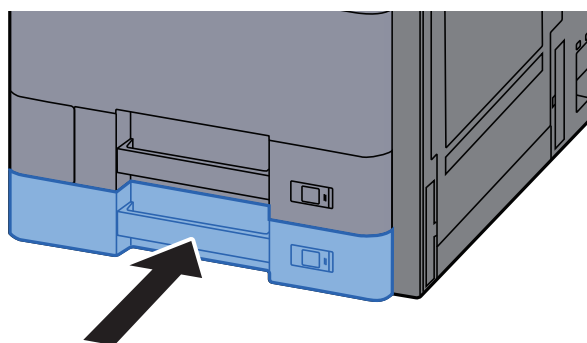


参考

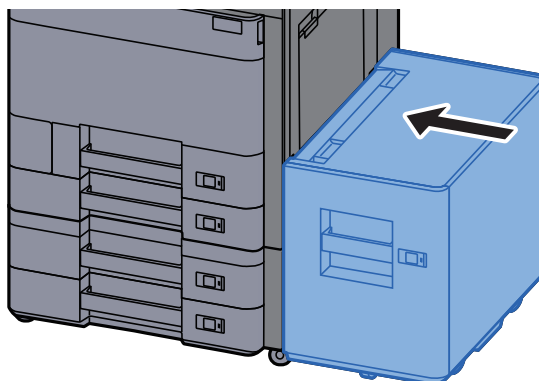
本機内に用紙が残る場合は、カセットを外すこともできます。



8 カセット2を元の位置に戻す



9 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、元の位置に戻す



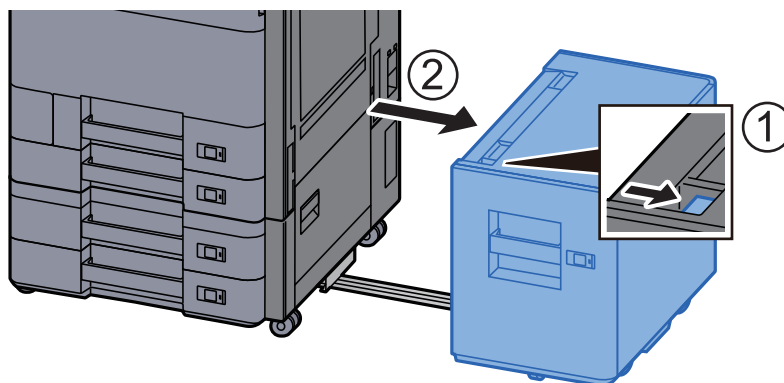
カセット3、4(550枚×2)の紙づまりを除去する

ここではカセット3を例に説明します。

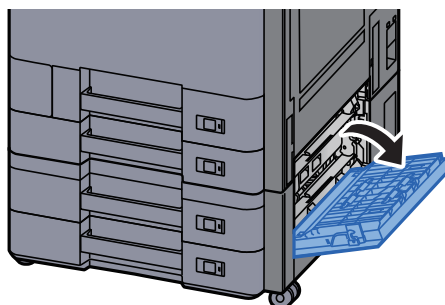
⚠ 注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

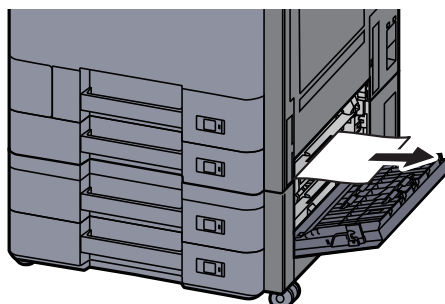
1 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、本体から切り離す



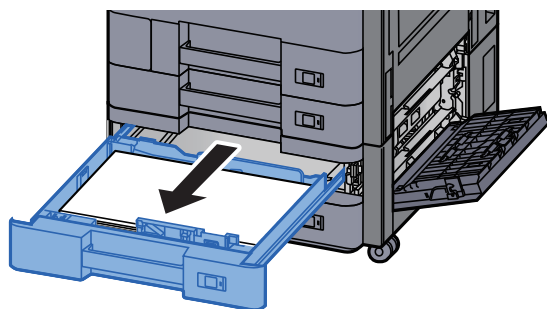
2 右カバー2を開ける



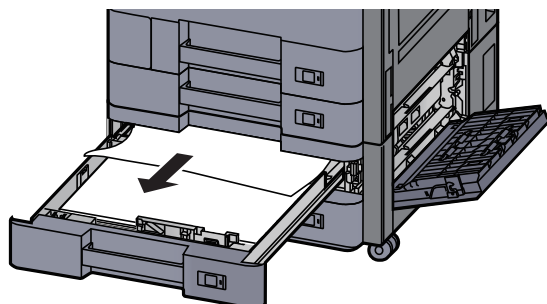
3 つまった用紙を取り出す



4 カセット3を引き出す

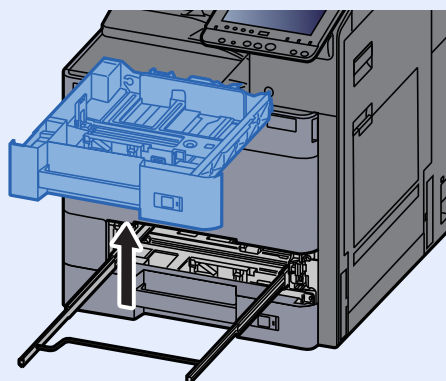


5 つまった用紙を取り出す

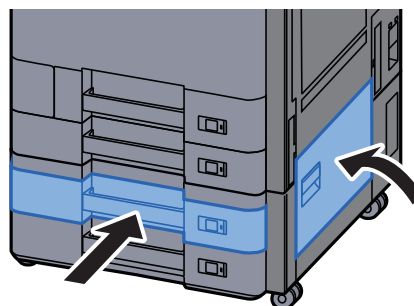


参考

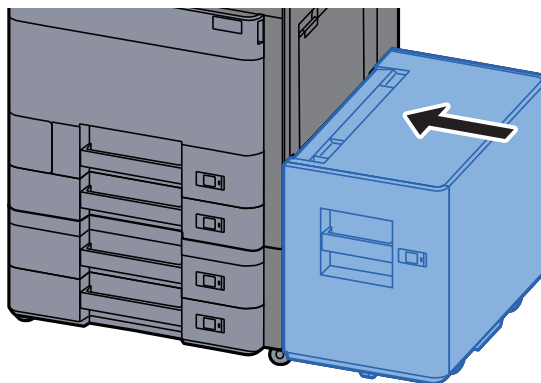
本機内に用紙が残る場合は、カセットを外すこともできます。



6 右カバー2およびカセット3を元の位置に戻す



7 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、元の位置に戻す



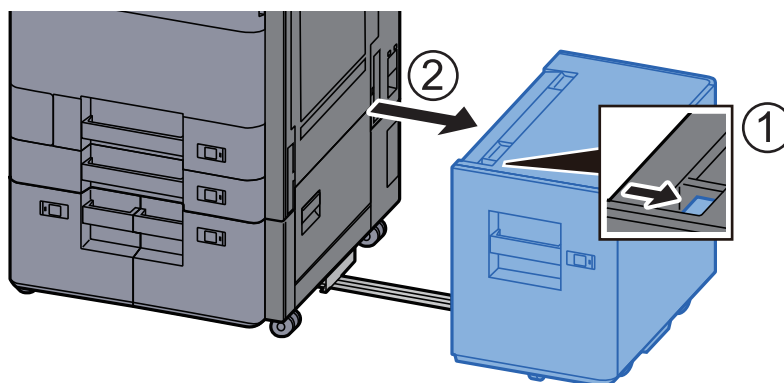
カセット3(1,650枚×2)の紙づまりを除去する



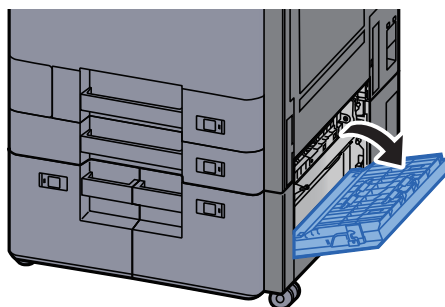
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

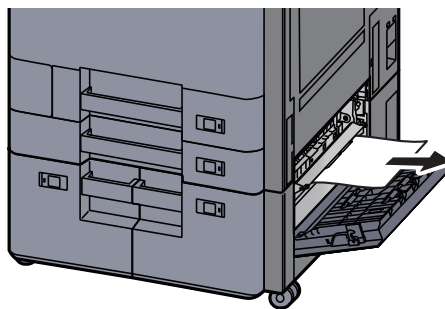
1 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、本体から切り離す



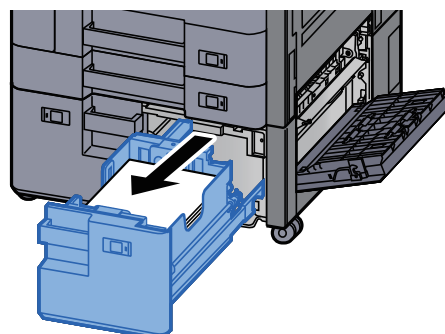
2 右カバー2を開ける



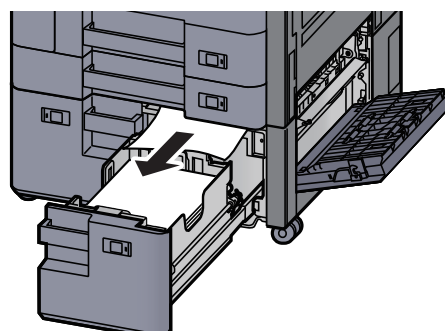
3 つまった用紙を取り出す



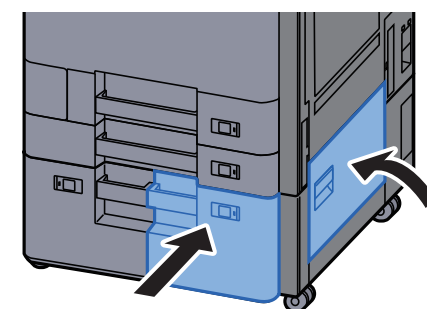
4 カセット3を引き出す



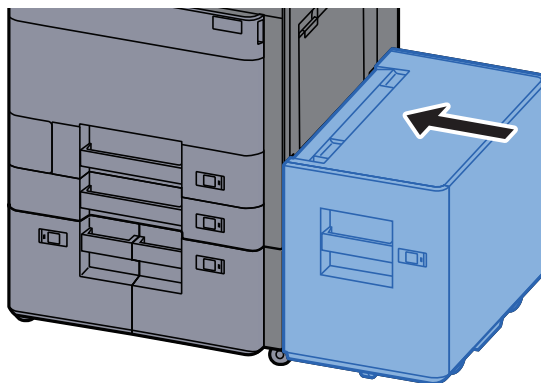
5 つまった用紙を取り出す



6 右カバー2およびカセット3を元の位置に戻す



7 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、元の位置に戻す



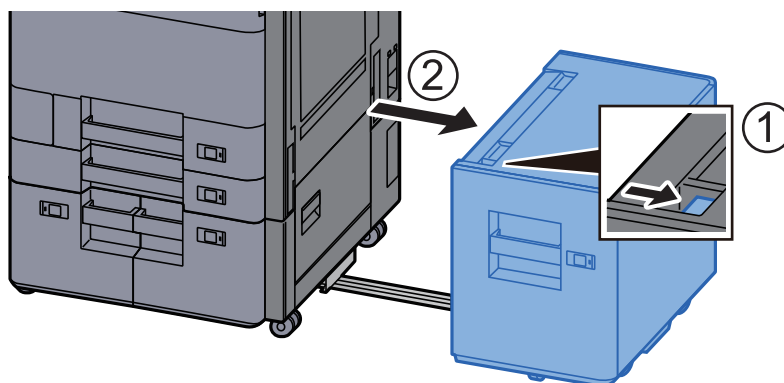
カセット4(1,650枚×2)の紙づまりを除去する



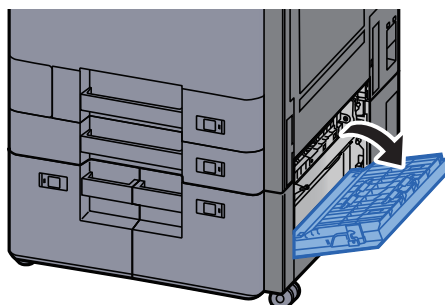
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

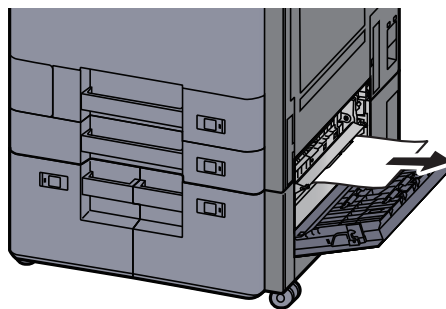
1 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、本体から切り離す



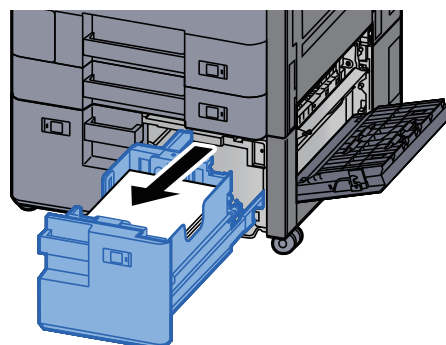
2 右カバー2を開ける



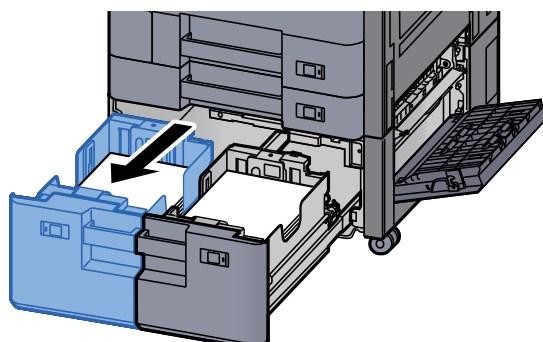
3 つまった用紙を取り出す



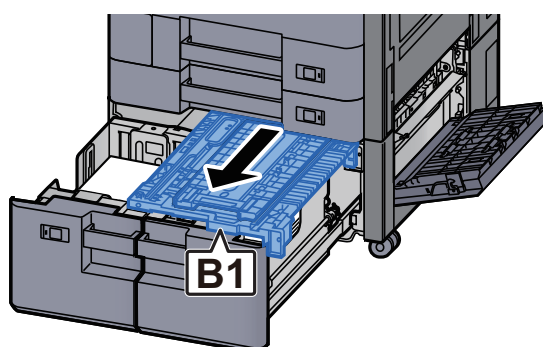
4 カセット3を引き出す



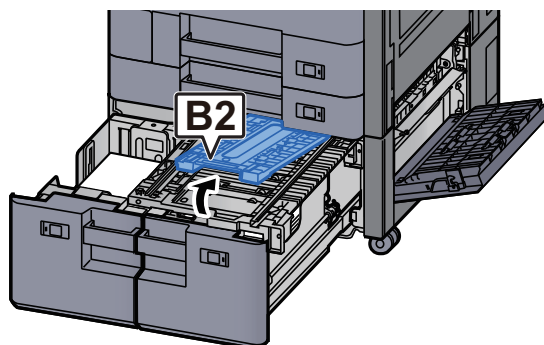
5 カセット4を引き出す



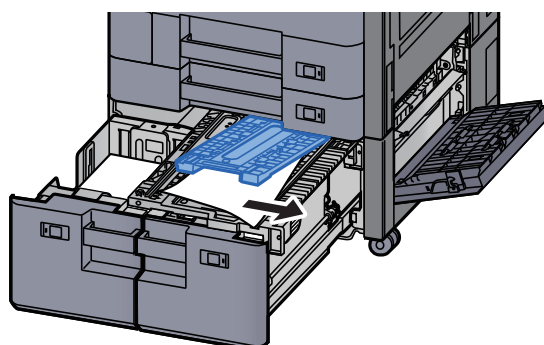
6 給紙ユニットB1を引き出す



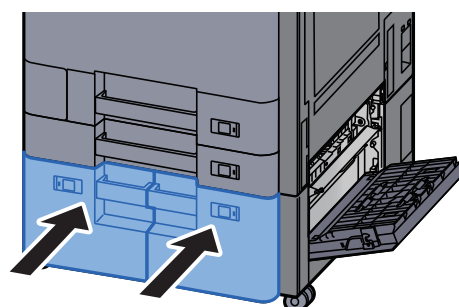
7 カバーB2を開ける



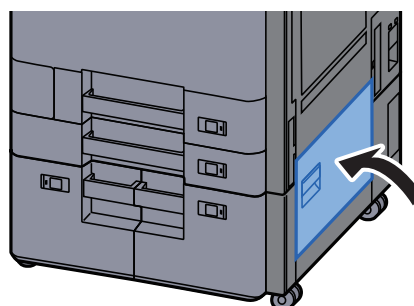
8 つまった用紙を取り出す



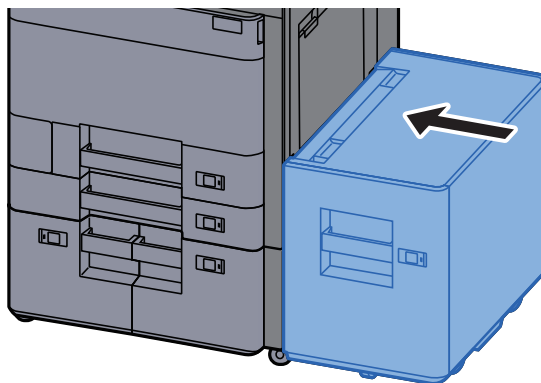
9 給紙ユニットおよびカセット3、4を元の位置に戻す



10 右カバー2を元の位置に戻す



11 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、元の位置に戻す



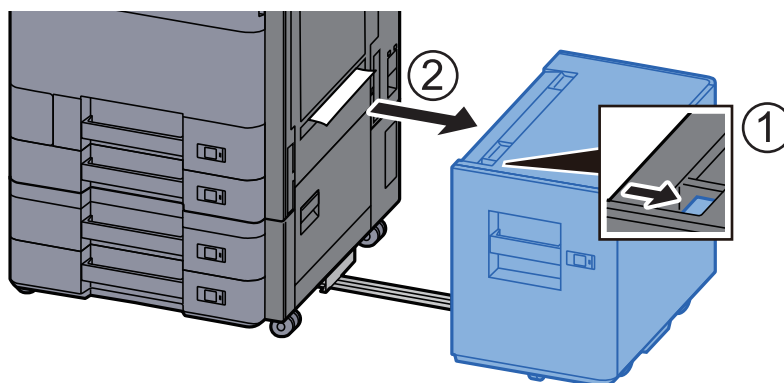
カセット5(サイドフィーダー)の紙づまりを除去する



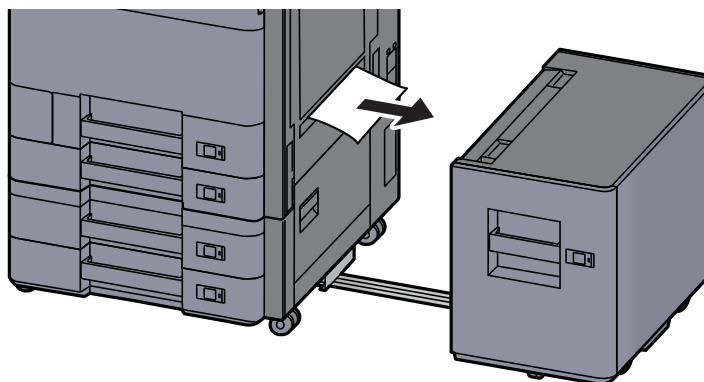
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

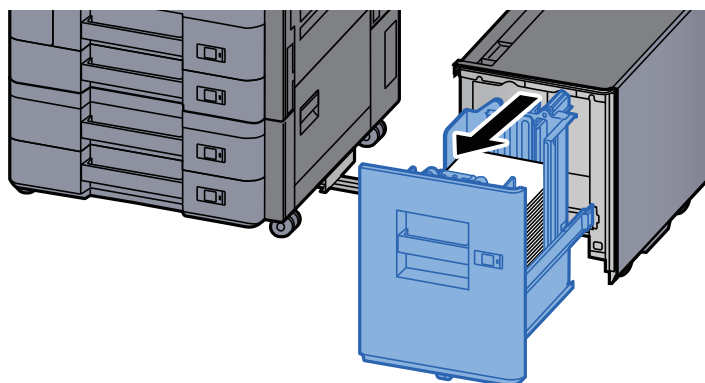
1 サイドフィーダーを本体から切り離す



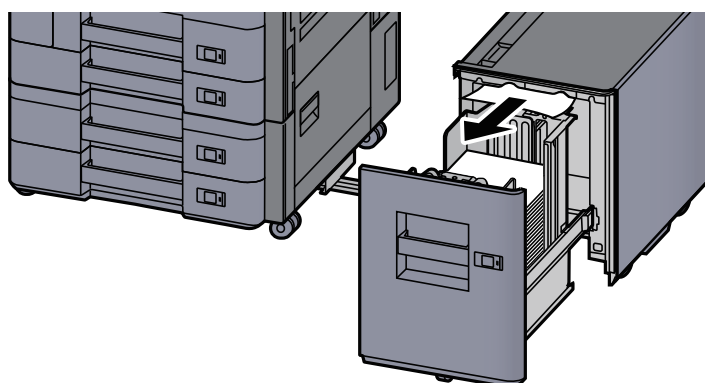
2 つまった用紙を取り出す



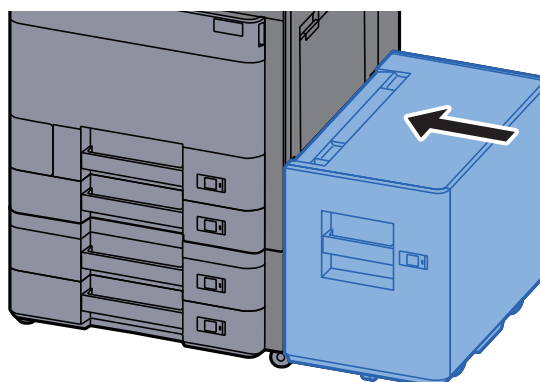
3 カセット5を引き出す



4 つまった用紙を取り出す



5 カセット5とサイドフィーダーを元の位置に戻す

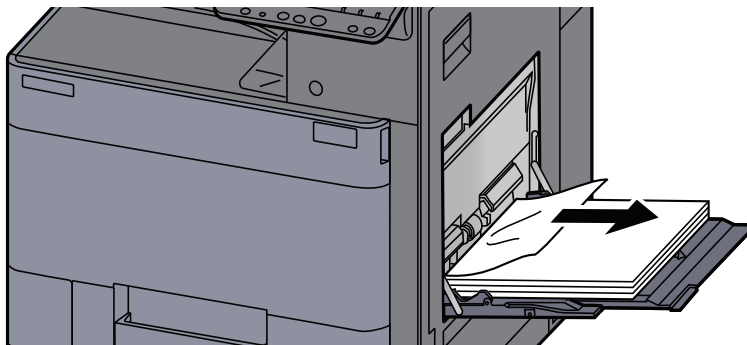


手差しトレイの紙づまりを除去する

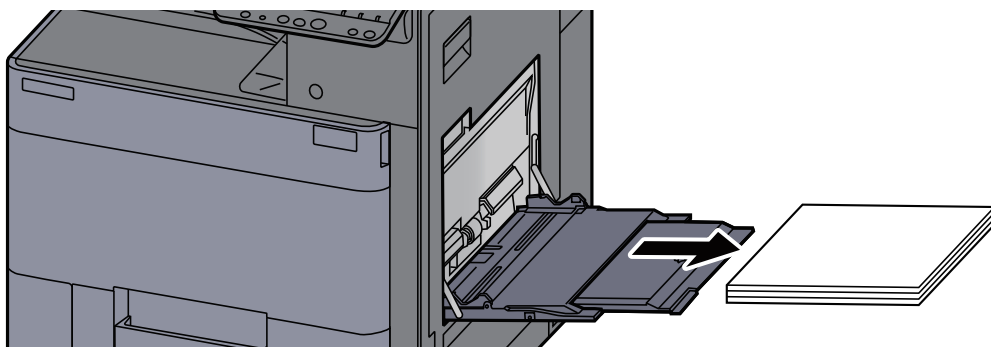
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

1 つまった用紙を取り出す



2 用紙をすべて取り出す



3 用紙をセットし直す



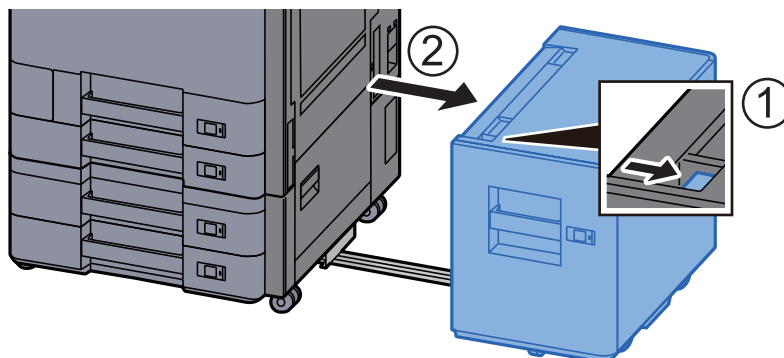
右カバー1の紙づまりを除去する



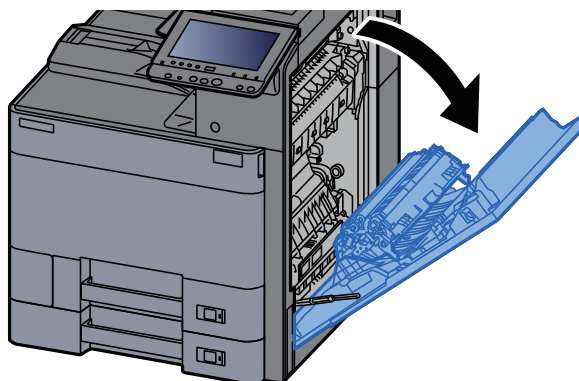
注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

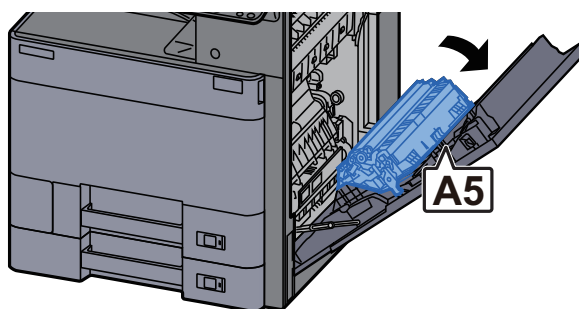
- 1 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、本体から切り離す



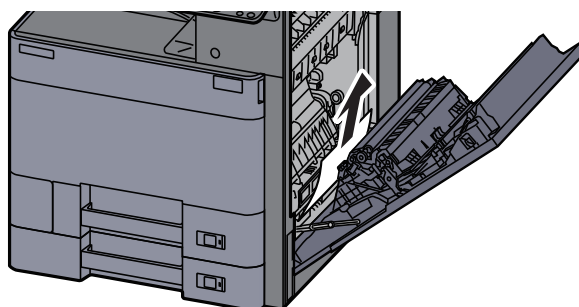
- 2 右カバー1を開ける



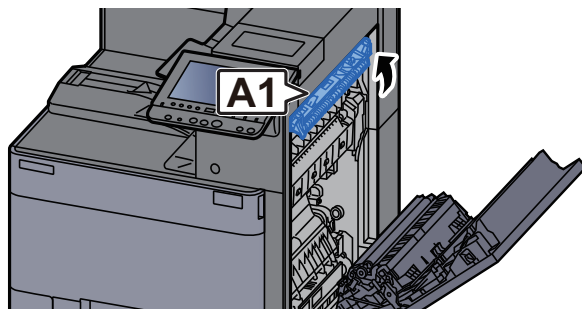
- 3 両面ユニットA5を閉じる



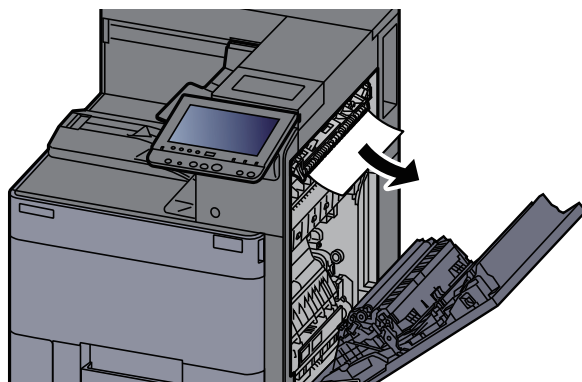
- 4 つまった用紙を取り出す



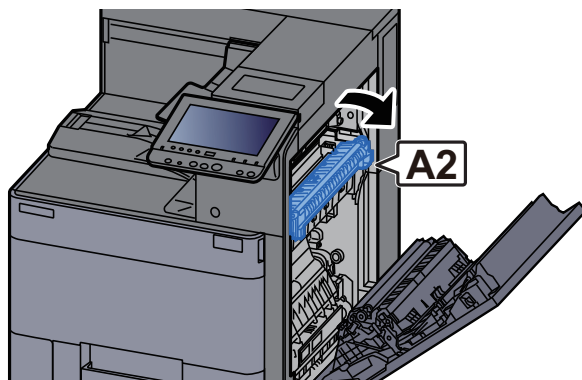
5 搬送カバーA1を開ける



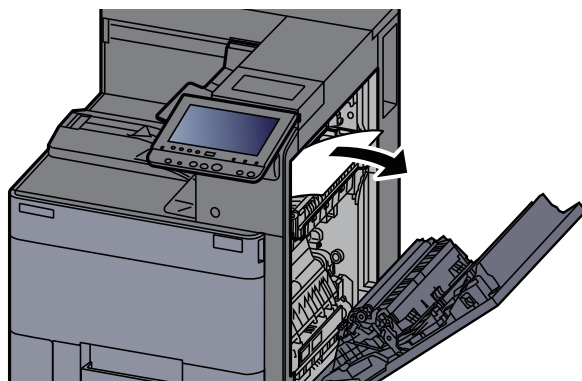
6 つまった用紙を取り出す



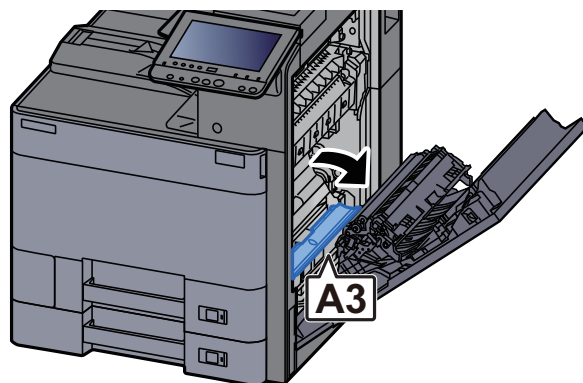
7 定着カバーA2を開ける



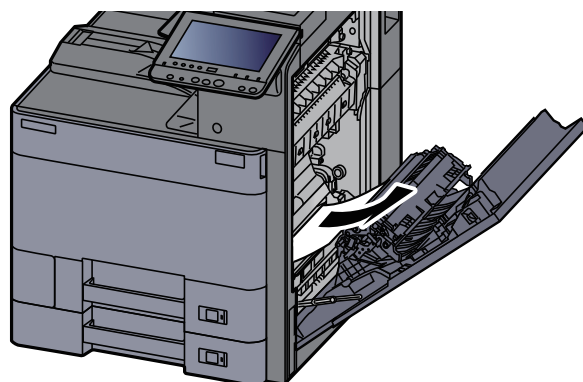
8 つまった用紙を取り出す



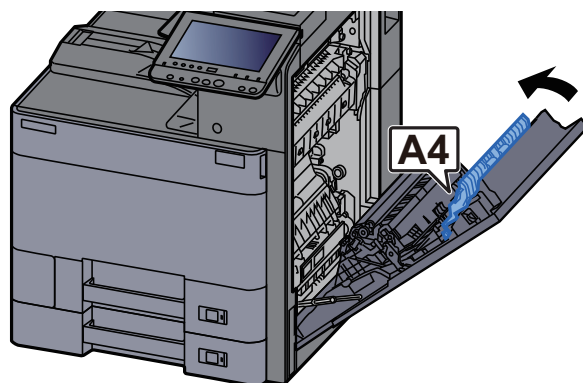
9 カバーA3を開ける



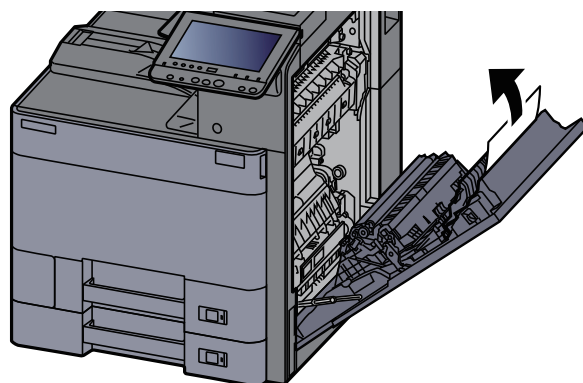
10 つまった用紙を取り出す



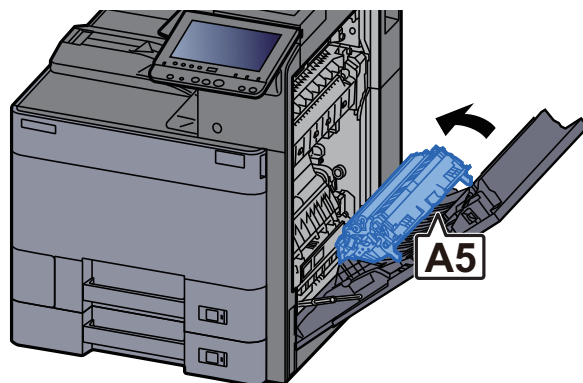
11 カバーA4を持ち上げる



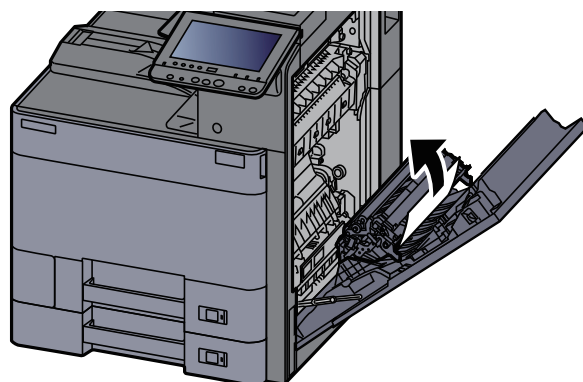
12 つまった用紙を取り出す



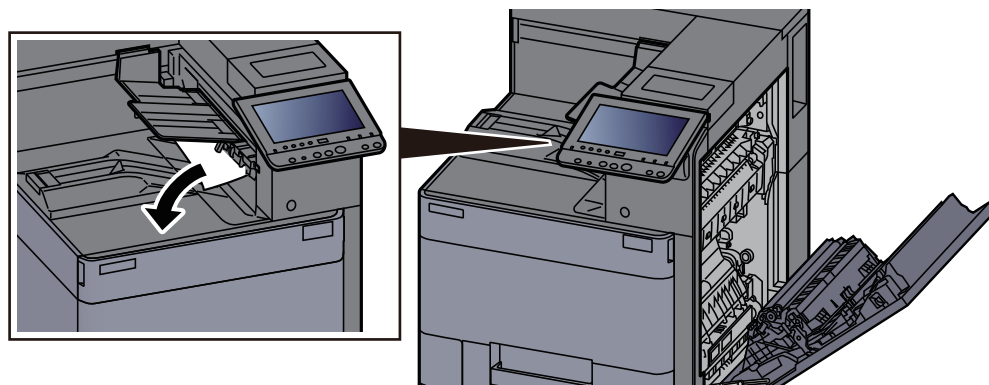
13 両面ユニットA5を持ち上げる



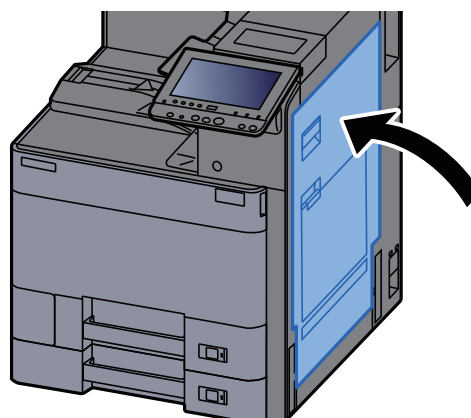
14 つまった用紙を取り出す



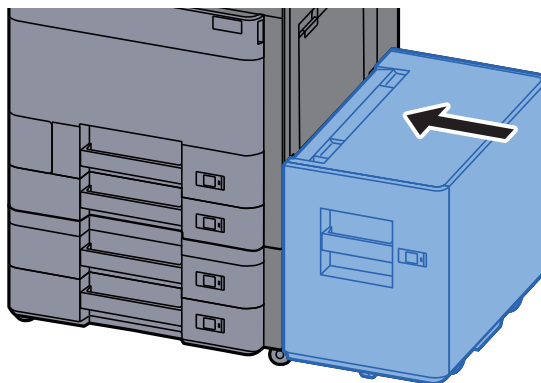
15 排紙口の用紙を取り除く



16 右カバー1を元の位置に戻す



17 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、元の位置に戻す



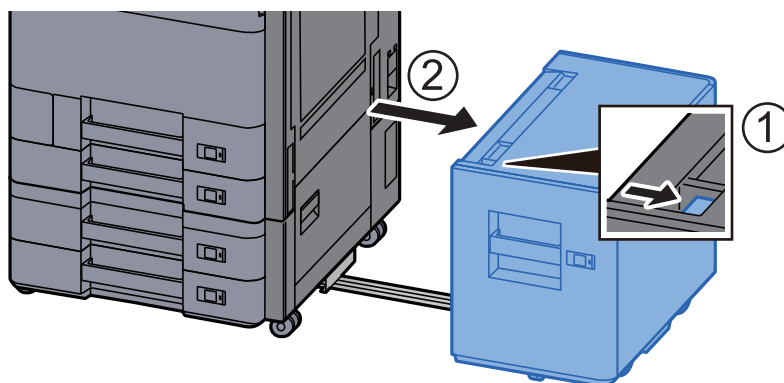
右カバー2(550枚×2)の紙づまりを除去する



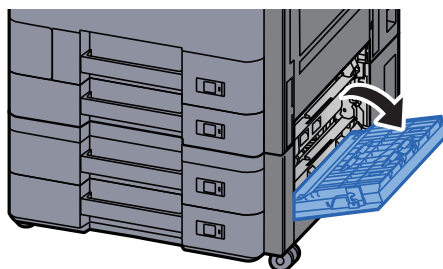
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

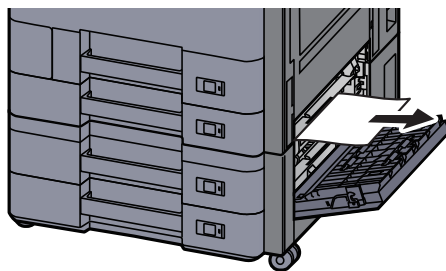
1 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、本体から切り離す



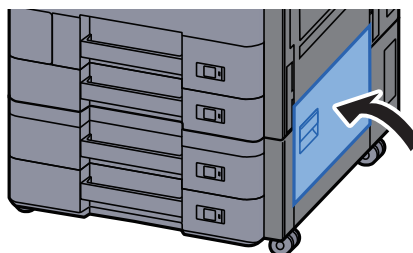
2 右カバー2を開ける



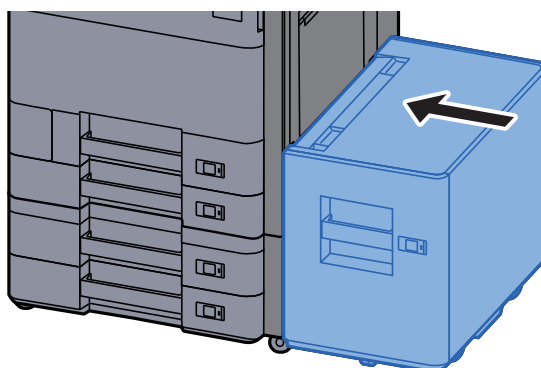
3 つまった用紙を取り出す



4 右カバー2を元の位置に戻す



5 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、元の位置に戻す



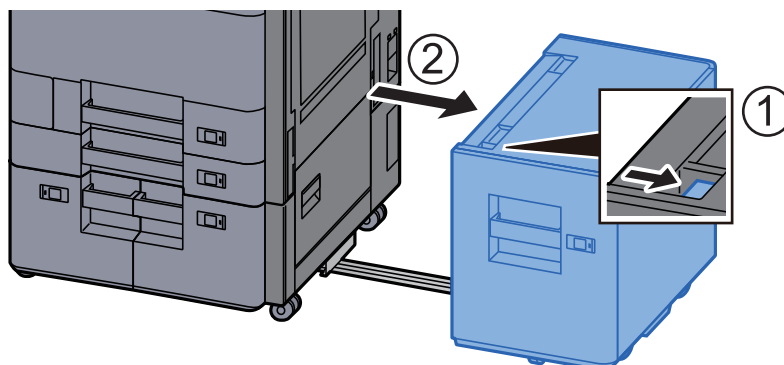
右カバー2(1,650枚×2)の紙づまりを除去する



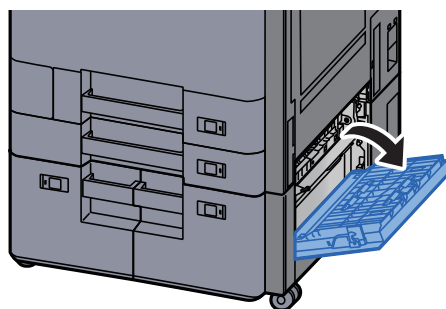
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

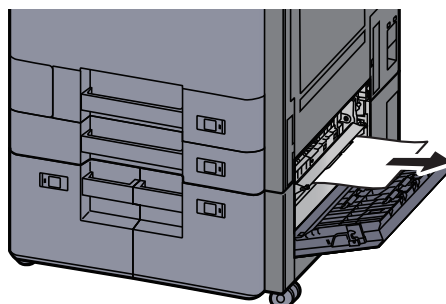
1 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、本体から切り離す



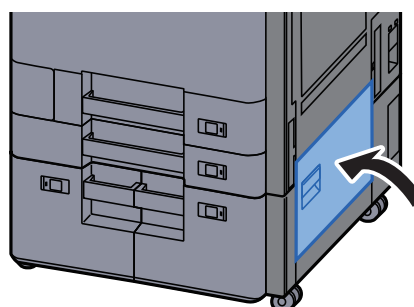
2 右カバー2を開ける



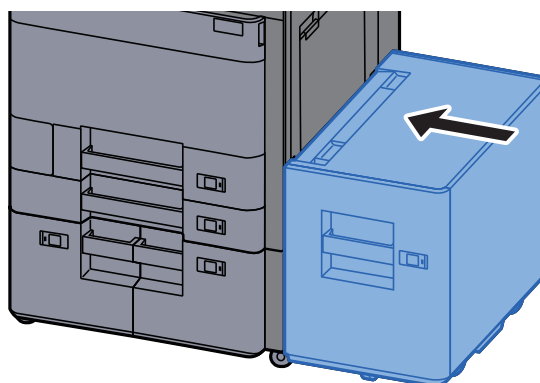
3 つまった用紙を取り出す



4 右カバー2を元の位置に戻す



5 オプションのサイドフィーダーを装着している場合は、元の位置に戻す



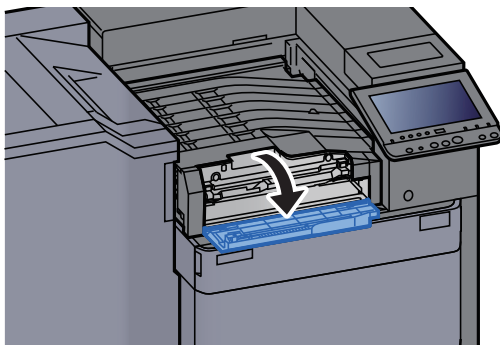
中継搬送ユニットの紙づまりを除去する



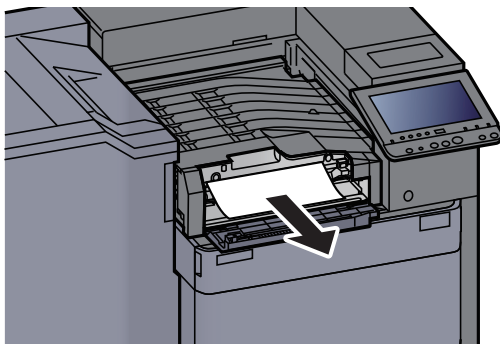
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

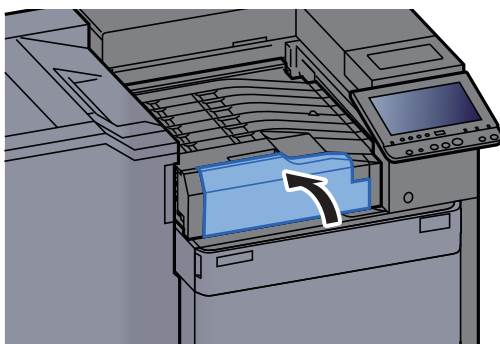
1 中継搬送ユニットカバーを開ける



2 つまった用紙を取り出す



3 中継搬送ユニットカバーを元の位置に戻す

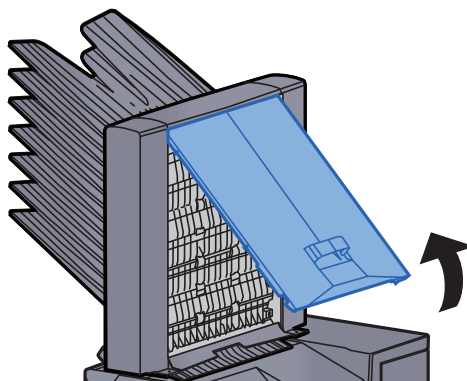


メールボックスの紙づまりを除去する

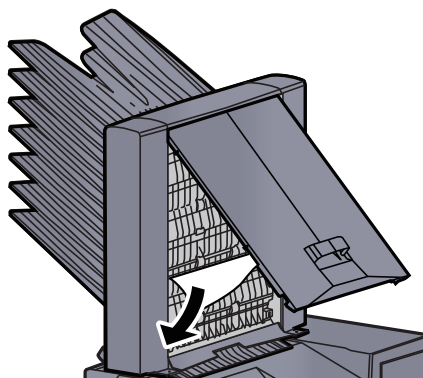
⚠ 注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

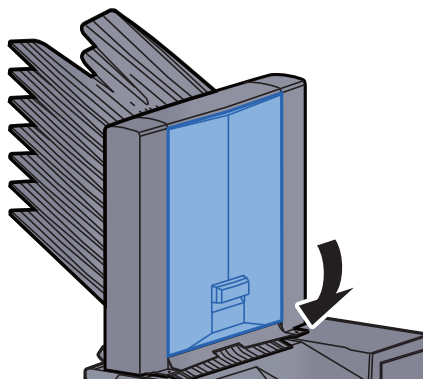
1 メールボックスカバーを開ける



2 つまった用紙を取り出す



3 メールボックスカバーを元の位置に戻す



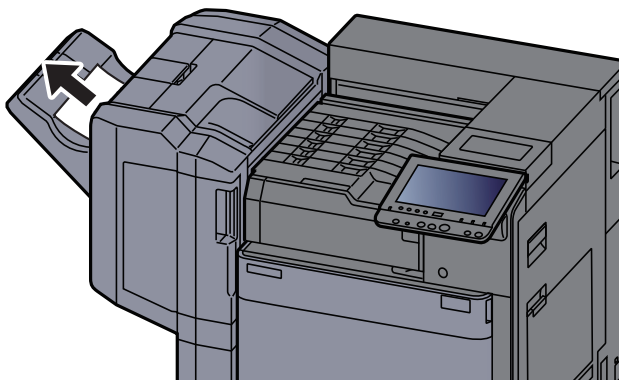
1,000枚フィニッシャーの紙づまりを除去する



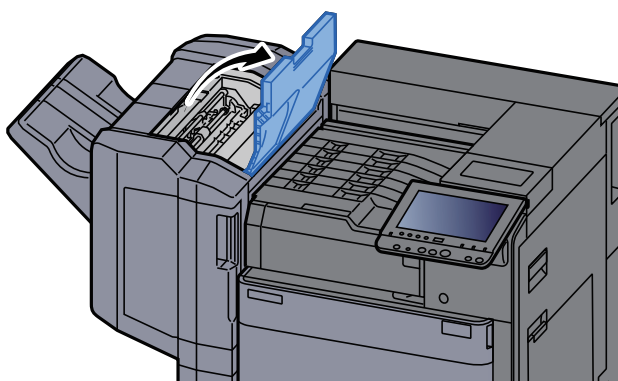
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

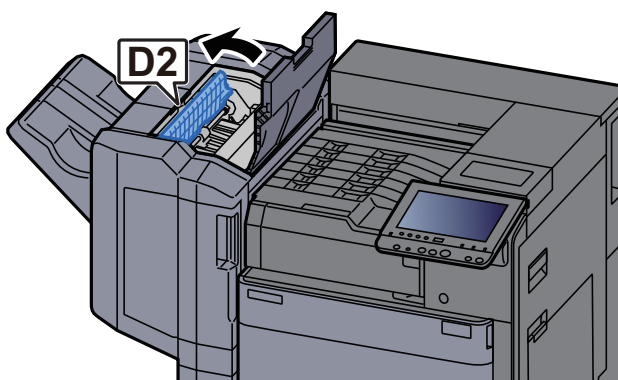
1 つまった用紙を取り出す



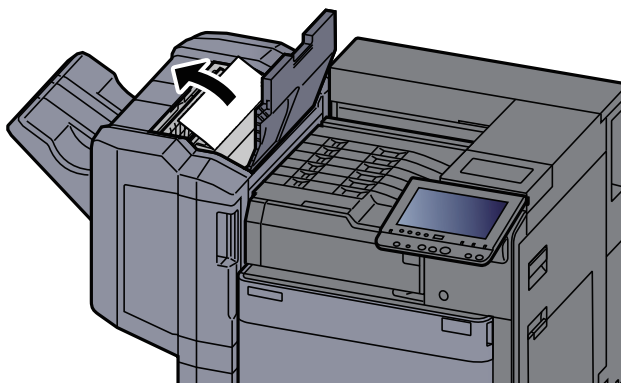
2 上カバーを開ける



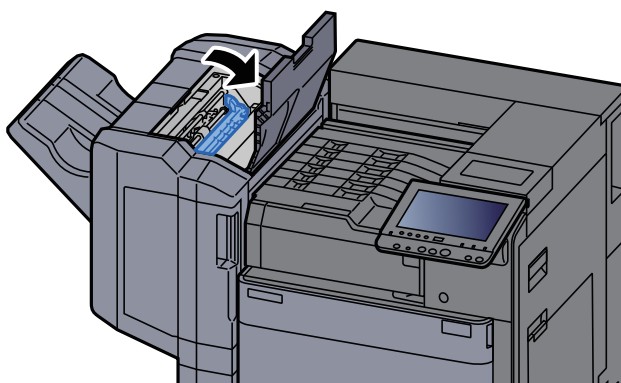
3 搬送ガイドD2を開ける



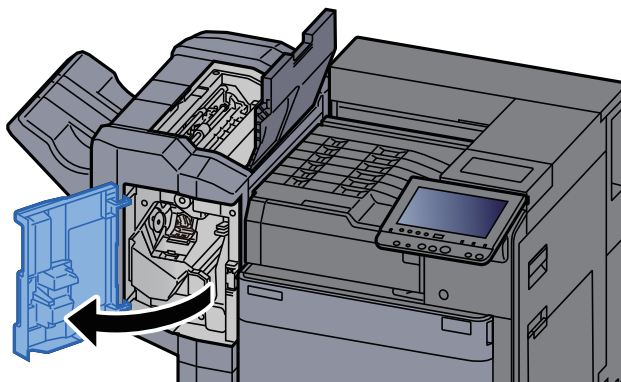
4 つまった用紙を取り出す



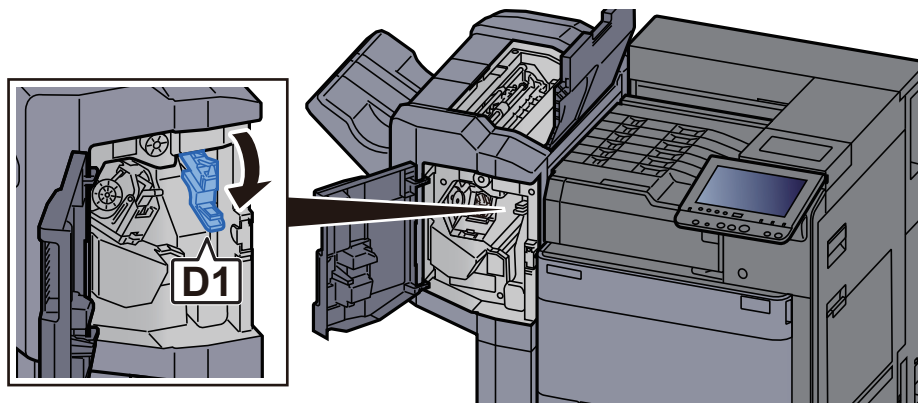
5 搬送ガイドD2を元の位置に戻す



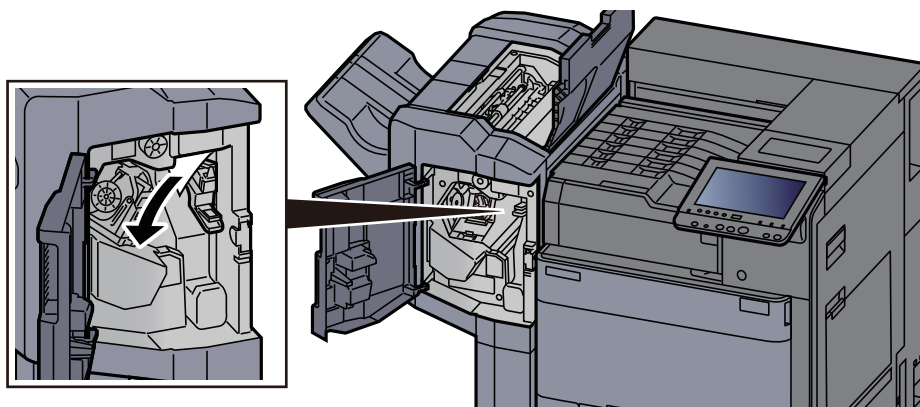
6 1,000枚フィニッシャーの前カバーを開ける



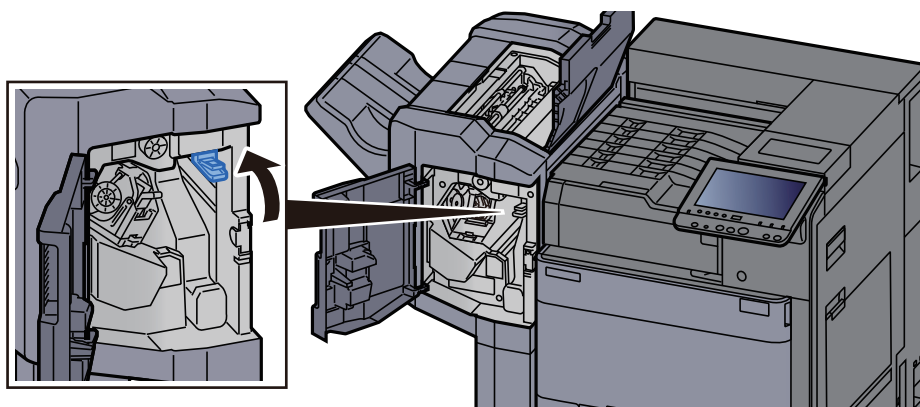
7 搬送ガイドD1を開ける



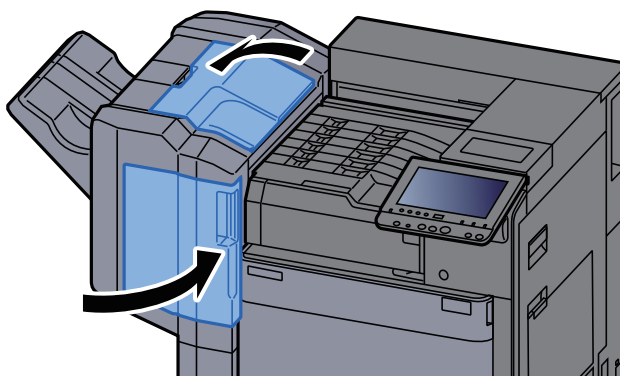
8 つまった用紙を取り出す



9 搬送ガイドD1を元の位置に戻す



10 上カバーおよび前カバーを元の位置に戻す



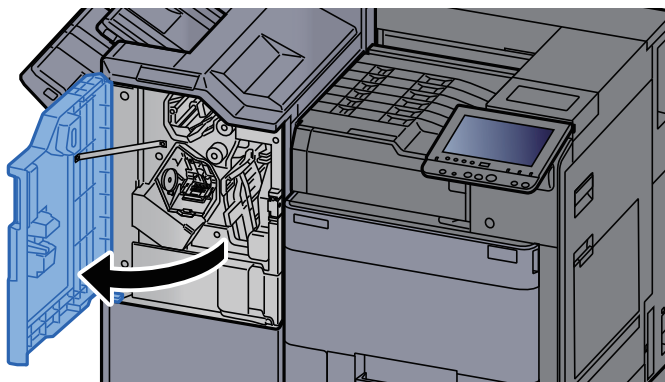
4,000枚フィニッシャー(内部)の紙づまりを除去する



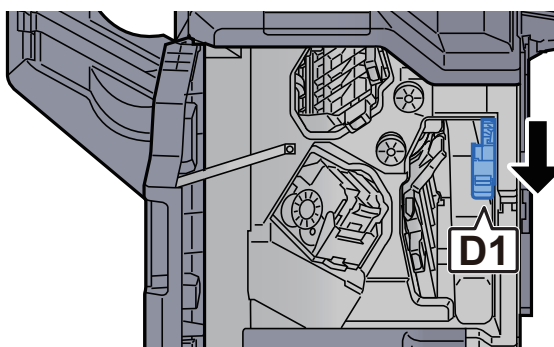
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

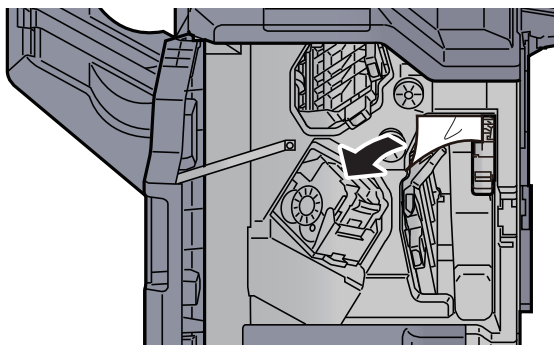
1 4,000枚フィニッシャーの前カバー1を開ける



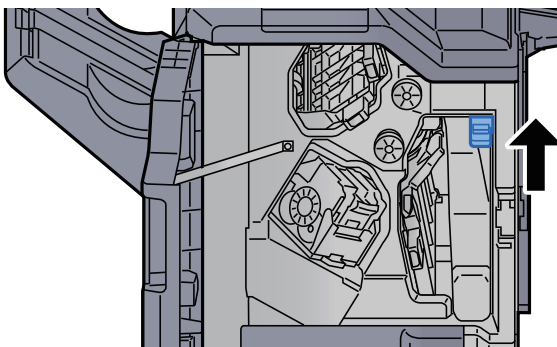
2 搬送ガイドD1を開ける



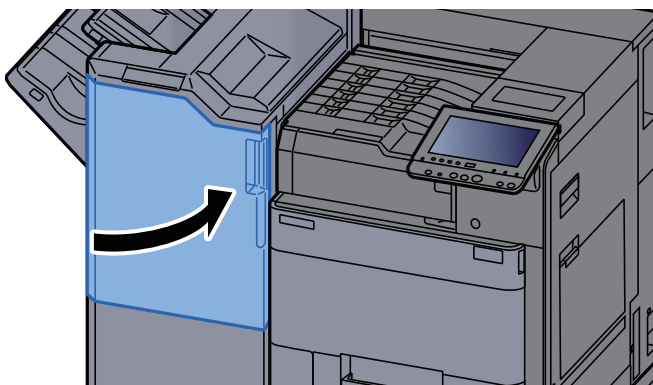
3 つまった用紙を取り出す



4 搬送ガイドD1を元の位置に戻す



5 前カバーを元の位置に戻す



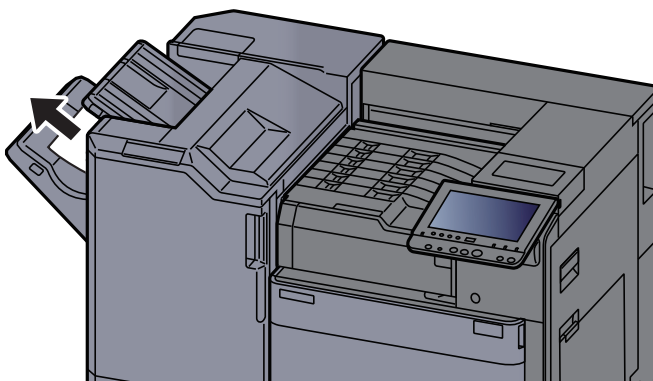
4,000枚フィニッシャー(トレイA)の紙づまりを除去する



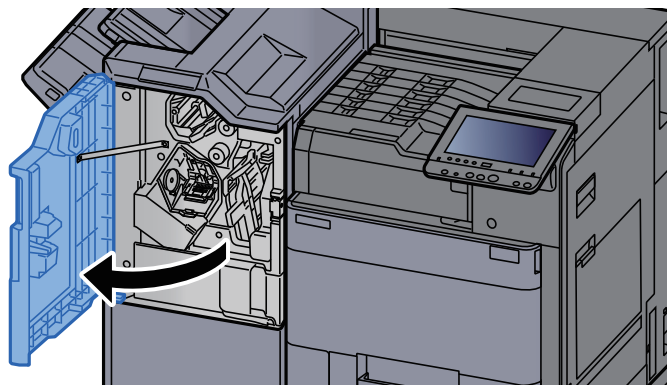
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

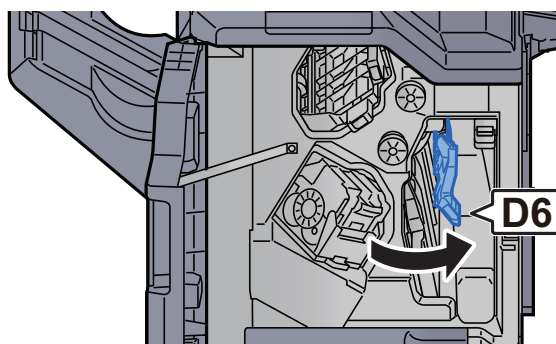
1 つまった用紙を取り出す



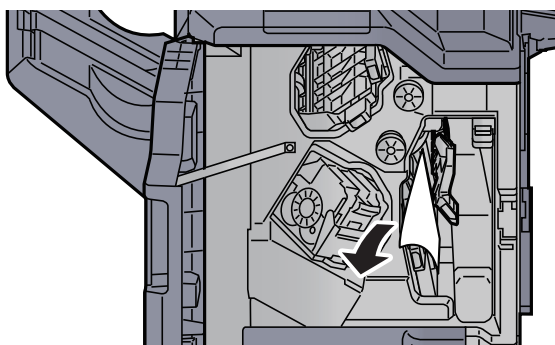
2 4,000枚フィニッシャーの前カバー1を開ける



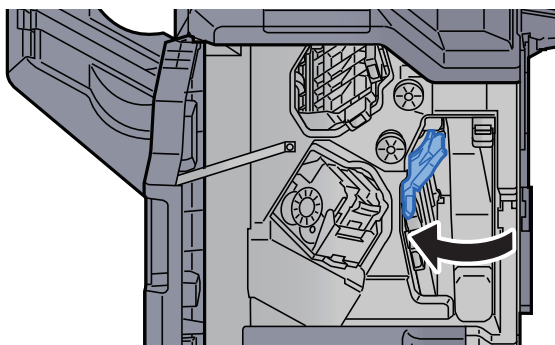
3 搬送ガイドD6を開ける



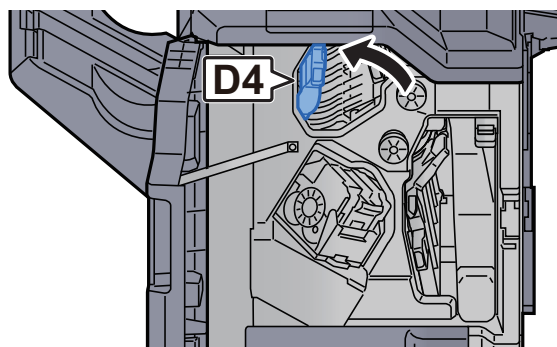
4 つまった用紙を取り出す



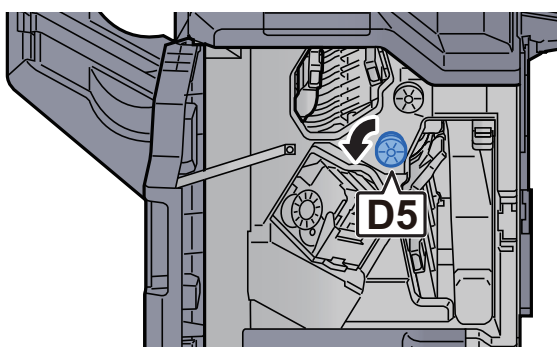
5 搬送ガイドD6を元の位置に戻す



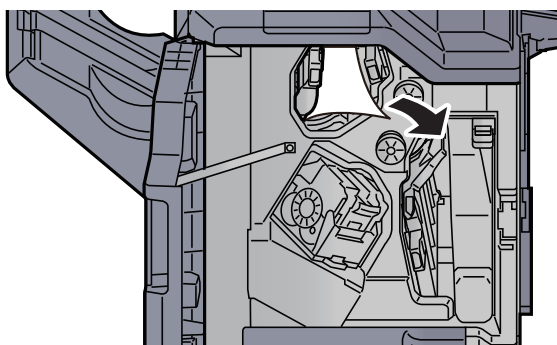
6 搬送ガイドD4を開ける



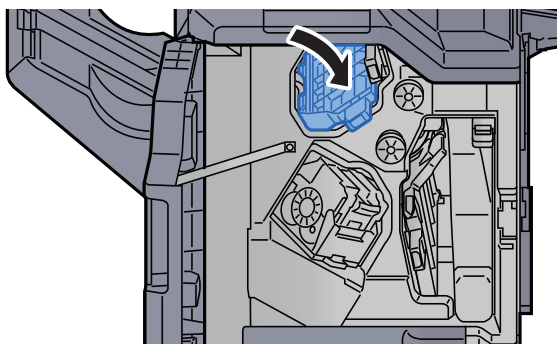
7 つまみD5を回す



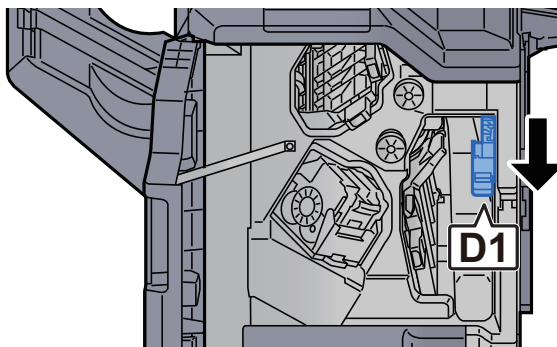
8 つまった用紙を取り出す



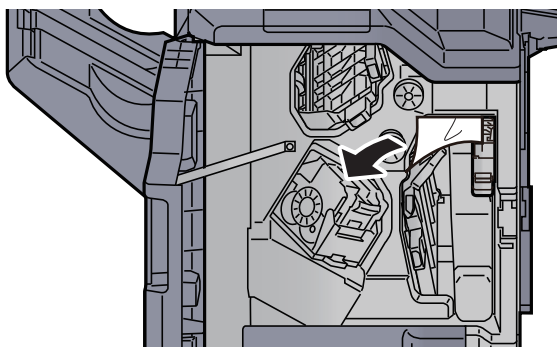
9 搬送ガイドD4を元の位置に戻す



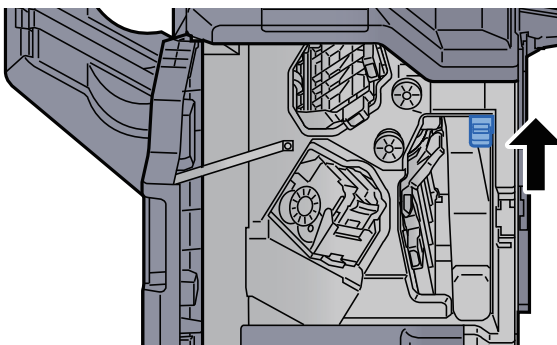
10 搬送ガイドD1を開ける



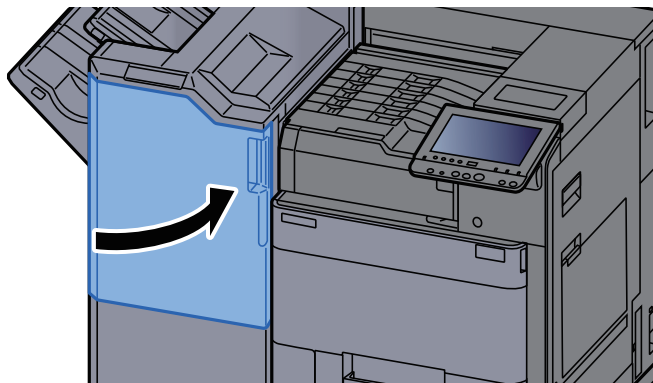
11 つまった用紙を取り出す



12 搬送ガイドD1を元の位置に戻す



13 前カバーを元の位置に戻す



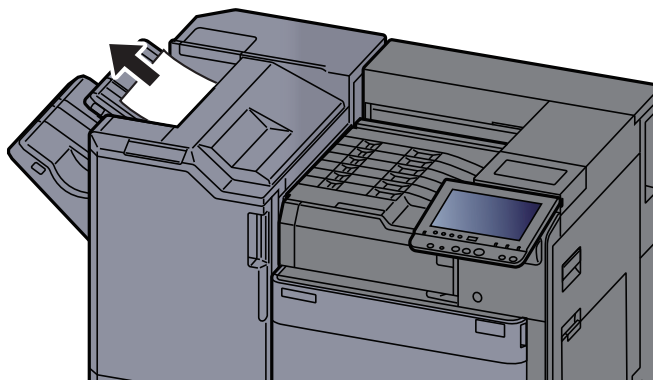
4,000枚フィニッシャー(トレイB)の紙づまりを除去する



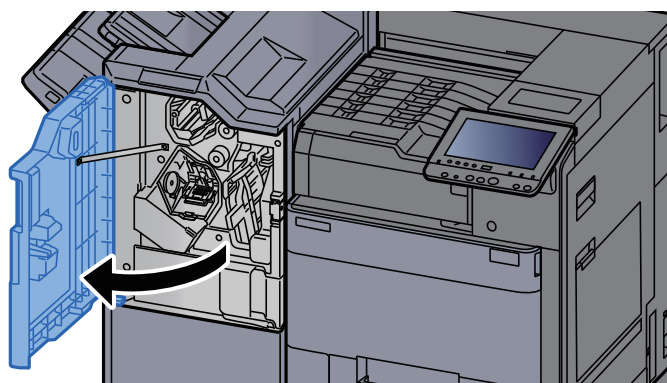
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

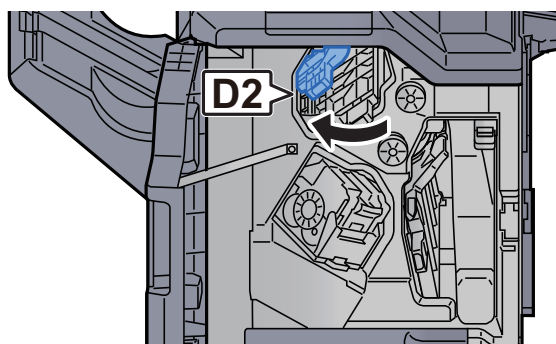
1 つまった用紙を取り出す



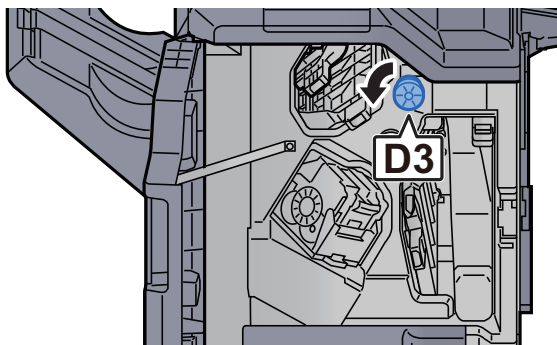
2 4,000枚フィニッシャーの前カバーを開ける



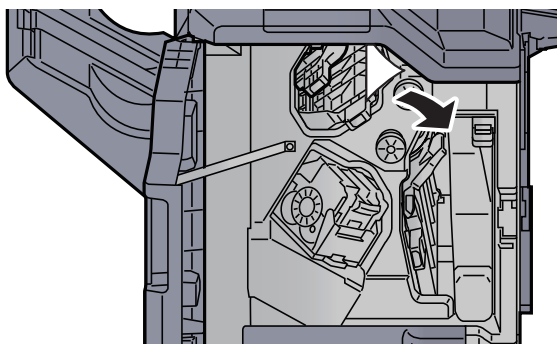
3 搬送ガイドD2を開ける



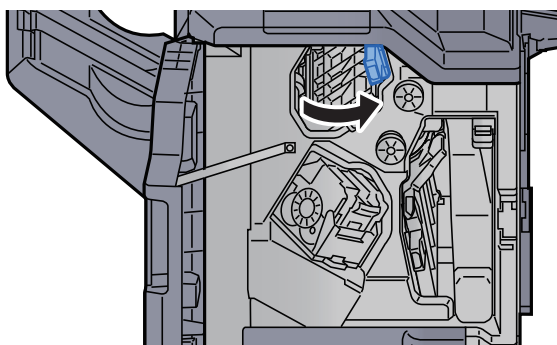
4 つまみD3を回す



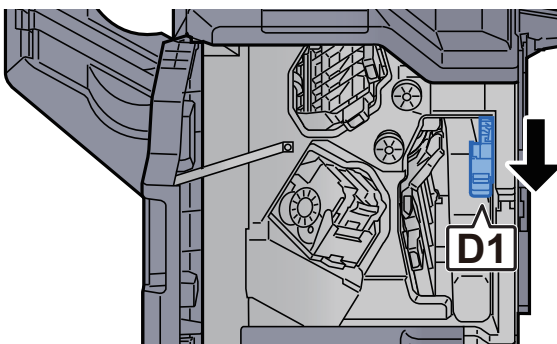
5 つまめた用紙を取り出す



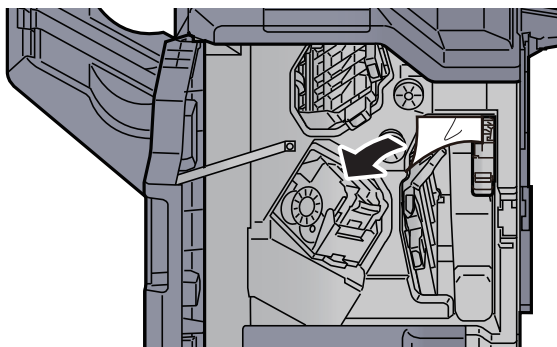
6 搬送ガイドD2を元の位置に戻す



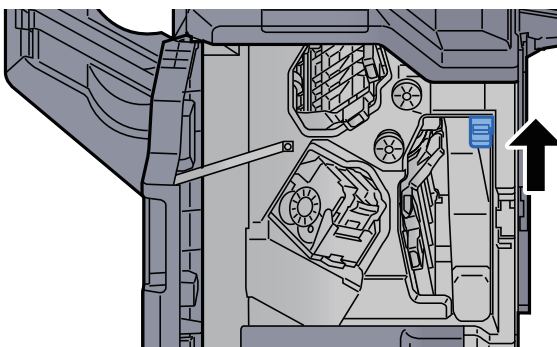
7 搬送ガイドD1を開ける



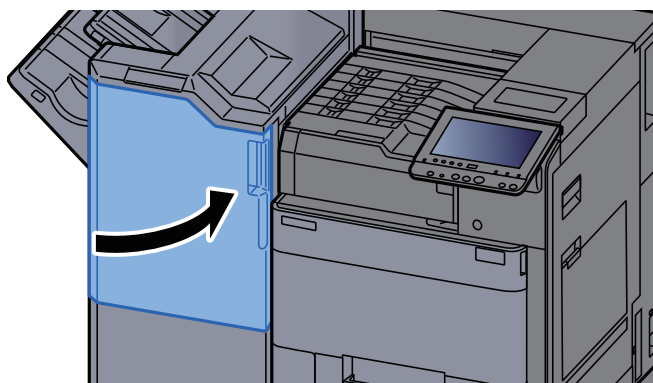
8 つまった用紙を取り出す



9 搬送ガイドD1を元の位置に戻す



10 前カバーを元の位置に戻す



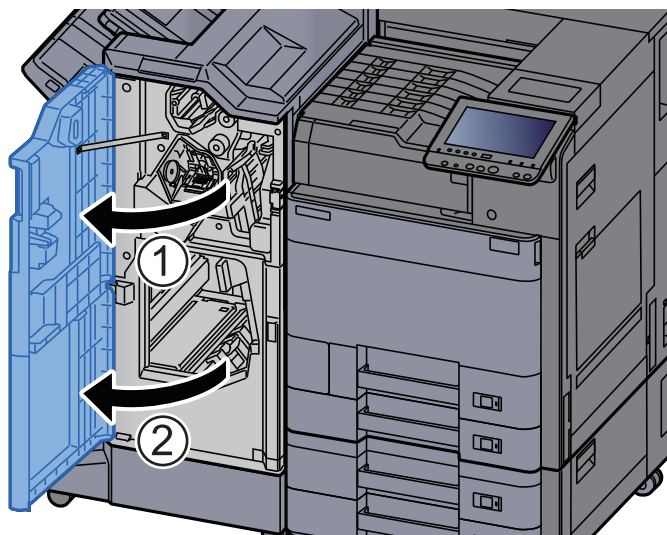
中折りユニットの紙づまりを除去する



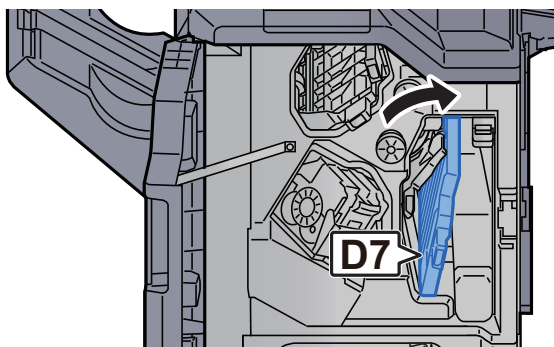
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

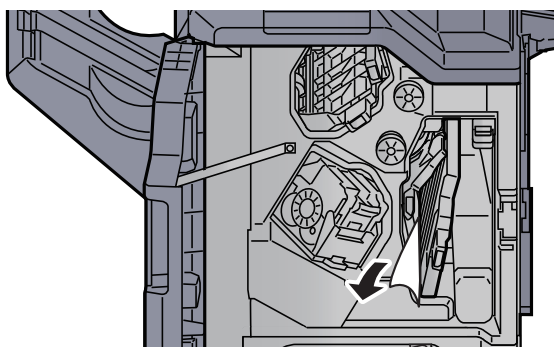
1 4,000枚フィニッシャーの前カバー1および前カバー2を開ける



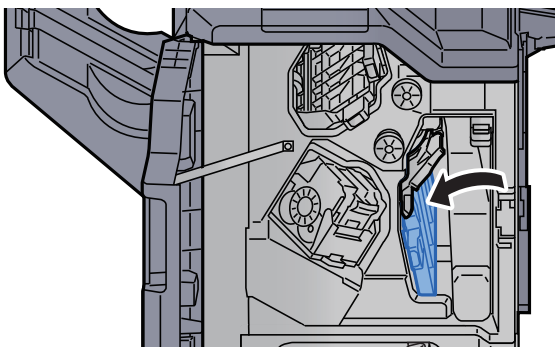
2 搬送ガイドD7を開ける



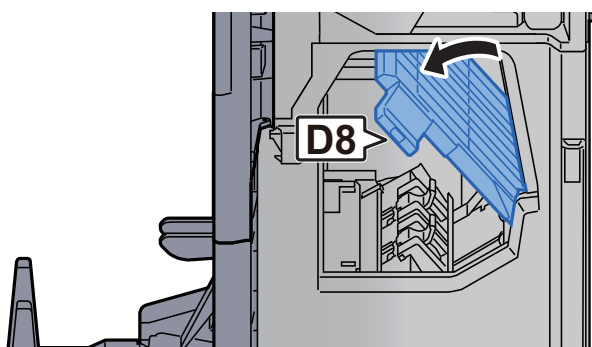
3 つまった用紙を取り出す



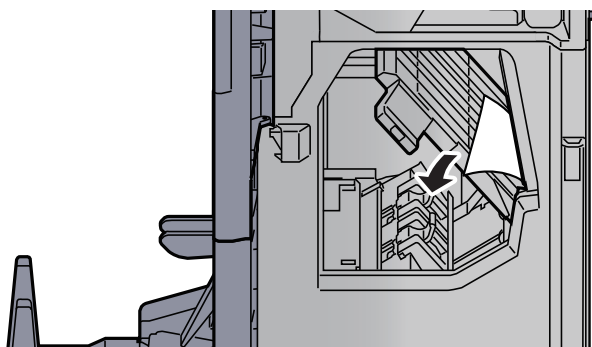
4 搬送ガイドD7を元の位置に戻す



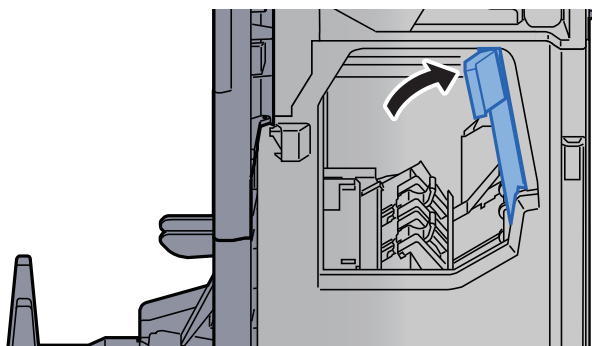
5 搬送ガイドD8を開ける



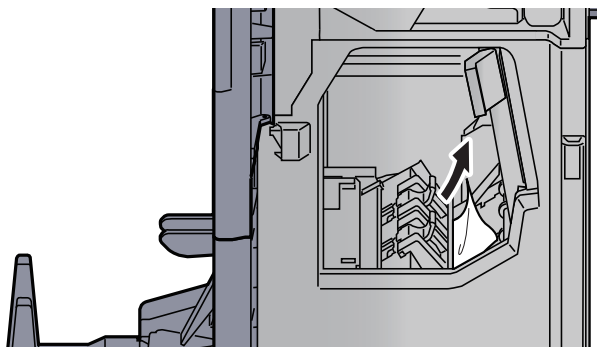
6 つまった用紙を取り出す



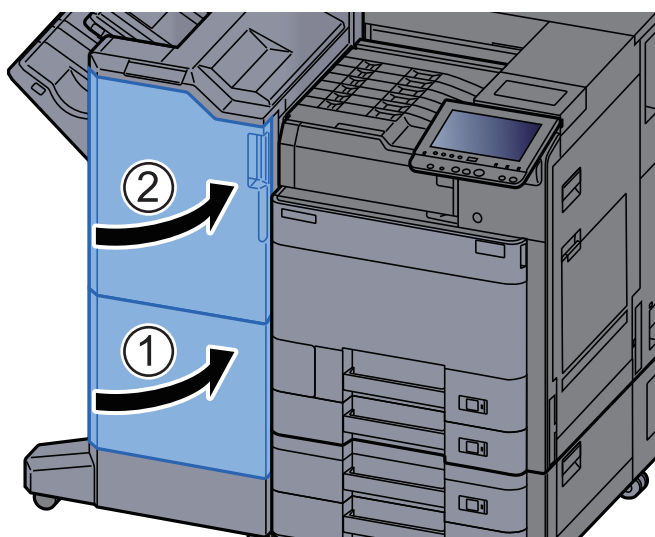
7 搬送ガイドD8を元の位置に戻す



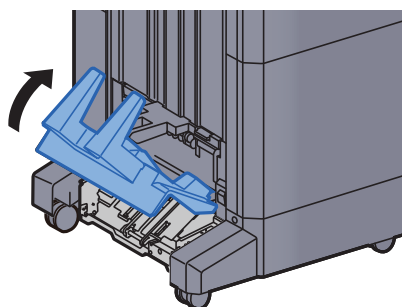
8 フィニッシャー内部の用紙を取り出す



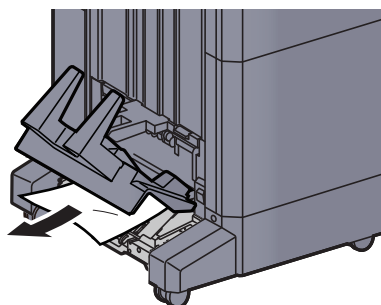
9 前カバー1および前カバー2を元の位置に戻す



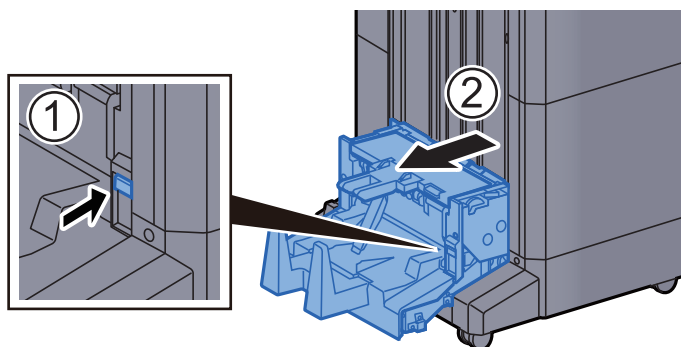
10 中折りトレイを持ち上げる



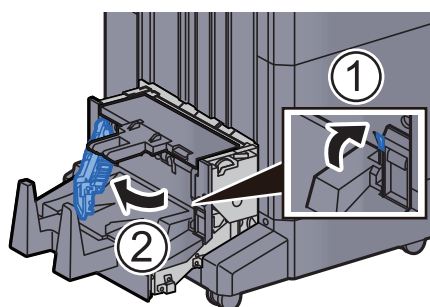
11 つまった用紙を取り出す



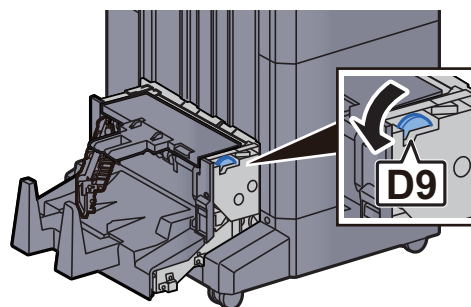
12 解除レバーを押して、中折りユニットを引き出す



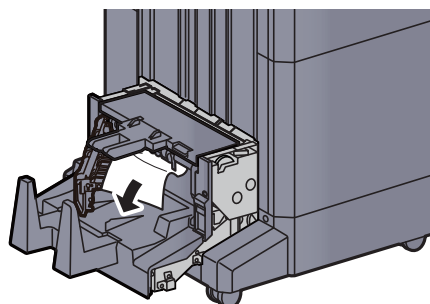
13 中折りユニット左カバーを開ける



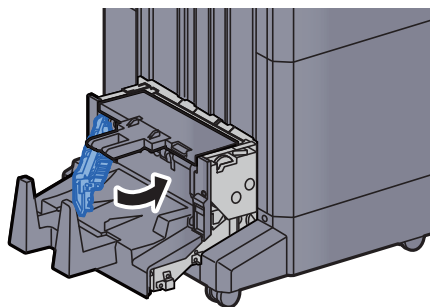
14 ダイヤルD9を回す



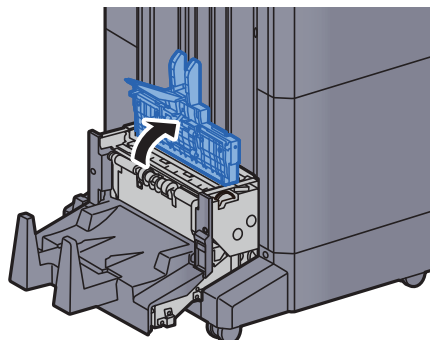
15 つまった用紙を取り出す



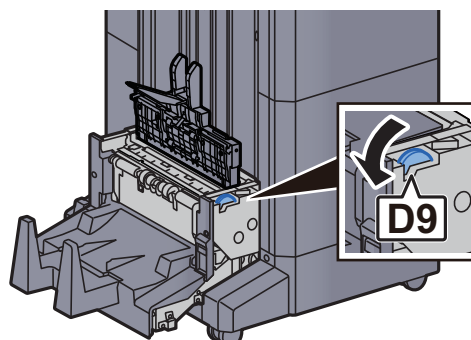
16 中折りユニット左カバーを元の位置に戻す



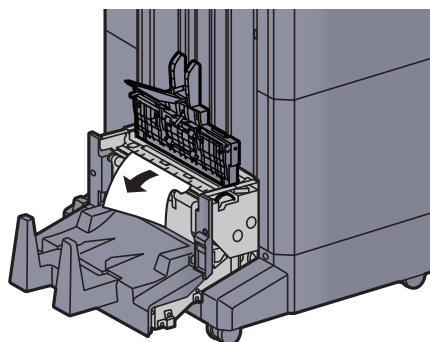
17 中折りユニット上カバーを開ける



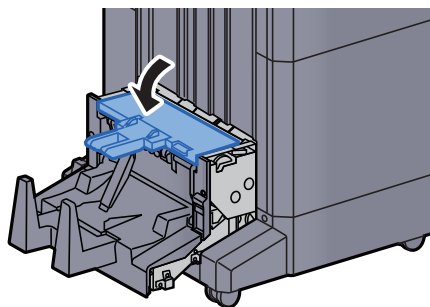
18 ダイヤルD9を回す



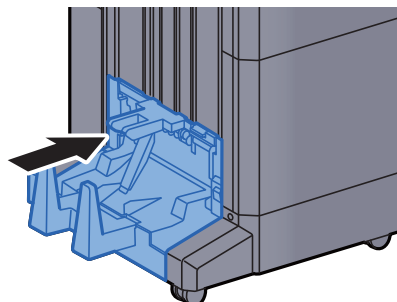
19 つまった用紙を取り出す



20 中折りユニット上カバーを元の位置に戻す



21 中折りユニットを元の位置に戻す



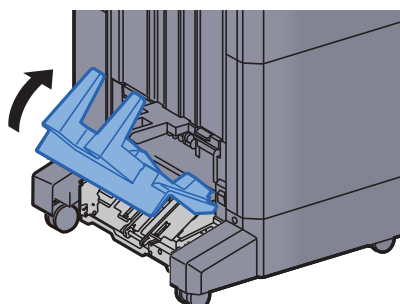
中折りトレイの紙づまりを除去する



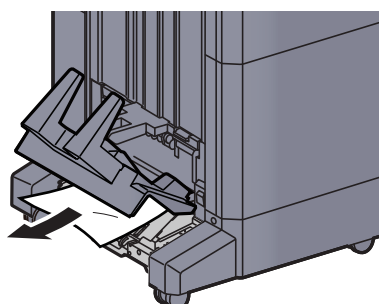
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

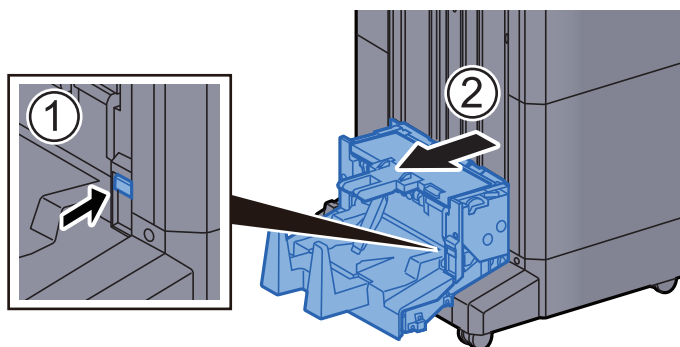
1 中折りトレイを持ち上げる



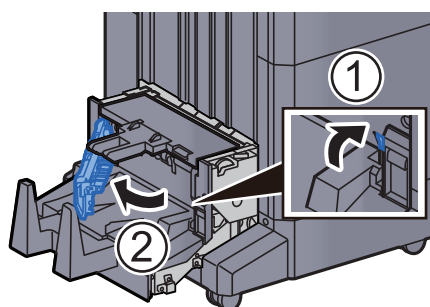
2 つまった用紙を取り出す



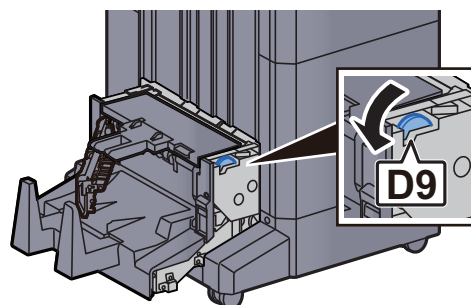
3 解除レバーを押して、中折りユニットを引き出す



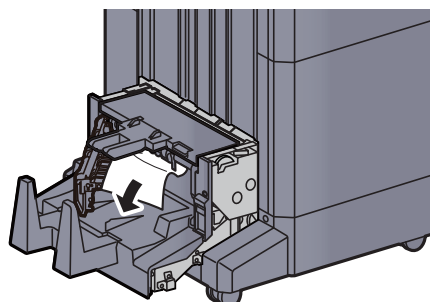
4 中折りユニット左カバーを開ける



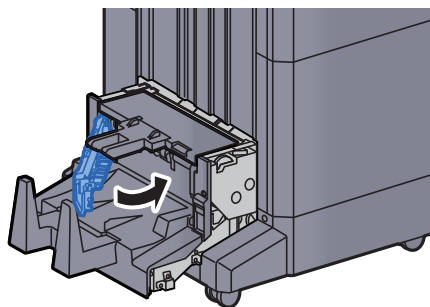
5 ダイヤルD9を回す



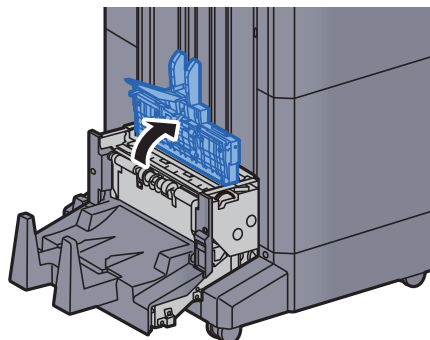
6 つまった用紙を取り出す



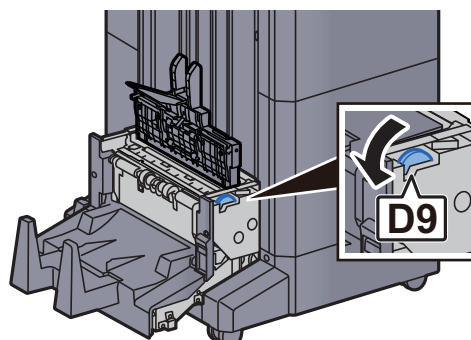
7 中折りユニット左カバーを元の位置に戻す



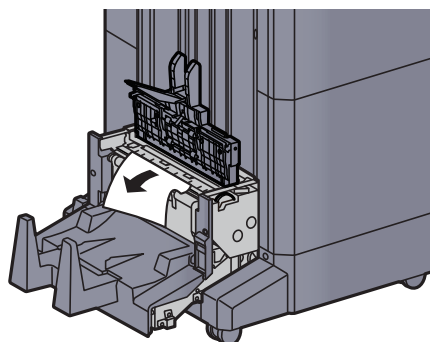
8 中折りユニット上カバーを開ける



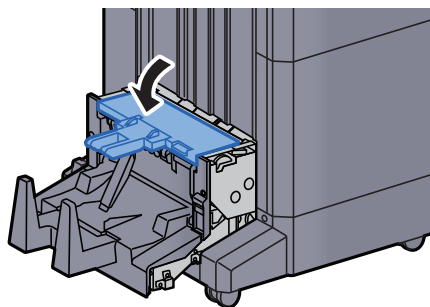
9 ダイヤルD9を回す



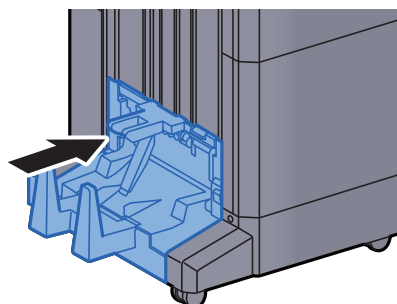
10 つまった用紙を取り出す



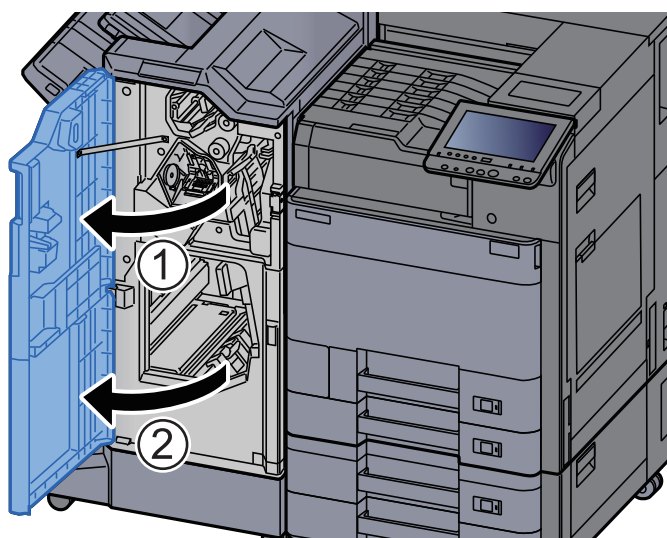
11 中折りユニット上カバーを元の位置に戻す



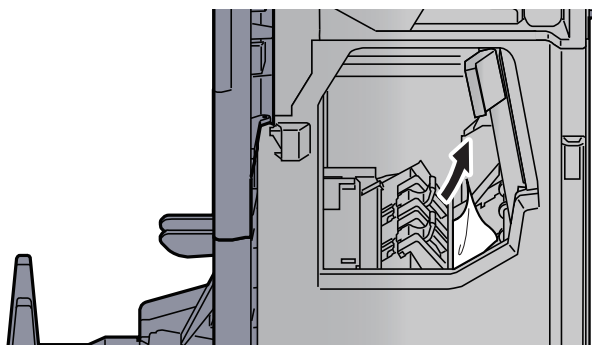
12 中折りユニットを元の位置に戻す



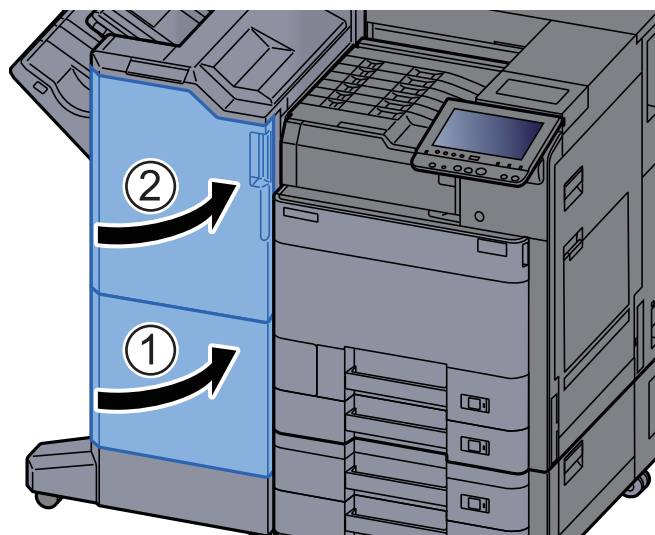
13 4,000枚フィニッシャーの前カバー1および前カバー2を開ける



14 フィニッシャー内部の用紙を取り出す



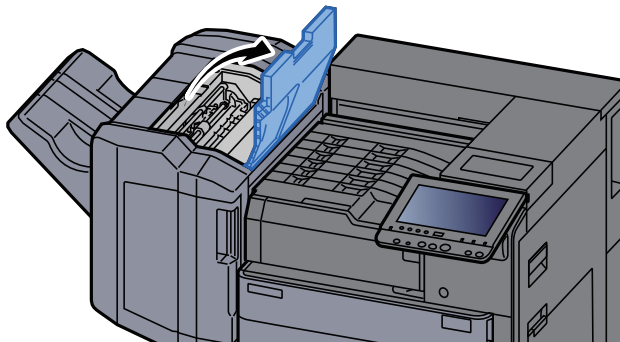
15 前カバー1および前カバー2を元の位置に戻す



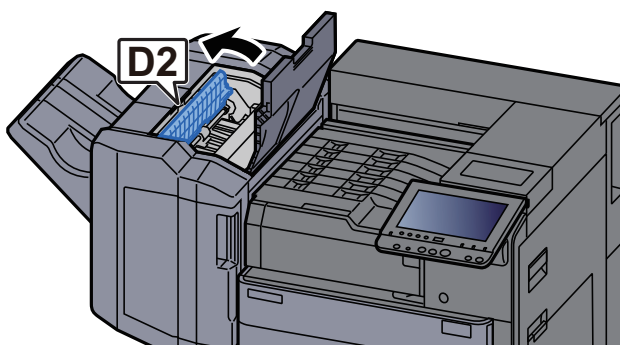
針づまりの解除

1,000枚フィニッシャーの針づまりを解除する

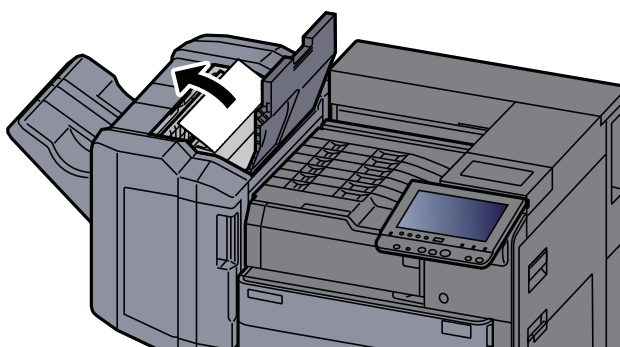
- 1 1,000枚フィニッシャーの上カバーを開ける



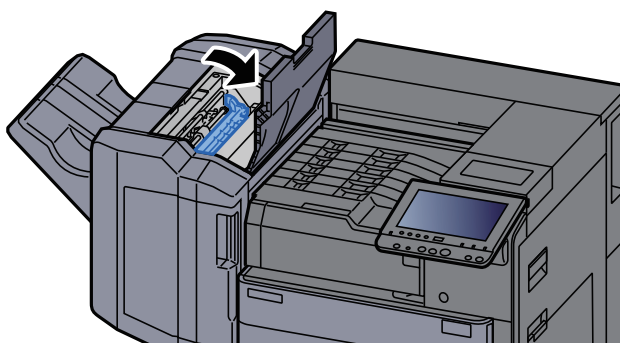
- 2 搬送ガイドD2を開ける



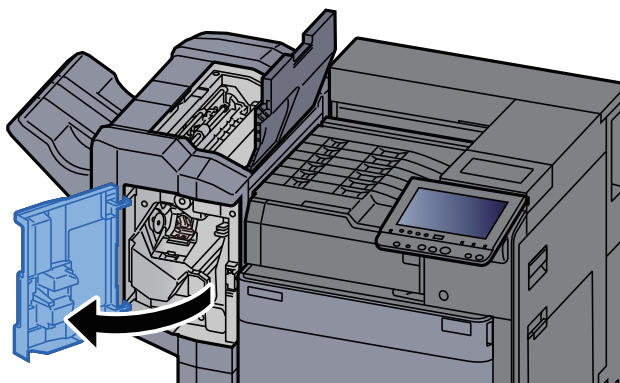
- 3 つまった用紙を取り出す



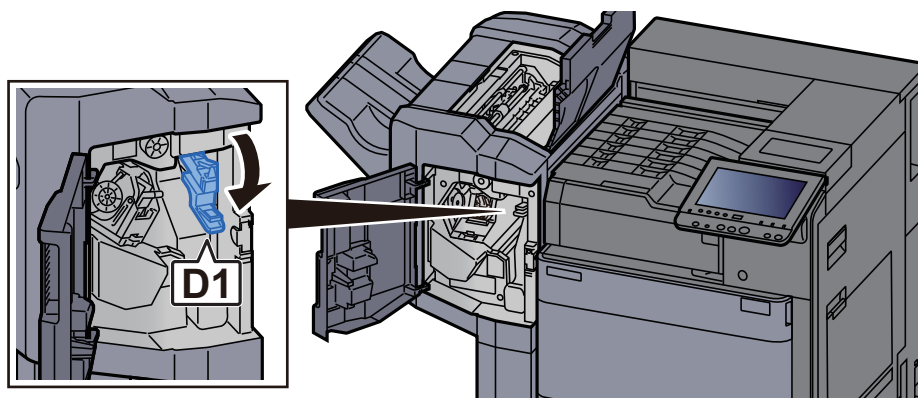
- 4 搬送ガイドD2を元の位置に戻す



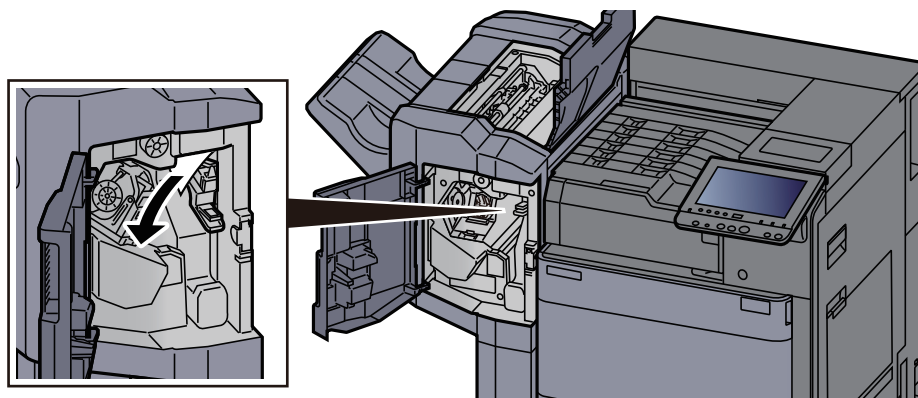
5 1,000枚フィニッシャーの前カバーを開ける



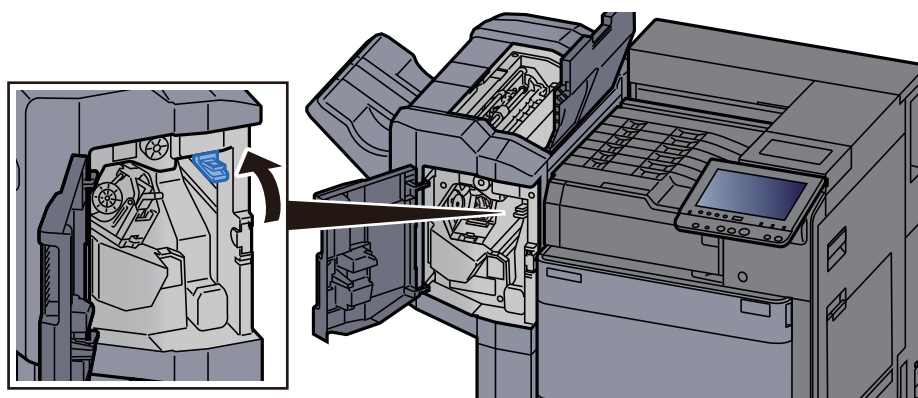
6 搬送ガイドD1を開ける



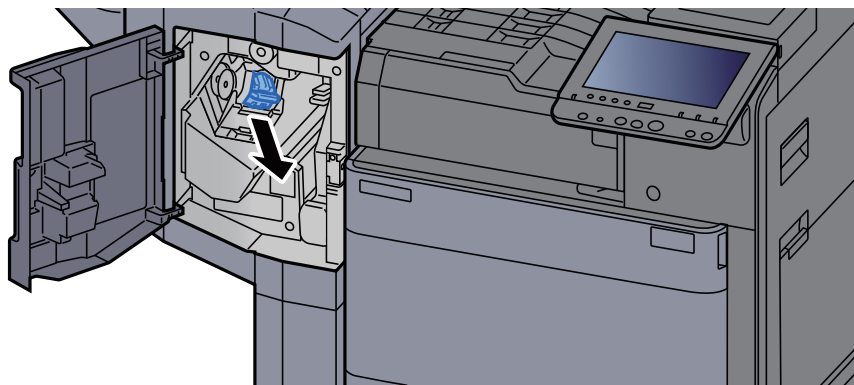
7 つまった用紙を取り出す



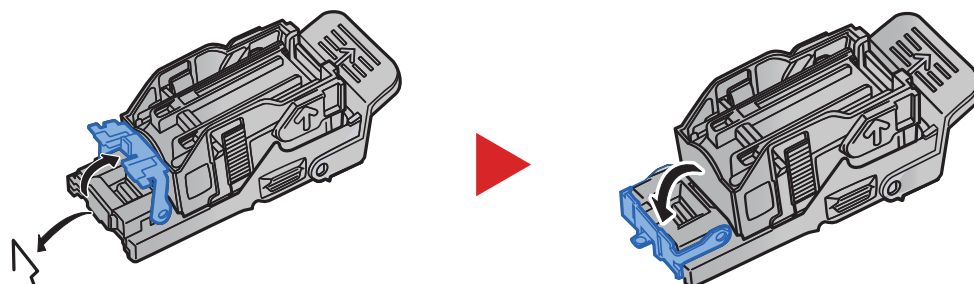
8 搬送ガイドD1を元の位置に戻す



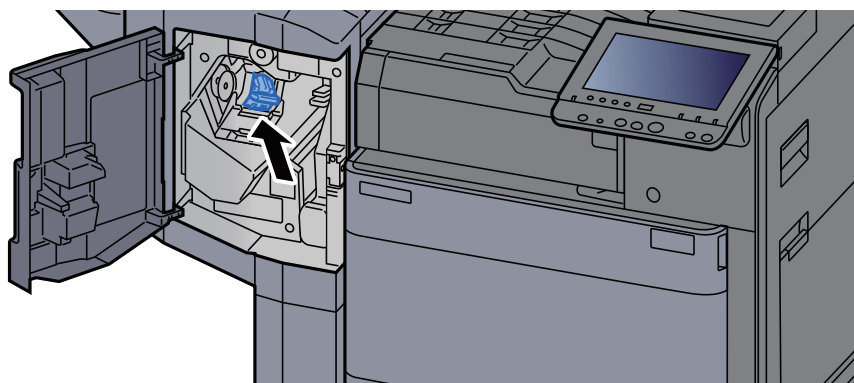
9 ステープルカートリッジホルダーを取り外す



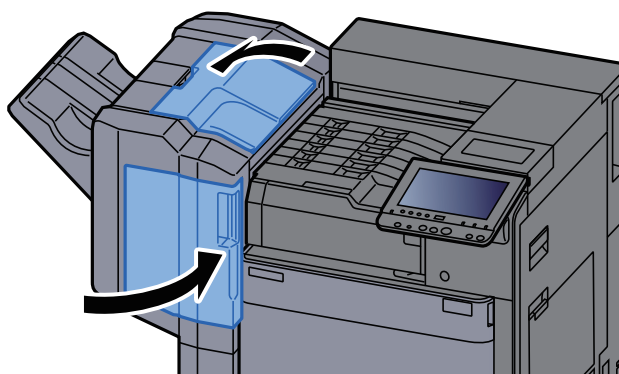
10 つまった針を取り出す



11 ステープルカートリッジホルダーを装着する



12 上カバーおよび前カバーを元の位置に戻す

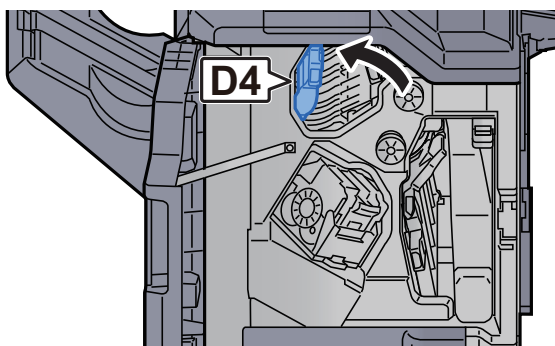


4,000枚フィニッシャーの針づまりを解除する

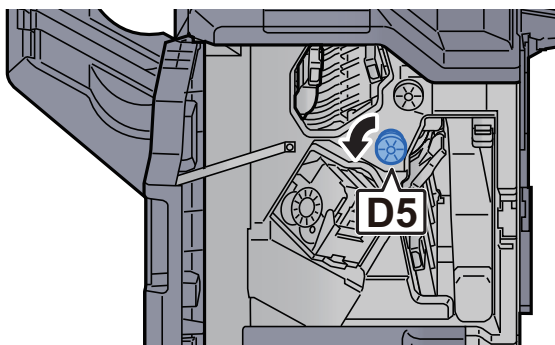
- 1 4,000枚フィニッシャーの前カバー1を開ける



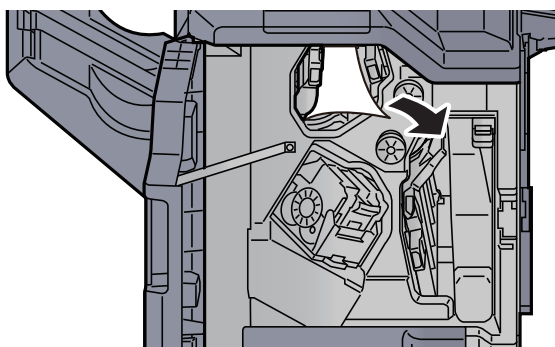
- 2 搬送ガイドD4を開ける



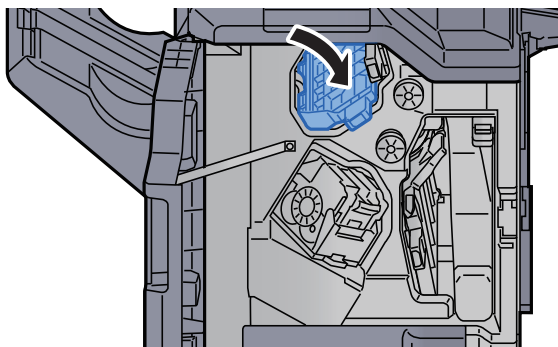
- 3 つまみD5を回す



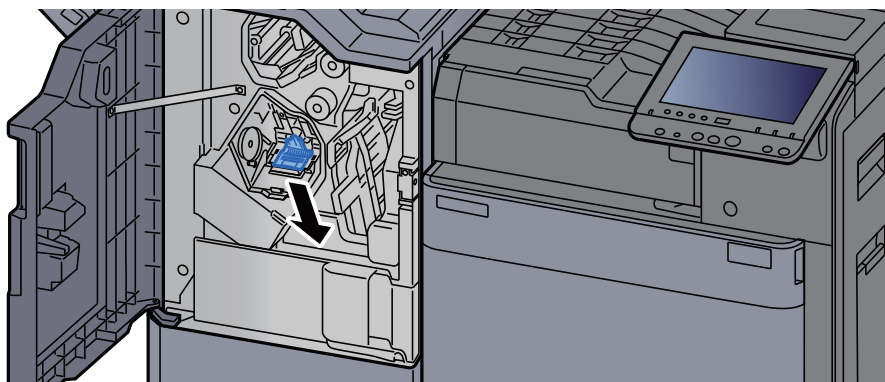
- 4 つまった用紙を取り出す



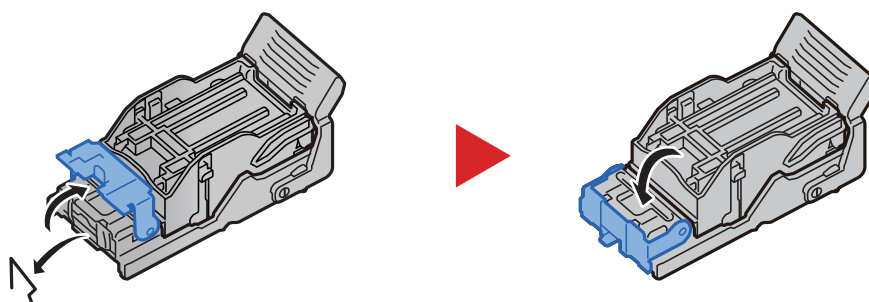
5 搬送ガイドD4を元の位置に戻す



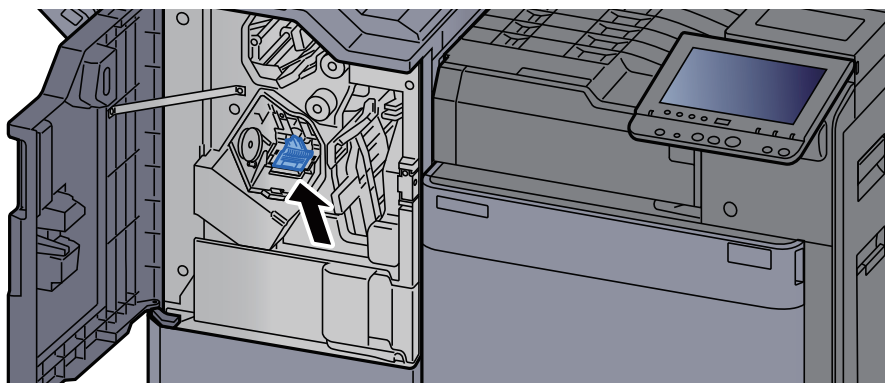
6 ステープルカートリッジホルダーAを取り外す



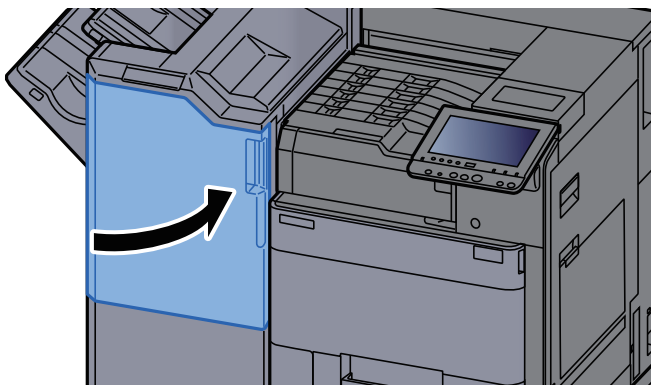
7 つまった針を取り出す



8 ステープルカートリッジホルダーAを装着する

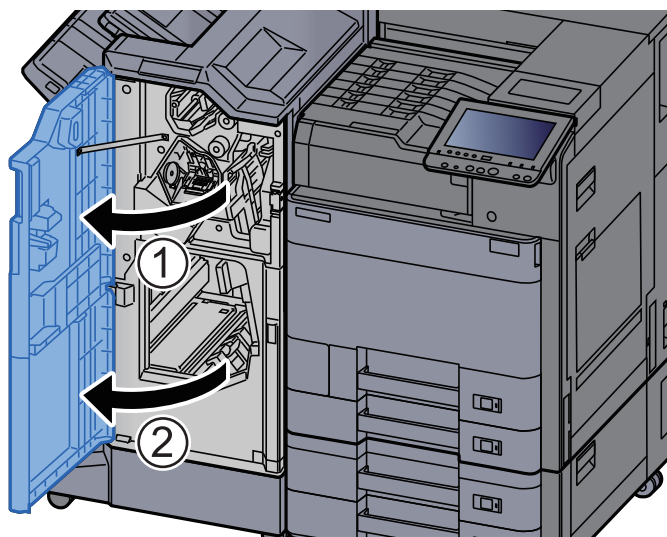


9 前カバー1を元の位置に戻す

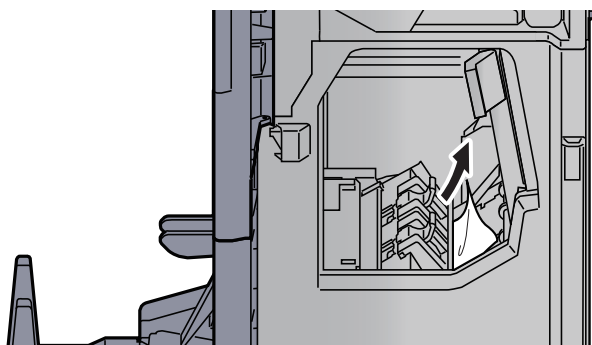


中折りユニットの針づまりを解除する

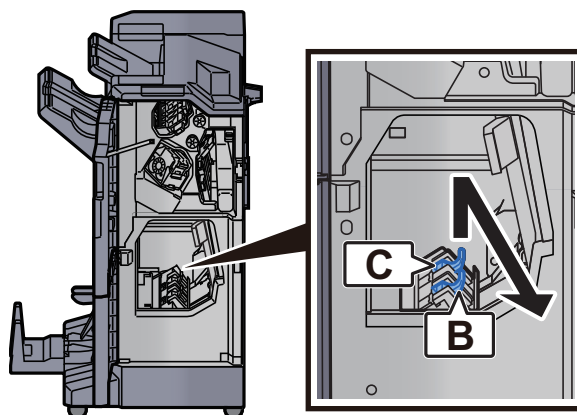
1 4,000枚フィニッシャーの前カバー1および前カバー2を開ける



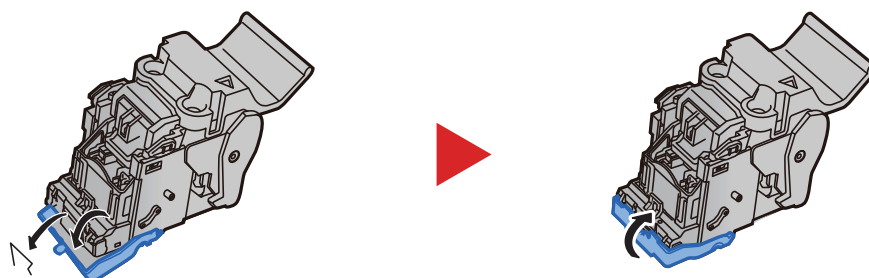
2 フィニッシャー内部の用紙を取り出す



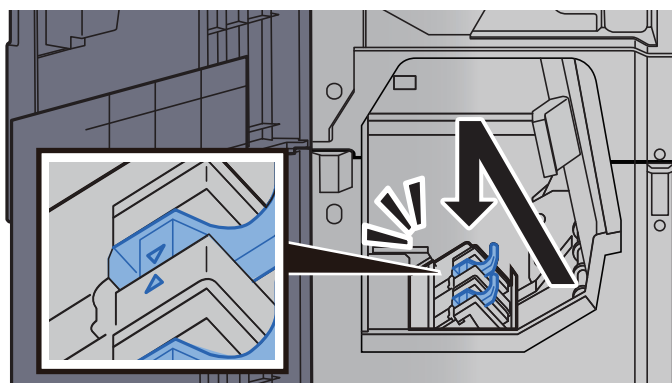
3 ステープルカートリッジホルダーBまたはCを取り外す



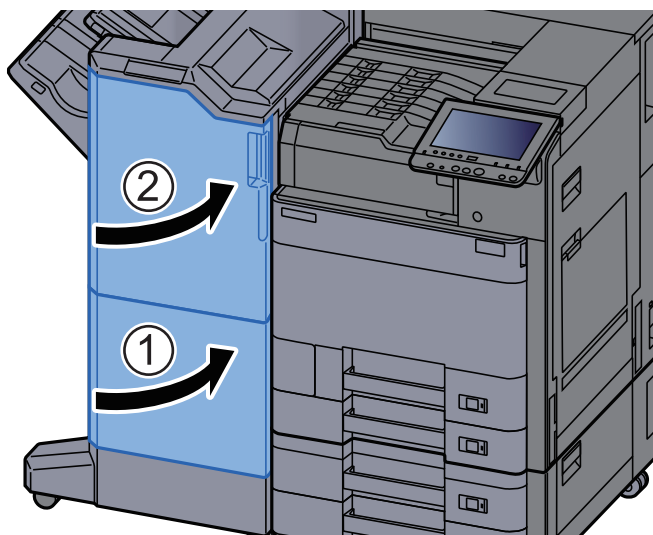
4 つまった針を取り出す



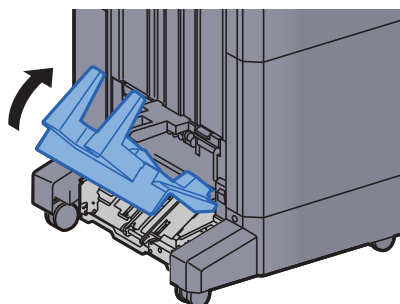
5 ステープルカートリッジホルダーBまたはCを装着する



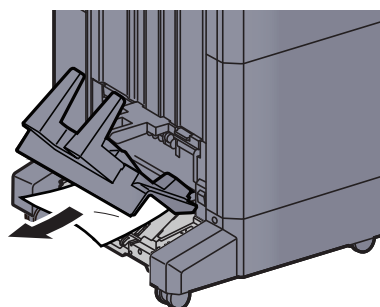
6 前カバー1および前カバー2を元の位置に戻す



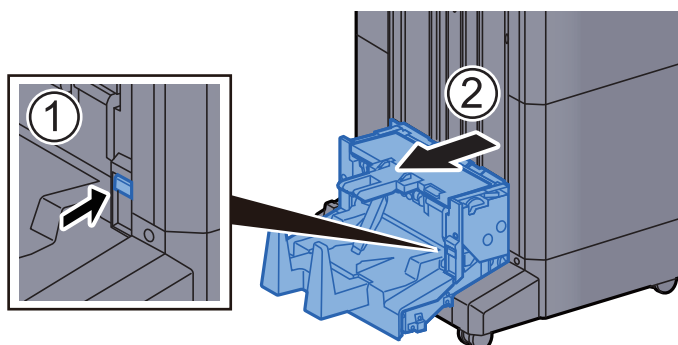
7 中折りトレイを持ち上げる



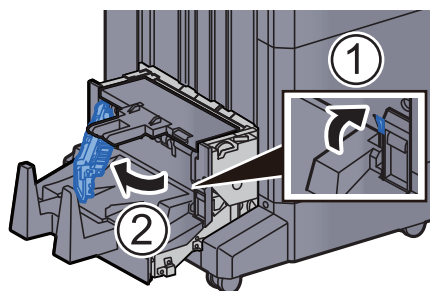
8 つまった用紙を取り出す



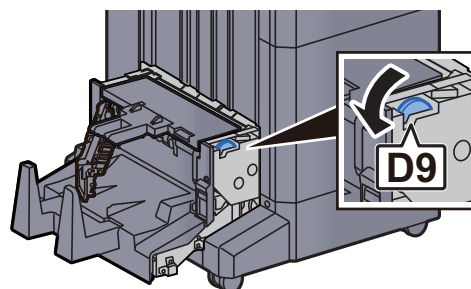
9 解除レバーを押して、中折りユニットを引き出す



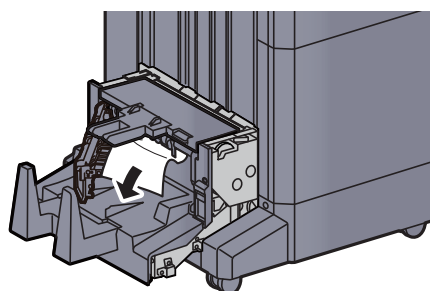
10 中折りユニット左カバーを開ける



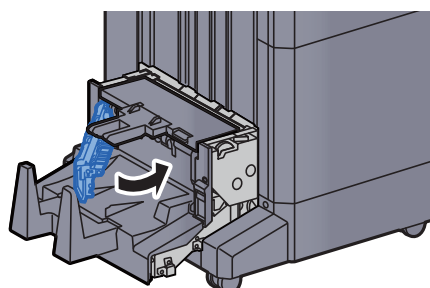
11 ダイヤルD9を回す



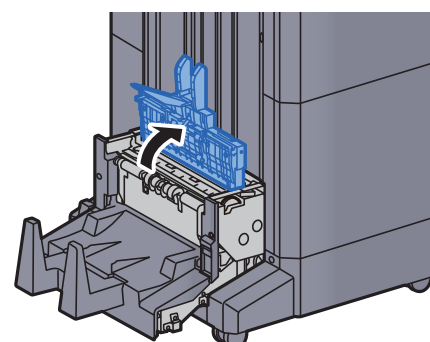
12 つまった用紙を取り出す



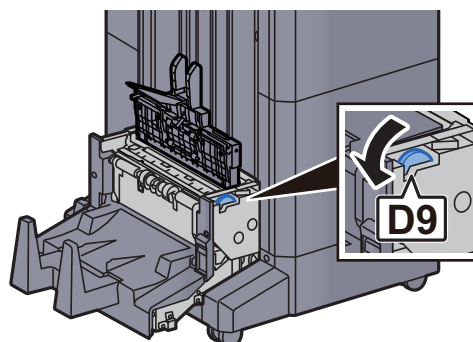
13 中折りユニット左カバーを元の位置に戻す



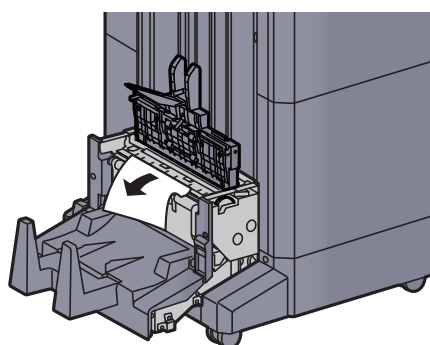
14 中折りユニット上カバーを開ける



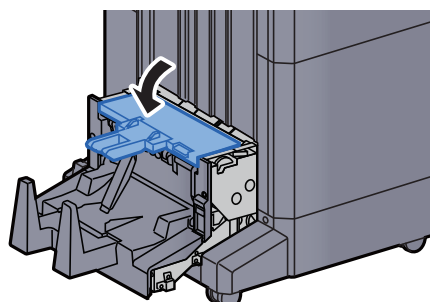
15 ダイヤルD9を回す



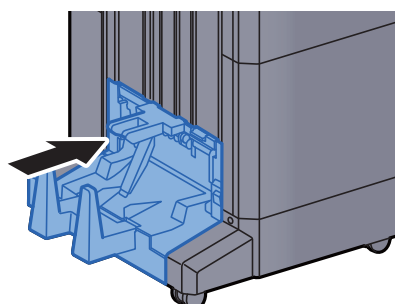
16 つまった用紙を取り出す



17 中折りユニット上カバーを元の位置に戻す



18 中折りユニットを元の位置に戻す



11 付録

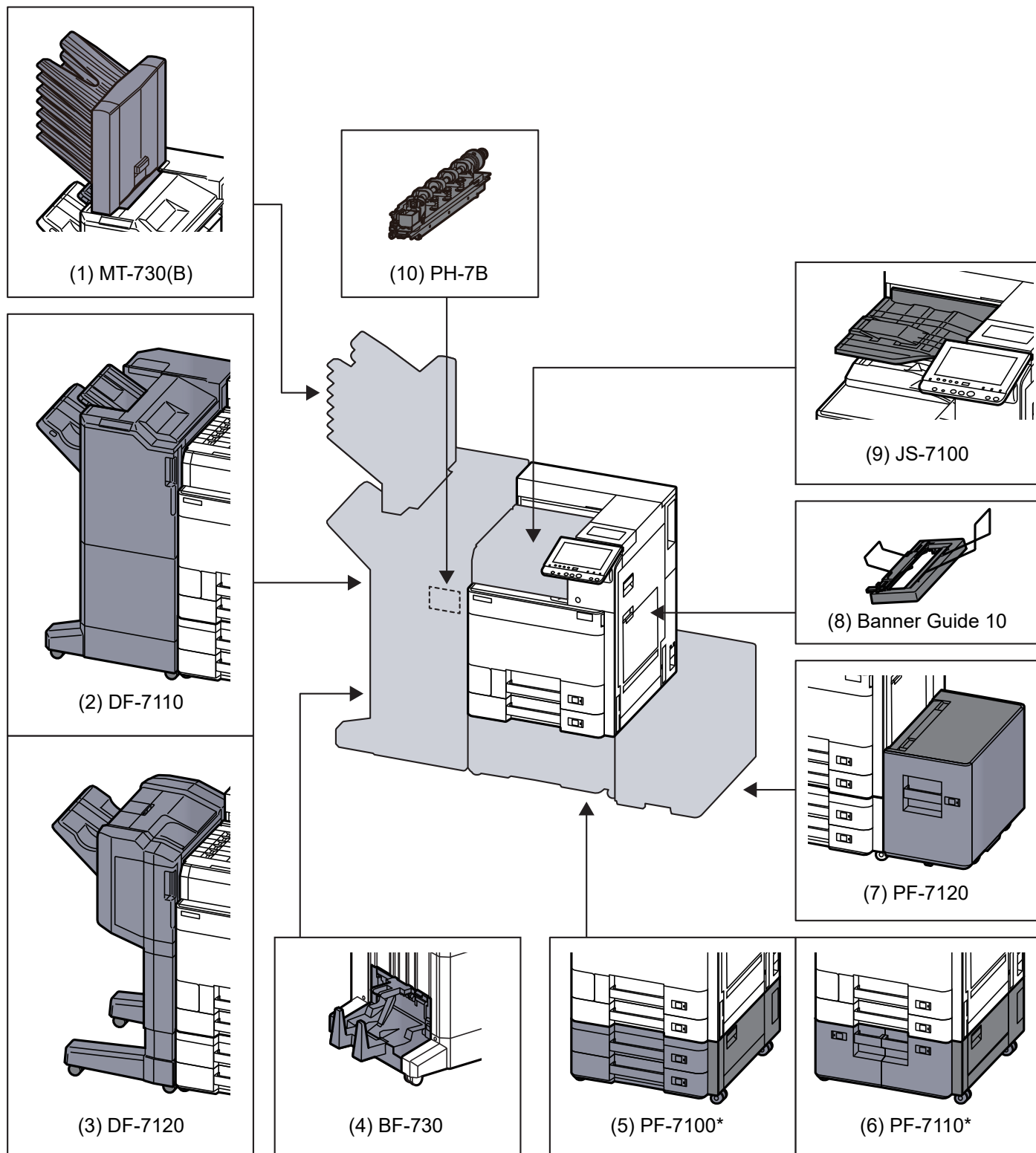
この章では、次の項目について説明します。

オプションについて	11-2
オプション構成	11-2
オプションのアプリケーションについて	11-6
アプリケーションの使用を開始する	11-6
アプリケーションの詳細を確認する	11-7
文字の入力	11-8
入力方式を選択する	11-8
入力文字を選択する	11-9
入力画面	11-10
かな漢字入力とローマ字漢字入力での文字変換	11-13
区点コードでの文字変換	11-16
用紙について	11-18
用紙の基本仕様	11-18
適正な用紙の選択	11-19
特殊な用紙	11-22
仕様	11-26
本体	11-26
プリンター機能	11-28
ペーパーフィーダー(550枚×2)	11-29
大容量フィーダー(1,650枚×2)	11-29
サイドフィーダー(3,500枚×1)	11-29
1,000枚フィニッシャー	11-30
4,000枚フィニッシャー	11-30
パンチユニット(1,000枚/4,000枚フィニッシャーオプション)	11-31
メールボックス(4,000枚フィニッシャーオプション)	11-31
中折りユニット(4,000枚フィニッシャーオプション)	11-31
ジョブセパレータートレイ	11-32
バナートレイ	11-32
環境設定コマンド	11-33
区点コード表	11-42
製品の保守サービスについて	11-48
保守契約についてのお問い合わせ	11-48
補修性能部品について	11-49
廃棄について	11-49
使用済み製品の廃棄	11-49
初期化について	11-49
トナーコンテナの廃棄	11-49
用語集	11-50

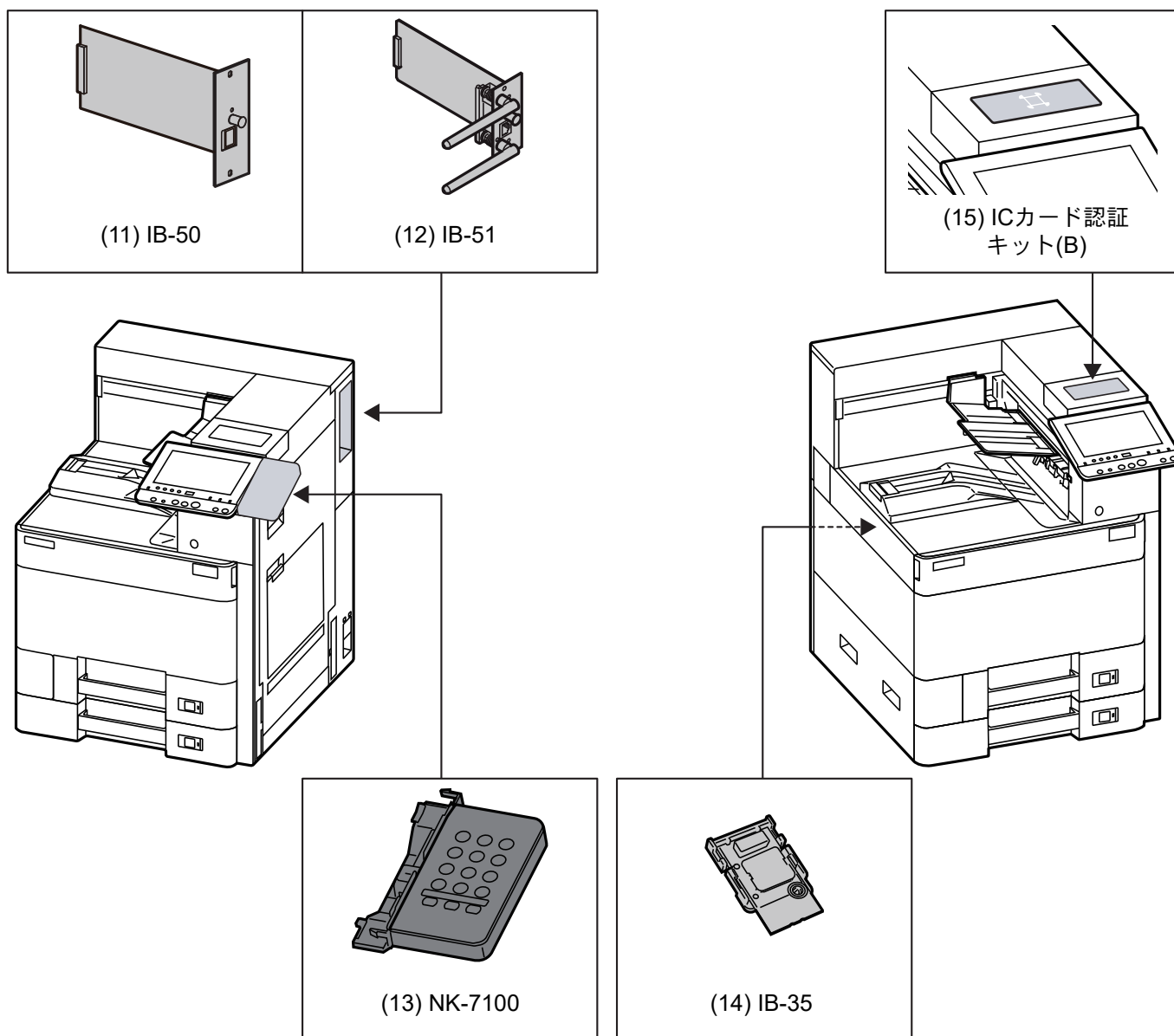
オプションについて

オプション構成

本機では、次のオプションが使用できます。



*次のオプションを装着している場合は、転倒防止金具を装着する必要があります:PF-7100、PF-7110



ソフトウェアオプション

(16) Data Security Kit(E)

(17) UG-33

(18) UG-34

(1) MT-730(B) <メールボックス>

用紙の排紙先を区分して、仕分けしやすくする装置です。装着することで7段の排紙先が増設できます。複数のパソコンユーザーがプリンターを共有する場合に、指定した各々専用のトレイに出力することができます。4,000枚フィニッシャーに装着することで使用できます。



参考

用紙をメールボックスに排紙するためには、本機またはプリンタードライバーで排紙先を変更するか、初期設定で変更してください。

➡ [排紙先 \(6-12ページ\)](#)

(2) DF-7110 <4,000枚フィニッシャー>

大量の出力紙を収納し、かつ多部数の出力紙を1部ずつシフトして仕分けすることができる装置です。仕分けした出力紙にステープルやパンチ穴(オプション)を開けることができます。

(3) DF-7120 <1,000枚フィニッシャー>

大量の出力紙を収納し、かつ多部数の出力紙を1部ずつシフトして仕分けすることができる装置です。仕分けした出力紙にステープルやパンチ穴(オプション)を開けることができます。

(4) BF-730 <中折りユニット>

印刷物を2つ折りや3つ折りにしたり、簡易製本して排紙することができる装置です。4,000枚フィニッシャーに装着することで使用できます。

(5) PF-7100 <ペーパーフィーダー (550枚×2)>

本体のカセットと同じものを2段増設することができます。セットできる用紙の枚数およびセットのしかたは標準カセットと同じです。

➡ [カセット1に用紙をセットする \(3-4ページ\)](#)

(6) PF-7110 <大容量フィーダー (1,650枚×2)>

本体のカセットに加えて、A4、B5またはLetterの用紙を3,300枚収納できる大容量フィーダーを増設することができます。用紙のセットのしかたは、次を参照してください。

➡ [大容量フィーダーにセットする \(3-14ページ\)](#)

(7) PF-7120 <サイドフィーダー (3,500枚×1)>

本体とオプションのカセットに加えて、A4、B5またはLetterの用紙を3,500枚収納できるサイドフィーダーを増設することができます。用紙のセットのしかたは次を参照してください。

➡ [サイドフィーダーにセットする \(3-16ページ\)](#)

(8) Banner Guide 10 <バナートレイ>

バナー用紙を連続給紙可能にする装置です。バナー用紙を10枚までセットできます。取り付け方法および用紙のセット方法は次を参照してください。

➡ [バナートレイ\(オプション\)を使用する \(4-12ページ\)](#)

(9) JS-7100 <ジョブセパレーター>

用紙の排紙先を区分して、仕分けをしやすくする装置です。出力の際に、排紙先として指定してください。また、文書ボックスからの出力、パソコンからの印刷の出力では、初期設定モードでの排紙先に指定できます。



参考

用紙をジョブセパレーターに排紙するためには、排紙先の選択、または初期設定で変更してください。

➡ [排紙先 \(6-12ページ\)](#)

(10) PH-7B <パンチユニット>

1,000枚フィニッシャー、4,000枚フィニッシャーに装着して、パンチ穴を開けることができます。

(11) IB-50 <ネットワークインターフェイスキット>

ネットワークインターフェイスキットは、通信速度が1ギガビット/秒に対応する高速のインターフェイスです。IB-50では、AppleTalkやNetwareのような伝統的なプロトコルをサポートしています。

標準ユーティリティの最小限の機能のみ対応しています。

(12) IB-51 <ワイヤレスインターフェイスキット>

無線LAN規格IEEE802.11n (MAX 300 Mbps) および11g/bに対応した無線LANネットワークインターフェイスカードです。IB-51では、Apple TalkやNetwareのような伝統的なプロトコルをサポートしています。

標準ユーティリティの最小限の機能のみ対応しています。

IB-51セットアップユーティリティはWindows OSとMac OS Xに対応しています。

(13) NK-7100 <テンキーボード>

操作パネルにテンキーボードを追加します。テンキーボードを装着すると、タッチパネル上のテンキーは表示されなくなります。

(14) IB-35 <ワイヤレスインターフェイスキット>

無線LAN規格IEEE802.11n (MAX 65 Mbps) および11g/bに対応した無線LANネットワークインターフェイスモジュールです。また、Wi-Fi Directにも対応しており、無線LANルーターを介さずにネットワーク印刷が可能になります。

(15) ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット>

ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したローカルユーザーリストにICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、次を参照してください。

➡ [ICカード認証キットの使用説明書](#)

(16) Data Security Kit(E) <セキュリティーキット>

セキュリティーキットは、印刷後や削除した後の不要になったデータ保存領域を上書きして消去し、復元できないようにします。また、ハードディスク/SSDに保存するデータは暗号化して書き込みますので、万一の場合でもデータを読み出す(復号)ことができず、セキュリティーが強化されます。

(17) UG-33 <ThinPrint Option>

プリンタドライバがなくても印刷データを直接印刷することができるようになります。

(18) UG-34 <エミュレーションアップグレードキット>

本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを追加します。装着することで、PC-PRO201/65A、IBM 5577、EPSON VP-1000のエミュレーションが使用可能になります。

オプションのアプリケーションについて

本機には、次のようなオプションのアプリケーションがあります。

アプリケーション
セキュリティーキット
ICカード認証キット ^{*1}
ThinPrint Option ^{*1}
エミュレーションアップグレードキット

^{*1} 一定の期間お試しとして使用することができます。



参考

- お試しの期間や使用できる回数などの制限は、アプリケーションによって異なります。
- 日付設定を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。

アプリケーションの使用を開始する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「オプション機能」[次へ]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

2 使用を開始するアプリケーションを選択 > [起動]

[詳細]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

3 ライセンスキーを入力 > [正規使用]

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。ライセンスキーの入力画面が表示されない場合は手順4に進んでください。

お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[お試し使用]を選択します。

4 確認画面で[はい]を選択する



参考

- セキュリティーキットまたはThinPrint Optionを起動して、ライセンスキーを入力した場合は、電源のOFF/ONが必要です。
- 起動したアプリケーションのアイコンは、ホーム画面に表示されます。

アプリケーションの詳細を確認する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「オプション機能」[次へ]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:6000

ログインパスワード:6000

2 詳細を確認するアプリケーションの[詳細]を選択します。

選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

参照できる項目は次のとおりです。

項目
機能名
ライセンス
残り試用回数
試用期限
動作状態

試用期限を延長するときは、[延長] > [はい]の順に選択してください。

文字の入力

名前などを入力するときに使用する、タッチパネル上のキーボードについて説明します。

漢字の入力は、かな入力とローマ字入力の両方で入力できます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。

文字を入力するときは、まず入力方式と入力文字をそれぞれ選択してください。

入力方式を選択する

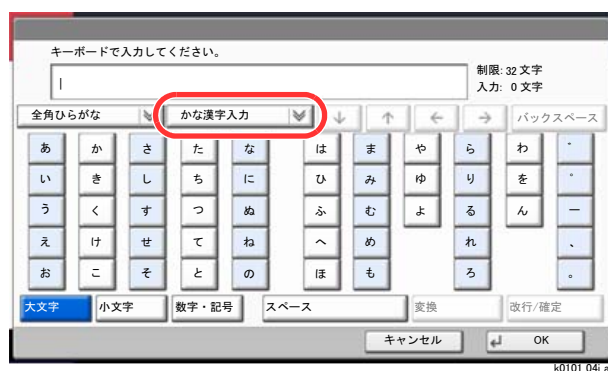
入力方式には次の3種類があります。

[かな漢字入力]－かな入力で漢字などを入力するときに使用してください。

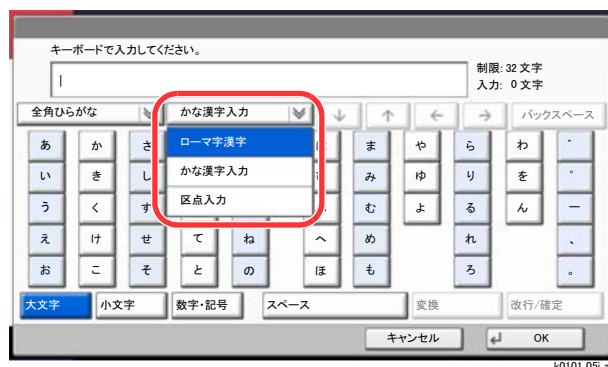
[ローマ字漢字]－ローマ字入力(例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する)で漢字などを入力するときに使用してください。

[区点入力]－4桁の区点コードを入力して漢字などを入力するときに使用してください。

1 入力方式([かな漢字入力]、[ローマ字漢字]または[区点入力])の[✓]を選択する



2 入力方式を選択する



参考

入力方式の初期値を[ローマ字漢字]に変更することができます。

➡ [キーボード入力方式 \(8-15ページ\)](#)

入力文字を選択する

入力文字には次の5種類があります。

[全角ひらがな]－漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

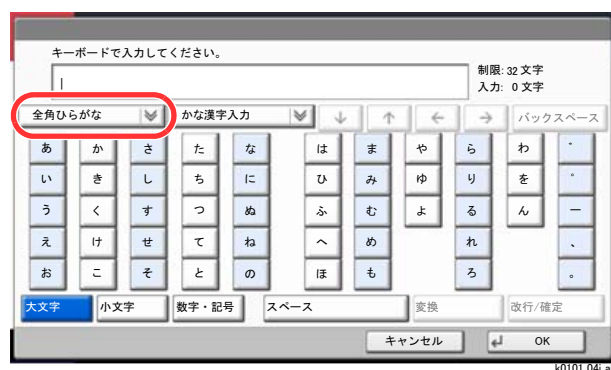
[全角カタカナ]－全角カタカナを入力するときに使用してください。

[半角カタカナ]－半角カタカナを入力するときに使用してください。

[全角英数]－無変換で全角アルファベット、全角数字を入力するときに使用してください。

[半角英数]－無変換で半角アルファベット、半角数字を入力するときに使用してください。

1 入力文字([全角ひらがな]、[全角カタカナ]、[半角カタカナ]、[全角英数]または[半角英数])の[▽]を選択する



2 入力文字を選択する



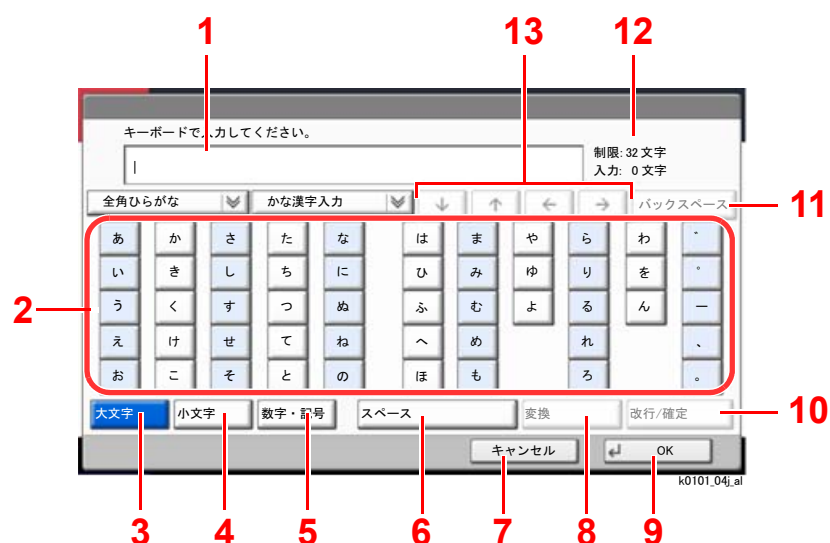
参考

入力方式として[区点入力]を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面

かな漢字入力

次の画面は入力文字として[全角ひらがな]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[大文字]	全角ひらがなを使用するときに選択してください。
4	[小文字]	「あ、い、う、え、お、つ、や、ゆ、よ」を入力するときに押してください。
5	[数字・記号]	数字や記号を入力するときに選択してください。
6	[スペース]	スペースを入力するときに選択してください。
7	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
8	[変換]	入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
9	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
10	[改行/確定]	入力した文字を改行または確定するときに選択してください。
11	[バックスペース]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
12	制限文字数/入力文字数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
13	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。

ローマ漢字入力

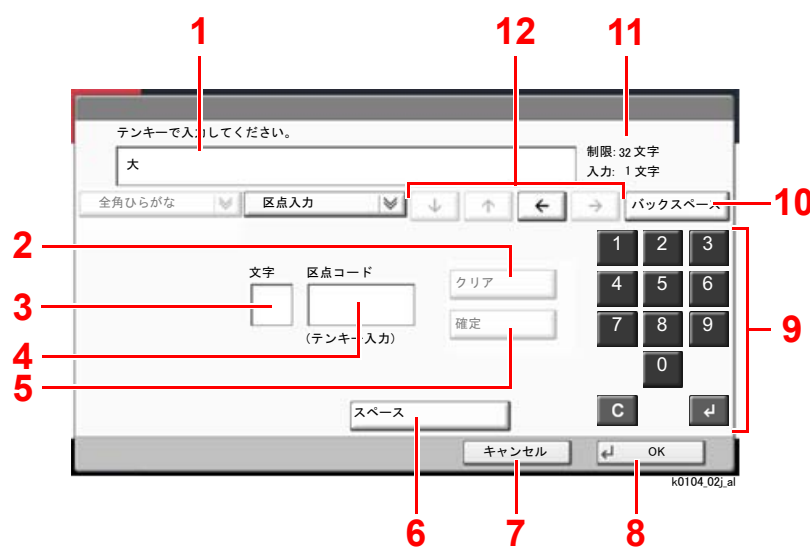
次の画面は入力文字として[全角ひらがな]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[大文字]	大文字を使用するときに選択してください。
4	[小文字]	小文字を使用するときに選択してください。
5	[数字・記号]	数字や記号を入力するときに選択してください。
6	[スペース]	スペースを入力するときに選択してください。
7	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
8	[変換]	入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
9	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
10	[改行/確定]	入力した文字を改行または確定するときに選択してください。
11	[バックスペース]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
12	制限文字数/入力文字数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
13	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。

区点入力

次の画面は入力方式として[区点入力]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	[クリア]	入力した区点コードを消去するときに選択してください。
3	入力文字表示部	区点コードに対応した文字を表示します。
4	区点コード表示部	入力した区点コードを表示します。
5	[確定]	区点コードに対応した文字を確定するときに選択してください。
6	[スペース]	スペースを入力するときに選択してください。
7	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
8	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
9	テンキー*1	区点コードを入力します。
10	[バックスペース]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
11	制限文字数/入力文字数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
12	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。

*1 テンキーボードを装着している場合は、テンキーは表示されません。



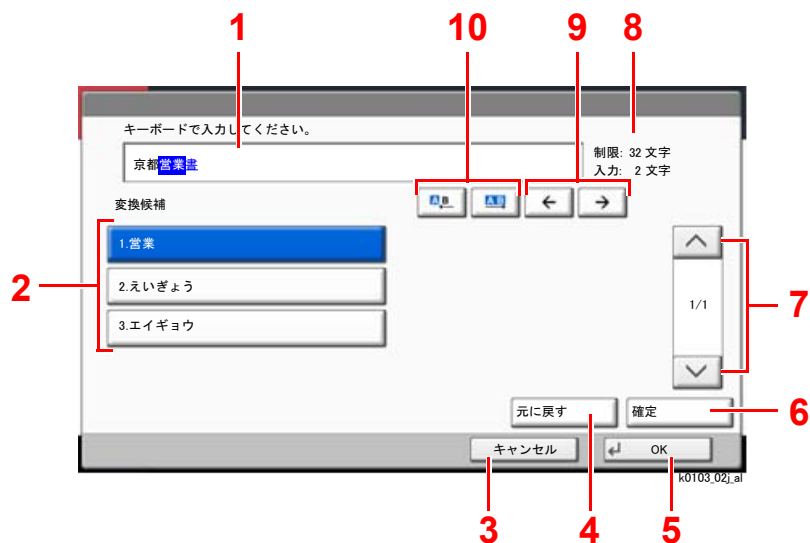
参考

各文字の区点コードは、次を参照してください。

➡ [区点コード表 \(11-42ページ\)](#)

かな漢字入力とローマ字漢字入力での文字変換

かな漢字入力、ローマ字漢字入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、[変換]を選択すると次のような文字変換画面が表示されます。

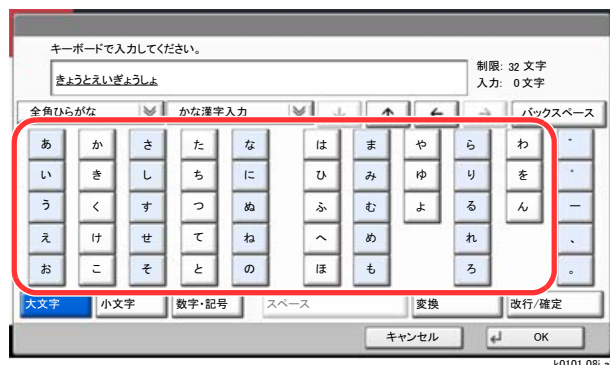


番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	変換候補リスト	選択中の文節に対する変換候補を表示します。
3	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[元に戻す]	[変換]を選択する前に戻るときに選択してください。
5	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
6	[確定]	未確定文字をすべて確定するときを選択してください。
7	[^][v]	表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときを選択してください。
8	制限文字数/入力文字数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
9	[←][→]	変換対象の文節を移動させるときに選択してください。
10	[A B][A B]	変換対象文節の長さを変更するときを選択してください。

【入力例】「京都営業所」と入力するとき

入力は一文字ずつできますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

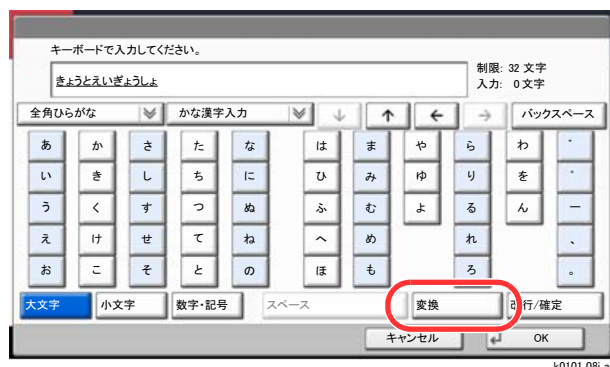
1 「きょうとえいぎょうしょ」と入力する



入力方式が[かな漢字入力]の場合「きょうとえいぎょうしょ」と順にタッチパネル上で入力してください。

入力方式が[ローマ字漢字入力]の場合、「kyoutoeigyousho」と順にタッチパネル上で入力してください。文字表示部に「きょうとえいぎょうしょ」と表示されます。

2 [変換]を選択する

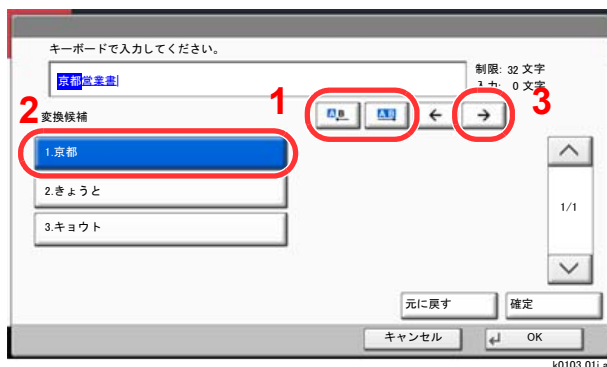


文字変換画面を表示します。

3 文節を調整して変換する

反転されている部分が変換する文字です。

- 1 [A B] または [A B] を選択して、変換する部分(この場合まず「きょうと」)を反転させてください。変換候補が表示されます。



- 2 変換候補リストから、変換する文字(この場合[京都])を選択します。



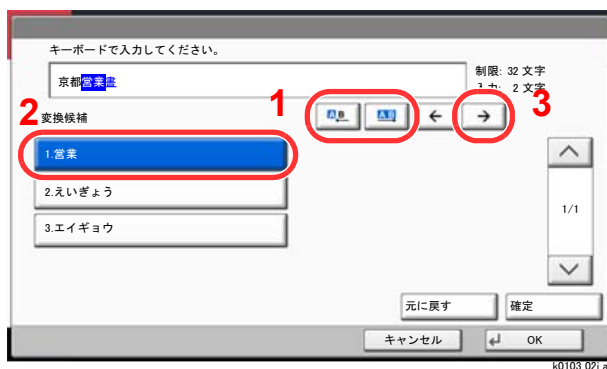
参考

- ・ 変換候補リストはテンキーでも選択できます。
- ・ 表示されている以外の変換候補がある場合、[へ]または[✓]を選択して画面をスクロールしてください。

- 3 [→]を選択します。

「京都」が決定します。

- 4 [A B]または[A B]を選択して、次の変換する部分(この場合「えいぎょう」)を反転させます。
変換候補が表示されます。

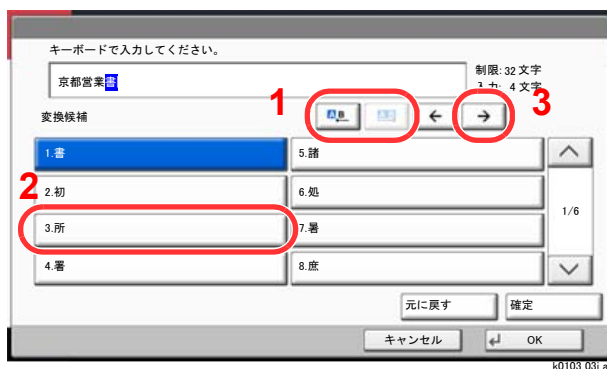


- 5 変換候補リストから、変換する文字(この場合[営業])を選択します。

- 6 [→]を選択します。

「営業」が決定します。

- 7 [A B]または[A B]を選択して、次の変換する部分(この場合「しょ」)を反転させます。
変換候補が表示されます。



- 8 変換候補リストから、変換する文字(この場合[所])を選択します。

4 変換を確定する

- 1 文字の変換が終了すれば、[確定]を選択します。
- 2 正しく入力できたことを確認して、[OK]を選択します。

区点コードでの文字変換

【入力例】「大阪」と入力する場合

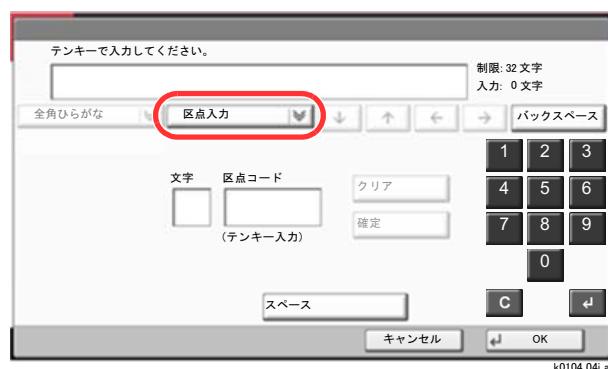
この例で入力する「大」の区点コードは「3471」、「阪」の区点コードは「2669」となります。



参考

- 入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。
- 各文字の区点コードは、次を参照してください。
➔ [区点コード表 \(11-42ページ\)](#)
- 漢字を探すときは、音読みで探してください。

1 入力方式を[区点入力]にする



2 「大」を入力する



テンキーを使って、「3」、「4」、「7」、「1」を入力すると、入力文字表示部に「大」が表示されます。
[確定]を選択すると「大」が入力されます。

3 「阪」を入力する



同様にして、区点コード「2669」を入力して[確定]を選択すると、「阪」の文字が「大」の後に続いて入力されます。

4 [OK]を選択する

用紙について

各カセットに使用できる用紙について説明します。
各給紙元にセットできる用紙のサイズ、種類、枚数については、次を参照してください。

➡ [仕様 \(11-26ページ\)](#)

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙(普通紙)に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。
本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができていたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙(普通紙)を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

本機で使用できる用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
重さ	カセット:52～300 g/m ²
	手差しトレイ:52～300 g/m ²
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4～6%
パルプ含有率	80%以上



参考

再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

仕様に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80%以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20%以下ものを使用してください。

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を1 m²の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにズレが起きることがあります。用紙の保水度は4~6%の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たした上で使用してください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平らになります。

静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

品質について

サイズの不ぞろい、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合、特にご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理を施した用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

本機で利用できる用紙サイズ

本機に利用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに ± 0.7 mmです。用紙四隅の角度は、 $90^\circ \pm 0.2^\circ$ のものを使用してください。

- A3 (297 × 420 mm)^{*1}
- A4 (297 × 210 mm)
- A5 (210 × 148 mm)
- A6 (148 × 105 mm)
- B4 (257 × 364 mm)^{*1}
- B5 (257 × 182 mm)
- B6 (182 × 128 mm)
- 216×340 mm^{*1}
- SRA3 (320 × 450 mm)^{*1}
- Ledger^{*1}
- Letter
- Legal
- Statement
- Executive (7-1/4 × 10-1/2")
- 12×18" (304.8 × 457 mm)^{*1}
- Oficio II
- Folio (210 × 330 mm)
- 8K (273 × 394 mm)^{*1}
- 16K (273 × 197 mm)
- ISO B5 (176 × 250 mm)
- Envelope #10 (4-1/8 × 9-1/2")
- Envelope #9 (3-7/8 × 8-7/8")
- Envelope #6 3/4 (3-5/8 × 6-1/2")
- Envelope Monarch (3-7/8 × 7-1/2")
- Envelope DL (110 × 220 mm)
- Envelope C5 (162 × 229 mm)
- Envelope C4 (229 × 324 mm)^{*1}
- はがき (100 × 148 mm)
- 往復はがき (148 × 200 mm)
- 洋形4号 (105 × 235 mm)
- 洋形2号 (114 × 162 mm)
- サイズ入力
カセット1: 98 × 148 ~ 297 × 356 mm
カセット2~4: 98 × 148 ~ 320 × 457 mm^{*2}
手差しトレイ: 98 × 148 ~ 320 × 457 mm

^{*1} カセット1では使用できません。

^{*2} カセット3、4はペーパーフィーダー (550枚×2) のみ。

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機に使用できる特殊な用紙

- OHPフィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙
- ラベル紙
- 加工紙
- 上質紙
- インデックス紙 (136～256 g/m²)

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、OHPフィルム、ラベル紙、加工紙、インデックス紙は手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で 사용할 ことができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

OHPフィルム

OHPフィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。使用できるOHPフィルムの仕様は次のとおりです。

耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°

トラブルを避けるため、OHPフィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦方向に（用紙の長手方向を本機に向けて）補給してください。

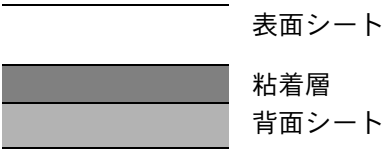
OHPフィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみてください。

ラベル紙

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

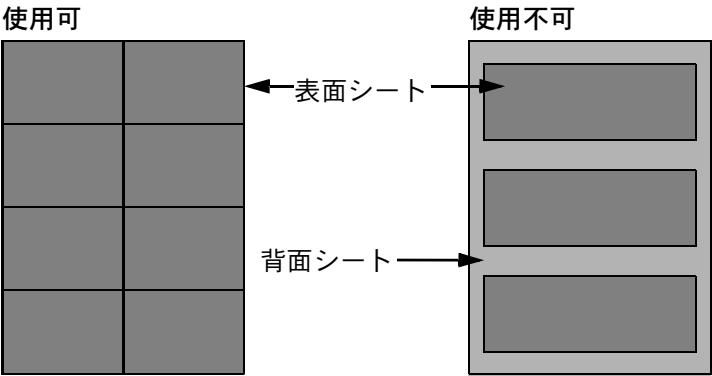
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

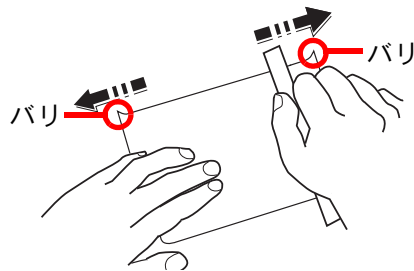
ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

表面シートの重さ	44～74 g/m ²
基本重量(用紙全体の重さ)	104～151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086～0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115～0.145 mm
保水度	4～6%(混合)

はがき



はがきは、さばいて端をそろえてから補給してください。はがきを手差しトレイから給紙する場合は印刷面を下に、カセットまたはオプションのペーパーフィーダーから給紙する場合は印刷面を上にご覧ください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください（郵便局などで入手できます）。また、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

封筒を手差しトレイから給紙する場合は印刷面を下に、カセットまたはオプションのペーパーフィーダーから給紙する場合は印刷面を上にご覧ください。

参考

カセットまたはオプションのペーパーフィーダーの用紙幅ガイドにある用紙上限表示以上に封筒を入れないでください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足いく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打ってあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。

厚紙

厚紙は、さばいて端をそろえてから補給してください。裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそろせてから補給してください。

カラー紙

カラー紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

➡ [本機で利用できる用紙の基本仕様（11-18ページ）](#)

さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱（最高200℃）に耐えられる必要があります。

プレプリント

プレプリント用紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

➡ [本機で利用できる用紙の基本仕様 \(11-18ページ\)](#)

着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

➡ [本機で利用できる用紙の基本仕様 \(11-18ページ\)](#)



参考

再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

加工紙

加工紙は、原紙の表面をコーティングすることによって、普通紙よりもよい印刷品質を得ることができる用紙です。高品位の印刷用紙として利用されています。

上質紙あるいは中質紙の表面に特殊な薬品を塗布し、表面を滑らかにすることによって、インクの乗りをよくしています。薬品を塗布する面は表裏両面の場合もあれば、片面のみの場合もあります。塗布された面は少し光沢が出ます。



重要

コート紙を湿度の高い環境で印刷すると、重なって給紙されることがありますので、高湿度にならないようにしてください。高湿度の場合は1枚ずつセットしてください。

仕様



重要

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

本体

項目		仕様
名称		ECOSYS P4060dn
型式		デスクトップ型
印刷方式		乾式静電転写方式(レーザー方式)
用紙の重さ	カセット	52～300 g/m ²
	手差しトレイ	52～300 g/m ²
用紙種類	カセット	普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ポンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、上質紙、カスタム (両面印刷時:片面印刷時と同じ)
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ポンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、加工紙、上質紙、インデックス紙、カスタム1～8
用紙サイズ	カセット1	A4、A5、A6、B5、B6、Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II、Folio、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム(98 × 148～297 × 356 mm)
	カセット2	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、216×340 mm、SRA3、Ledger、Letter、Legal、Statement、Executive、12×18"、Oficio II、Folio、8K、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム(98 × 148～320 × 457 mm)
	手差しトレイ	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、216×340 mm、SRA3、Ledger、Letter、Legal、Statement、Executive、12×18"、Oficio II、Folio、8K、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム1～4(98 × 148～320 × 457 mm) 長尺(210 × 470.1～304.8 × 1,220 mm/8.26" × 18.5"～12" × 48")
印字画像欠け幅		先端4 mm、後端4 mm、左/右4 mm
ウォームアップ 時間 (22℃、60%)	電源ONから	17秒以下
	低電力モードから	15秒以下
	スリープから	17秒以下

項目		仕様
用紙容量	カセット	550枚 (64 g/m ²) *1 500枚 (80 g/m ²) *1
	手差しトレイ	165枚 (A4/Letter以下、64 g/m ²) 150枚 (A4/Letter以下、80 g/m ²) 55枚 (A4/Letterより大きいサイズ、64 g/m ²) 50枚 (A4/Letterより大きいサイズ、80 g/m ²) 1枚 (長尺 (210 × 470.1～304.8 × 1,220 mm/8.26" × 18.5"～12" × 48")、136～163 g/m ²)
排紙トレイ容量	メイントレイ	500枚 (80 g/m ²)
記録方式		半導体レーザー方式
メモリー		4.0 GB
大容量ストレージ		SSD 8 GB/ハードディスク 320 GB
インターフェイス	標準	Hi-Speed USB: 1 ネットワークインターフェイス: 1 (1000Base-T/100Base-Tx/10BASE-T (IPv6、IPv4、IPSec)、802.3az対応) Hi-Speed USB: 4 (USBフラッシュメモリースロット)
	オプション	eKUIO: 2 無線LAN: 1
使用環境	温度	10～32.5℃
	湿度	10～80%
	標高	3,500 m以下
	照度	1,500 lux以下
本体寸法 (幅×奥行き×高さ)		602 × 665 × 790 mm
質量		76.9 kg (トナーコンテナを除く)
機械占有寸法 (幅×奥行き)		920 × 665 mm (手差しトレイ使用時)
電源		AC100 V、50/60 Hz、15 A
エネルギー消費効率		161 kWh/年 区分: プリンターd
オプション		➡ オプションについて (11-2ページ)

*1 カセット内上限高さラインまで

プリンター機能

項目	仕様
印刷速度	A4/Letter 60枚/分 A4-R/Letter-R 42枚/分 A3/Ledger 30枚/分 B4 36枚/分 Legal 36枚/分 B5 60枚/分 B5-R 42枚/分 A5-R 30枚/分 A6-R 30枚/分 12×18"/SRA3 30枚/分
ファーストプリント時間 (A4)	3.8秒以下
解像度	1200 × 1200 dpi (多値)
対応OS	Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Windows Server 2008/R2、Windows Server 2012/R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Mac OS X 10.9以上
インターフェイス	Hi-Speed USB : 1 ネットワークインターフェイス : 1 (1000Base-T/100Base-Tx/10BASE-T (IPv6、IPv4、IPSec)、802.3az対応) オプションインターフェイス (オプション) : 2 (IB-50/IB-51装着用) 無線LAN (オプション) : 1 (IB-35装着用)
ページ記述言語	PRESCRIBE
エミュレーション	PCL6 (PCL-XL/PCL-5c)、KPDL3 (PostScript3 互換)、PDF、XPS、OpenXPS

ペーパーフィーダー(550枚×2)

項目	仕様
給紙方式	フリクションローラー給紙方式 (収納枚数550枚 (64 g/m ²) ×2段/500枚 (80 g/m ²) ×2段)
用紙サイズ	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、216×340 mm、SRA3、Ledger、Letter、Legal、Statement、Executive、12×18"、Oficio II、Folio、8K、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム (98 × 148～320 × 457 mm)
使用用紙	紙厚: 52～300 g/m ² 用紙種類: 普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法(幅×奥行き×高さ)	600 × 665 × 323.2 mm
質量	約23 kg

大容量フィーダー(1,650枚×2)

項目	仕様
給紙方式	フリクションローラー給紙方式 (収納枚数1,650枚 (64 g/m ²) ×2段/1,500枚 (80 g/m ²) ×2段)
用紙サイズ	A4、B5、Letter
使用用紙	紙厚: 52～300 g/m ² 用紙種類: 普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法(幅×奥行き×高さ)	600 × 665 × 323.2 mm
質量	約30 kg

サイドフィーダー(3,500枚×1)

項目	仕様
給紙方式	フィード&リバースローラー給紙方式 (収納枚数3,500枚 (64 g/m ²) ×1段/3,000枚 (80 g/m ²) ×1段)
用紙サイズ	A4、B5、Letter
使用用紙	紙厚: 52～300 g/m ² 用紙種類: 普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法(幅×奥行き×高さ)	351 × 585 × 469 mm
質量	約26.5 kg

1,000枚フィニッシャー

項目		仕様	
トレイ数		1トレイ	
用紙サイズ (80 g/m ²)	フィニッシャー トレイ(ノンステープル時)	A3、A5-R、B4、B5-R、B6-R、216×340 mm、SRA3、Ledger、Legal、Statement-R、Executive、12×18"、Oficio II、Folio、8K、16K-R:500 枚 A4-R、A4、B5、Letter-R、Letter、16K:1,000枚	
使用用紙の厚さ		ステープル時:90 g/m ² 以下	
ステープル	制限枚数	A3、B4、B5-R、216×340 mm、Ledger、Legal、12×18"、Oficio II、16K-R、8K	30枚 (52～105 g/m ²) 表紙2枚のみ (106～300 g/m ²)
		A4-R、A4、B5、Letter-R、Letter、16K	50枚 (52～90 g/m ²) 40枚 (91～105 g/m ²) 表紙2枚のみ (106～300 g/m ²)
	用紙種類	普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム	
本体寸法(幅×奥行き×高さ)		548 × 618.5 × 1,050 mm	
質量		約30 kg以下	
機械占有寸法(幅×奥行き)		666 × 618.5 mm(トレイ引き出し時)	

4,000枚フィニッシャー

項目		仕様	
トレイ数		2トレイ	
用紙サイズ (80 g/m ²)	トレイA (ノンステープル時)	A3、B4、B5-R、216×340 mm、SRA3、Ledger、Legal、Executive、12×18"、Oficio II、Folio、8K、16K-R:1,500枚 A4-R、A4、B5、Letter-R、Letter、16K:4,000枚 A5-R、B6-R、Statement-R:500枚	
	トレイB	A3、A4-R、A4、A5-R、A6-R、B4、B5-R、B5、B6-R、216×340 mm、SRA3、Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Executive、12×18"、Oficio II、Folio、8K、16K-R、16K、ISO B5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号:200 枚	
使用用紙の厚さ		ステープル時:90 g/m ² 以下	
ステープル	制限枚数	A3、B4、B5-R、216×340 mm、Ledger、Legal、12×18"、Oficio II、8K、16K-R	30枚 (52～105 g/m ²) 表紙2枚のみ (106～300 g/m ²)
		A4-R、A4、B5、Letter-R、Letter、16K	70枚 (52～74 g/m ²) 65枚 (75～90 g/m ²) 55枚 (91～105 g/m ²) 表紙2枚のみ (106～300 g/m ²)
	用紙種類	普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム	
本体寸法(幅×奥行き×高さ)		607.2 × 668.5 × 1,061.3 mm	
質量		約40 kg以下	
機械占有寸法(幅×奥行き)		725 × 668.5 mm(トレイ引き出し時)	

パンチユニット(1,000枚/4,000枚フィニッシャーオプション)

項目	仕様
使用可能用紙サイズ	A3、A4-R、A4、A5-R、B4、B5-R、B5、Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、12×18"、Folio、8K、16K、16K-R
使用用紙の厚さ	45～300 g/m ²
用紙種類	普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、レターヘッド、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム

メールボックス(4,000枚フィニッシャーオプション)

項目	仕様
トレイ数	7トレイ
用紙サイズ(80 g/m ²)	A3、B4、Ledger、Legal、8K:50枚 A4-R、A4、A5-R、B5-R、B5、216×340 mm、Letter-R、Letter、Statement-R、Executive、Oficio II、Folio、16K-R、16K:100枚
本体寸法(幅×奥行き×高さ)	510 × 400 × 470 mm
質量	約10 kg

中折りユニット(4,000枚フィニッシャーオプション)

項目		仕様
折り可能サイズ	中央2つ折り	A3、B4、A4-R、Ledger、Letter-R、Legal、Oficio II、8K
	中とじステープル	A3、B4、A4-R、Ledger、Letter-R、Legal、Oficio II、8K
	3つ折り	A4-R、Letter-R
折り可能枚数	中央2つ折り	5枚 (60～90 g/m ²) 3枚 (91～120 g/m ²) 1枚 (121～256 g/m ²)
	中とじステープル	16枚 (60～90 g/m ²) 13枚 (91～105 g/m ²) 表紙1枚のみ (106 g/m ² 以上)
	3つ折り	5枚 (60～90 g/m ²) 3枚 (91～120 g/m ²)
収納制限部数 (80 g/m ²)	中央2つ折り	5枚束以下:30部以上 6～10枚束:20部以上 11～16枚束:10部以上
	中とじステープル	5枚束以下:30部以上 6～10枚束:20部以上 11～16枚束:10部以上
	3つ折り	1枚束:30部以上 2～5枚束:5部以上

項目		仕様
用紙種類	中央2つ折り	普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム
	中とじステープル	普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム
	3つ折り	普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、加工紙、上質紙、カスタム

ジョブセパレータートレイ

項目	仕様
トレイ数	1トレイ
収納制限枚数	100枚 (80 g/m ²)
用紙サイズ	A3、A4-R、A4、A5-R、A5、A6-R、B4、B5-R、B5、B6-R、216×340 mm、SRA3、Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Executive、12×18"、Oficio II、Folio、8K、16K-R、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム (98 × 148～304.8 × 1,220 mm)
使用用紙	紙厚：52～300 g/m ² 用紙種類：普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法 (幅×奥行き×高さ)	480 × 430 × 100 mm
質量	約0.6 kg

バナートレイ

項目	仕様
最大セット枚数	10枚 (手差しトレイ)
用紙幅	210～304.8mm (8.26"～12")
用紙長	最大1,220.0 mm (48")
使用用紙	紙厚：136～163 g/m ² 用紙種類：重い2
本体寸法 (幅×奥行き×高さ)	400.6 × 397.8 × 193.6 mm
質量	約0.5 kg



参考

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

環境設定コマンド

本機は、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリーに記憶しています。これらの情報はプリスクライブFRPOコマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンターの初期状態として設定されます。

ここでは、FRPOコマンドとそのパラメーターの使用例を説明します。

プリスクライブコマンドの詳細については、付属のDVDに収録されているプリスクライブコマンド・リファレンスマニュアルを参照してください。プリスクライブコマンドごとの書式や機能について、実行例を含めて説明しています。

環境設定コマンドの設定

現在のFRPOパラメーターの設定値は、サービスステータスページで確認できます。

 **参考**
FRPOパラメーターを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPOINITコマンドですべてのFRPOパラメーターを、プリンターの初期状態にもどすこともできます。(IR! FRPO INIT; EXIT;)

FRPOコマンドは次の書式で実行します。

IR! FRPO パラメーター, 設定値 ; EXIT;

例ーエミュレーションをPCL6に設定

IR! FRPO P1, 6; EXIT;

FRPOパラメーター

項目	FRPO	設定値	工場設定
上マージン	A1	インチ単位の整数部分	0
	A2	1/100インチ単位の小数部分	0
左マージン	A3	インチ単位の整数部分	0
	A4	1/100インチ単位の小数部分	0
ページの長さ	A5	インチ単位の整数部分	17
	A6	1/100インチ単位の小数部分	30
ページの幅	A7	インチ単位の整数部分	17
	A8	1/100インチ単位の小数部分	30
起動時のパターン解像度	B8	0:300 dpi 1:出力解像度	0
ページ方向	C1	0:縦置き(ポートレート) 1:横置き(ランドスケープ)	0
起動フォント ^{*1}	C2	起動フォント番号の中2桁	0
	C3	起動フォント番号の最後2桁	0
	C5	起動フォント番号の最初の2桁	0
PCLフォント選択範囲	C8	0:シンボルセット00D、00I、00S、00U、01E、01F、01G、02S および04Nの第2バイト(0x80以降のコード)を印字しない (HP互換モード)。 32:シンボルセット00D、00I、00S、00U、01E、01F、01G、02S および04Nの第2バイト(0x80以降のコード)を印字する(過 去互換モード)。	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
受信データバッファ容量	H8	0 ～ 99 FRPO S5 の値で積算 (0:5 K バイト)	5
タイムアウトの時間	H9	1 ～ 99 5 秒単位	1 (5 秒)
縮小率	J0	0:100 % 5:70 % 6:81 % 7:86 % 8:94 % 9:98 %	0
自動改行モード (日本語エミュレーション時のみ)	J7	0:自動改行する 1:自動改行しない	0
横方向オフセット ^{*1}	K0	-7 ～ +7 (正数部)、単位はセンチ	0
	K1	-99 ～ +99 (小数部)、単位は1/100 センチ	0
縦方向オフセット ^{*1}	K2	-7 ～ +7 (正数部)、単位はセンチ	0
	K3	-99 ～ +99 (小数部)、単位は1/100 センチ	0
漢字フォント番号設定	K4	0:V7 と同じ 1:明朝体40 ドット 2:ゴシック体40 ドット 5:明朝体48 ドット 6:ゴシック体48 ドット	0
新旧JIS コードの切り換え	K6	0:JIS X 0208:1990 1:JIS X 0208:1978 8:JIS X 0213:2004	0
KIR	N0	0:オフ 2:オン	2
両面印刷モードの選択	N4	0:オフ (片面印刷) 1:長辺とじ 2:短辺とじ	0
スリープ時間	N5	1 ～ 120 分	1
エコプリントモード	N6	0:オフ 2:オン	0
解像度	N8	1:600dpi 3:1200dpi	1
エミュレーションモード	P1	6:PCL 9:KPD 11:PC-PR201/65A 12:IBM 5577 13:VP-1000	6
キャリッジリターンの処理 ^{*1}	P2	0:無視 1:CR 2:CR+LF	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
改行の処理 ^{*1}	P3	0:無視 1:LF 2:CR+LF	1
KPDL 自動切替え	P4	0:なし 1:自動切替え	0
KPDL 自動切替え先エミュレーション	P5	P1 と同じ (9 を除く)	6
AES オプション- 自動エミュレーション切り換え (AES) が起動するページ排出コマンドおよび処理動作	P7	AES 起動後、KPDL または自動切替え先 (代替) エミュレーションのどちらにも該当しないデータは KPDL で処理。 0:すべてのページ排出コマンドで AES 起動。 1:なし 2:すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンドで AES 起動。 3:プリスクライブ EXIT コマンドのみで AES 起動。 8:すべてのページ排出コマンドで AES 起動。AES 起動後、KPDL または自動切替え先 (代替) エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレーションで処理。 10:すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンドで AES 起動後、KPDL または自動切替え先 (代替) エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレーションで処理。 11:プリスクライブ EXIT コマンドのみで AES 起動後、KPDL または自動切替え先 (代替) エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレーションで処理。	10
コマンド認識文字	P9	33 ~ 126 の ASCII コード	82 (R)
排紙先	R0	1:メイントレイ 3:フィニッシャーのトレイ (1,000枚フィニッシャー装着時) 5:ジョブセパレーター (ジョブセパレーター装着時) 7:フィニッシャーのトレイ (4,000枚フィニッシャー装着時) 11:メールボックスの1 (メールボックス装着時) 21:メールボックスの2 (メールボックス装着時) 31:メールボックスの3 (メールボックス装着時) 41:メールボックスの4 (メールボックス装着時) 51:メールボックスの5 (メールボックス装着時) 61:メールボックスの6 (メールボックス装着時) 71:メールボックスの7 (メールボックス装着時)	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙サイズ	R2	0:給紙カセットのサイズ(R4 参照) 1:Envelope Monarch 2:Envelope #10 3:Envelope DL 4:Envelope C5 5:Executive 6:Letter 7:Legal 8:A4 9:B5 10:A3 11:B4 12:Ledger 13:A5 14:A6 15:B6 16:Envelope #9 17:Envelope #6 18:ISO B5 19:カスタム 20:B4 → A4 縮小 21:A3 → A4 縮小 22:A4 → A4 98% 縮小 23:ストックフォーム→ A4 縮小 24:ストックフォーム→B4縮小 30:Envelope C4 31:はがき 32:往復はがき 33:Oficio II 38:12 × 18" 39:8K 40:16K 42:216 × 340 mm 44:SRA3 50:Statement 51:Folio 52:洋形2 号(封筒) 53:洋形4 号(封筒)	0
初期給紙元	R4	0:手差しトレイ 1:カセット1 2:カセット2 3:カセット3 4:カセット4 5:カセット5	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
メールボックスの超過	S3	0: 指定されたメールボックスがいっぱいになった場合、印刷を一時停止する。 1: 指定されたメールボックスがいっぱいになった場合、本体のメイントレイやジョブセパレーターに排出先を切り替えて残りを排出する。	0
A4/Letter の共通給紙	S4	0: オフ 1: オン	0
ホストバッファサイズ積算値 (H8 の値と積算)	S5	0: 10 KB 1: 100 KB 2: 1 MB	1
ワイドA4 機能	T6	0: オフ 1: オン	0
行間隔 ^{*1}	U0	インチあたりの行数/ 整数部分	6
行間隔 ^{*1}	U1	インチあたりの行数/ 小数部分	0
文字間隔 ^{*1}	U2	インチあたりの文字数/ 整数部分	10
文字間隔 ^{*1}	U3	インチあたりの文字数/ 小数部分	0
内蔵フォントの国別コード	U6	0: US 1: フランス 2: ドイツ 3: イギリス 4: デンマーク 5: スウェーデン 6: イタリア 7: スペイン 8: 日本 9: US リーガル 10: IBM PC-850 (マルチ言語) 11: IBM PC-860 (ポルトガル語) 12: IBM PC-863 (カナダフランス語) 13: IBM PC-865 (ノルウェー語) 14: ノルウェー語 15: デンマーク語2 16: スペイン語2 17: ラテンアメリカ 21: US ASCII (U7=50 に設定) 77: HP Roman-8 (U7=52 に設定)	0
シンボルセット	U7	0: エミュレーションと同じ 1: IBM 6: IBM PC-8 50: US ASCII (U6=21 に設定) 52: HP Roman-8 (U6=77 に設定)	0
デフォルトフォントピッチ	U8	0 ~ 99	10
	U9	0 ~ 99	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
初期ANK アウトラインフォント・サイズ* ¹	V0	起動時のANK アウトラインフォント・サイズの整数上位2桁/ 設定有効範囲値:00 ~ 09	0
	V1	起動時のANK アウトラインフォント・サイズの整数下位2桁/ 設定有効範囲値:00 ~ 99	12
	V2	起動時のANK アウトラインフォント・サイズの小数2桁 設定有効値:00, 25, 50, 75	0
初期ANK アウトラインフォント名* ¹	V3	起動時のANK アウトラインフォント名	Courier
初期漢字アウトライン・フォントサイズ* ¹	V4	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの整数上位2桁 設定有効範囲:00 ~ 09	0
	V5	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの整数下位2桁 設定有効範囲:00 ~ 99	10
	V6	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの小数2桁 設定有効値:00, 25, 50, 75	0
初期漢字アウトライン・フォント名* ¹	V7	起動時の漢字アウトライン・フォント名	MTHS MINCHO -W3
クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択	V9	0:クーリエ=ダーク レターゴシック=ダーク 1:クーリエ=レギュラー レターゴシック=ダーク 4:クーリエ=ダーク レターゴシック=レギュラー 5:クーリエ=レギュラー レターゴシック=レギュラー	5
用紙種類(手差しトレイ)	X0	1:普通紙 2:OHP フィルム 3:プレプリント 4:ラベル紙 5:ボンド紙 6:再生紙 7:薄紙 9:レターヘッド 10:カラー紙 11:パンチ済み紙 12:封筒 13:はがき 14:加工紙 16:厚紙 17:上質紙 18:インデックス紙 21 ~ 28:カスタム1 ~ カスタム8	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙種類(本体カセット1、2)	X1 X2	1: 普通紙 3: プレプリント 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み紙 16: 厚紙 17: 上質紙 21 ~ 28: カスタム1 ~ カスタム8	1
用紙種類(カセット3、4、5)	X3 X4 X5	1: 普通紙 3: プレプリント 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み紙 16: 厚紙 17: 上質紙 21 ~ 28: カスタム1 ~ カスタム8	1
給紙カセット選択モード (PCL)	X9	0: 用紙種類の設定によって給紙カセットを切り替え 2: カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え	0
エラー時のオートエラークリア ([継続] を選択して解除するエラーのみ)	Y0	0: オフ 1: オン	0
オートエラークリアのエラー 解除時間	Y1	1 ~ 99 5 秒単位	6(30 秒)

項目	FRPO	設定値	工場設定
デバイスエラーの表示スイッチ	Y3	エラーが発生したときの処理方法を設定します。 次のビット0～ビット6の設定値の合計を設定してください。 0を設定するとすべての設定がオフとなり、エラーが発生しても一時停止およびエラーメッセージを表示しません。 ビット0: 選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合に一時停止してエラーメッセージを表示する。(オン:1/オフ:0) ビット1: 印刷中にステープルの針がなくなった場合に一時停止してエラーメッセージを表示する。(オン:2/オフ:0) ビット2: 印刷の途中でボックスがいっぱいになった場合に一時停止してエラーメッセージを表示する。(オン:4/オフ:0) ビット3: 印刷中に後処理(ステープル/仕分け)できる枚数を超えた場合に一時停止してエラーメッセージを表示する。(オン:8/オフ:0) ビット4: 選択した用紙サイズまたは用紙種類で後処理(ステープル/パンチ/仕分け)できない場合に一時停止してエラーメッセージを表示する。(オン:16/オフ:0) ビット5: カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しない場合に一時停止してエラーメッセージを表示する。(オン:32/オフ:0) ビット6: 手差しトレイに設定している用紙サイズと実際に給紙した用紙サイズが異なっていることを検知した場合に一時停止してエラーメッセージを表示する。(オン:64/オフ:0)	64
強制両面印刷設定(用紙種類がプレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドのみ)	Y4	0: オフ 1: オン	0
PDF ダイレクト動作	Y5	0: 用紙に合わせて拡大縮小 1: PDF内の紙サイズ指定で用紙選択 2: PDF内の紙サイズ指定によって、A3、A4、Letterから選択し、用紙に合わせて拡大縮小 3: PDF内の紙サイズ指定によって、A3、A4、Letterから印刷 8: 等倍で印刷 9: PDF内の紙サイズ指定によって、Ledger、Letter、Legal、A4から選択 10: PDF内の紙サイズ指定によって、Ledger、Letter、Legal、A4から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 13～99: 初期値(0)と同じ動作	0
e-MPS エラー制御	Y6	0: エラー制御をしない 1: エラーレポートを出力する 2: エラーを表示する 3: エラーを表示、およびエラーレポートを出力する	3

*1 エミュレーションによっては無視されます。

区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
0100											0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z		0600	A	B	Г	Δ	E	Z	H	Θ	I		
0110	!	”	°	’	”	^	—	—	—	—	0360					a	b	c	d	e		0610	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	Ρ	Σ	T	
0120	ゞ	ゞ	ゞ	〃	全	々	メ	○	—	—	0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	0620	Υ	Φ	X	Ψ	Ω						
0130	-	/	\	~	〃		…	…	”		0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η	
0140	“	”	(	)	[	]	{	}			0390	z										0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	
0150	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	0400	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お		0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω				
0160	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤	0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ		0660										
0170	≥	∞	∴	♂	♀	°	’	”	℃	¥	0420	ご	さ	ざ	し	じ	ず	ず	せ	ぜ	そ		0670										
0180	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	0430	ぞ	た	だ	ち	ち	っ	つ	づ	て	で		0680										
0190	★	○	●	◎	◇						0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ば		0690										
0200	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒		0450	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ		0700	A	B	B	Γ	D	E	Ё	Ж	З	
0210	→	←	↑	↓	=						0460	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ		0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
0220										∈	∋	⊆	⊃									0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	
0230	⊂	⊃	∪	∩							0480	ぬ	ゑ	を	ん								0730	Ь	Э	Ю	Я						
0240		∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃			0490												0740										а
0250											0500	ア	アイ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ				0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
0260	∠	⊥	∩	∂	∇	≡	≠	≪	≫	√	0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ		0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
0270	∞	∞	∴	∫	∫						0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ		0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0280		Å	%	#	♭	♮	♯	♯	♯	♯	0530	ゾ	タ	ダ	チ	チ	ツ	ツ	ツ	テ	デ		0780	ю	я								
0290											0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	バ		0790										
0300											0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ベ	ホ		0800										
0310										0 1 2 3	0560	ボ	ボ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ		0810										
0320	4	5	6	7	8	9					0570	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ		0820											
0330										A B C D E F G	0580	ヰ	エ	ラ	ン	ヴ	カ	ケ				0830											
0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	0590											0840											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ア	1600	垂	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	力	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	キ	2100	機	帰	穀	気	汽	畿	祈	季	稀			
	1610	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦		1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨		2110	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎		
	1620	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢		1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕		2120	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺		
	1630	鮎	或	栗	裕	安	庵	按	暗	案		1880	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪	悔		2130	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠		
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困	夷		委	1890	恢	懷	戒	拐	改							2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	
イ	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	1900	魁	晦	械	海	灰	界	皆	給	芥	キ	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸			
	1660	移	維	緯	胃	委	衣	謂	違	遺	医	1910	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害		崖	2160	宮	弓	急救	朽	求	汲	泣	灸	球			
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸		湍	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居		
	1680	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	1930	蟬	蛙	垣	柿	蚯	鉤	劃	嚇	各		廓	2180	巨	拒	扞	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁		
	1690	引	飲	淫	胤	蔭						1940	拏	攪	格	核	殼	獲	確	穫	覺		角	2190	禦	魚	亨	享	京							
ウ	1700	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	力	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額	キ	2200	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡			
	1710	迂	雨	卯	鵲	窺	丑	碓	臼	渦		嘘	1960	顎	掛	笠	榎	樞	梟	漏	割	喝		2210	卿	叫	喬	境	峽	強	疆	怯	恐	恭		
	1720	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厖	浦	瓜	閨		噂	1970	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	旦		鯉	2220	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	
	1730	云	運	雲	荏	餌	叡	宮	嬰	影		映	1980	叶	花	樺	梲	株	兜	竈	蒲	釜		鎌	2230	蕎	鄉	鏡	響	響	驚	仰	凝	堯	曉	
	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎		英	1990	啣	鴨	栢	茅	萱							2240	業	局	曲	極	玉	桐	杆	僅	勤	均	
エ	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	2000	粥	刈	苴	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	キ	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊			
	1760	閱	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	2010	勘	勘	巷	喚	堪	姦	完	官	寬		干	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九		
	1770	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	緣	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓		棺	2270	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駟		
	1780	艷	苑	園	遠	鉛	鴛	塹	於	汚	甥	2030	款	歛	汗	漢	潤	淮	環	甘	監		看	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅		
	1790	凹	央	奧	往	応						2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	艦	莞	覲		ク	2290	串	櫛	釧	屑	屈							
オ	1800	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	力	2050	諫	貫	還	鑑	閑	閑	閑	陷	韓	館		ク	2300	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	桑		
	1810	鷗	黄	岡	冲	荻	億	屋	憶	臆		桶	2060	舘	丸	含	岸	崖	玩	癌	眼	岩			甌	2310	栗	繰	桑	鋏	勲	君	薰	訓	群	軍
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下		化	2070	贗	雁	頑	頑	顔	企	伎	危	喜			器	2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	1830	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏		嫁	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮			机	ケ	2330	珪	型	契	形	徑	患	慶	慧	憩
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火		珂	2090	旗	既	期	棋	棄							2340		携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2350	繫	野	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	コ	2600	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	サ	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	
	2360	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	朽		2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魂		些	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件		2620	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	瑳		砂	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	殊	種
	2380	俟	倦	健	兼	券	剣	喧	圈	堅	嫌		2630	詐	鎖	娑	坐	挫	債	催	再	最		2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	
	2390	建	憲	懸	拳	捲							2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲		濟	2890	綬	需	囚	収	周					
	2400		揆	樞	牽	犬	獻	研	硯	絹	梟		2650	災	采	犀	碎	皆	祭	齋	細	菜		裁	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	驗		2660	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂		阪	2910	終	繡	習	臭	舟	菟	衆	襲	讎	蹴
2420	齷	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	サ	2670	堺	柵	肴	咲	崎	崎	綺	鷲	作	削	2920	輯	週	茜	酬	集	醜	什	住	充	十		
2430	絃	絃	言	諺	限	乎	個	古	呼	固		2680	咋	搾	昨	朔	柵	柵	策	索	錯	桜	2930	從	戎	柔	汁	渋	獸	縱	重	銃	叔		
コ	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖		狐	2690	鮭	笹	匙	冊	刷					2940	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術		
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鋤		雇	2700		察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛		後	2710	鯖	捌	鑄	絞	皿	晒	三	傘	參	山	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	
	2470	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護		酬	2720	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	シ	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公		功	2730	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	2980	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	
	2490	効	勾	厚	口	向						2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	2990	恕	鋤	除	傷	償							
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	3000	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎			
2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	シ	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	3010	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠		
2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構		2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶		
2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠		2780	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦		
2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏		2790	字	寺	慈	持	時						3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧		
2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉦		2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	3050	紹	肖	莖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔		
2560	砒	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫		2810	耳	自	蒔	辞	夕	鹿	式	識	鳴	竺	3060	詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上		
2570	号	合	壕	拷	豪	豪	轟	趨	克	刻		2820	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	3070	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	壤	常		
2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甌	2830	湿	漆	疾	質	実	部	篠	俣	柴	芝	3080	情	擾	条	杖	淨	状	豊	穰	蒸	讓			
2590	忽	惚	骨	迫	込						2840	屢	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	3090	釅	錠	囁	埴	飾								

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3100	拭	植	殖	燭	織	職	色	舐	食	ソ	3350	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	叵	惣	想	チ	3600	帖	帳	庁	弔	張	彫	微	懲	挑		
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢		審	3360	搜	掃	挿	搔	早	曹	巢	槍	槽		3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深		申	3370	漕	燥	争	瘦	相	窓	糴	綜	綜		3620	調	謀	超	跳	鋤	長	頂	烏	勅	抄	
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	苾	薪	親		診	3380	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭		鎗	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵		壬	3390	霜	騷	像	增	憎							3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	楫	楫	佃	
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韌	箇		諷	3400		臧	藏	贈	造	促	側	則	即		息	3650	漬	柘	辻	薦	綴	鍔	椿	漬	坪	壺
ス	3160	須	酢	囟	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統	3660	孀	紬	爪	吊	釣	錫	亭	低	停	偵		
	3170	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	鍾	随	3420	卒	袖	其	掬	存	孫	尊	損	村	遜	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟		
	3180	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	3430	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締		
	3190	桴	菅	頗	雀	裾						3440	柁	舵	柁	舵	駢	駢	体	堆	对	耐	3690	艇	訂	諦	諦	通							
セ	3200		澄	摺	寸	世	瀨	畝	是	凄	制	タ	3450	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	テ	3700	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲		3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代		3710	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	撒	轍	迭
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製		3470	台	大	第	醒	題	鷹	滝	瀧	卓	啄		3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齊	稅		3480	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁		3730	軫	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積		3490	諾	茸	夙	蛸	只						ト	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙		3500		叩	但	達	辰	奪	脱	翼	豎	迓		3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3260	接	損	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌		3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	单	嘆	坦		3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3270	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰		3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筆		3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	束	桃	棣	棟
	3280	扇	撰	栓	枸	泉	浅	洗	染	潜	煎		3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断	3780	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	痔	等	
	3290	煽	旋	穿	箭	線							3540	暖	檀	段	男	謔	値	知	地	弛	恥	3790	答	筒	糖	統	到						
	3300		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	チ	3550	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築	3800	董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透		
	3310	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然		3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	3810	鎧	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導	
	3320	全	禪	繕	膳	糲	嚼	塑	岨	措	曾		3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	3820	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠	
	3330	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素		3580	註	耐	鑄	駐	樗	猪	豬	芋	著	貯	3830	鴛	匿	得	德	洩	特	督	禿	篤	毒	
3340	組	蘇	訴	阻	遯	鼠	僧	創	双	叢		3590	丁	兆	凋	喋	龍						3840	独	読	柝	橡	凸	突	椀	屈	茂	芭	莖	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ト	3850	寅	西	滄	嶺	屯	惇	敦	沌	豚	遁	ヒ	4100	鼻	柰	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	ホ	4350	牧	睦	穆	釦	勃	沒	殆	堀	幌	奔	
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	夙	薙		4110	肘	弼	必	畢	畢	逡	桀	媛	紐		4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	檣	馴	繩	躰	南	楠	マ	4120	百	謬	彪	標	水	漂	瓢	票	表	マ	4370	昧	枚	每	哩	模	幕	膜	枕	鮪	枉	
	3880	軟	難	汝	二	尼	弌	迓	勾	販	肉		4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋸		4380	鱒	枳	亦	侯	又	抹	末	沫	迄	俚	
二	3890	虹	廿	日	乳	入							4140	蛭	鱈	品	彬	斌	浜	貧	賓	頻		4390	繭	磨	万	慢	滿						
又	3900	如	尿	韭	任	妊	忍	認	濡	欄			4150	敏	瓶	不	付	埒	夫	婦	富	富	布		4400	漫	蔓	味	未	魅	已	箕	岬	密	
ネ	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	フ	4160	府	怖	扶	敷	斂	普	浮	父	符	腐	ミ	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	務
	3920	粘	乃	迺	之	芷	囊	惱	濃	納	能		4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫		4420	夢	無	牟	矛	霧	鷓	掠	婿	娘	冥
ノ	3930	腦	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	霸	杷	フ	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落	メ	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
ハ	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	靡		4190	伏	副	復	幅	服					4440		免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模	茂	妄	
	3950	排	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	4200	福	腹	複	覆	滂	弘	沸	仏		4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默			
	3960	倍	培	媒	梅	煤	煤	猥	買	売	賠	4210	物	鮪	分	吻	墳	墳	扮	焚	奮	4460	目	李	勿	餅	尤	戾	刎	貫	問	悶			
	3970	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	摒	4470	紋	門	勾	也	治	夜	爺	耶	野	弥		
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	4480	矢	厄	役	約	藥	訳	躍	靖	柳	數		
	3990	爆	縛	莫	駁	麥						4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	變	4490	鑊	愉	愈	油	癒							
	4000	函	箱	裕	箸	肇	筈	櫨	幡	肌		4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	4500	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽			
	4010	畑	畠	八	鉢	洩	癸	醜	髮	伐	罰	4260	鞭	保	鋪	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由		
	4020	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	4270	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予		
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	4530	余	与	譽	輿	預	備	幼	妖	容	庸		
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩	4290	抱	捧	放	方	朋					4540	揚	搖	擁	躍	楊	樣	洋	溶	熔	用			
4050	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蛭	匪	4300	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	4550	窠	羊	耀	葉	蓉	要	詔	踊	遙	陽				
ヒ	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	披	斐	ホ	4310	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅		
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥		被	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	4570	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪	
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	篋	備	尾		微	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	
	4090	枇	毘	毘	眉	美							4340	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	リ	4590	履	李	梨	理	璃					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
リ	4600	痢裏裡里離陸律率立																																		
	4610	律掠略劉流溜琉留硫粒																																		
	4620	隆竜龍侶慮旅虜了亮僚																																		
	4630	両凌寮料梁涼獵療瞭稜																																		
	4640	糧良諒遼量陵領力緑倫																																		
	4650	厘林淋隣琳臨輪隣隣隣																																		
ル	4660	瑠累涙累類令伶例冷励																																		
レ	4670	嶺伶玲礼苓鈴隸零靈麗																																		
	4680	齡曆歴列劣烈裂廉恋隣																																		
	4690	漣煉簾練聯																																		
	4700	蓮連鍊呂魯櫓炉賂路																																		
ロ	4710	露勞婁廊弄朗樓榔浪漏																																		
	4720	牢狼籠老蠶蠟郎六麓祿																																		
	4730	肋録論倭和話歪賄脇惑																																		
ワ	4740	杵鷺互巨鰐詫藁蕨椀湾																																		
	4750	碗腕																																		
	4760																																			
	4770																																			
	4780																																			
	4790																																			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4800	弌	丐	丕	个	卬	丿	并	ノ	义		5050	厰	厶	參	纂	雙	叟	曼	變	叮	叨		5300	奸	妁	妝	佞	佞	妣	妣	姆	姨		
4810	乖	乘	亂	丿	豫	爭	舒	式	于	亞	5060	叭	叭	吁	吡	呀	听	吭	吼	吮	呐		5310	姜	妍	姘	姚	娥	娟	娑	娜	娉	甥	
4820	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	5070	吩	吝	呖	咏	呵	咎	咍	呱	呷	皆		5320	姍	姍	婉	姍	娶	婢	婪	媚	媼	媼	
4830	仇	仗	仞	仞	仞	仞	价	伉	佚	估	佛	5080	咒	呻	咀	呶	咄	咄	哇	号	咸		5330	嫵	嫵	媽	媽	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	
4840	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佰	5090	啞	咬	哄	哈	咨						5340	嬌	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	
4850	侑	佻	來	侑	儂	佻	佻	佻	佻	佻	俛	5100	咫	晒	咤	咤	咤	咤	咤	咤	唏		5350	嬌	子	孕	孚	孚	孚	孩	執	孳	孳	
4860	侑	徇	徇	徇	徇	徇	徇	徇	徇	徇	倅	5110	唔	哽	喙	哭	哺	哢	哢	哢	啞		5360	學	孺	一	它	宜	宸	寇	寇	寇		
4870	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倆	5120	售	啜	啖	啖	啖	啖	啖	啖	喀		5370	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	
4880	偃	假	會	偕	修	偈	做	偕	偕	偕	偷	5130	咯	喊	唱	啾	啾	啾	啾	啾	喃		5380	寶	尅	將	專	對	尔	尠	尠	尠	尸	
4890	傀	倣	傳	偃	倣							5140	噓	喇	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓		5390	尹	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	
4900	僉	僉	傳	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	5150	嘔	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉		5400	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	
4910	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	5160	嘴	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶		5410	岑	岔	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	
4920	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	5170	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤		5420	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	
4930	兢	兢	兩	僉	今	冀	門	同	册	冉		5180	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤		5430	崗	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	
4940	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏		5190	囧	囧	囧	囧	囧	囧	囧	囧	囧		5440	嵌	岳	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	
4950	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏		5200	囧	囧	囧	囧	囧	囧	囧	囧	囧		5450	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	
4960	几	處	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙		5210	坏	址	坎	圪	址	坏	坩	垂	垚		5460	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	
4970	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎		5220	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉		5470	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	
4980	劊	劊	剪	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊		5230	埔	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪		5480	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	
4990	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊		5240	堡	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢		5490	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	
5000	辦	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊		5250	墟	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢		5500	廖	廣	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	
5010	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦		5260	墟	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢		5510	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	
5020	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍		5270	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻		5520	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	
5030	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍		5280	天	天	天	天	天	天	天	天	天		5530	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	
5040	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄		5290	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢		5540	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
6300		漾	漓	涵	澆	潺	漚	澁	澀	潯		6550		疝	疵	疽	疔	疼	庖	痍	痊	痒	瘁		6800		筐	筭	筍	笋	筵	筵	筵	筵	筵	筵
6310		潛	潛	潭	澈	潼	潘	澎	湑	濂	潦	6560		痣	痞	痂	痲	痲	痲	痲	痲	痲		6810		篲	作	筱	箴	筵	籐	籐	籐	籐	籐	籐
6320		澳	幹	澡	澤	澹	漬	濇	濟	濕	濬	6570		瘋	瘍	癰	癰	瘡	瘡	癰	癰	癰		6820		筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍
6330		澗	淨	濱	濮	濛	瀉	潘	濺	瀑	瀆	6580		癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰		6830		箴	箴	箴	箴	箴	箴	箴	箴	箴	箴	箴
6340		瀏	瀘	瀘	瀚	渚	瀝	瀘	瀘	瀘	瀾	6590		癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰		6840		族	箴	筆	蓬	築	簣	簣	簣	簣	簣	簣
6350		激	灑	灣	炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳	6600		癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰		6850		簣	簣	簣	簣	簣	簣	簣	簣	簣	簣	簣
6360		炮	烟	休	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	6610		皖	皓	皙	皚	皚	皚	皚	皚	皚		6860		籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
6370		熙	熙	煦	榮	煌	煖	煥	熏	燻	熄	6620		盍	盍	盒	盞	盞	盞	盞	盞	盞		6870		杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓
6380		煩	熨	熬	爛	烹	熾	燒	燉	燔	燎	6630		眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈		6880		棕	棕	棕	棕	棕	棕	棕	棕	棕	棕	棕
6390		煥	燬	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄		6640		眸	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇		6890		糲	糲	糲	糲	糲	糲	糲	糲	糲	糲	糲
6400		燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄		6650		瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞		6900		紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
6410		爲	爻	爻	爻	爻	爻	爻	爻	爻		6660		瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞		6910		紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
6420		犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂		6670		砌	砌	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪		6920		經	綉	條	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬	綬
6430		狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎		6680		砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑		6930		緇	緇	綫	總	綢	綢	絲	綢	絲	綢	
6440		猗	猗	猜	猜	猜	猜	猜	猜	猜		6690		碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾		6940		緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6450		獎	獾	默	獾	獾	獨	獾	獸	獸	獻	6700		磧	磚	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧		6950		絆	絆	絆	絆	絆	絆	絆	絆	絆	絆	絆
6460		獺	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳		6710		礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪		6960		縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵
6470		琅	瑯	琥	珥	珥	珥	珥	珥	珥		6720		禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊		6970		緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6480		瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞	6730		秕	秧	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬		6980		緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6490		璧	瓊	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏		6740		稟	稟	稱	稻	稟	稟	稟	稟	稟		6990		緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6500		瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏		6750		穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢		7000		罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6510		瓷	甄	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃		6760		窖	窩	竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈		7010		罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6520		甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃		6770		竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈		7020		罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6530		甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃		6780		竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈		7030		罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6540		甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃		6790		竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈		7040		罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7050	耙	耜	耨	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聒	7300	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	7550	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7060	聚	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	7310	藁	藁	藁	藁	藁	藁	藁	藁	藁	藁	7560	詵	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫
7070	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒	7320	藉	薺	薺	薺	薺	薺	薺	薺	薺	薺	7570	編	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛
7080	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	7330	蘊	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	7580	謳	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫
7090	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	7340	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	7590	證	證	證	證	證	證	證	證	證	證
7100	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	7350	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7600	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤
7110	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	7360	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7610	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
7120	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	7370	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	7620	豐	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
7130	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	7380	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	7630	狸	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍
7140	攣	攣	攣	攣	攣	攣	攣	攣	攣	攣	7390	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	7640	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳
7150	舍	舐	鋪	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	7400	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	7650	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄
7160	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	7410	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	7660	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄
7170	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	7420	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	7670	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾
7180	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	7430	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	7680	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
7190	苞	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	7440	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	7690	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂
7200	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	7450	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	7700	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7210	伏	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	7460	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	7710	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7220	莫	莎	莎	莎	莎	莎	莎	莎	莎	莎	7470	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	7720	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7230	莨	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	7480	袪	袪	袪	袪	袪	袪	袪	袪	袪	袪	7730	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲
7240	蒂	莨	莨	莨	莨	莨	莨	莨	莨	莨	7490	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	7740	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
7250	林	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	7500	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	7750	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
7260	蒂	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	7510	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	7760	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
7270	蒿	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	7520	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	7770	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭
7280	芳	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	7530	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	7780	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅
7290	蓼	棘	棘	棘	棘	棘	棘	棘	棘	棘	7540	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	7790	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	8050	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	8300	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7810	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	8060	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	8310	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7820	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	8070	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	8320	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7830	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	8080	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	8330	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7840	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	8090	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	8340	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7850	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	8100	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	8350	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7860	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	8110	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	8360	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7870	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	8120	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	8370	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7880	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	8130	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	8380	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7890	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	8140	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	8390	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7900	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	8150	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	8400	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯
7910	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	8160	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅											
7920	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8170	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢											
7930	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8180	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體											
7940	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8190	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻											
7950	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8200	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻											
7960	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	8210	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤											
7970	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	8220	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
7980	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	8230	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
7990	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	8240	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8000	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	8250	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8010	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	8260	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8020	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	8270	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8030	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	8280	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟											
8040	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	8290	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠											

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。本製品の保守サービスにつきましては、販売担当者または購入元にお問い合わせください。

保守契約についてのお問い合わせ

保守サービスとしてコピーチャージ契約を結ばれたお客様には、購入元または弊社より、保守契約書を送付します。

「保守契約書」には、お買い上げになった製品の保守サービスの内容などが記載されていますので、よくお読みになった後、大切に保管してください。「保守契約書」が発行されていない場合は、販売担当者または購入元にご連絡ください。



参考

アフターサービスについてご不明な点は、購入元または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の保有期間は、販売終了後5年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品(トナーコンテナを含む)は、素材ごとに分解し、再利用可能な部品は、再利用(リユース)し、不可能なものは、マテリアルリサイクル等、環境に配慮した適正処理を行っています。

初期化について

お客様の大切な情報の漏洩防止のため、機械を廃棄または、入れ替える際には使用済みの機械について、下記の項目のデータを消去することをお勧めします。

削除する対象

- ネットワーク設定
- ボックス内データ

➡ [セキュリティデータの完全消去 \(8-47ページ\)](#)

トナーコンテナの廃棄

京セラドキュメントソリューションズでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。弊社ホームページ トナーコンテナ無償回収サイトよりお申込みください。

http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/support/receive_recycle/

用語集

Active Directory

Active Directory(アクティブディレクトリー)とはマイクロソフトによって開発されたディレクトリー・サービス・システムであり、Windows 2000 Serverから導入された、ユーザーおよびパソコン管理を実行するコンポーネント群の総称です。

AppleTalk

Macintoshとプリンターでデータを転送するプロトコルです。Macintoshを複数台接続したり、プリンターを共有する際に使われます。

Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワークで、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用に予約されている169.254.0.0 ~ 169.254.255.255の範囲です。

Bonjour

Bonjourは、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IPネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjourは、業界標準のIPプロトコルが使用されているので、IPアドレスを入力したりDNSサーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjourは、UDPポート5353上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjourが正しく動作するようにUDPポート5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjourパケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjourの動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjourが例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。BonjourをWindows XP Service Pack 2以降にインストールする場合、WindowsファイアウォールはBonjourによって適切に設定されます。

bpp (bits per pixel)

色深度を表す単位です。1ピクセル当たりのビット数を表します。4 bppの場合は16階調になります。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

DHCP (IPv6)

DHCP (IPv6) は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCP (IPv6) を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1インチ (25.4 mm) 当たりのドット数を表します。

Enhanced WSD

弊社が独自に提供するWebサービスです。

FTP (File Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POPと並んで頻繁に利用されています。

IPアドレス

ネットワークに接続されたパソコンや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

IPP

IPP (Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル) は、インターネット網に代表されるTCP/IPネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコンの間で印刷データなどのやり取りを行うための規格です。

Webページの閲覧に使われるHTTPを拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

KPDL (Kyocera Page Description Language)

Adobe PostScript Level 3互換の京セラのページ記述言語です。

KYOCERA Net Direct Printing

Adobe Acrobat/Adobe Readerを起動せずに、PDFファイルを印刷できるユーティリティです。付属のDVD-ROMに収録されています。

KYOCERA Net Viewer

ネットワーク上のプリンターの状態を確認できるネットワークマネジメントツールです。付属のDVD-ROMに収録されています。

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワークではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社のWindowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueTypeフォントをプリンターで扱える機能などがあります。本機はPCL6エミュレーションモードを搭載しています。

POP3 (Post Office Protocol 3)

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

PostScript

Adobe Systems社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷ができます。現在Level 1と呼ばれている最初のバージョンは1985年に登場しました。1990年にはカラー印刷や日本語などの2バイト言語に対応したLevel 2が、1996年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF形式への対応などを追加したLevel 3が発表されています。

PPM (prints per minute)

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

RA (Stateless)

IPv6ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6で知らせます。この情報がRouter Advertisement (RA) です。

また、ICMPv6はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6標準です。

RAMディスク

本機のメモリーの一部を利用した仮想ディスクで、本機の総メモリーの中から、任意のメモリーサイズをRAMディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷時間の短縮）などの機能が使えるようになります。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

パソコン同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TCP/IP (IPv6)

TCP/IP (IPv6) は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP (IPv4) をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

USB (Universal Serial Bus) 2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠したUSBインターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

WPS (Wi-Fi Protected Setup)

WPSは、無線LAN機器同士の接続や暗号化設定を簡単に行えるようにするため、Wi-Fiアライアンスによって策定された規格です。WPSに対応した機器同士は、プッシュボタンを押したり、パスワードを入力したりするだけで無線LANアクセスポイントに接続できます。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは0.25ポイント単位で最大999.75ポイントまで設定できます。

エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6、KPDL3 (PostScript3互換) のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

グレースケール

パソコン上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表し、1ビットなら白と黒のみで中間色がない状態、8ビットなら(白と黒を含めて)256階調、16ビットなら65536階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス (Prefix) とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IPアドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、「133.201.2.0/24」のように“/” (スラッシュ) の後にプレフィックス長 (この場合は「24」) を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長 (つまりネットワーク部) が24ビットの「133.201.2.0」というIPアドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部 (本来のホスト・アドレス部の一部分) をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。

自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機します。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズ of 用紙を自動的に選択する機能です。

ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ステータスページ

搭載メモリー容量、印刷の総枚数、給紙元の選択など本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

手差しトレイ

本体前側にある給紙トレイです。はがき、OHPフィルム、ラベル用紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリスクライブ(PRESCRIBE) コマンド

京セラドキュメントソリューションズプリンターに搭載されている独自のプリンター制御言語で、プリンターに必要な様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングを容易にします。

プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属のDVDに収録されています。本機に接続したパソコンにインストールしてください。

ヘルプ

本機のタッチパネルには[?] (ヘルプ)があります。操作方法が分からなかったり、機能の内容を知りたいときや、うまく動作しないで困ったときなど、[?]を選択すると、タッチパネルに詳しい内容が表示されます。

ユーザーボックス

ユーザーごとの印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンターで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

索引

数字

1,000枚フィニッシャー 11-4

1ページ文書の仕分け 8-18

4,000枚フィニッシャー 11-4

A

Active Directory 11-50

AirPrint 4-16

Apacheライセンス (Version 2.0) 1-8

AppleTalk 11-50

Auto-IP 11-50

設定 8-33, 8-35

B

Bonjour 11-50

設定 8-37

bpp (bits per pixel) 11-50

C

Command Center RX 2-50

D

DHCP 11-50

設定 8-33, 8-35

DHCP (IPv6) 11-50

設定 8-34, 8-36

dpi 11-50

E

Enhanced WSD 11-51

プロトコル設定 8-39

Enhanced WSD over SSL

プロトコル設定 8-39

F

FTP 11-51

FTPサーバー (受信)

プロトコル設定 8-38

G

Google Cloud Print 4-16

GPL/LGPL 1-6

H

HTTP

プロトコル設定 8-40

HTTPS

プロトコル設定 8-40

I

ICカード認証キット 11-5

IPP 11-51

プロトコル設定 8-39

IPP over SSL

プロトコル設定 8-40

IPSec 8-37

IPアドレス 11-51

設定 8-33, 8-35

J

JPEG/TIFF印刷方法 6-29

初期値 8-15

K

Knopflerfish ライセンス 1-8

KPDL 11-51

KYOCERA Net Direct Printing 11-51

KYOCERA Net Viewer 11-51

L

LDAP

プロトコル設定 8-40

LPD

プロトコル設定 8-38

M

Monotype Imagingライセンス契約 1-7

Mopria 4-16

N

NetBEUI 11-51

プロトコル設定 8-38

NetWare

設定 8-42

NFC

印刷 4-17

設定 2-33, 8-48

O

OHPフィルム 11-22

OpenSSLライセンス 1-6

P

PCL 11-51

Ping 8-42

PINコード認証 9-18

POP3 11-51

POP3 (メール受信)

プロトコル設定 8-37

PostScript 11-52

PPM 11-52

PRESCRIBE 11-54

R

RA (Stateless) 11-52

設定 8-34, 8-36

RAMディスク 11-52

Raw

プロトコル設定 8-38

S

- SMTP 11-52
- SMTP(メール送信)
 - プロトコル設定 8-37
- SNMPv1/v2c
 - プロトコル設定 8-39
- SNMPv3
 - プロトコル設定 8-39
- SSDの初期化 8-46
- SSL
 - セキュリティ設定 8-41

T

- TCP/IP 11-52
 - 設定 8-33, 8-35
- TCP/IP (IPv4)
 - 設定 2-25, 8-33, 8-35
- TCP/IP (IPv6) 11-52
 - 設定 8-34, 8-36
- Thin Print over SSL
 - プロトコル設定 8-38
- ThinPrint
 - プロトコル設定 8-38
- ThinPrint Option 11-5

U

- USB 11-52
- USBインターフェイス 2-6
- USBインターフェイスコネクター 2-4
- USBケーブル 2-6
 - 接続 2-8
- USBポート 2-4
- USBメモリー
 - 印刷 5-25
 - 情報確認 5-26
 - 取り外しかた 5-26
- USBメモリーからの印刷 5-25
- USBメモリースロット 2-2

W

- Wi-Fi Direct
 - 印刷 4-17
 - 設定 2-31, 8-30
- WPS (Wi-Fi Protected Setup) 11-52
- WSD印刷
 - プロトコル設定 8-39

X

- XPS印刷サイズ調整 6-29
 - 初期値 8-15

あ

- アウトラインフォント 11-52
- 厚紙 11-24
- アプリケーション 5-9, 8-53
- 暗号化PDFパスワード 6-28

い

- 一般的なトラブル 10-15
 - 画像のトラブル 10-18
 - 機械動作のトラブル 10-15
- イメージ合成 6-21
- 印刷後削除 6-28
- 印刷ジョブのキャンセル 5-14
- 印刷する
 - 定形サイズ用紙 4-4
 - バナー用紙 4-9
 - 不定形サイズ用紙 4-6
- 印刷設定 4-2
- 印刷の中止 4-15
- 印刷用紙 1-11
- インストール
 - Macintosh 2-46
 - Windows 2-39
 - アンインストール 2-45
 - ソフトウェア 2-38
- インターネット 8-53
 - プロキシ 8-41
- インターネットブラウザ 5-27
- インターフェイスブロック設定 8-45

え

- エコプリント 6-13, 11-53
 - 初期値 8-14
 - プリンター 8-22
- 絵表示 1-2
- エミュレーション 11-53
 - 選択 8-22
- エミュレーションアップグレードキット 11-5
- エラー後自動継続 8-49
- エラー後自動継続時間 8-50
- エラー処理設定 8-12
 - 後処理エラー 8-12
 - 後処理枚数の超過 8-12
 - 給紙時のサイズエラー 8-13
 - ステープル時の紙づまりエラー 8-13
 - ステープル針なし 8-12
 - パンチくず満杯 8-12
 - 用紙ミスマッチエラー 8-12
 - 両面エラー 8-12
- エラーメッセージ一覧 10-22
- エンターキー 2-20

お

- オートスリープ 2-35, 11-53
- オートパネルリセット 8-49

オプション

- 1,000枚フィニッシャー 11-4
- 4,000枚フィニッシャー 11-4
- ICカード認証キット 11-5
- ThinPrint Option 11-5
- エミュレーションアップグレードキット 11-5
- オプション構成 11-2
- サイドフィーダー(3,500枚×1) 11-4
- ジョブセパレーター 11-5
- セキュリティキット 11-5
- 大容量フィーダー(1,650枚×2) 11-4
- テンキーボード 11-5
- 中折りユニット 11-4
- ネットワークインターフェイスキット 11-5
- バナートレイ 11-4
- パンチユニット 11-5
- ペーパーフィーダー(550枚×2) 11-4
- メールボックス 11-4
- ワイヤレスインターフェイスキット 11-5
- オプションインターフェイススロット 2-4
- オプション機能 8-47
- オプションネットワーク
 - 基本設定 8-42
 - ワイヤレスネットワーク 8-43
- オプションのアプリケーションについて 11-6
- オリジナルSSLeayライセンス 1-6

か

- 解像度 8-24, 11-28
- カウンターの確認 2-48
- 各部の名称 2-2
- 加工紙 11-25
- カセット
 - はがき、封筒のセット 3-10
 - 用紙サイズと用紙種類 8-6
 - 用紙のセット 3-4, 3-7
- カセット/手差しトレイ設定 8-6
- カセット1 2-2
- カセット2 2-2
- カセット3 2-5
- カセット4 2-5
- カセット5 2-5
- 紙折り 6-7

紙づまりが発生したら 10-33

- 1,000枚フィニッシャー 10-59
- 4,000枚フィニッシャー(トレイA) 10-63
- 4,000枚フィニッシャー(トレイB) 10-67
- 4,000枚フィニッシャー(内部) 10-62
- カセット1 10-34
- カセット2 10-37
- カセット3、4(550枚×2) 10-40
- カセット3(1,650枚×2) 10-42
- カセット4(1,650枚×2) 10-44
- カセット5(サイドフィーダー) 10-47
- 紙づまり位置表示 10-33
- 手差しトレイ 10-49
- 中折りトレイ 10-75
- 中折りユニット 10-70
- 中継搬送ユニット 10-57
- 右カバー1 10-50
- 右カバー2(1,650枚×2) 10-55
- 右カバー2(550枚×2) 10-54
- メールボックス 10-58

- カラー紙 11-24
- 簡単設定登録 8-21
- 簡単セットアップ 2-36
- 簡単ログイン 2-23
- 簡単ログイン設定
 - 簡単ログイン 9-15
- 管理 9-1

き

- キーボード入力方式 8-15
- 機器情報の表示 2-16
- 機能キー登録 2-12, 8-14
- 機能キーの表示 2-17
- キャリブレーション 8-53, 10-31
- キャリブレーションきりふれーしょん] 10-31
- 給紙指定動作 8-23
- 共通設定 8-8
 - 1ページ文書の仕分け 8-18
 - エラー処理設定 8-12
 - キーボード入力方式 8-15
 - 機能キー登録 8-14
 - 機能初期値 8-14
 - 揭示板設定 8-20
 - 言語選択 8-8
 - システムスタンプ 8-15
 - 状況/履歴の表示 8-19
 - 状況確認画面の設定 8-19
 - 初期画面 8-8
 - ジョブごとの仕分け 8-17
 - テンキーボード設定 8-20
 - 電源オフ時の確認 8-21
 - トナー残量少の通知 8-18
 - 入力長さ単位 8-11
 - 廃棄トナーボックス満杯通知 8-18
 - 排紙先 8-13
 - バナー印刷前の確認 8-19
 - ブザー 8-8
 - マニュアルステープル 8-17
 - 用紙設定 8-9

く

区点コード表 11-42
グループ認可設定 9-9
 グループ認可 9-9
 グループリスト 9-9
グレースケール 11-53

け

ケーブル 2-6
掲示板設定 8-20
ゲスト認可設定 9-11
 ゲスト認可 9-11
 ゲストプロパティ 9-11
言語選択 8-8
現像リフレッシュ 8-52, 10-32

こ

国際エネルギースタープログラム 1-11
こんな表示が出たら 10-22

さ

再生紙 11-25
サイドフィーダー(3,500枚×1) 11-4
 用紙のセット 3-16
サブネットマスク 11-53
 設定 8-33, 8-35

し

時差 8-49
システム/ネットワーク 8-30
 Bluetooth設定 8-47
 NFC 8-48
 インターフェイスブロック設定 8-45
 オプション機能 8-47
 オプションネットワーク 8-42
 セキュリティレベル 8-45
 データセキュリティ 8-46
 デバイスの再起動 8-48
 ネットワーク設定 8-30
 優先ネットワーク(クライアント) 8-44
システムスタンプ 8-15
システムの初期化 8-52
システムメニュー 8-2
 アプリケーション 8-53
 インターネット 8-53
 カウンター 8-6
 カセット/手差しトレイ設定 8-6
 簡単セットアップウィザード 2-36
 共通設定 8-8
 システム/ネットワーク 8-30
 操作方法 8-2
 調整/メンテナンス 8-52
 日付/タイマー/節電 8-49
 プリンター 8-22
 文書ボックス/外部メモリー 8-21
 ホーム 8-21
 ユーザー/部門管理 8-48
 ユーザー情報 8-49, 9-5
 レポート 8-25

自動改ページ待ち時間 11-53
自動用紙選択機能 11-53
自動両面機能について 1-11
週間予約設定 2-35, 8-51
縮小/拡大 6-14
 初期値 8-14
主電源スイッチ 2-2
手動設定(IPv6) 8-34, 8-36
ショートカット 5-12
 削除 5-13
 登録 5-12
 編集 5-13
仕様 11-26
 1,000枚フィニッシャー 11-30
 4,000枚フィニッシャー 11-30
 サイドフィーダー(3,500枚×1) 11-29
 ジョブセパレータートレイ 11-32
 大容量フィーダー(1,650枚×2) 11-29
 中折りユニット(4,000枚フィニッシャーオプション) 11-31
 バナートレイ 11-32
 パンチユニット(1,000枚/4,000枚フィニッシャーオプション) 11-31
 プリンター機能 11-28
 ペーパーフィーダー(550枚×2) 11-29
 本体 11-26
 メールボックス(4,000枚フィニッシャーオプション) 11-31
状況/履歴の表示 8-19
状況確認画面の設定 8-19
小冊子 6-17
商標について 1-5
使用枚数の集計
 カウンター 2-48
 全部門集計 9-29
 不明ユーザー設定 9-34
 部門管理レポート印刷 9-31
 部門別集計 9-30
 用紙サイズ別 9-28
消耗品
 残量確認 7-12
消耗品の交換と補充
 ステابل針の補充(1,000枚フィニッシャー) 10-7
 ステابل針の補充(4,000枚フィニッシャー) 10-8
 ステابل針の補充(中折りユニット) 10-10
 トナーコンテナの交換 10-2
 廃棄トナーボックスの交換 10-5
 用紙の補給 10-6
初期画面 8-8
初期値 8-14
 JPEG/TIFF印刷方法 8-15
 XPS印刷サイズ調整 8-15
 エコプリント 8-14
 縮小/拡大 8-14
 ソート/仕分け 8-14
 とじしろ 8-14
 トナー節約レベル(エコプリント) 8-14
 文書名入力 8-14

ジョブ

- 一時停止と再開 7-9
- 入れ替え 7-10
- 確認画面の内容 7-3
- 確認画面の表示 7-2
- キャンセル 7-9
- 状況確認 7-2
- 状況の種類 7-2
- 詳細情報 7-6
- 中断と割り込み 7-9
- 履歴確認 7-7
- 履歴画面の表示 7-7
- 履歴送信 7-8, 8-26
- 履歴の詳細 7-8

ジョブ/消耗品/デバイスを管理する 7-1

ジョブごとの仕分 8-17

ジョブ終了通知 6-27

ジョブセパレーター 11-5

ジョブセパレータートレイ 2-5

ジョブボックス 4-18, 5-15, 11-53

一時保存文書の自動消去 8-21

クイックコピー 4-21

クイックコピージョブ保持数 8-21

ジョブ保留 4-20

試し刷り後保留 4-22

パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する 4-18

プライベートプリント 4-19

す

数字の入力 2-19

ステータスページ 11-53

ステータスマonitor 4-23

起動 4-23

終了 4-23

通知機能の設定 4-26

ステーブル/パンチ 6-9

ステーブル針の補充

1,000枚フィニッシャー 10-7

4,000枚フィニッシャー 10-8

中折りユニット 10-10

スリープ 2-34

スリープ時間 8-50

スリープレベル 8-51

節電優先 2-35

復帰優先 2-35

せ

静音モード 8-52

セキュリティーキット 11-5

セキュリティーデータの完全消去 8-47

接続

USBケーブル 2-8

電源コード 2-8

ネットワークケーブル 2-7

接続方法 2-6

設置環境について 1-3

設定画面の表示 2-16

節電復帰レベル 2-35, 8-51

センター移動 6-16

そ

ソート/仕分け 6-8

初期値 8-14

操作パネル 2-2

操作パネルの角度調節 2-11

ソフトウェア検証 8-47

た

大容量フィーダー(1,650枚×2) 11-4

用紙のセット 3-14

タッチパネル 2-13

短縮キー 2-20

ち

注意表示 1-2

調整/メンテナンス 8-52

画面の明るさ 8-52

キャリブレーション 8-53, 10-31

現像リフレッシュ 8-52, 10-32

システムの初期化 8-52

自動キャリブレーションサイクル 8-53

自動ドラムリフレッシュ 8-52

静音モード 8-52

ドラムヒーター 8-52

ドラムリフレッシュ 8-52, 10-31

メモリー診断 8-52

レーザーキャナークリーニング 8-52, 10-32

調整/メンテナンスメニューについて 10-31

て

低電力モード 2-34

低電力モード時間 8-49

手差しトレイ 2-3, 11-53

インデックス紙のセット 5-5

はがき、封筒のセット 5-4

用紙サイズと用紙種類 8-7

用紙のセット 5-2

手差し補助トレイ 2-3

デバイスの状態確認 7-11

デフォルトゲートウェイ 11-54

設定 8-33, 8-35

テンキーボード 11-5

テンキーボード設定 8-20

電源オフ時の確認 8-21

電源コード

接続 2-8

電源スイッチ 2-2

電源を入れる 2-9

電源を切る 2-9

電波の種類と干渉距離 1-12

電力管理 1-11

と

とじしろ 6-16

初期値 8-14

とじしろ/センター移動 6-16

トナーコンテナ(黒) 2-4

トナーコンテナ(シアン) 2-4

トナーコンテナの交換 10-2

トナー残量少の通知 8-18
トナーの残量確認 7-12
ドラムリフレッシュ 8-52, 10-31
取り扱い上のご注意 1-4
トレイ1~7 2-5
トレイA 2-5
トレイB 2-5

な

中折りトレイ 2-5
中折りユニット 11-4

に

入力長さ単位 8-11

ね

ネットワークインターフェイス 2-6
ネットワークインターフェイスキット 11-5
ネットワークインターフェイスコネクター 2-4
ネットワークケーブル 2-6
 接続 2-7
ネットワーク設定 8-30
 NFCの設定 2-33
 Wi-Fi Directの設定 2-31
 有線の設定 2-25
 ワイヤレスネットワークの設定 2-27

は

ハードディスク/SSDの初期化 8-46
廃棄 11-49
廃棄トナーボックス 2-4
廃棄トナーボックスカバー 2-2, 2-4
廃棄トナーボックスの交換 10-5
廃棄トナーボックス満杯通知 8-18
排紙先 6-12, 8-13
排紙ストッパー 2-2, 3-18
排紙容量調整レバー 3-19
はがき 11-24
パソコンから印刷 4-4
バナー印刷 4-9
バナー印刷前の確認 8-19
バナートレイ 11-4
 使い方 4-12
パネルリセット時間 8-50
針づまりの解除
 1,000枚フィニッシャー 10-80
 4,000枚フィニッシャー 10-83
 中折りユニット 10-85
搬送用取っ手 2-2
パンチくずの廃棄 10-11
 1,000枚フィニッシャー 10-11
 4,000枚フィニッシャー 10-13
パンチコピー 6-10
パンチユニット 11-5
反転用紙支え 2-2

ひ

日付/時刻 8-49

日付/タイマー/節電 8-49
 Pingタイムアウト時間 8-50
 エラー後自動継続 8-49
 エラー後自動継続時間 8-50
 エラージョブのスキップ 8-50
 オートパネルリセット 8-49
 時差 8-49
 週間予約設定 8-51
 スリープレベル 8-51
 スリープ時間 8-50
 節電復帰レベル 8-51
 低電力モード時間 8-49
 パネルリセット時間 8-50
 日付/時刻 8-49
 日付形式 8-49
日付形式 8-49
日付と時刻の設定 2-24
表紙付け 6-20

ふ

ファーストプリント時間 11-28
フィニッシャー操作部 2-5
フィニッシャートレイ 2-5
封筒 11-24
封筒ガイド 3-18
封筒給紙ガイド 3-10
ブザー 8-8
部門管理 9-20
 印刷 9-25
 削除 9-24
 使用制限 9-23
 使用枚数の集計 9-29
 初期設定 9-27
 新規登録 9-22
 制限超過時設定 9-33
 部門管理とは 9-20
 部門管理方式 9-21
 部門管理レポート 9-31
 編集 9-23
 有効 9-21
 ログアウト 9-32
 ログイン 9-32
プリスクライプコマンド 11-54
プリンター
 印刷設定 4-2

プリンター設定 8-22
A4/Letterの共通使用 8-22
KIR 8-24
印刷ジョブの終端 8-24
印刷範囲補正 8-23
印刷向き 8-22
エコプリント 8-22
エミュレーション 8-22
改行(LF)動作 8-23
解像度 8-24
改ページ待ち時間 8-23
給紙指定動作 8-23
自動カセット切り替え 8-23
ジョブ名 8-23
手差しトレイ優先 8-23
トナー節約レベル(エコプリント) 8-22
部数 8-22
復帰(CR)動作 8-23
ユーザー名 8-23
両面印刷 8-22
ワイドA4 8-24
プリンタードライバー 11-54
印刷設定 4-2
初期設定値の変更 4-3
ヘルプ 4-3
プレプリント 11-25
プログラム 5-6
削除 5-8
登録 5-6
編集 5-7
呼び出し 5-7
文書ボックス
外部メモリーボックス 5-15
基本操作 5-16
ジョブボックス 4-18, 5-15
文書ボックスとは 5-15
ユーザーボックス 5-15
文書ボックス/外部メモリー
簡単設定登録 8-21
ジョブボックス 8-21
ユーザーボックス 8-21
文書ボックス/外部メモリー 8-21
文書名入力 6-28
初期値 8-14

へ
ページ集約 6-14
ページ番号 6-22
ペーパーフィーダー(550枚×2) 11-4
ヘルプ 11-54
ヘルプ画面の使いかた 2-21

ほ
ホーム 8-21
壁紙 2-14
タスクバーの設定 2-14
デスクトップの設定 2-14
ホーム画面 2-13
法律上のご注意 1-5
補修用性能部品 11-49

保守サービス 11-48
ホスト名 8-30
本製品の省エネ制御機能について 1-11
本製品の使用限定 1-13

ま
前カバー 2-2
マニュアルステープル 5-29, 8-17

み
右カバー1 2-3
右カバー1レバー 2-3

む
無線LAN使用時のご注意 1-12
無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意 1-13

め
メール設定 2-54
メールボックス 11-4
メイントレイ 2-2
メモリー診断 8-52

も
文字スタンプ 6-24
文字の入力 11-8
入力画面 11-10
入力方式 11-8
入力文字 11-9
文字変換 11-13, 11-16

ゆ
ユーザー/部門管理
不明ユーザー設定 9-34
部門管理設定 9-20
ユーザー管理設定 9-2
ユーザー管理 9-2
ICカード設定 9-17
PINコード認証 9-18
印刷 9-7
簡単ログイン設定 9-15
グループ認可設定 9-9
ゲスト認可設定 9-11
ネットワークユーザー情報の取得 9-13
ユーザー管理とは 9-2
ユーザー情報の変更 9-4
有効 9-3
ログアウト 2-23
ログイン 2-22
ユーザー情報 8-49, 9-5
ユーザーボックス 5-15, 11-54
印刷 5-23
印刷データの保存 5-22
文書の移動 5-24
文書の削除 5-24
ボックスの削除 5-22
ボックスの作成 5-20
ボックスの編集 5-21

優先印刷 6-28, 7-9
優先ネットワーク(クライアント) 8-44

よ

用語集 11-50
用紙

- インデックス紙のセット 5-5
- 重さ 8-11
- カスタムサイズ 8-9
- カセットへのセット 3-4, 3-7
- 給紙段の選択 3-3
- サイズと種類 8-6, 11-18
- サイドフィーダーへのセット 3-16
- 仕様 11-18
- 設定 8-9
- 大容量フィーダーへのセット 3-14
- 適正な用紙 11-19
- 手差しトレイへのセット 5-2
- 特殊な用紙 11-22
- 特定用紙種類の動作設定 8-10
- 取り扱い上の注意 3-2
- はがきのセット 3-10, 5-4
- 表紙給紙元 8-10
- 封筒のセット 3-10, 5-4
- 優先給紙元 8-9
- 用紙種類の設定 8-11
- 用紙セット時の確認 8-9
- 用紙の残量確認 7-12
- 用紙のセット 3-2, 5-2

用紙種類の設定 8-11
用紙設定 8-9
用紙選択 6-5
用紙長さガイド 2-3, 3-4, 3-7, 3-11
用紙の補給 10-6
用紙幅ガイド 2-3, 3-5, 3-8, 3-11
横サイズ変更つまみ 2-3

ら

ラスタライズ 11-54
ラベル紙 11-23

り

両面 6-19

れ

レーザーキャナークリーニング 8-52, 10-32
レポート 8-25

- セキュリティ通信エラー履歴設定 8-29
- デバイス履歴設定 8-28
- 履歴送信 8-26
- レポート印刷 8-25
- ログイン履歴設定 8-27

レポート印刷

- オプションネットワークステータス 8-26
- サービスステータスページ 8-25
- ステータスページ 8-25
- 設定情報リスト 8-26
- ネットワークステータス 8-25
- フォントリスト 8-25

連番スタンプ 6-26

ろ

ログアウト 2-23
ログイン 2-22

わ

ワイドA4 8-24
ワイヤレスインターフェイスキット 11-5
ワイヤレスネットワーク
設定 2-27, 8-43

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。



お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番37号

<https://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>

お客様
相談窓口



0570-046562

受付時間

● 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00

(土曜、日曜、祝日および当社指定休日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。